

府中市インフラマネジメント白書 (案)

平成 29 年〇〇月

府 中 市

目 次

1.	インフラマネジメント白書とは	1
1.1.	目 的	2
1.2.	位置づけ	3
1.2.1	国の動向	3
1.2.2.	計画の体系	4
2.	管理数量・人口について	5
2.1.	管理数量	6
2.2.	人口	8
2.3.	財政運営の考え方	10
3.	インフラの現状について	11
3.1.	インフラ充足度（近隣市との比較）	12
3.2.	インフラの整備状況	14
3.2.1.	地域の区分	14
3.2.2.	整備状況一覧	15
3.2.3.	車道舗装	16
3.2.3.1.	全体数量	16
3.2.3.2.	道路位置	18
3.2.3.3.	車道舗装の状況	19
3.2.3.4	地域別集計	35
3.2.4.	歩道・植樹ます	51
3.2.4.1.	全体数量	51
3.2.4.2	歩道・植樹ます位置	51
3.2.4.3.	歩道・植樹ますの整備状況	53
3.2.5.	案内標識	61
3.2.5.1.	全体数量	61
3.2.5.2	案内標識位置	62
3.2.5.3.	案内標識の整備状況	64
3.2.5.4.	地域別集計	64
3.2.6.	警戒標識・その他標識	66
3.2.6.1.	全体数量	66
3.2.6.2	警戒標識・その他標識位置	68
3.2.6.3.	警戒標識・その他標識の整備状況	69
3.2.6.4.	地域別集計	69
3.2.7.	街路灯	70
3.2.7.1.	全体数量	70
3.2.7.2.	維持管理の状況	74
3.2.7.3.	維持管理の整備状況	75
3.2.7.4.	地域別集計	81

3.2.8. 道路反射鏡	89
3.2.8.1. 全体数量	89
3.2.8.2 道路反射鏡位置	90
3.2.8.3. 道路反射鏡の整備状況	91
3.2.8.4. 地域別集計	92
3.2.9. 街路樹	93
3.2.9.1. 全体数量	93
3.2.9.2 街路樹位置	95
3.2.9.3. 街路樹の整備状況	96
3.2.9.4. 地域別集計	97
3.2.10. 橋りょう	100
3.2.10.1. 全体数量	100
3.2.10.2 橋りょう位置	103
3.2.10.3. 橋りょうの整備状況	108
3.2.10.4. 橋りょうの劣化状況	112
3.2.10.5. 地域別集計	115
3.2.11. 立体横断施設等	117
3.2.11.1. 全体数量	117
3.2.11.2 立体横断施設等位置	118
3.2.11.3. 立体横断施設等の整備状況	119
3.2.12. 大型構造物	120
3.2.12.1. 全体数量	120
3.2.12.2 大型構造物位置	121
3.2.12.3. 大型構造物の整備状況	122
3.2.13. 公園緑地等	123
3.2.13.1. 全体数量	123
3.2.13.2 公園緑地等位置	134
3.2.13.3. 公園緑地等の現況	137
3.2.13.4. 公園緑地等の整備状況	151
3.2.13.5. 地域別集計	165
3.2.14. 下水道	198
3.2.14.1. 下水道の全体数量	198
3.2.14.2 下水道設置の位置	201
3.2.14.3. 下水道の現況	202
3.2.14.4. 下水道の整備状況	206
3.2.15. 法定外公共物	207
3.2.15.1. 全体数量	207
3.2.15.2 法定外公共物の整備状況	207
3.3. 維持管理の現況	208
3.4. 管理ボランティア制度の推移	211
3.4.1. 管理ボランティア制度の推移	211

3.5. インフラに係る決算の推移	212
3.5.1. 管理費用位置づけ	212
3.5.2. 維持管理費及び補修更新費の推移	213
3.5.2.1. インフラ決算の推移.....	213
3.5.2.2. 道路/道路付属物/橋りょう/公園緑地等/立体横断施設等/大型構造物/法定外公共物	213
3.5.2.3. 下水道	215
3.5.3. 維持管理に係る経費	219
3.5.3.1. 道路/橋りょう/公園緑地等.....	219
3.5.3.2. 街路灯	220
3.5.3.3. 街路樹	221
3.5.3.4. 道路反射鏡.....	221
3.5.3.5. 立体横断施設等.....	222
3.5.3.6. 大型構造物.....	222
3.5.3.7. 下水道	223
3.5.3.8. 法定外公共物	223
3.5.4. 補修更新に係る経費	224
3.5.4.1. 道路/道路付属物/橋りょう/公園緑地等/立体横断施設等/大型構造物/法定外公共物	224
3.5.5. 人件費.....	225
3.5.6. 歳入の推移	226
3.5.6.1. 市歳入	226
3.5.6.2. 地方譲与税.....	226
3.5.6.3. 下水道	227
3.5.6.4. 歳入と歳出の比較	228
 4. 将来の管理費用の予測について.....	 229
4.1. 経費予測の条件.....	230
4.2. 将来経費の予測額	234
4.2.1. 将来経費の予測額の内訳（維持管理）	234
4.2.1.1. 道路.....	234
4.2.1.2. 歩道・植樹ます.....	324
4.2.1.3. 標識（施設案内・警戒・その他）	234
4.2.1.4. 街路灯	324
4.2.1.5. 道路反射鏡.....	234
4.2.1.6. 街路樹	324
4.2.1.7. 橋りょう	235
4.2.1.8. 立体横断施設等.....	235
4.2.1.9. 大型構造物.....	235
4.2.1.10. 公園緑地等.....	235
4.2.1.11. 下水道	236
4.2.1.12. 法定外公共物.....	236
4.2.1.13. 維持管理費の将来経費の予測.....	237
4.2.2. 将来経費の予測額の内訳（補修更新）	238

4.2.2.1.	車道舗装.....	238
4.2.2.2.	歩道・植樹ます.....	242
4.2.2.3.	標識（施設案内・警戒・その他）.....	242
4.2.2.4.	街路灯.....	243
4.2.2.5.	道路反射鏡.....	243
4.2.2.6.	橋りょう.....	244
4.2.2.7.	立体横断施設等.....	248
4.2.2.8.	大型構造物.....	248
4.2.2.9.	公園緑地等.....	248
4.2.2.10.	下水道.....	253
4.2.2.11.	法定外公共物.....	254
4.2.2.12.	補修更新費の将来経費の予測.....	255
4.2.3.	将来経費の予測額の内訳（人件費）.....	256
4.2.4.	将来経費の予測額全体.....	257
4.2.5.	歳入の予測.....	258
4.2.6.	現行白書と次期白書の経費比較.....	261
4.3.	予測結果の評価.....	262
4.3.1.	全体.....	262
4.3.2.	車道舗装／歩道・植樹ます／橋りょう.....	262
4.3.3.	標識.....	262
4.3.4.	街路灯.....	263
4.3.5.	道路反射鏡.....	263
4.3.6.	街路樹.....	263
4.3.7.	立体横断施設等.....	263
4.3.8.	大型構造物.....	263
4.3.9.	公園緑地等.....	264
4.3.10.	下水道.....	264
4.3.11.	法定外公共物.....	264
5.	インフラマネジメントの関心.....	265
5.1.	インフラマネジメントの関心.....	266
6.	参考資料（用語の解説）.....	273

1. インフラマネジメント白書とは

1. インフラマネジメント白書とは

1.1. 目 的

府中市では、昭和 30 年代～昭和 40 年代の高度経済成長期に、道路、橋りょう、公園緑地等、下水道などの、多くの都市基盤施設（以下、「インフラ」という。）を整備しました。これらのインフラは、市民生活の根幹を担うものとして、安全性を欠くことなく管理をしてきました。しかし、これらのインフラの多くが整備後 35 年以上を経過しており、同時期に老朽化が進行しています。そのため、今後の管理に係る費用は膨大なものとなり、現状の市の財政事情では、全てのインフラや公共施設等をこれまでと同様に管理し続けていくことができません。

このことから、市の現状を踏まえてインフラにおける計画的な管理及び適切なコスト管理を進めるために、平成 25 年 1 月に「府中市インフラマネジメント計画（以下、「インフラマネジメント計画」という。）を策定しています。

インフラマネジメントを進めていくためには、インフラ管理に係る現状や課題の把握などを的確に行った上で取組む必要があります。本白書では、現状の劣化状況や経費等を整理することで、インフラ管理に係る方向性を示す「インフラマネジメント計画」を推進するための根拠資料とします。

1.2. 位置付け

1.2.1. 国の動向

平成 24 年（2012 年）12 月の笹子トンネル天井板落下事故以降、インフラの老朽化対策は国の取組みとしても推進されており、平成 25 年（2013 年）10 月には、内閣官房による「インフラ老朽化対策の推進に関する関係省庁連絡会議」が設置されました。

平成 25 年（2013 年）11 月には、インフラ老朽化対策の推進に関する関係省庁連絡会議により、国民生活やあらゆる社会経済活動を支える各種施設をインフラとして幅広く対象とし、戦略的な維持管理・更新等の方向性を示す基本的な計画として、「インフラ長寿命化基本計画」がまとめられました。この計画においては、国と地方自治体それぞれにおいて、あらゆるインフラの安全性の向上と効率的な維持管理を実現することとされています。国においては、各省庁で行動計画を策定し、取組みを進めています。

地方自治体に対しては、平成 26 年（2014 年）4 月に総務省から、「公共施設等の総合的かつ計画的な管理の推進について」が通知され、「公共施設等総合管理計画」の策定が求められています。

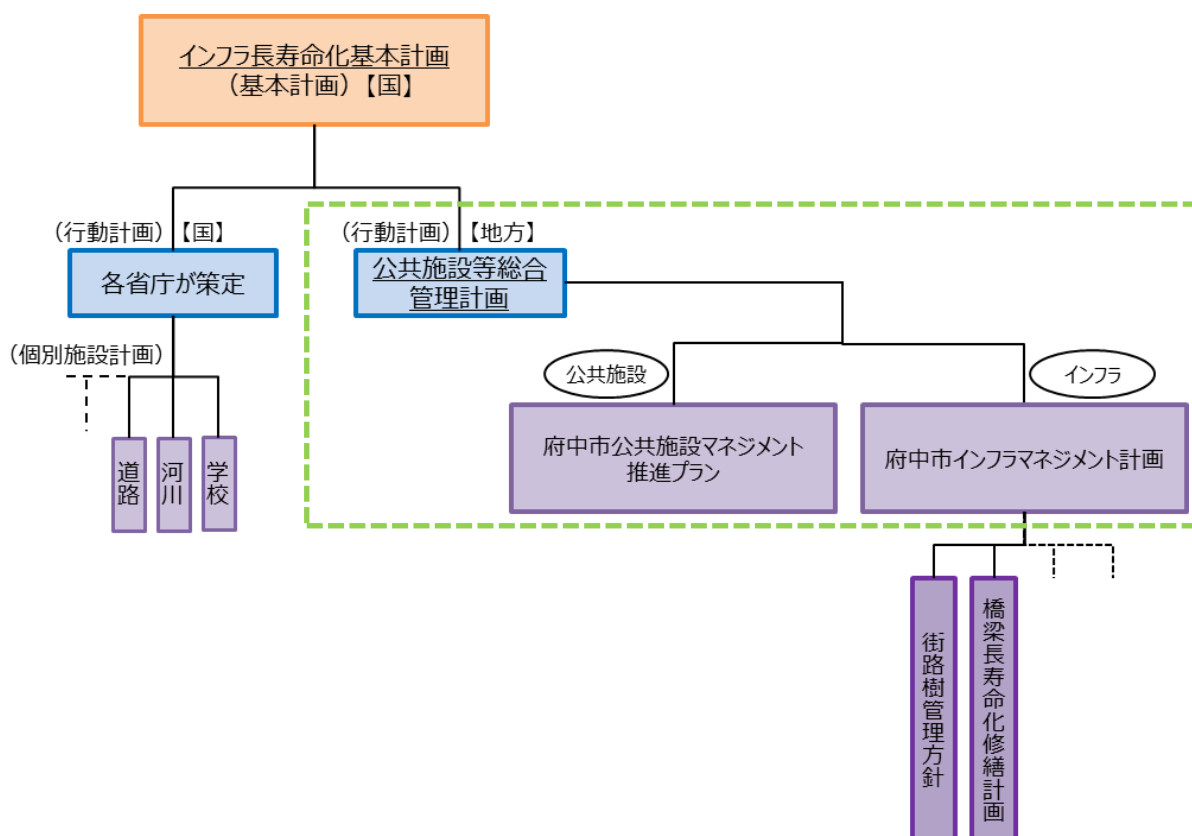


図 1-2-1-1 国との計画体系との関係

1.2.2. 計画の体系

本市では、国が定めるインフラ長寿命化基本計画策定以前からインフラや公共施設等に係る課題を認識しており、平成 25 年 1 月に「インフラマネジメント計画」、平成 26 年 1 月に「第 1 次 府中市公共施設マネジメント推進プラン」を策定し、計画的に取り組んできました。また、前述のインフラマネジメント計画及び公共施設マネジメントを一体で取り組み、国の要請を踏まえ、改めて本市の公共施設等の全体の現況や人口及び財政の状況を示し、課題を整理した、「府中市公共施設等総合管理計画」を新たに策定しています。「府中市公共施設等総合管理計画」は、国が定めるインフラ長寿命化基本計画の「行動計画」とし位置付けています。

また、同基本計画の「個別施設計画」として、「インフラマネジメント計画」、「府中市公共施設マネジメント推進プラン」及び「双方に基づく個別施設の計画」を位置付けます。

本白書は、「インフラマネジメント計画」を補完する根拠資料として位置付けます。

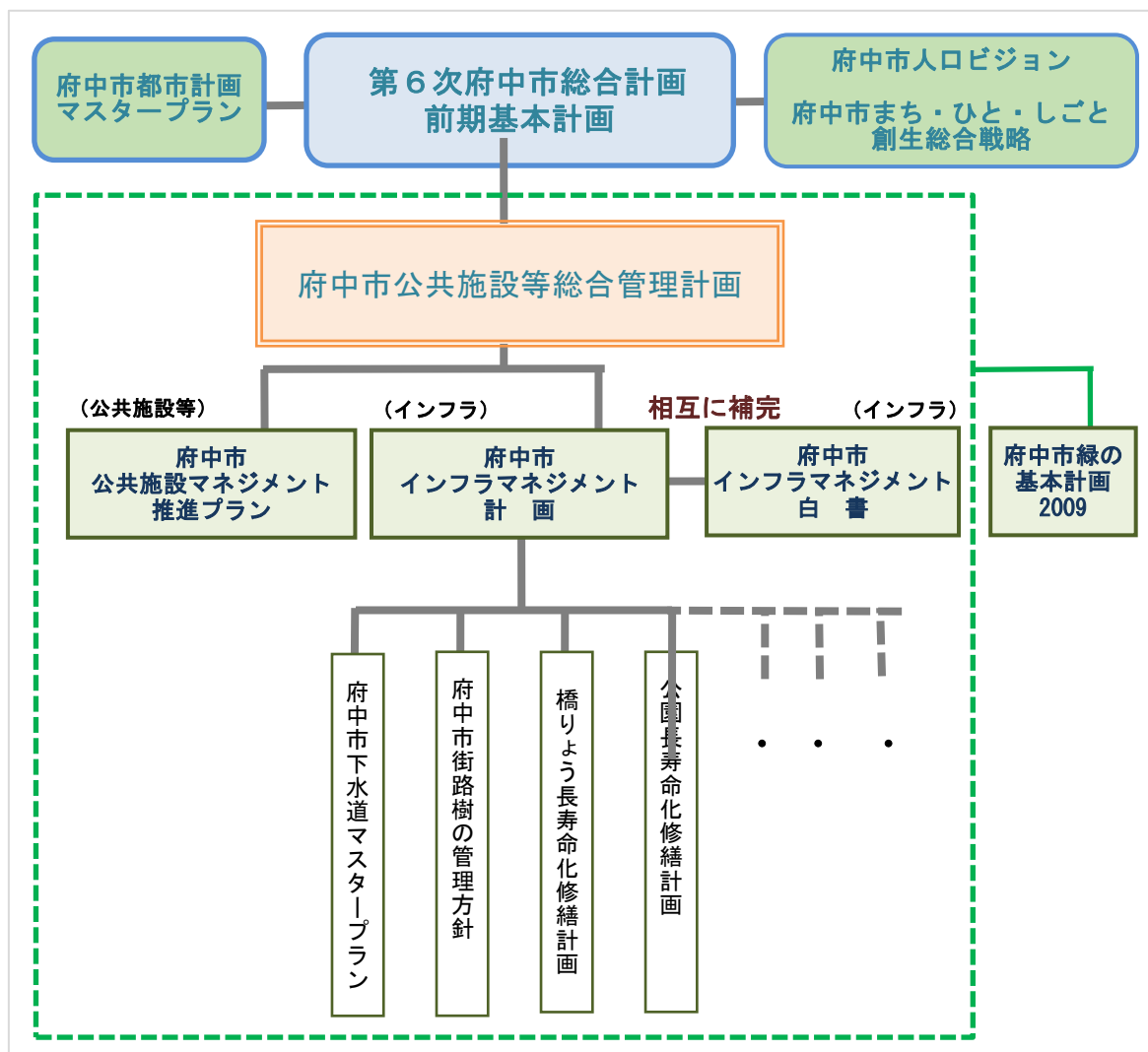


図 1-2-2-1 市の計画体系との関係

2. 管理数量・人口について

2. 管理数量・人口について

2.1. 管理数量

市が管理する、「道路」、「橋りょう」、「公園緑地等」、「下水道」などについて、規模や劣化状況などを整理します。本「白書」で管理状況を明らかにするインフラの対象は、次の通りです。

表 2-1-1 「白書」対象施設 一覧表

施設項目	種別	数量	延長	面積	備考
道路	車道	幹線市道	61 路線	88.540km	987,299 m ²
		一般市道	2,369 路線	343,166km	1,685,811 m ²
		合計	2,430 路線	431,706km	2,673,110 m ²
	歩道	歩道舗装	371 路線	173.502km	—
		植樹ます (89 路線)	1,867 か所	—	—
道路附属物	標識	施設案内標識	803 基	—	—
		警戒標識	283 基	—	—
		その他標識	122 基	—	—
		合計	1,208 基	—	—
	街路灯	交通安全灯	7,245 基	—	—
		防犯灯	11,335 基	—	—
		合計	18,580 基	—	—
	道路反射鏡		3,113 基	—	—
	街路樹		10,488 本 (240 路線)	—	—

施設項目	種別	数量	延長	備考
橋りょう	道路橋	21 橋	354m	
	歩道橋	15 橋	387m	
	合計	36 橋	741m	
立体横断施設等	ペDESTリアンデッキ	2 橋	—	府中駅、府中本町駅、西府駅及び分倍河原駅付近
	エレベーター	7 基	—	
	エスカレーター	4 基	—	
大型構造物	ボックスカルバート	10 か所	—	
	擁壁	15 か所	—	
	その他	1 か所	—	
	合計	26 か所	—	

施設項目	種別		箇所数	面積	備考
公園緑地等	市立公園	都市公園	274 か所	1,299,063 m ²	
		都市公園以外の公園	スポットパーク	35 か所	5,107 m ²
			広場	40 か所	16,094 m ²
			府中多摩川かぜのみち	1 か所	35,048 m ²
		市立公園以外の管理地	46 か所	80,992 m ²	
	合計		396 か所	1,436,305 m ²	

施設項目	流域	区域面積	管きょ延長	備考
下水道	北多摩一号処理区	2,505.73ha	734,354m	
	野川処理区	219.47ha	18,054m	
	合計	2,725.20ha	752,409m	布設年度不明分を含む。

施設項目	種別	面積	備考
法定外公共物	赤道	86,759 m ²	
	水路	169,467 m ²	
	市有通路	55,596 m ²	

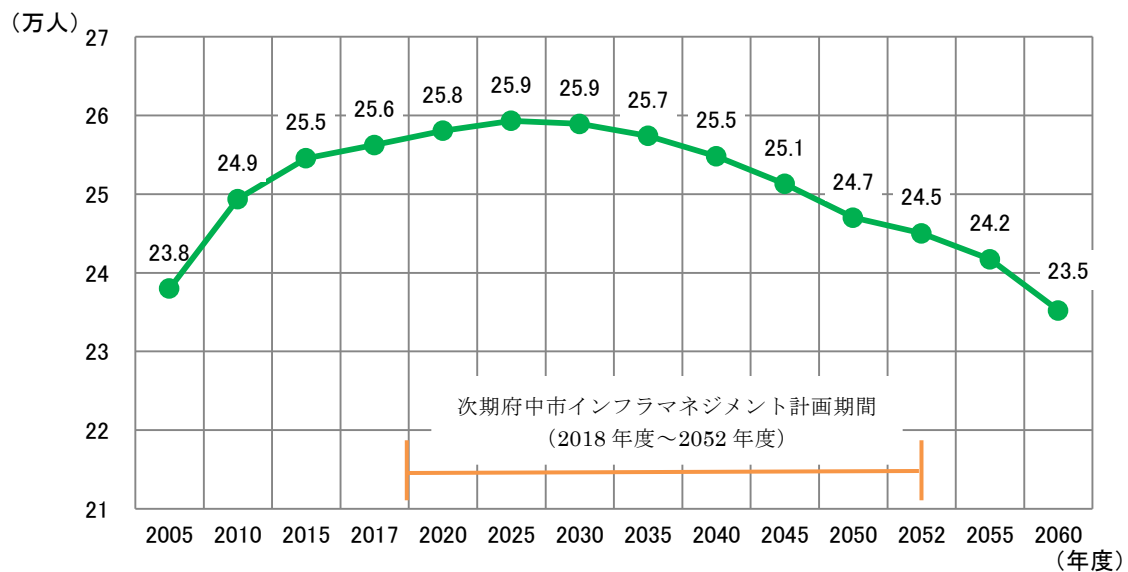
※ 出典「平成 27 年度 府中市事務報告書」及び「道路調書資料」、「市の管理道路に関する調書」、「標識台帳」、「反射鏡台帳」、「公園緑地等関係資料」、「下水道マスタープラン」

2.2. 人口

「府中市人口ビジョン（平成28年1月策定）」では、本市の人口の将来展望を検討するに当たり、総人口や人口構造を把握するため、将来人口のシミュレーションを実施し、市の最上位計画である「第6次府中市総合計画」で示す将来人口推計と同様の考えに基づき、近年の合計特殊出生率や社会移動の状況を踏まえた推計として「基本ケース」を設定しています。

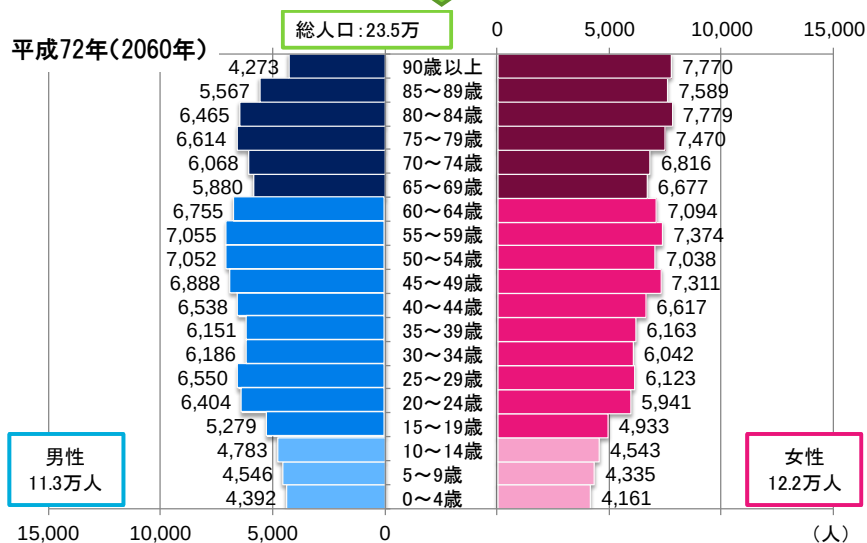
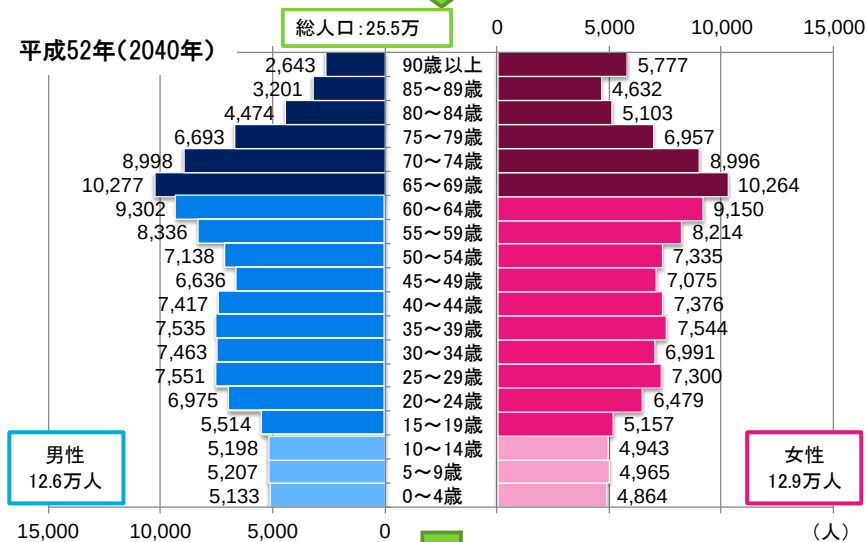
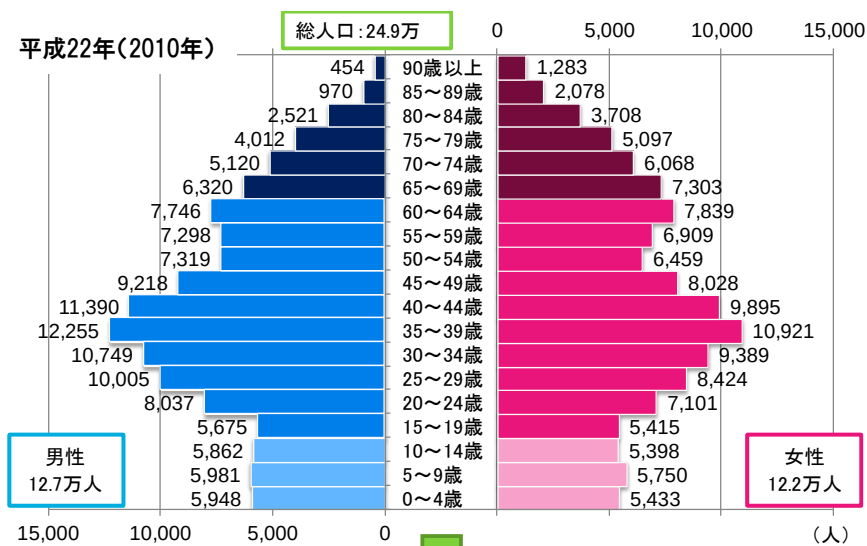
その中では、本市の総人口は、平成37年（2025年）頃、約25.9万人でピークを迎え、以降減少に転じ、平成72年（2060年）には23.5万人で、ピークから2万人以上減少すると見込まれています。

また、人口構造に関するシミュレーション結果では、平成52年（2040年）には、35歳から45歳までのいわゆる団塊ジュニア世代が高齢者となり、急激に高齢化が進むことが見込まれています。さらに、平成72年（2060年）には、団塊ジュニア世代のような極端なピークを形成する年齢層はなくなるものの、年少人口の減少傾向が強まることが見込まれています。



出典：「府中市人口ビジョン」

図2-2-1 長期的な総人口の推移に関するシミュレーション結果



出典: 「府中市人口ビジョン」

図2-2-2 人口構造に関するシミュレーション結果

2.3. 財政運営の考え方

府中市では、近年の景気回復傾向を受け、歳入の根幹である市税は増加傾向にあるものの、今後の景気の動向が不透明な中、税制改正による影響なども考慮されることから、増収は見込めない状況です。

一方で、保育所需用や高齢者人口の増加などに伴い、扶助費をはじめとした社会保障関係経費のさらなる増加が予想されます。また、今後は老朽化が進む施設の大規模修繕や更新にかかる費用が増大することが懸念されるほか、防災・減災対策や環境施策など、時代の要請に応じた施策も求められており、引き続き予断を許さない財政状況が続くことが想定されます。

このため、新たな歳入確保や事務事業の見直し等の行財政改革に取り組むとともに、計画的に基金を積み立てるなど、将来に負担が転嫁されることのないよう、持続可能な財政運営を行う必要があります。多様化する市民ニーズに応えるためにも、引き続き効果的で効率的な市民サービスに努めるとともに、十分に将来を見据えた上で、健全財政を維持していくことが求められます。

表 2-3-1 財政見通し（普通会計）平成 28 年度～33 年度

	平成28年度 (3月補正後予算)	平成29年度 (当初予算)	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	計画期間合計 (H30～H33)
歳入	1,098 億円	1,062 億円	940 億円	956 億円	1,011 億円	988 億円	3,895 億円
市税	507 億円	492 億円	489 億円	492 億円	491 億円	484 億円	1,956 億円
国庫・都支出金	323 億円	280 億円	279 億円	290 億円	281 億円	287 億円	1,137 億円
基金繰入金	21 億円	61 億円	15 億円	17 億円	47 億円	26 億円	105 億円
市債	57 億円	92 億円	11 億円	11 億円	30 億円	30 億円	82 億円
その他	190 億円	137 億円	146 億円	146 億円	162 億円	161 億円	615 億円
歳出	1,098 億円	1,062 億円	940 億円	956 億円	1,011 億円	988 億円	3,895 億円
義務的経費	436 億円	443 億円	453 億円	461 億円	468 億円	474 億円	1,856 億円
人件費	113 億円	114 億円	120 億円	121 億円	121 億円	120 億円	482 億円
扶助費	281 億円	287 億円	291 億円	299 億円	307 億円	316 億円	1,213 億円
公債費	42 億円	42 億円	42 億円	41 億円	40 億円	38 億円	161 億円
投資的経費	208 億円	216 億円	80 億円	86 億円	122 億円	103 億円	391 億円
その他経費	454 億円	403 億円	413 億円	422 億円	433 億円	427 億円	1,695 億円
削減目標額	- 億円	億円	▲ 6 億円	▲ 13 億円	▲ 12 億円	▲ 16 億円	▲ 47 億円

3. インフラの現状について

3. インフラの現状について

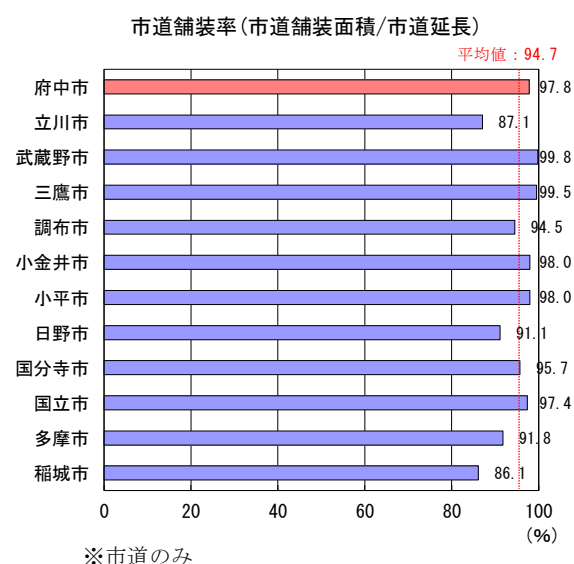
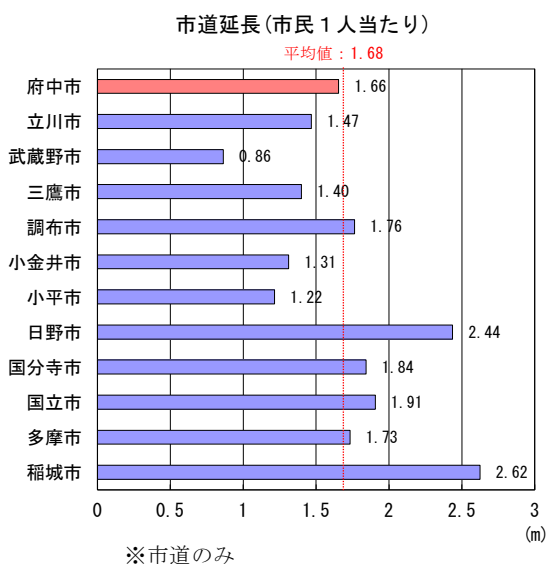
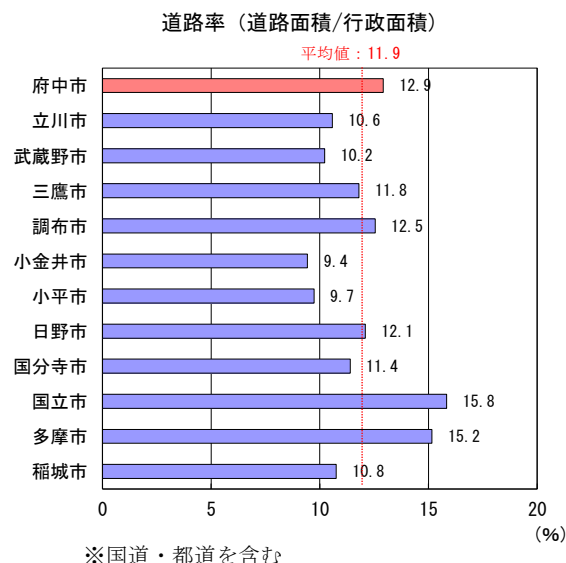
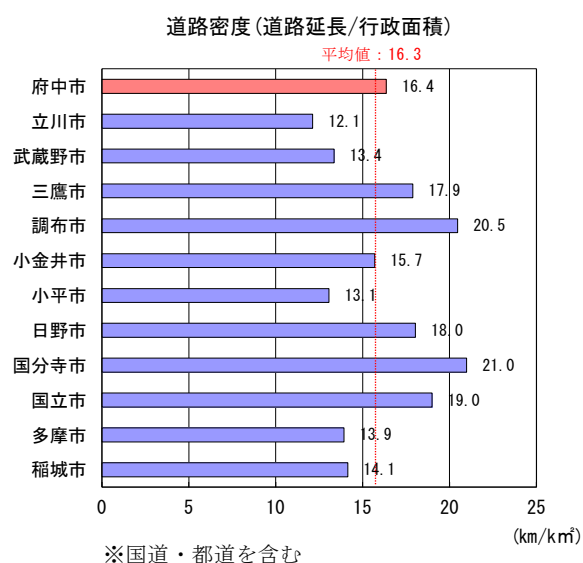
3-1

インフラ充足度（近隣市との比較）

3.1. インフラ充足度（近隣市との比較）

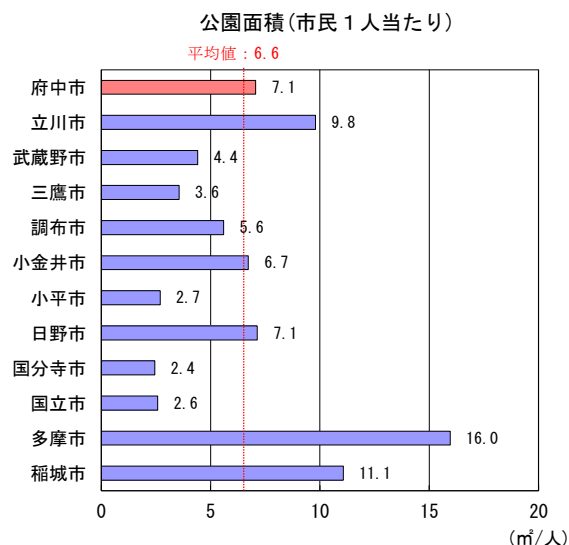
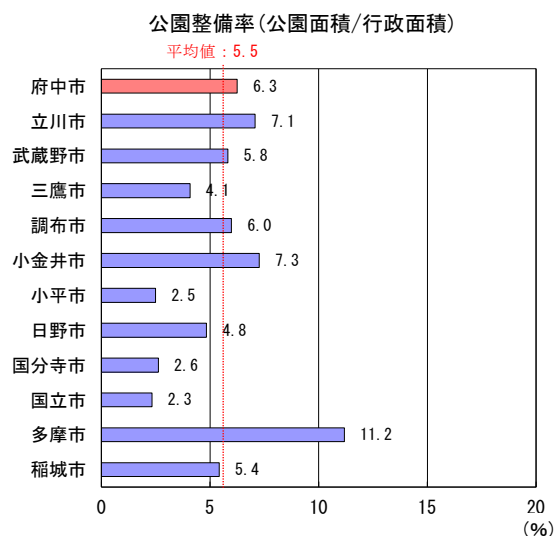
近隣の市と府中市のインフラ充足度を比較しました。府中市のインフラ充足度は、近隣の市と比較して同等、もしくは高い状態です。

○ 道 路



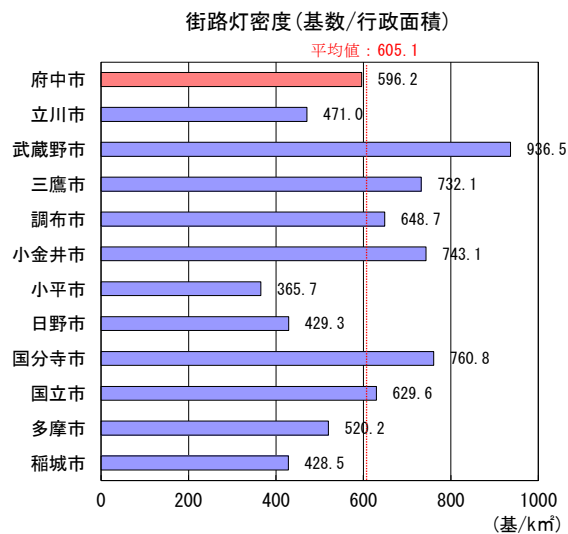
- ※ 出典【道路・人口】東京都道路現況調査書（東京都建設局道路管理部）（平成28年度）
- ※ 出典【行政面積】平成28年全国都道府県市区町村別面積調（国土地理院）
- ※ 出典【市道舗装面積】各市のホームページ等

公園緑地等

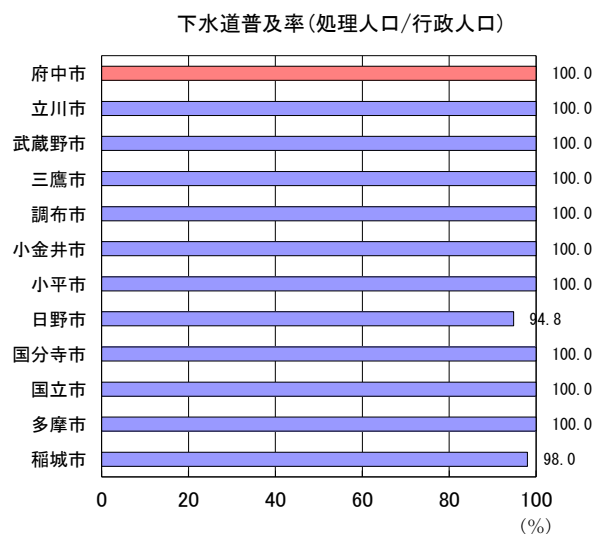


※ 出典【公園緑地等】東京都都市公園等区市町村別面積・人口割比率表(平成28年4月1日)

○ 街路灯



○ 下水道



※ 出典【街路灯】各市のホームページ等

※ 出典【下水道普及率】全国市町村別下水道処理人口普及率一覧(平成27年度末)

(日本下水道協会)

3-1

インフラ充足度(近隣市との比較)

3.2. インフラの整備状況

3.2.1. 地域の区分

インフラの整備状況は、市全体のほかに、「府中市都市計画マスタープラン」で定める「地域別まちづくり方針」の地域区分ごとに整理します。地域区分は、次のとおりです。

表 3-2-1-1 地域区分一覧表

地域区分	面積 (ha)	地域範囲
第1地域	約 539ha	多磨町全域、朝日町全域、紅葉丘全域、白糸台1丁目～3丁目及び4丁目～6丁目の一部、若松町3丁目～5丁目
第2地域	約 594ha	白糸台4～6丁目の一部、押立町全域、小柳町全域、若松町1丁目及び2丁目、清水が丘全域、是政1～5丁目、日吉町全域
第3地域	約 394ha	浅間町全域、天神町全域、新町全域、幸町全域、晴見町全域、栄町全域
第4地域	約 227ha	府中町全域、緑町全域、宮町全域、八幡町全域、本町1丁目及び2丁目、宮西町全域、寿町全域
第5地域	約 244ha	武蔵台1～3丁目、北山町1～4丁目、西原町1～4丁目、東芝町の一部
第6地域	約 248ha	片町1～3丁目、日鋼町全域、東芝町の一部、美好町1～3丁目、分梅町1丁目、本宿町1～4丁目、西府町全域
第7地域	約 413ha	矢崎町全域、南町全域、本町3丁目及び4丁目、分梅町2丁目～5丁目、住吉町全域、是政6丁目
第8地域	約 271ha	四谷全域、日新町全域

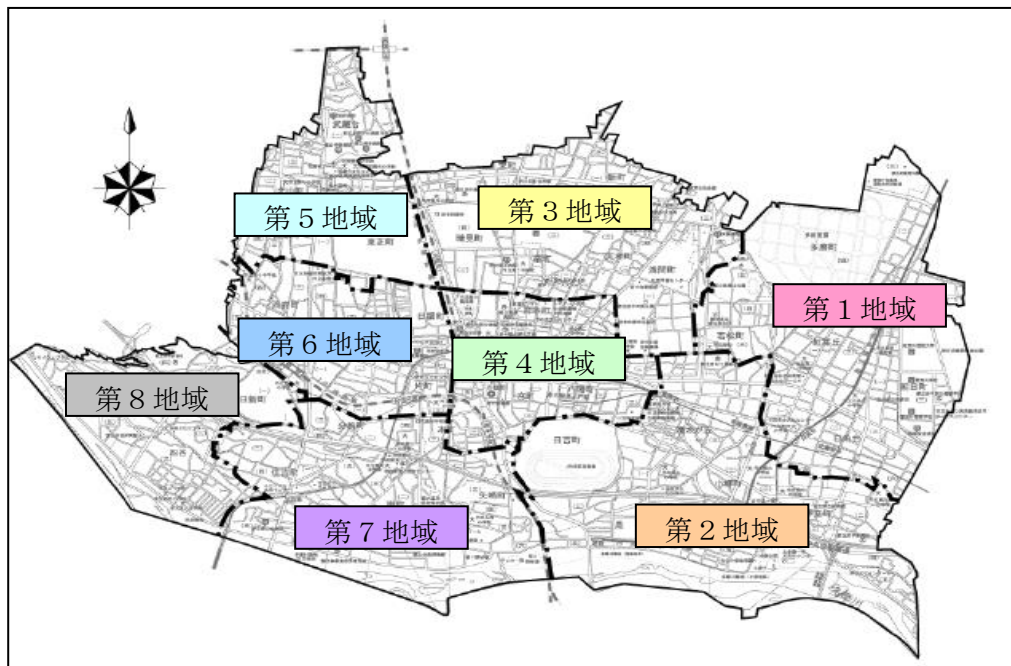


図 3-2-1-1 地域区分図

3.2.2. 整備状況一覧

本白書で整理している各施設の情報（3.2.3. ～3.2.15）は、次の資料を根拠に整理を行ったものです。

表 3-2-2-1 調査条件一覧

施設項目	施設名	調査・点検 年度(最新)	更新内容
道路	車道	平成 28 年度現地調査	路面性状調査車 目視調査
	歩道	平成 28 年度現地調査	目視調査
道路附属物	施設案内標識	平成 24 年度現地調査	目視調査
	警戒標識 その他標識	平成 28 年度過年度台帳整理	—
		一部現地調査	目視調査
	交通安全灯	平成 28 年度管理台帳整理	—
	防犯灯	平成 28 年度管理台帳整理	—
	道路反射鏡	平成 28 年度過年度台帳整理	—
		一部現地調査	目視調査
	街路樹	平成 27 年度 航空写真	目視調査
橋りょう		平成 27・28 年度橋りょう定期点検結果	目視調査
立体横断施設等		平成 28 年度整理	—
大型構造物		平成 28 年度整理	—
公園緑地等		公園緑地等関係資料	—
下水道		下水道マスタープラン	—
法定外公共物		平成 28 年度整理	—

3.2.3. 車道舗装

車道舗装は、路面性状調査車および目視により、舗装面の劣化状況を調査しました。

3.2.3.1. 全体数量

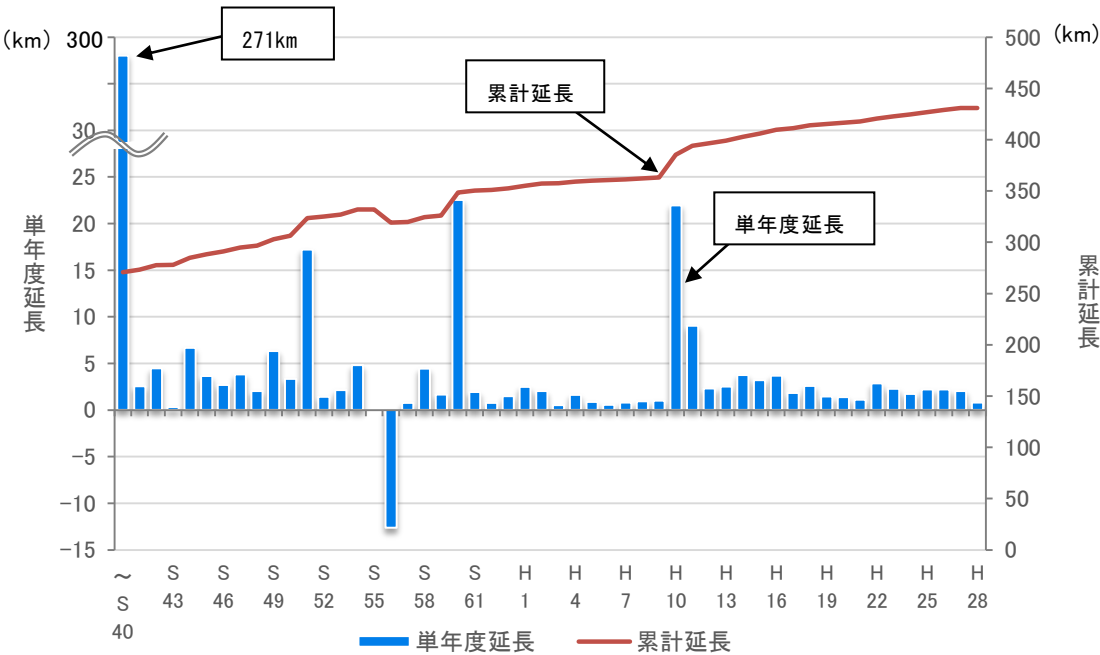
車道の管理数値は、表 3-2-3-1 のとおりです。なお、この表の数値は、歩道を含む数量です。

表 3-2-3-1 車道（全体）の管理数値

項 目	延 長	面 積
道路（車道）	431,706m	2,673,110 m ²
舗 装	416,886m	2,633,087 m ²
舗装率	96.74%	98.75%

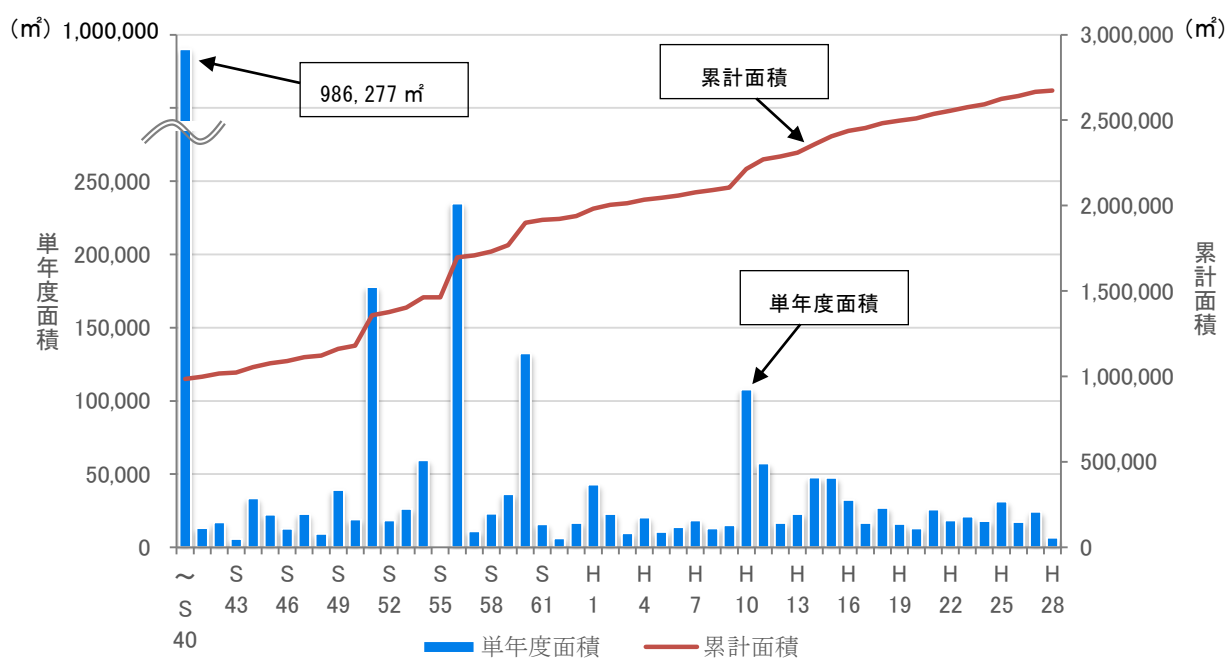
※ 出典「平成 27 年度 府中市事務報告書」及び「道路調書資料」より抜粋

府中市が管理する市道（橋りょうを含む。）は、道路延長が約 431km、道路面積が約 267 万 m²です。このうち、道路延長の約 63%が、また、道路面積の約 37%が昭和 40 年度までに整備されたものです。



※昭和 5 6 年度の市道の再編成時に数値を整理しています。

図 3-2-3-1 市道の認定状況（延長）



※昭和56年度の市道の再編成時に数値を整理しています。

図 3-2-3-2 市道の認定状況（面積）

3.2.3.2. 道路位置

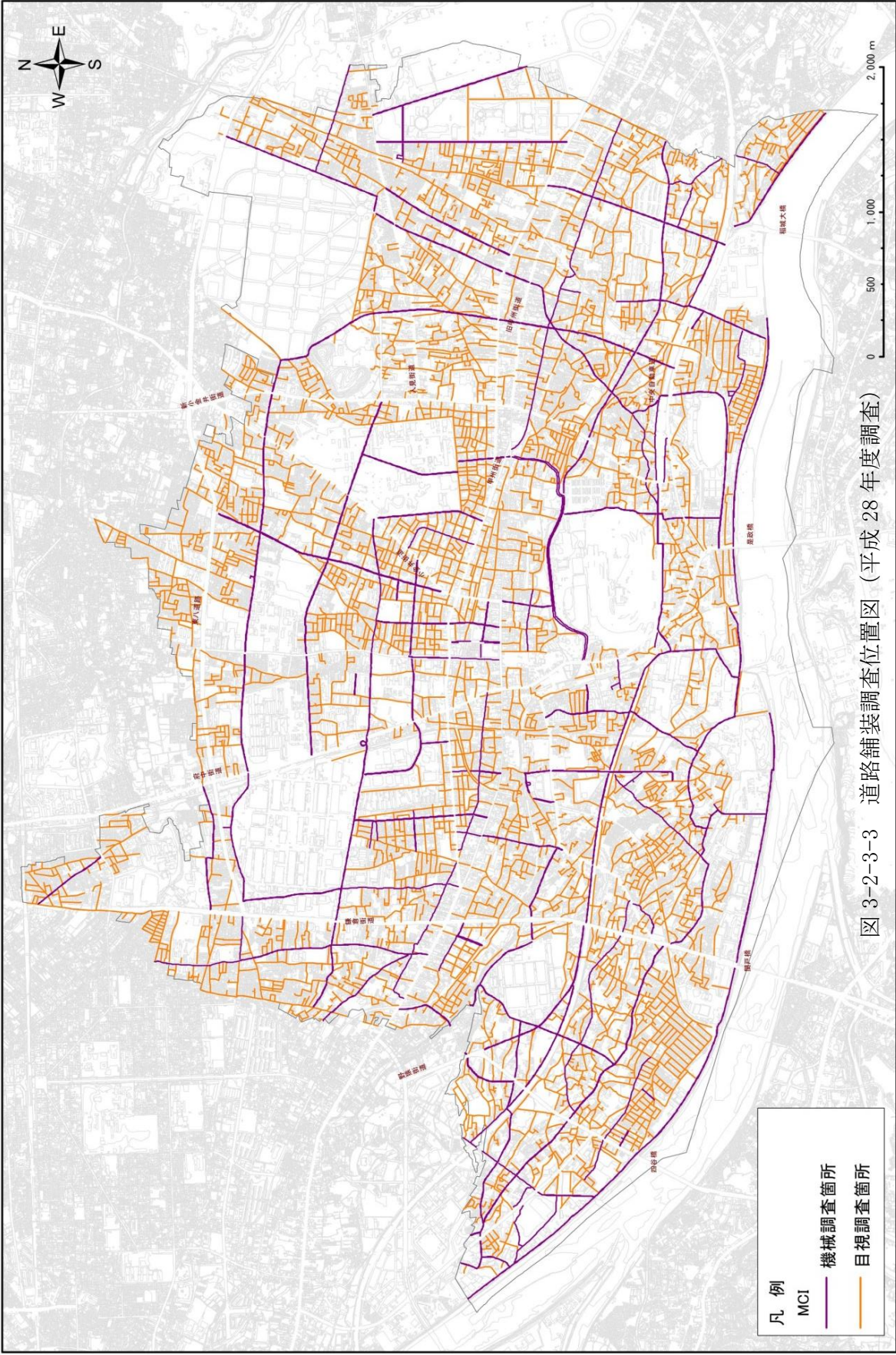


図 3-2-3-3 道路舗装調査位置図 (平成 28 年度調査)

3.2.3.3. 車道舗装の状況

(1) 点検条件

① 指標

車道舗装の評価は、舗装の劣化状態を指標とします。（MC I 値※）

※ MC I 値（維持管理指数）
舗装の劣化状態を「ひび割れ率」、「わだち掘れ量」、「平坦性」の3つの組み合わせから数値化した指標。10 を最大値として状態が悪いほど数値が下がっていく。

※ MC I 値の評価めやす

MCI3.0 以下	すぐに補修が必要
MCI4.0 以下	補修が必要
MCI5.0 以下	すぐに補修は必要ないが経過観察が必要
MCI5.1 以上	問題なし

※（説明写真）劣化状況例ごとのMC I 値



図 3-2-3-4 MCI＝5
ひび割れが見える程度



図 3-2-3-5 MCI＝3.5～4
ひび割れが複数ある程度



図 3-2-3-6 MCI＝3
ひび割れが面状にひろがり、わだちが顕著



図 3-2-3-7 MCI＝2
ひび割れが全面にひろがり、わだち掘れが顕著

② 実施数量

調査した車道舗装の延長は、次のとおりです。

表 3-2-3-2 車道調査数量一覧

調査方法	道路種別	調査延長 (m)	調査項目	評価単位	上下線	備考
機 械	幹線市道	153,374	ひびわれ	20mごと	上下	多車線区間は全車線調査（付加車線除く）としました
	一般市道	9,172	わだち掘れ			
目 視	一般市道	320,167	ひびわれ	街区ごと	下りのみ	
合 計		482,713	—	—	—	

※ 車道幅員 6.5m 以上の区間を含む路線は「機械調査」、それ以外は「目視調査」を行っています。

※ 目視調査路線は、大型車両が少なくわだち掘れが発生しにくいと判断し、ひびわれ調査のみを行っています。

※ 解析時、目地は劣化に含めないこととしました。

③ 調査項目及び解析手法

【機械調査※】

機械調査（路面性状測定車）は、「舗装調査・試験法便覧（社団法人日本道路協会平成 19 年 6 月）」に基づいて解析しました。

1) ひびわれ率（機械）

車道の面積に対してどの程度ひびわれがあるのかを、0.1%単位で調査しました。

2) わだち掘れ（機械）

わだち掘れの量を、測定区間の進行方向 10m 毎にmm単位で調査しました。

※ 車道舗装の劣化状態を把握するため、専用の「路面性状測定車」により調査を実施しました。なお路面性状測定車は、毎年行われる公的機関による性能確認試験で性能保証を受けた車両を使用しています。

【目視調査】

目視調査は、調査員が徒歩でひびわれのみを調査しました。なお、ひびわれの劣化程度は、次に示す判定基準に基づいて決定しました。

○ ひびわれ率（目視）	
・ 不連続に単線でひびわれが発生している場合	5%以下
・ 連続して単線でひびわれが発生している場合	5～15%
・ 道路幅のおおむね 1/8 にひびわれが発生している場合	5～15%
・ 道路幅のおおむね 1/4 にひびわれが発生している場合	15～30%
・ 道路幅のおおむね 1/3 にひびわれが発生している場合	30～50%
・ 道路幅のおおむね 1/2 にひびわれが発生している場合	50%以上

④ 評価方法と要補修判定基準

【評価方法】

評価には、MC I（維持管理指数※¹）を用いています。なお、MC I は、次の式により算出しています。

$$MCI_0 = 10 - 1.51C^{0.3} - 0.30D^{0.7} \quad (1)$$

$$MCI_1 = 10 - 2.23C^{0.3} \quad (2)$$

$$MCI_2 = 10 - 0.54D^{0.7} \quad (3)$$

ここに C : ひびわれ率(%)
D : わだち掘れ量(mm)
MC I、MC I i : 維持管理指数

機械調査は、上記(1)～(3)の式で算出した値のうち、最も小さい値を用いました。また、目視調査については、(2)の式で算出した値を用いました。

【補修判定基準】

補修の判定基準は、表 3-2-3-3 に示す値を用いました。

表 3-2-3-3 MC I の標準的な判定基準

評価ランク	評価の範囲	判定結果
水準Ⅰ	0.0 ≤ MCI ≤ 3.0	早急に修繕が必要
水準Ⅱ	3.0 < MCI ≤ 4.0	修繕が必要
水準Ⅲ	4.0 < MCI ≤ 5.0	修繕が望ましい
水準Ⅳ	5.0 < MCI	望ましい管理水準

※ 出典「第 34 回建設省技術研究会報告 昭和 55 年度」P40

⑤ 車道舗装の補修間隔

昭和 56 年度から平成 28 年度までの「工事台帳」から、車道舗装の補修実績（更新サイクルに相当）の実態を把握しました。

具体的には、過去の補修状況を工法別に集計し、平均経年数などの舗装補修の現状を把握しました。また、集計対象は、同一箇所に対して 2 回以上の工事台帳がある区間と、補修工事を 1 回実施した後から現在に至っている区間とします。なお、舗装の更新サイクルを≒耐用年数(劣化予測の算定ベース)としました。

3-2-2

【舗装更新・補修の実績】

○ 幹線市道	打換え工事の平均更新間隔年数は	約 19 年
	オーバーレイ工事の平均補修間隔年数は	約 12 年
○ 一般市道	打換え工事の平均更新間隔年数は	約 21 年
	オーバーレイ工事の平均補修間隔年数は	約 10 年

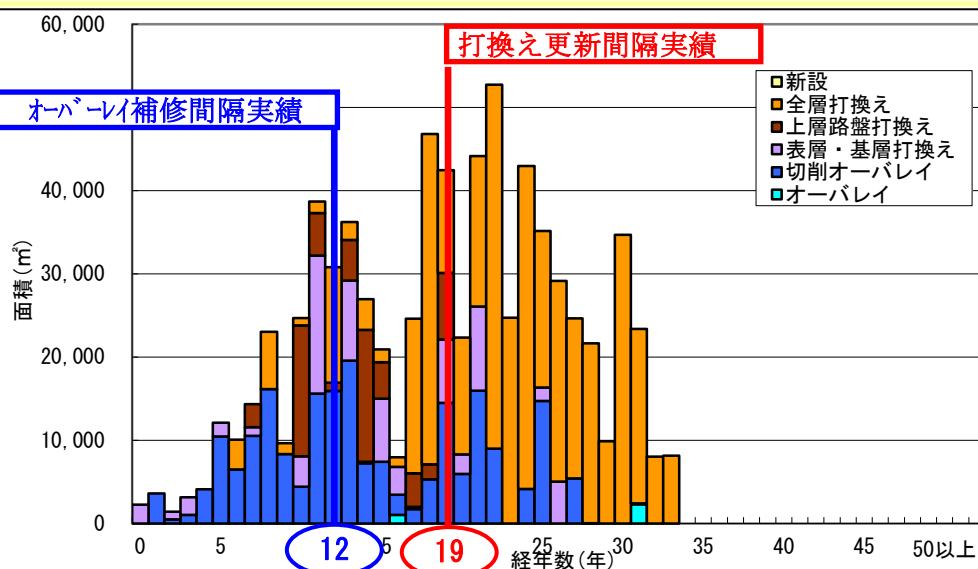


図 3-2-3-8 幹線市道の舗装更新周期（実績）

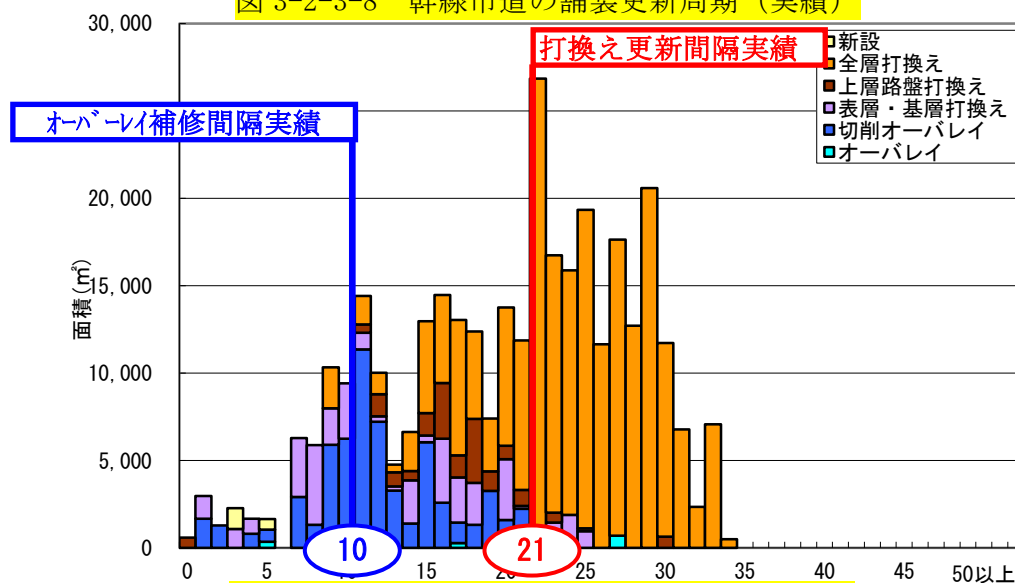


図 3-2-3-9 一般市道の舗装更新周期（実績）

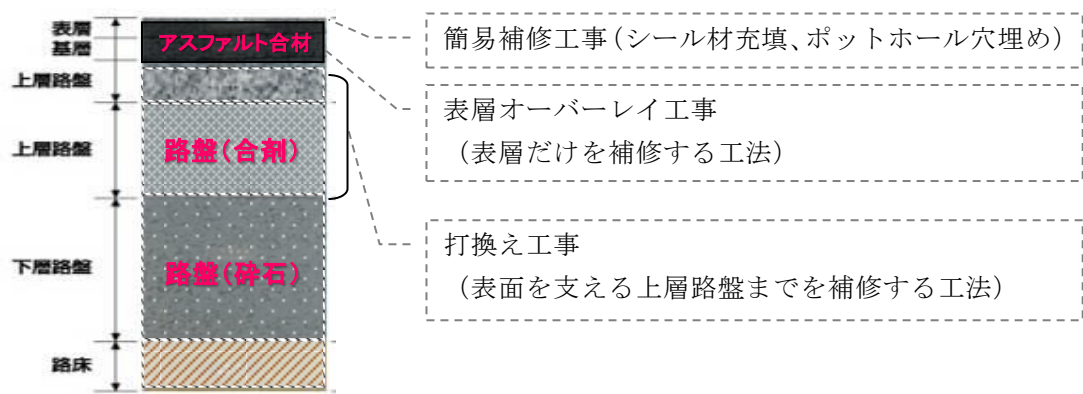


図 3-2-3-10 舗装の構造と補修工事のイメージ

3-2-2

インフラの整備状況(車道舗装)

(2) 点検結果（全体）

①－１ MC I (維持管理指数)

調査結果から、地域別に平均MC I を比較しました。なお、市全体での平均MC I は 6.7 であり、前回調査（平成 23 年度）から 0.2 減少しています。

また、地域別の比較では第 5 地域、第 8 地域が最も低く（劣化している）、平均MC I は 6.5 です。第 5 地域は、大規模な工場や幹線都道を含む地域です。第 8 地域は、多摩川沿いに緑地が見られ、工場跡地から集合住宅へ土地利用転換が進んでいる地域です。（図 3-2-3-11）

表 3-2-3-4 車道舗装の劣化程度（地域区分別のMC I）

地域区分	平成28年度		前回調査（平成23年度）		増減
	調査延長	平均MC I	調査延長	平均MC I	
市全体	482,713m	6.7	473,183m	6.9	-0.2
第1地域	75,160m	6.9	71,034m	7.1	-0.2
第2地域	91,131m	6.7	92,578m	7.1	-0.4
第3地域	62,712m	6.7	61,351m	6.9	-0.2
第4地域	46,885m	6.6	47,177m	6.4	0.2
第5地域	32,808m	6.5	32,584m	6.7	-0.2
第6地域	47,128m	6.7	44,557m	6.6	0.1
第7地域	68,233m	6.7	67,900m	6.9	-0.2
第8地域	58,656m	6.5	56,002m	6.7	-0.2

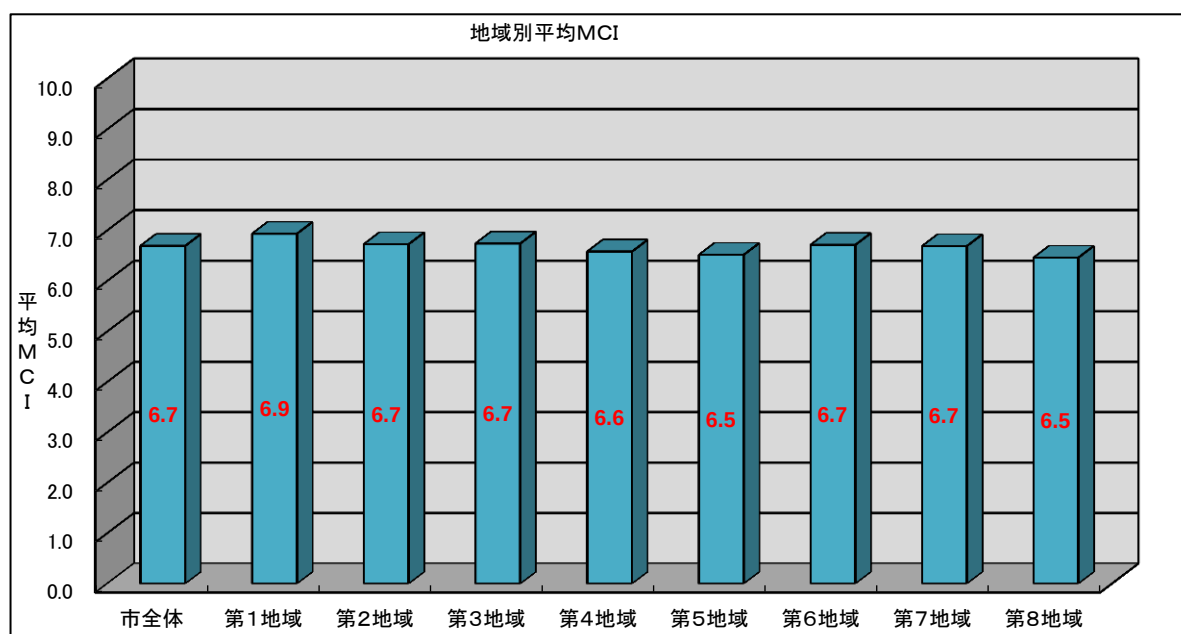


図 3-2-3-11 平成 28 年度 地域別平均のMC I 比較（地域区分別）

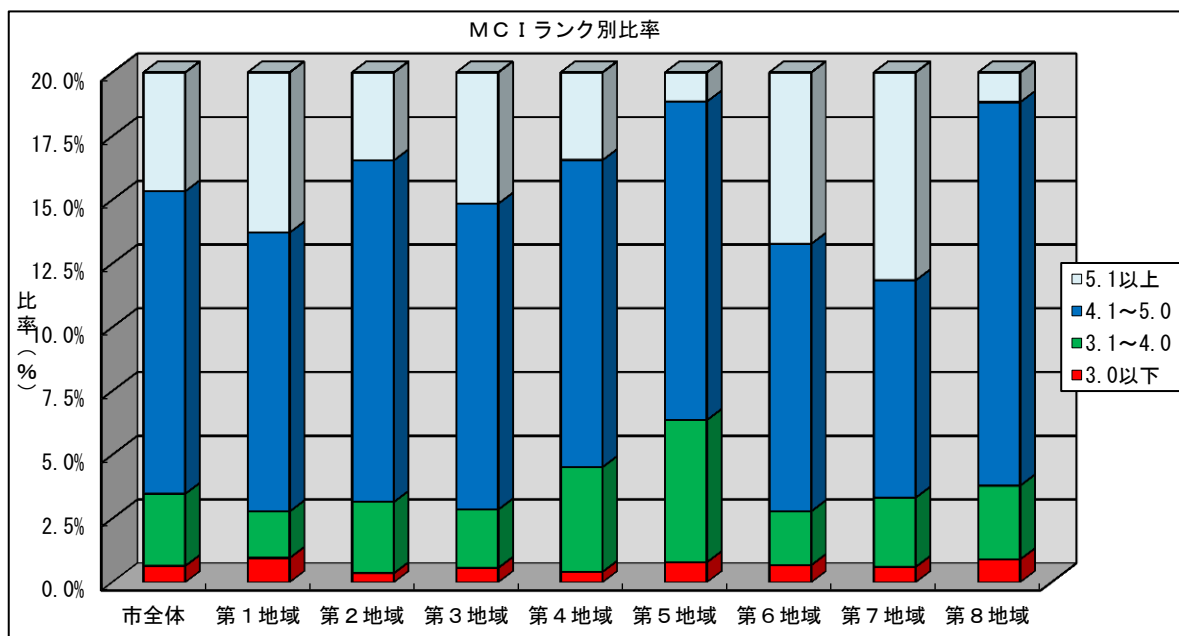
①ー2 MC I (維持管理指数) ランク別割合

MC I の標準的な判定基準(表 3-2-2-3)に基づき、「MC I 3.0 以下(早急に修繕が必要)」、「MC I 3.1~4.0(修繕が必要)」、「MC I 4.1~5.0(修繕が望ましい)」、「MC I 5.1 以上(望ましい管理水準)」の4ランクに分類して延長割合を比較しました。

早急な修繕が必要なMC I 3.0 以下は、市全体で 0.6%でした。なお、地域ごとに比較すると第1地域(1.0%)、第8地域(0.9%)、第5地域(0.8%)の順となっています。(図 3-2-3-12)

表 3-2-3-5 車道舗装の劣化割合 (地域区分別のMC I)

MC I	3.0以下	3.1~4.0	4.1~5.0	5.1以上	合 計
市全体	0.6%	2.8%	11.9%	84.7%	100%
第1地域	1.0%	1.8%	10.9%	86.3%	100%
第2地域	0.4%	2.8%	13.4%	83.4%	100%
第3地域	0.6%	2.3%	12.0%	85.1%	100%
第4地域	0.4%	4.1%	12.0%	83.4%	100%
第5地域	0.8%	5.6%	12.5%	81.1%	100%
第6地域	0.7%	2.1%	10.5%	86.7%	100%
第7地域	0.6%	2.7%	8.5%	88.2%	100%
第8地域	0.9%	2.9%	15.0%	81.2%	100%



※ ■ (早急に修繕が必要) ■ (修繕が必要) ■ (修繕が望ましい)

図 3-2-3-12 地域別・MC I ランク別割合比較 (地域区分別)

②-1 ひびわれ率

調査結果から、地域別に平均ひびわれ率を比較しました。なお、市全体での平均ひびわれ率は7.1%であり、前回調査（平成23年度）から2.0%増加しています。

また、地域別の比較では第5地域が最も高く（劣化している）、平均ひびわれ率は8.1%です。第5地域は、大規模な工場や幹線都道を含む地域です。（図3-2-3-13）

表 3-2-3-6 車道舗装の劣化程度（地域区分別のひびわれ率）

地域区分	平成28年度		前回調査（平成23年度）		増減
	調査延長	平均ひびわれ率	調査延長	平均ひびわれ率	
市全体	482,713m	7.1%	473,183m	5.1%	2.0%
第1地域	75,160m	6.8%	71,034m	4.8%	2.0%
第2地域	91,131m	6.9%	92,578m	4.3%	2.6%
第3地域	62,712m	7.2%	61,351m	5.4%	1.8%
第4地域	46,885m	7.9%	47,177m	6.7%	1.2%
第5地域	32,808m	8.1%	32,584m	5.0%	3.1%
第6地域	47,128m	7.1%	44,557m	5.9%	1.2%
第7地域	68,233m	6.3%	67,900m	4.6%	1.7%
第8地域	58,656m	7.7%	56,002m	5.1%	2.6%

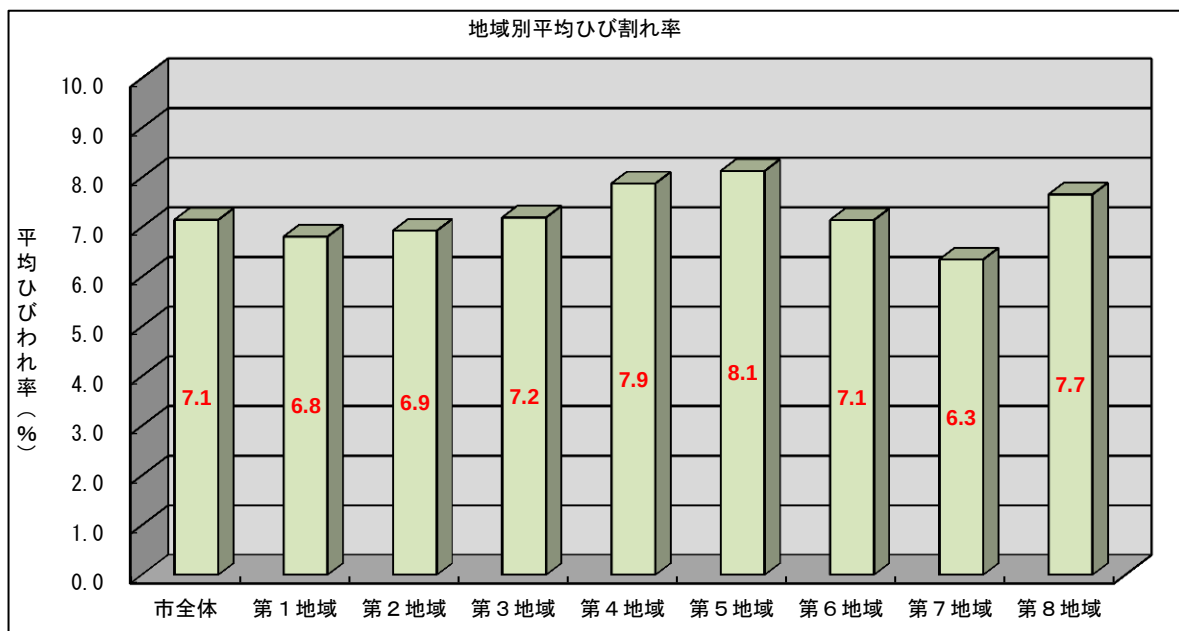


図 3-2-3-13 平成28年度 地域別平均のひびわれ率比較（地域区分別）

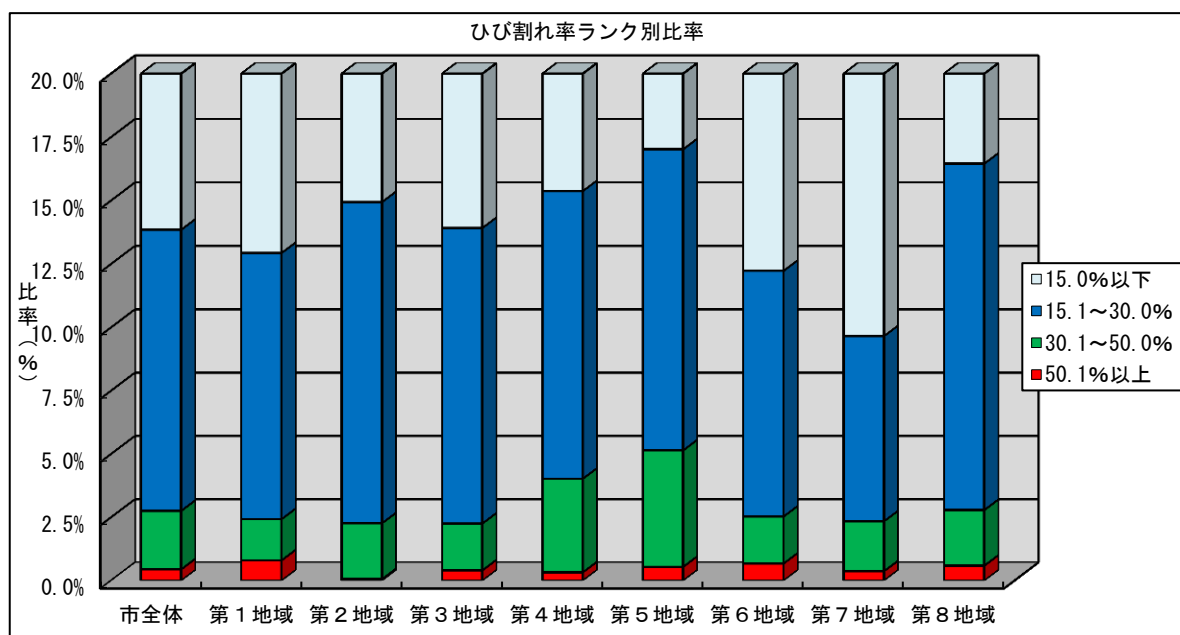
②-2 ひびわれ率 ランク別割合

早急な修繕が必要なひびわれ率である 50.1%以上の区間は、市全体で 0.4%でした。なお、該当箇所は、第 1 地域(0.8%)、第 6 地域(0.7%)、第 8 地域(0.9%)の順となっております。

この結果は、平均MC I とほぼ同じ傾向です。このことから、府中市管理市道の劣化要因は、「ひびわれ」であるといえます。

表 3-2-3-7 車道舗装の劣化割合（地域区分別のひび割れ率）

ひびわれ率	50.1%以上	30.1～50.0%	15.1～30.0%	15.0%以下	合 計
市全体	0.4%	2.3%	11.1%	86.1%	100%
第 1 地域	0.8%	1.6%	10.5%	87.1%	100%
第 2 地域	0.1%	2.2%	12.7%	85.1%	100%
第 3 地域	0.4%	1.8%	11.7%	86.1%	100%
第 4 地域	0.3%	3.7%	11.4%	84.6%	100%
第 5 地域	0.5%	4.6%	11.9%	83.0%	100%
第 6 地域	0.7%	1.9%	9.7%	87.8%	100%
第 7 地域	0.4%	2.0%	7.3%	90.3%	100%
第 8 地域	0.6%	2.2%	13.7%	83.5%	100%



※ ■ (早急に修繕が必要) ■ (修繕が必要) ■ (修繕が望ましい)

図 3-2-3-14 地域別・ひびわれ率ランク別割合比較（地域区分別）

③－１ わだち掘れ量

調査結果から、地域別に平均わだち掘れ量を比較しました。なお、市全体での平均わだち掘れ量は、7.0mm であり、前回調査（平成 23 年度）から 0.1mm 増加しています。

また、地域別の比較では第 7 地域が最も高く（劣化している）、平均わだち掘れ量は 7.8mm です。第 7 地域は、多摩川沿いに緑地が見られ、工場跡地から集合住宅へ土地利用転換が進んでいる地域です。（図 3-2-3-15）

表 3-2-3-8 車道舗装の劣化程度（地域区分別のわだち掘れ量）

地域区分	平成28年度		前回調査（平成23年度）		増減
	調査延長	平均わだち掘れ量	調査延長	平均わだち掘れ量	
市全体	162,546m	7.0mm	161,123m	6.9mm	0.1mm
第1地域	22,088m	6.2mm	20,641m	5.9mm	0.3mm
第2地域	34,083m	7.2mm	34,711m	7.2mm	0.0mm
第3地域	18,216m	6.1mm	17,819m	6.7mm	-0.6mm
第4地域	11,882m	7.2mm	12,056m	6.6mm	0.6mm
第5地域	12,578m	7.2mm	12,611m	6.8mm	0.4mm
第6地域	13,527m	6.1mm	13,077m	6.1mm	0.0mm
第7地域	25,836m	7.8mm	25,976m	7.5mm	0.3mm
第8地域	24,336m	7.2mm	24,232m	7.5mm	-0.3mm

※：「平均わだち掘れ量」は機械調査区間のみの集計結果です

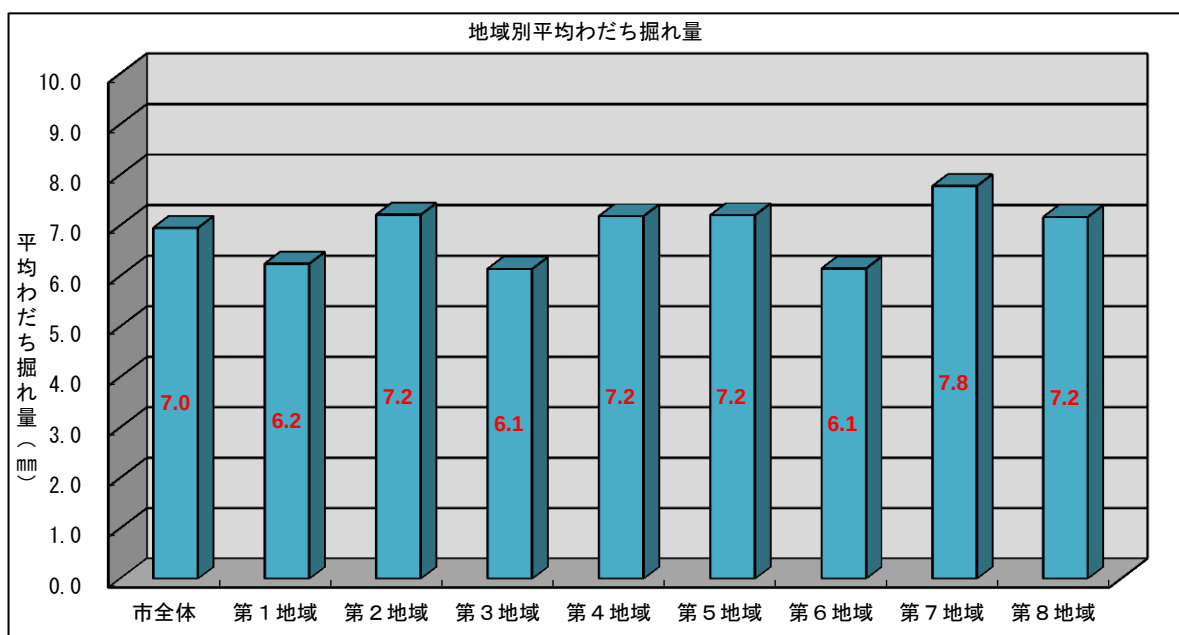


図 3-2-3-15 平成 28 年度 地域別平均わだち掘れ量比較（地域区分別）

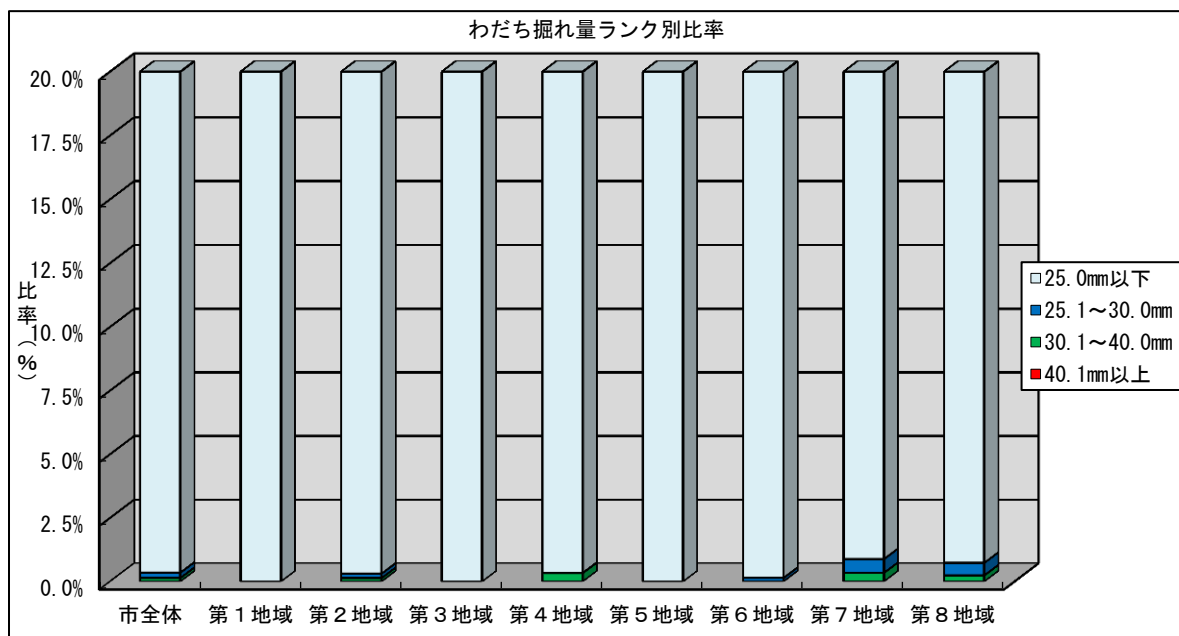
③-2 わだち掘れ量 ランク別割合

早急な修繕が必要なわだち掘れ量である 40.1 mm 以上は、対象箇所がありませんでした。また、修繕が必要な箇所に相当するわだち掘れ量 30.1～40.0 mm は市全体で 0.1% あり、該当箇所は第 4 地域(0.3%)、第 7 地域(0.3%)、第 8 地域(0.2%)、第 2 地域(0.1%)です。(図 3-2-3-16)

この結果から、府中市管理市道において「わだち掘れ」が直接の原因で補修を検討する箇所はありません。

表 3-2-3-9 車道舗装の劣化割合（地域区分別のわだち掘れ量）

わだち掘れ量	40.1mm以上	30.1～40.0mm	25.1～30.0mm	25.0mm以下	合 計
市全体	0.0%	0.1%	0.2%	99.6%	100%
第 1 地域	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100%
第 2 地域	0.0%	0.1%	0.2%	99.7%	100%
第 3 地域	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100%
第 4 地域	0.0%	0.3%	0.0%	99.7%	100%
第 5 地域	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100%
第 6 地域	0.0%	0.0%	0.1%	99.9%	100%
第 7 地域	0.0%	0.3%	0.5%	99.1%	100%
第 8 地域	0.0%	0.2%	0.5%	99.3%	100%



※ ■ (早急に修繕が必要) ■ (修繕が必要) ■ (修繕が望ましい)

図 3-2-3-16 地域別・わだち掘れ量ランク別割合比較（地域区分別）

(3) 結果分析

① 全 体

市全体の平均である、「MC I 値」、「ひび割れ」、「わだち掘れ」をまとめると、次の表の通りです。調査の結果、前回調査時（平成 23 年度）と比較すると、MC I 値が僅かに低下し、ひび割れ率やわだち掘れ量の数値に進行が見られることから、若干劣化が進行している状態であるといえます。

表 3-2-3-10 市全体の平均値および前回比較

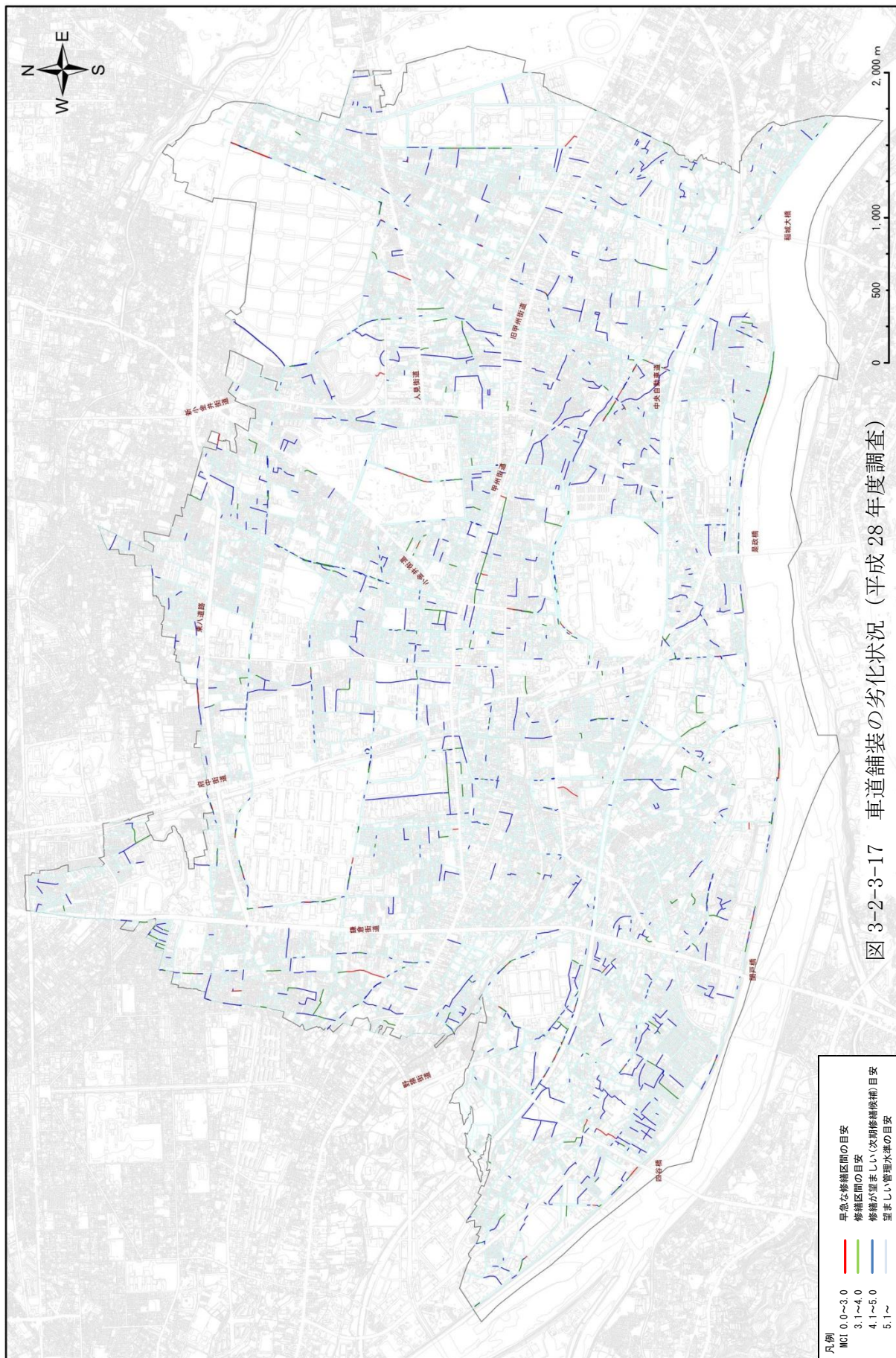
項目	平成 28 年度 平均値	前回調査平均値 (平成 23 年度)	差
MC I	6.7	6.9	-0.2
ひび割れ率	7.1%	5.1%	2.0%
わだち掘れ量	7.0mm	6.9mm	0.1mm

② 要因別

- 府中市管理市道における舗装の劣化要因は、「ひびわれ」です。
- 現状では、「わだち掘れ」によって補修を検討する箇所はみられません。

③ 地域別

- 「MC I 3.0 以下(早急な修繕が必要)」の区間は、市の郊外に点在しています。
- 第 5 地域と第 8 地域が低く（劣化している）、平均 MC I は 6.5 です。
- 第 5 地域はひび割れ率の割合が高いため、車道舗装の主要な劣化要因は「ひびわれ」であるといえます。
- 平均わだち掘れ量がやや高い地域は、第 7 地域です。なお、第 7 地域は、多摩川沿いに緑地が見られ、工場跡地から集合住宅へ土地利用転換が進んでいる地域です。



3-2-2

インフラの整備状況（車道舗装）

④ 補修必要区間

調査を行った路線について、現状で補修が必要な区間はMC I 3.0以下の区間です。
調査の結果から、「MC I 3.0 以下（早急な修繕が必要）」の区間は、75箇所 3,118 mあります。

表 3-2-3-11(1/2) 補修対策箇所一覧表（MC I 3.0 以下）

No	路線名称	地域	上下	距離 自 (m)	距離 至 (m)	区間長 (m)	ひび われ率 (%)	わだち 掘れ 最大 (mm)	わだち 掘れ 平均 (mm)	MC I
1	幹線：中央道側道	2	下	3,420	3,421	1	75.0	39	37	0.3
2	幹線：しみず下通り	2	下	720	760	40	40.2	44	34	1.6
3	幹線：多磨霊園東通り	1	上	940	1,060	120	75.6	6	4	1.9
4	一般：1－67	1	下	0	104	104	75.0	－	－	1.9
5	一般：1－109	1	下	0	116	116	75.0	－	－	1.9
6	一般：1－359	1	下	0	64	64	75.0	－	－	1.9
7	一般：3－131	3	下	229	339	110	75.0	－	－	1.9
8	一般：3－201	3	下	357	423	66	75.0	－	－	1.9
9	一般：4－372	4	下	42	86	44	75.0	－	－	1.9
10	一般：4－378	4	下	0	39	39	75.0	－	－	1.9
11	一般：5－172	5	下	33	44	11	75.0	－	－	1.9
12	一般：5－212	5	下	0	68	68	75.0	－	－	1.9
13	一般：5－21	6	下	0	37	37	75.0	－	－	1.9
14	一般：5－87	6	下	0	282	282	75.0	－	－	1.9
15	一般：4－176	7	下	228	237	9	75.0	－	－	1.9
16	一般：4－182	7	下	0	160	160	75.0	－	－	1.9
17	一般：4－426	7	下	0	45	45	75.0	－	－	1.9
18	一般：6－202	8	下	0	168	168	75.0	－	－	1.9
19	一般：6－248	8	下	31	71	40	75.0	－	－	1.9
20	幹線：しみず下通り	2	下	780	820	40	47.4	32	24	2.1
21	幹線：多摩川通り	7	下	4,400	4,460	60	50.9	39	22	2.1
22	幹線：平和通り	2	上	60	68	8	68.8	15	12	2.1
23	幹線：多磨霊園東通り	1	下	940	1,060	120	67.5	6	4	2.2
24	幹線：けやき並木通り	4	下	269	280	11	66.1	6	4	2.2
25	幹線：多摩川通り	7	上	4,520	4,540	20	39.1	24	24	2.3
26	幹線：多摩川通り	8	上	1,420	1,500	80	49.2	31	20	2.4
27	幹線：あんず通り	1	上	240	260	20	58.5	9	7	2.4
28	幹線：七小通り	5	下	1,640	1,660	20	57.9	24	15	2.4
29	幹線：ふるさと通り	7	下	280	300	20	40.7	26	21	2.4
30	幹線：競馬場正門通り	4	下	0	60	60	57.0	7	5	2.5
31	幹線：多磨霊園東通り	1	上	1,160	1,220	60	55.3	8	5	2.5
32	幹線：中央道側道	8	下	780	820	40	55.7	12	8	2.6
33	幹線：三屋通り	8	上	20	40	20	54.4	10	9	2.6
34	幹線：多摩川通り	8	上	2,420	2,440	20	38.4	23	23	2.6
35	幹線：中央道側道	8	上	900	920	20	55.7	13	8	2.6
36	幹線：四谷通り	8	上	840	860	20	55.1	6	6	2.6

表 3-2-3-11 (2/2) 補修対策箇所一覧表 (MC I 3.0 以下)

No	路線名称	地域	上下	距離 自 (m)	距離 至 (m)	区間長 (m)	ひび われ率 (%)	わだち 掘れ 最大 (mm)	わだち 掘れ 平均 (mm)	MC I
37	幹線:多磨駅東通り	1	上	40	60	20	52.7	8	8	2.7
38	幹線:多磨霊園南参道	1	上	1,100	1,115	15	39.6	18	18	2.7
39	幹線:しみず下通り	2	下	580	600	20	51.1	7	6	2.7
40	幹線:美術館通り	3	下	620	640	20	53.2	11	10	2.7
41	幹線:競馬場正門通り	4	下	80	100	20	51.6	14	11	2.7
42	幹線:本宿小通り	5	下	1,040	1,080	40	52.7	20	12	2.7
43	幹線:多摩川通り	7	下	3,380	3,420	40	43.8	18	16	2.7
44	幹線:平和通り	3	下	720	760	40	51.4	6	6	2.8
45	幹線:しみず下通り	2	上	600	620	20	49.5	7	7	2.8
46	幹線:平和通り	3	下	820	840	20	50.8	9	6	2.8
47	幹線:三本木通り	4	上	460	480	20	49.6	10	8	2.8
48	幹線:横街道	5	上	400	420	20	50.8	5	4	2.8
49	幹線:横街道	5	上	680	700	20	50.1	8	7	2.8
50	幹線:多摩川通り	7	上	4,380	4,400	20	24.2	32	26	2.8
51	幹線:東大山道	7	上	440	460	20	48.8	13	8	2.8
52	幹線:中央道側道	8	下	1,160	1,180	20	45.4	18	15	2.8
53	幹線:平和通り	3	下	640	700	60	49.0	6	6	2.8
54	幹線:富士見通り	5	下	2,360	2,400	40	41.2	18	16	2.9
55	幹線:朝日町通り	1	上	500	520	20	44.1	18	16	2.9
56	幹線:多磨霊園東通り	1	上	1,080	1,100	20	47.7	3	3	2.9
57	幹線:東郷寺通り	1	上	1,060	1,080	20	46.9	4	3	2.9
58	幹線:競馬場通り	2	上	400	420	20	47.9	11	7	2.9
59	幹線:しみず下通り	2	上	980	1,000	20	47.5	7	5	2.9
60	幹線:しみず下通り	2	下	980	1,000	20	38.8	23	16	2.9
61	幹線:東郷寺通り	2	下	60	80	20	48.2	15	13	2.9
62	幹線:武蔵台通り	5	下	80	100	20	47.7	13	8	2.9
63	幹線:多摩川通り	8	下	1,440	1,460	20	45.6	18	15	2.9
64	幹線:日新通り	8	上	220	240	20	18.0	28	28	2.9
65	幹線:多磨霊園東通り	1	下	1,180	1,200	20	45.3	4	4	3.0
66	幹線:九中通り	2	下	980	1,000	20	36.0	16	16	3.0
67	幹線:九中通り	2	下	1,100	1,120	20	44.7	13	12	3.0
68	幹線:競馬場通り	2	上	320	340	20	45.8	13	9	3.0
69	幹線:多摩川通り	2	上	7,260	7,320	60	44.9	16	12	3.0
70	幹線:平和通り	3	下	540	580	40	44.6	6	6	3.0
71	幹線:本宿小通り	5	下	1,380	1,400	20	30.2	28	19	3.0
72	幹線:多摩川通り	7	下	3,260	3,280	20	19.1	26	24	3.0
73	幹線:中央道側道	8	下	640	660	20	45.9	6	6	3.0
74	幹線:日新通り	8	上	620	640	20	45.5	4	3	3.0
75	一般:6-286	8	上	440	460	20	44.5	12	10	3.0

※ 「機械調査」はひびわれ、わだち掘れの調査。「目視調査」はひびわれの調査のみです。

※ ■ : MC I 3.0 以下 早急に修繕が必要。

車道の調査結果を、図 3-2-3-18 に示します。

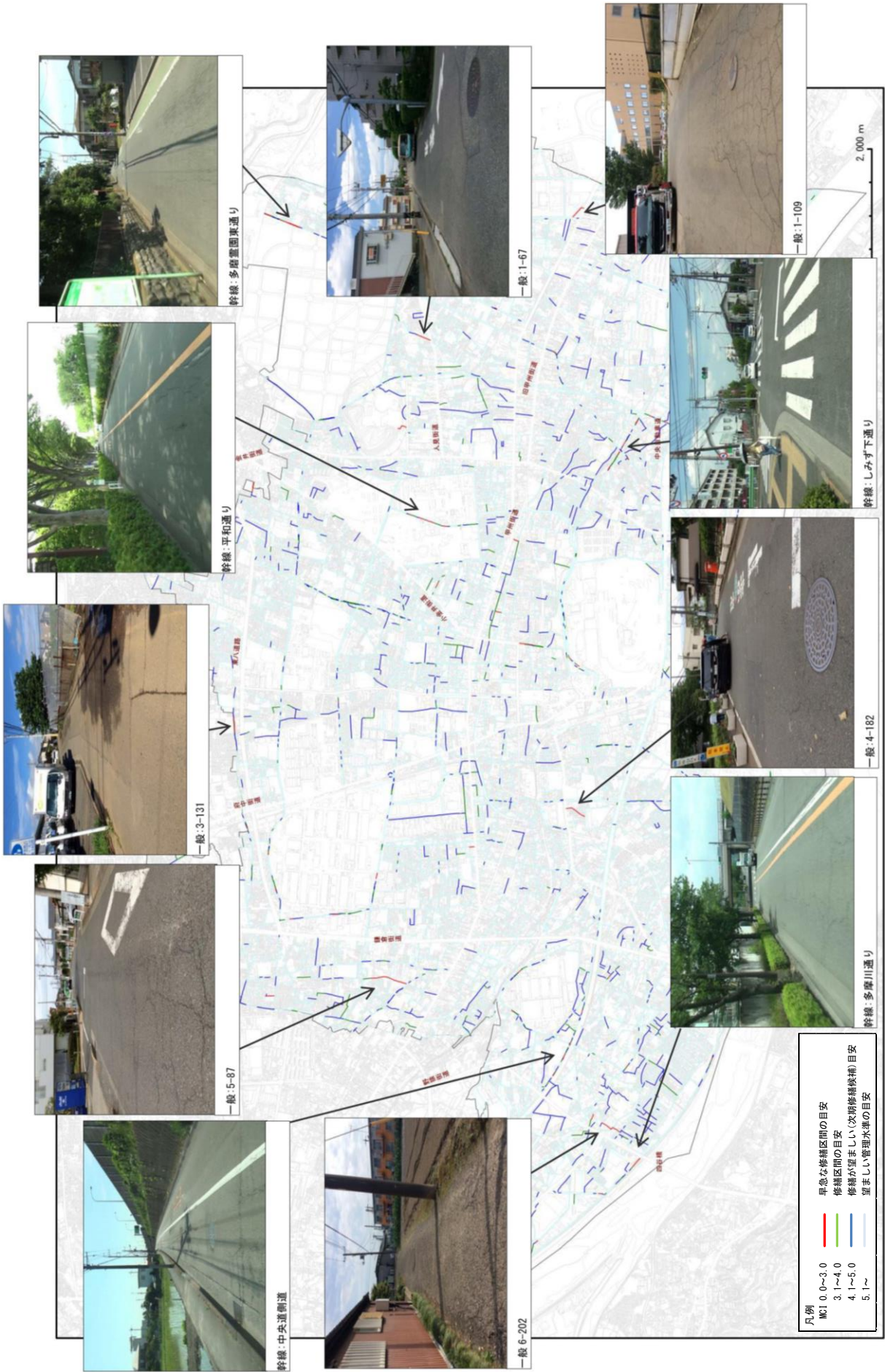


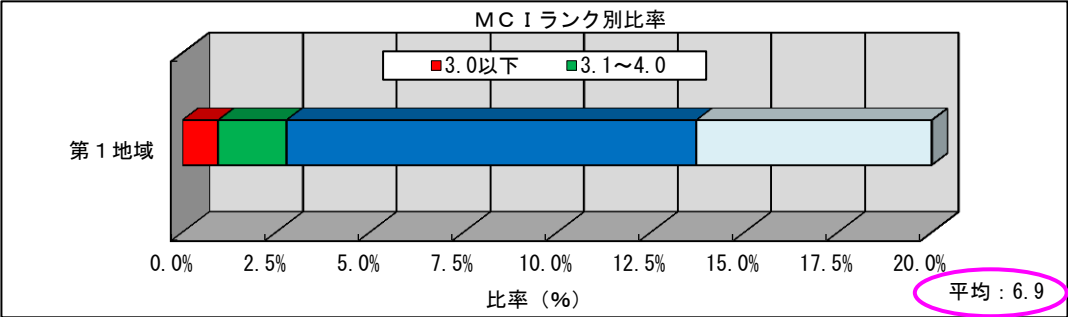
図 3-2-3-18 現状で劣化している車道舗装(平成28年度調査)

3.2.3.4. 地域別集計

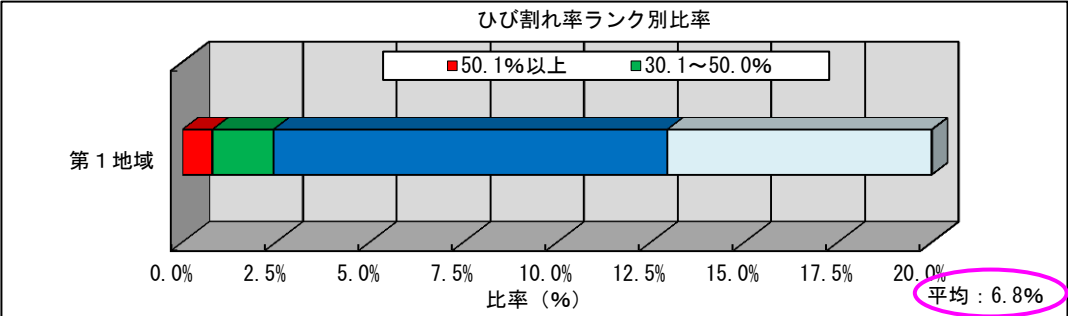
(1) 第1地域

「第1地域」は、8地域の中でひびわれ率の平均値がやや低く、わだち掘れ量もやや低い状態です。なお、MC I は府中市8地域の中で最も高い(良い)水準です。

MC I	3.0以下	3.1～4.0	4.1～5.0	5.1以上	合 計
第1地域	1.0% (719m)	1.8% (1,369m)	10.9% (8,221m)	86.3% (64,851m)	100% (75,160m)



ひびわれ率	50.1%以上	30.1～50.0%	15.1～30.0%	15.0%以下	合 計
第1地域	0.8% (604m)	1.6% (1,224m)	10.5% (7,897m)	87.1% (65,435m)	100% (75,160m)



わだち掘れ量	40.1mm以上	30.1～40.0mm	25.1～30.0mm	25.0mm以下	合 計
第1地域	0.0% (0m)	0.0% (0m)	0.0% (0m)	100.0% (22,088m)	100% (22,088m)

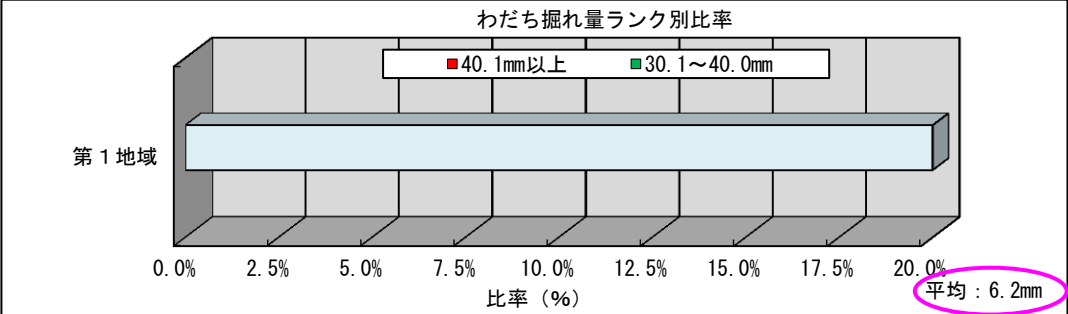
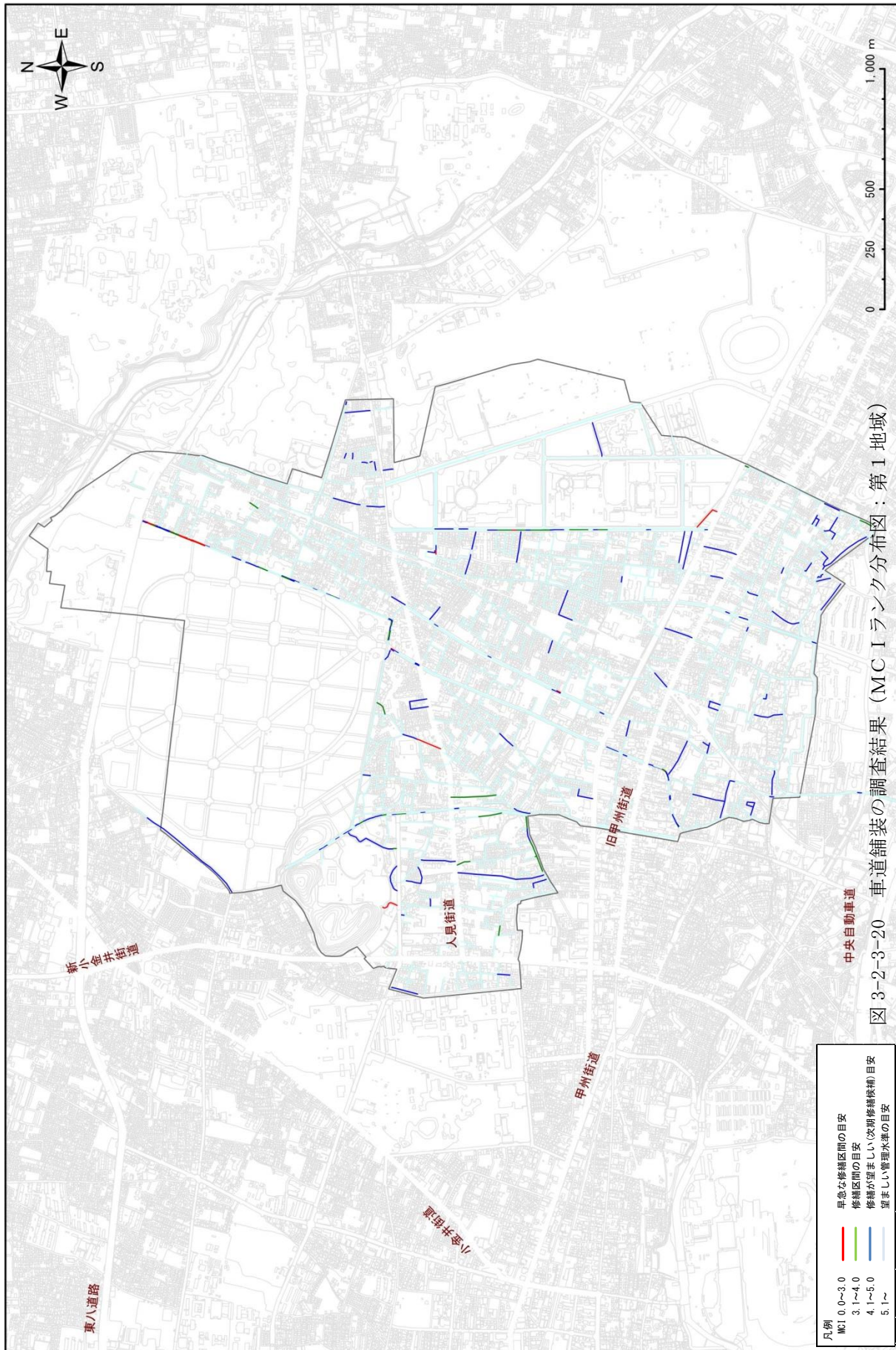


図 3-2-3-19 地域別・MC I ・路面性状2要素ランク別割合比較（第1地域）



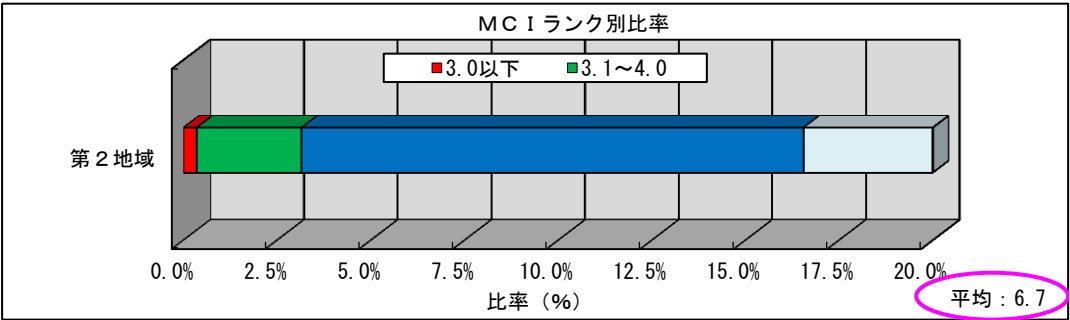
3-2-2

インフラの整備状況（車道舗装）

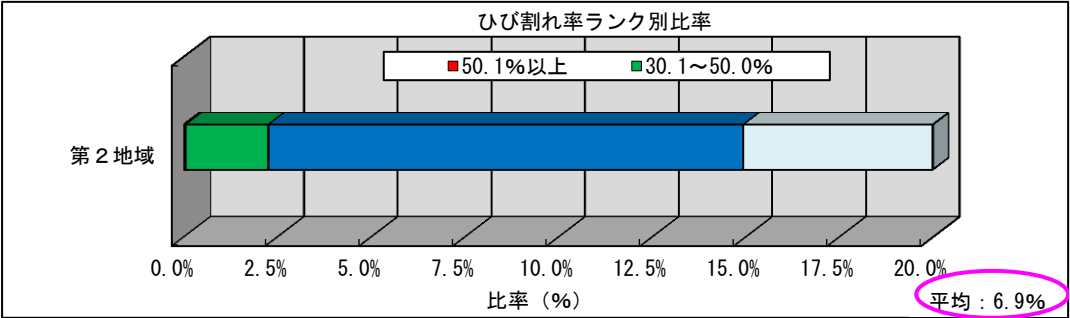
(2) 第2地域

「第2地域」は、8地域の中でひびわれ率の平均値がやや低く、わだち掘れ量はやや高い状態です。なお、MC I は府中市全体の平均と同水準です。

MC I	3.0 以下	3.1～4.0	4.1～5.0	5.1 以上	合 計
第2地域	0.4% (329m)	2.8% (2,545m)	13.4% (12,212m)	83.4% (76,045m)	100% (91,131m)



ひびわれ率	50.1%以上	30.1～50.0%	15.1～30.0%	15.0%以下	合 計
第2地域	0.1% (56m)	2.2% (2,010m)	12.7% (11,554m)	85.1% (77,511m)	100% (91,131m)



わだち掘れ量	40.1 mm 以上	30.1～40.0 mm	25.1～30.0 mm	25.0 mm 以下	合 計
第2地域	0.0% (0m)	0.1% (48m)	0.2% (60m)	99.7% (33,975m)	100% (34,083m)

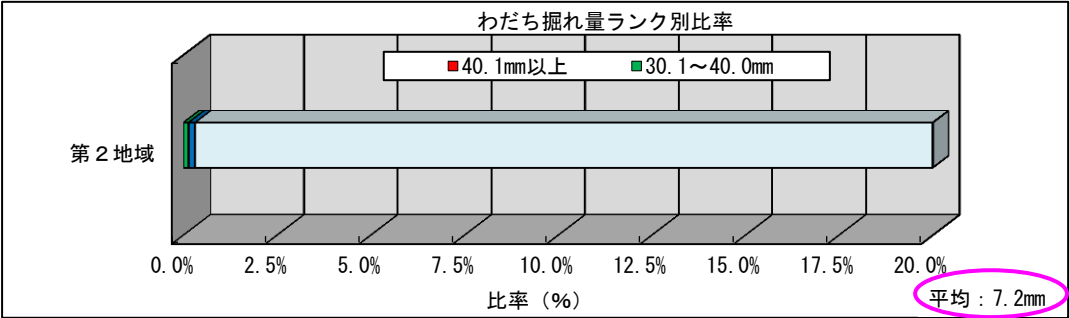
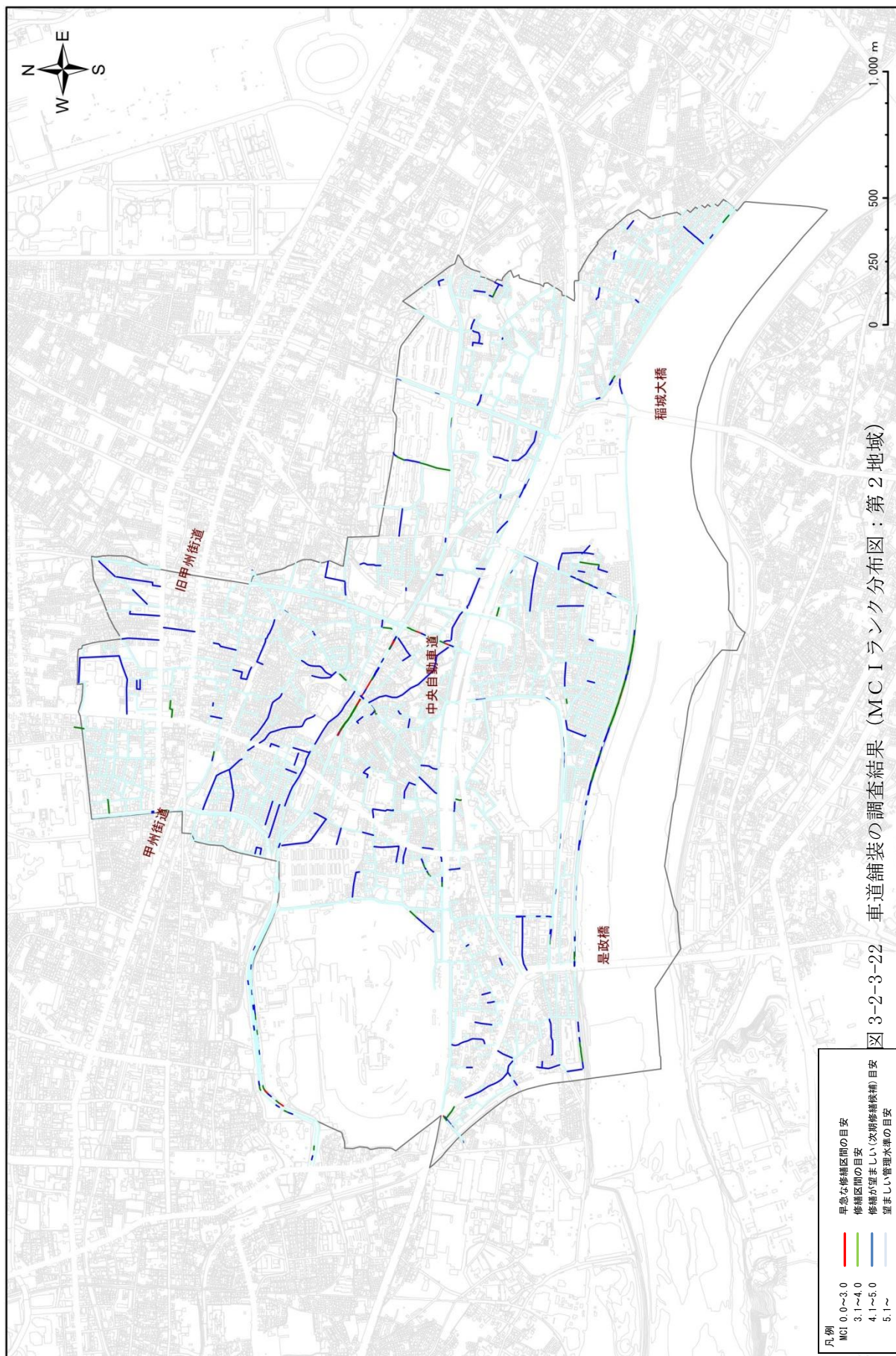


図 3-2-3-21 地域別・MC I・路面性状 2 要素ランク別割合比較（第2地域）



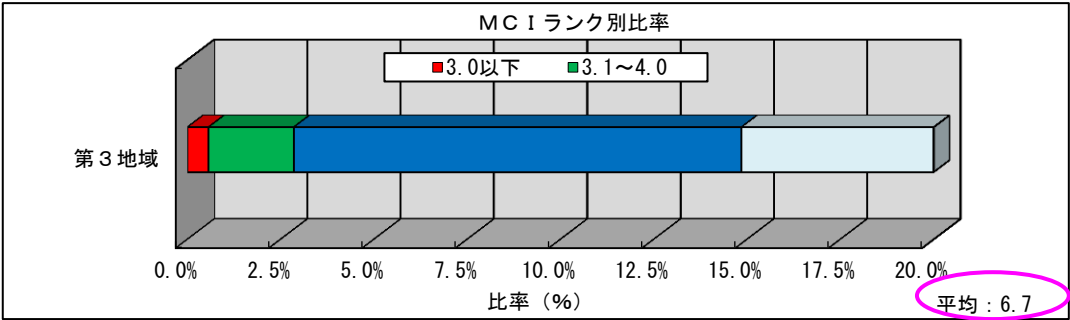
3-2-2

インフラの整備状況（車道舗装）

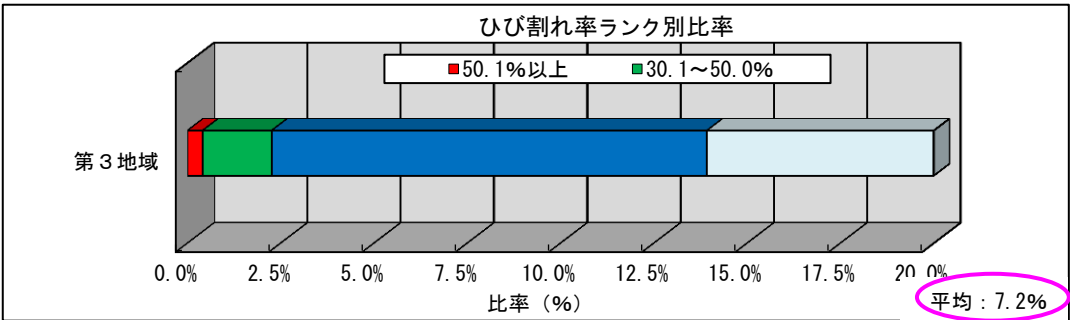
(3) 第3地域

「第3地域」は、8地域の中でひびわれ率の平均値がやや高く、わだち掘れ量は最も低い状態です。なお、MC I は府中市全体の平均と同水準です。

MC I	3.0以下	3.1～4.0	4.1～5.0	5.1以上	合計
第3地域	0.6% (356m)	2.3% (1,434m)	12.0% (7,524m)	85.1% (53,398m)	100% (62,712m)



ひびわれ率	50.1%以上	30.1～50.0%	15.1～30.0%	15.0%以下	合計
第3地域	0.4% (256m)	1.8% (1,160m)	11.7% (7,316m)	86.1% (53,980m)	100% (62,712m)



わだち掘れ量	40.1mm以上	30.1～40.0mm	25.1～30.0mm	25.0mm以下	合計
第3地域	0.0% (0m)	0.0% (0m)	0.0% (0m)	100.0% (18,216m)	100% (18,216m)

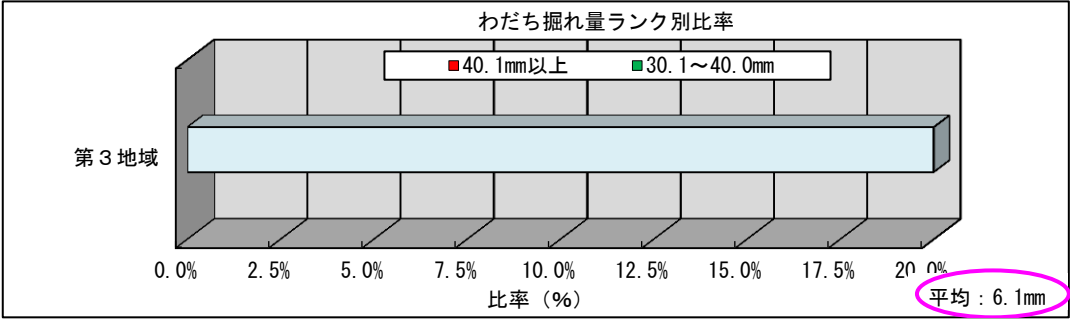
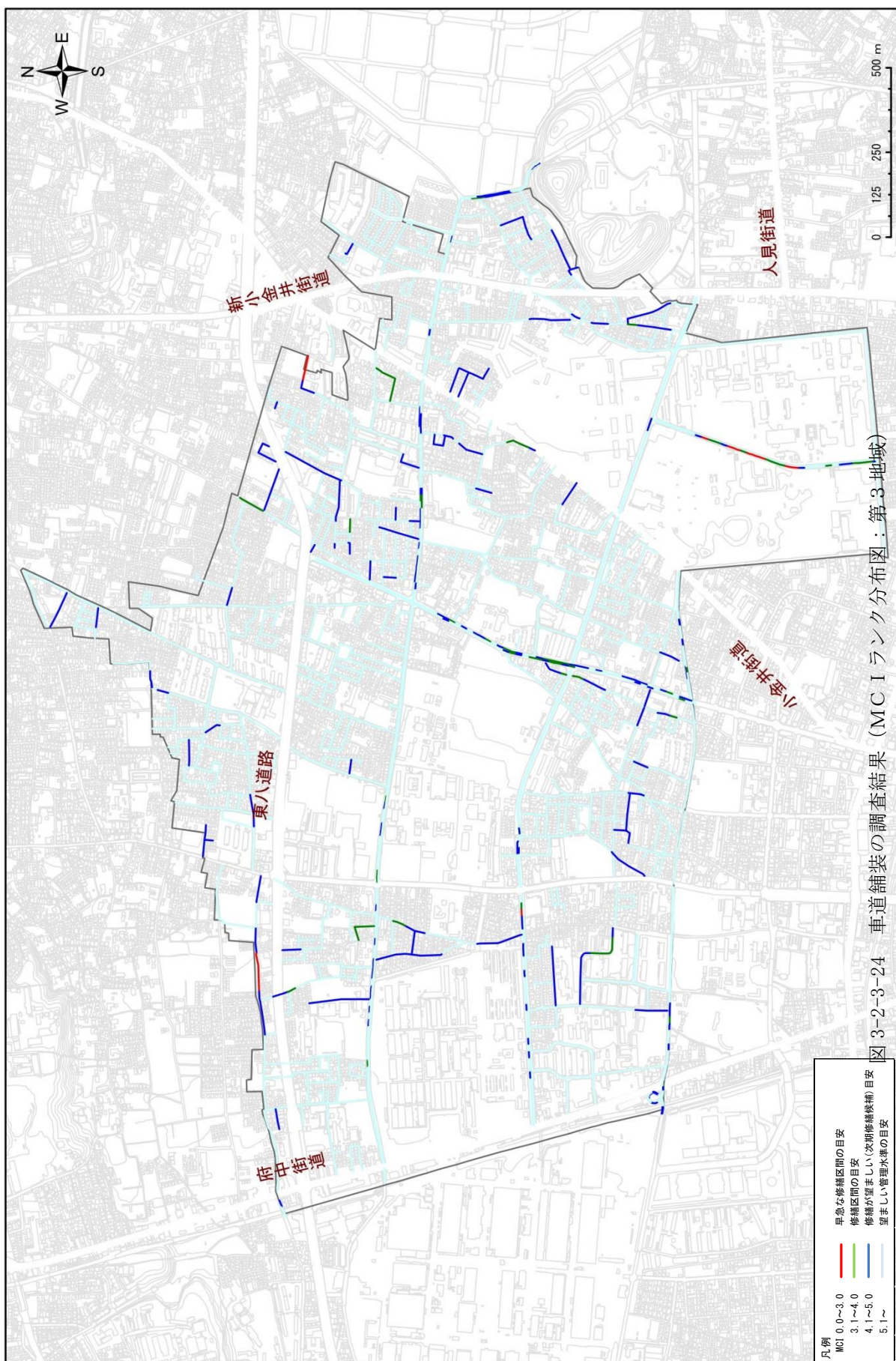


図 3-2-3-23 地域別・MC I ・路面性状 2 要素ランク別割合比較（第3地域）



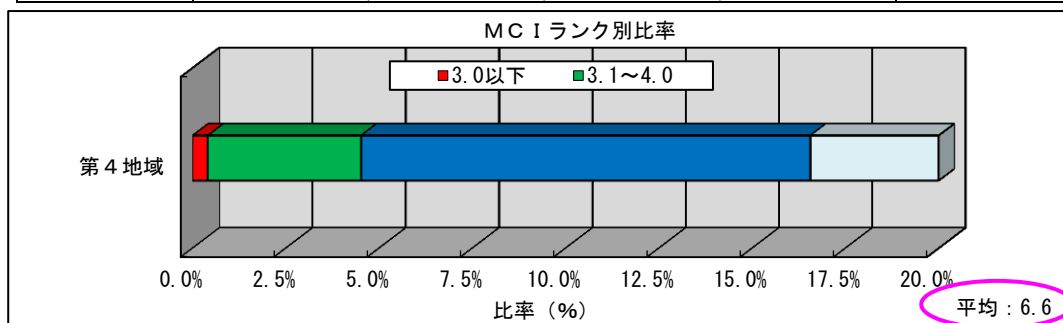
3-2-2

インフラの整備状況(車道舗装)

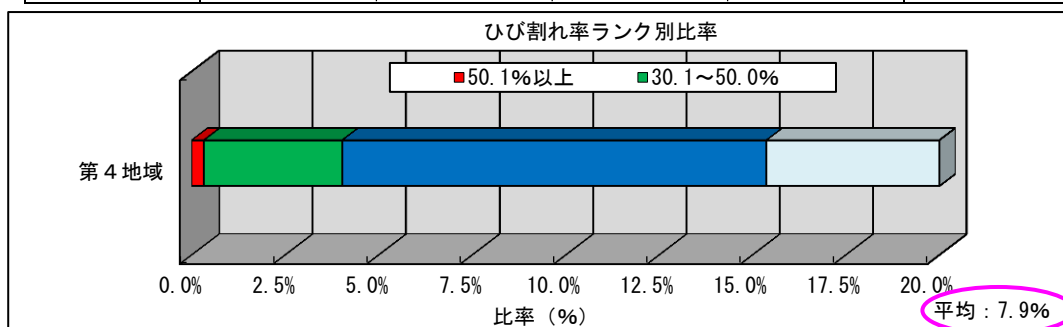
(4) 第4地域

「第4地域」は、8地域の中でひびわれ率の平均値がやや高く、わだち掘れ量もやや高い状態です。なお、MC I は府中市全体の平均よりやや低い(悪い)水準です。

MC I	3.0以下	3.1～4.0	4.1～5.0	5.1以上	合計
第4地域	0.4% (194m)	4.1% (1,925m)	12.0% (5,647m)	83.4% (39,119m)	100% (46,885m)



ひびわれ率	50.1%以上	30.1～50.0%	15.1～30.0%	15.0%以下	合計
第4地域	0.3% (154m)	3.7% (1,733m)	11.4% (5,322m)	84.6% (39,676m)	100% (46,885m)



わだち掘れ量	40.1mm以上	30.1～40.0mm	25.1～30.0mm	25.0mm以下	合計
第4地域	0.0% (0m)	0.3% (40m)	0.0% (1m)	99.7% (11,841m)	100% (11,882m)

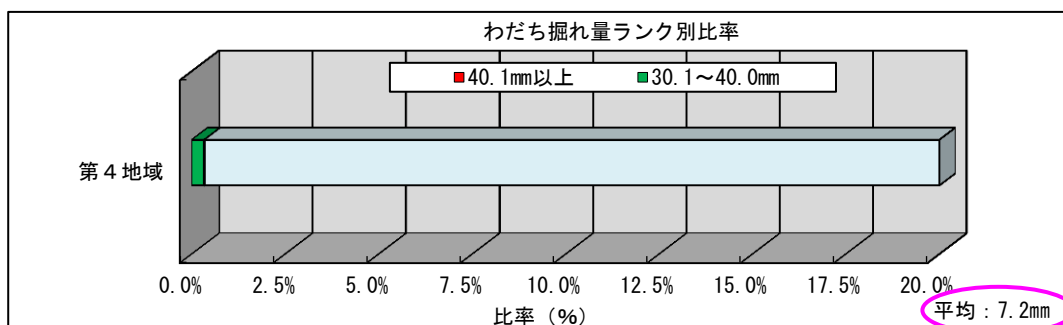
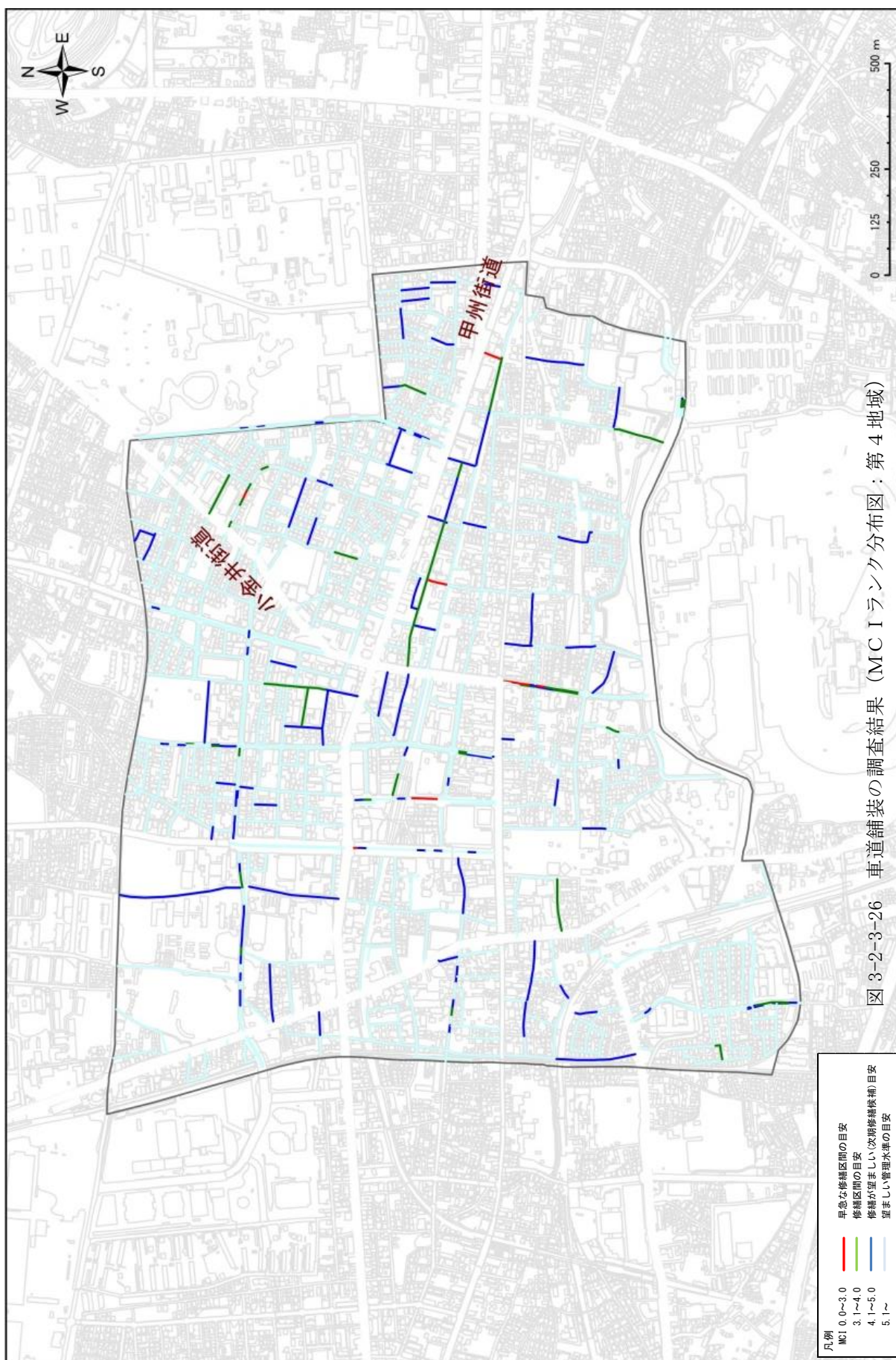


図 3-2-3-25 地域別・MC I・路面性状2要素ランク別割合比較（第4地域）



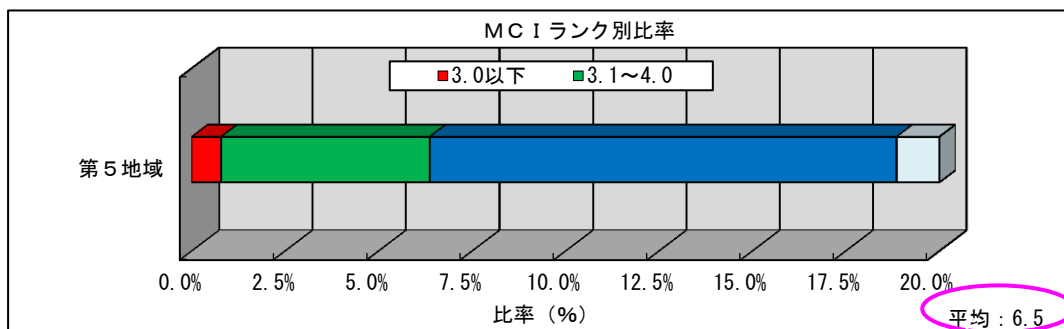
3-2-2

インフラの整備状況（車道舗装）

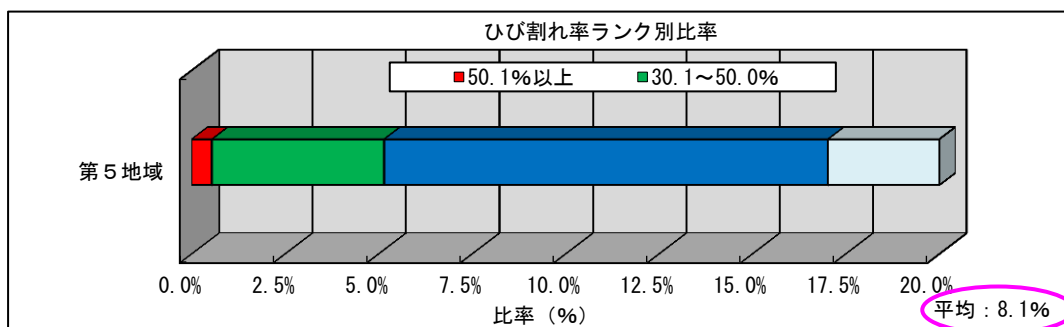
(1) 第5地域

「第5地域」は、8地域の中でひびわれ率の平均値が最も高く、わだち掘れ量はやや高い状態です。なお、MC I は府中市8地域の中で最も低い(悪い)水準です。

MC I	3.0以下	3.1～4.0	4.1～5.0	5.1以上	合計
第5地域	0.8% (259m)	5.6% (1,829m)	12.5% (4,100m)	81.1% (26,620m)	100% (32,808m)



ひびわれ率	50.1%以上	30.1～50.0%	15.1～30.0%	15.0%以下	合計
第5地域	0.5% (179m)	4.6% (1,510m)	11.9% (3,897m)	83.0% (27,222m)	100% (32,080m)



わだち掘れ量	40.1mm以上	30.1～40.0mm	25.1～30.0mm	25.0mm以下	合計
第5地域	0.0% (0m)	0.0% (0m)	0.0% (0m)	100.0% (12,578m)	100% (12,578m)

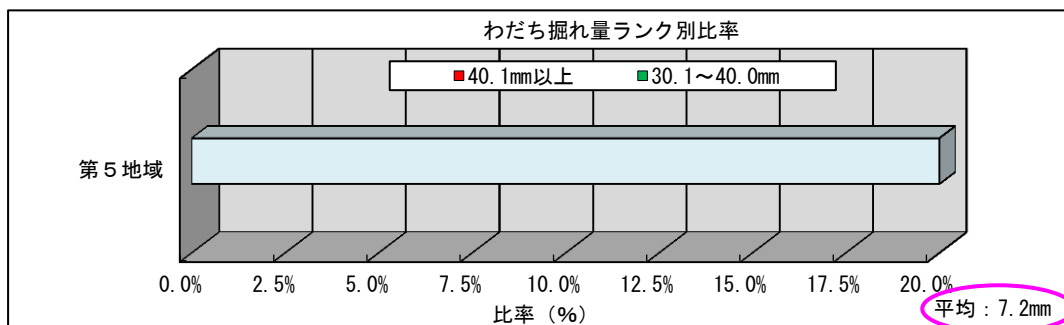
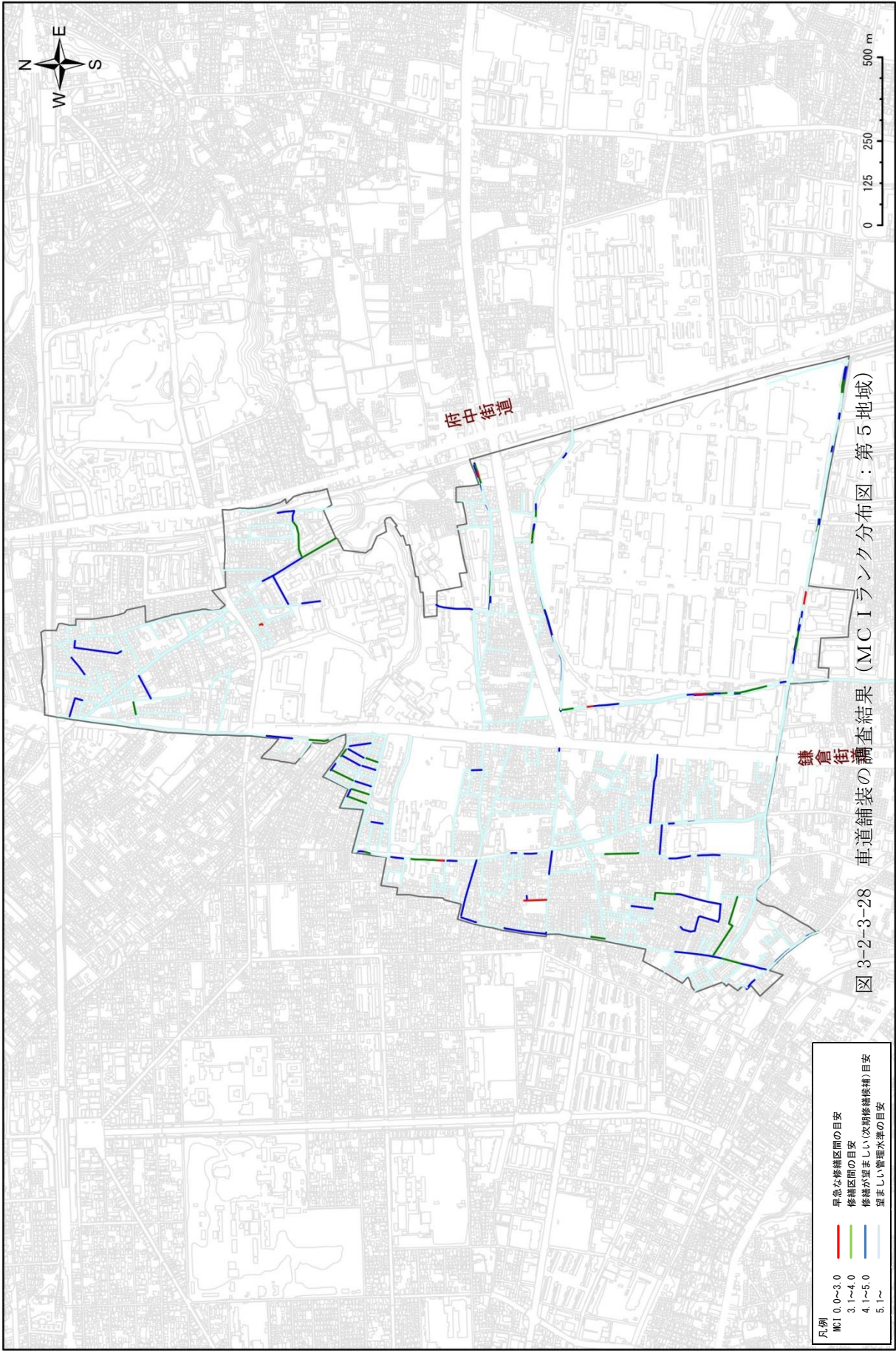


図 3-2-3-27 地域別・MC I・路面性状2要素ランク別割合比較（第5地域）

3-2-2

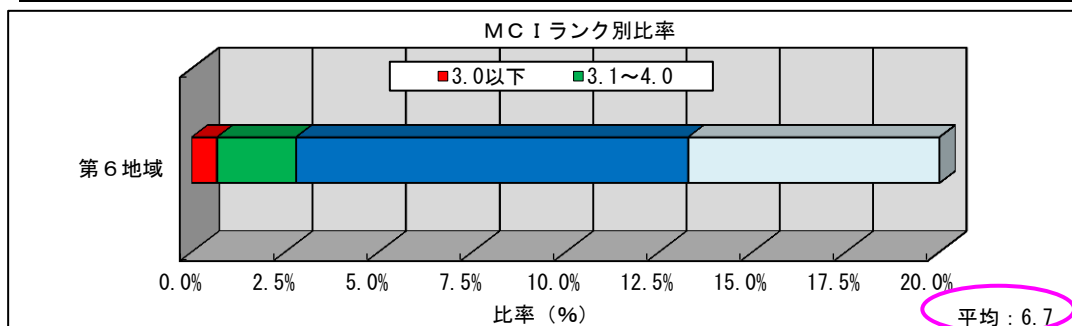
インフラの整備状況（車道舗装）



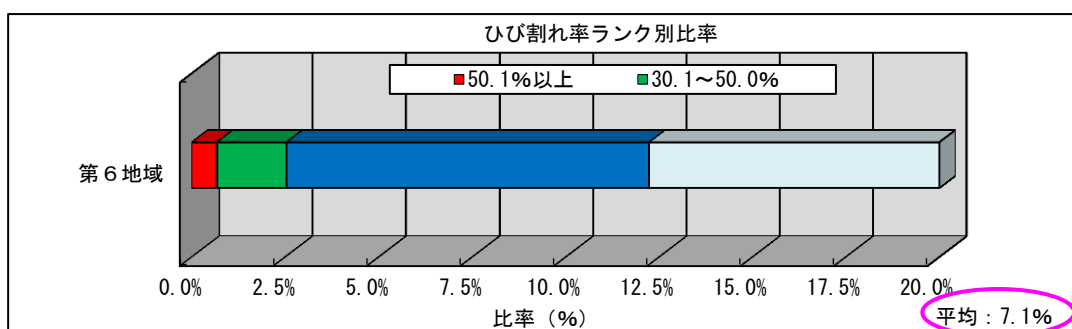
(2) 第6地域

「第6地域」は、8地域の中でひびわれ率の平均と同水準であり、わだち掘れ量は最も低い状態です。なお、MC I は府中市全体の平均と同水準です。

MC I	3.0以下	3.1～4.0	4.1～5.0	5.1以上	合計
第6地域	0.7% (319m)	2.1% (995m)	10.5% (4,943m)	86.7% (40,871m)	100% (47,128m)



ひびわれ率	50.1%以上	30.1～50.0%	15.1～30.0%	15.0%以下	合計
第6地域	0.7% (319m)	1.9% (875m)	9.7% (4,572m)	87.8% (41,362m)	100% (47,128m)



わだち掘れ量	40.1mm以上	30.1～40.0mm	25.1～30.0mm	25.0mm以下	合計
第6地域	0.0% (0m)	0.0% (0m)	0.1% (20m)	99.9% (13,507m)	100% (13,527m)

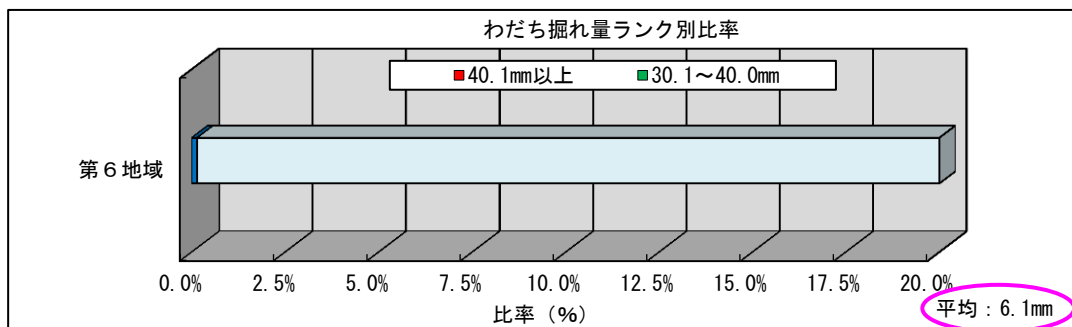
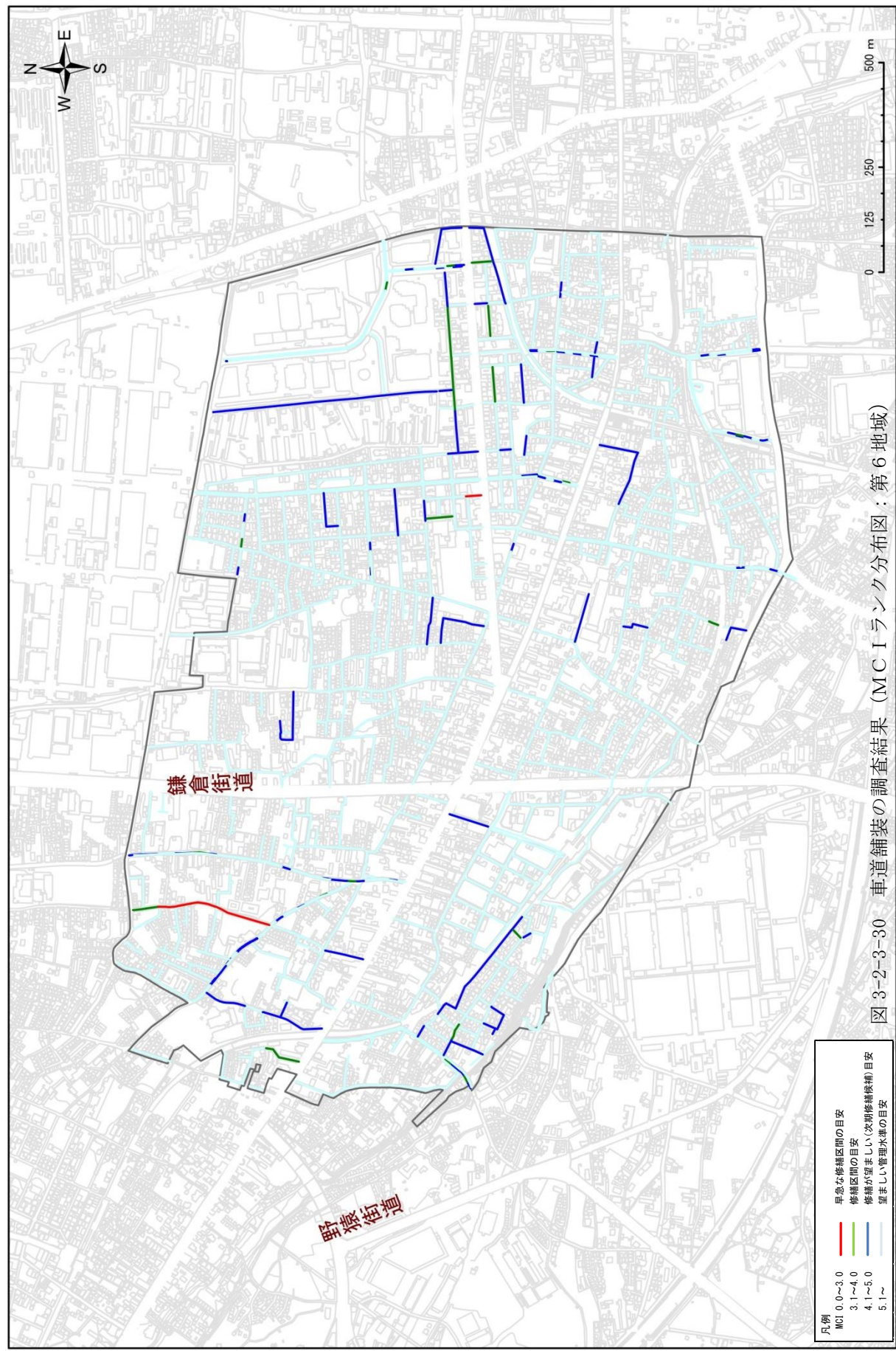


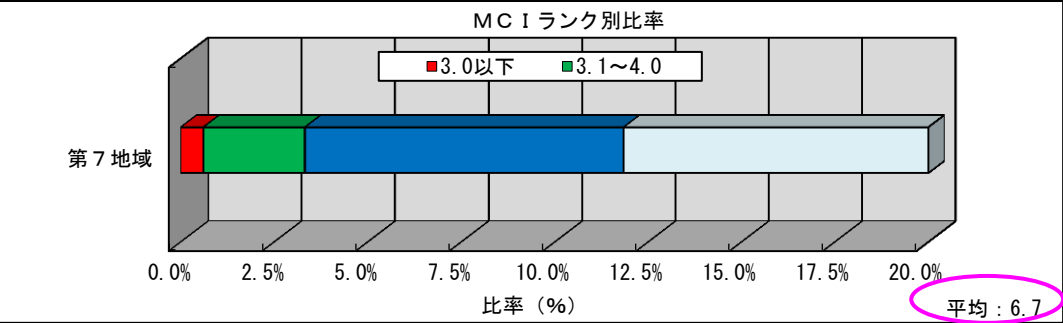
図 3-2-3-29 地域別・MC I・路面性状2要素ランク別割合比較（第6地域）



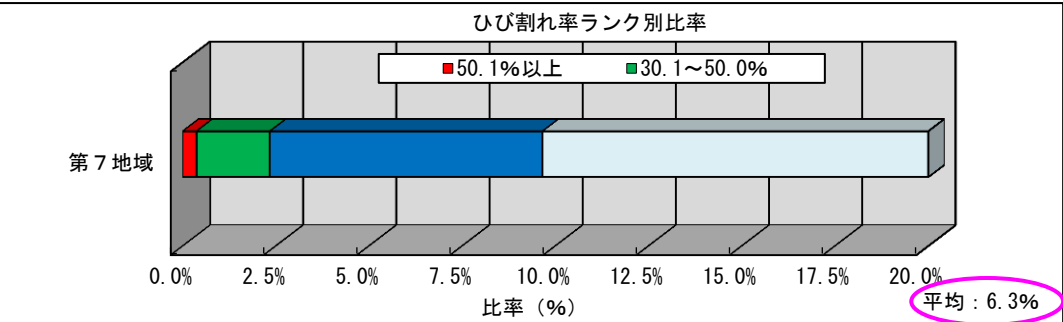
(3) 第7地域

「第7地域」は、8地域の中でひびわれ率の平均値が最も低く、わだち掘れ量は最も高い状態です。なお、MC I は府中市全体の平均と同水準です。

MC I	3.0以下	3.1～4.0	4.1～5.0	5.1以上	合計
第7地域	0.6% (414m)	2.7% (1,852m)	8.5% (5,816m)	88.2% (60,151m)	100% (68,233m)



ひびわれ率	50.1%以上	30.1～50.0%	15.1～30.0%	15.0%以下	合計
第7地域	0.4% (254m)	2.0% (1,346m)	7.3% (4,992m)	90.3% (61,641m)	100% (68,233m)



わだち掘れ量	40.1mm以上	30.1～40.0mm	25.1～30.0mm	25.0mm以下	合計
第7地域	0.0% (0m)	0.3% (89m)	0.5% (140m)	99.1% (25,607m)	100% (25,836m)

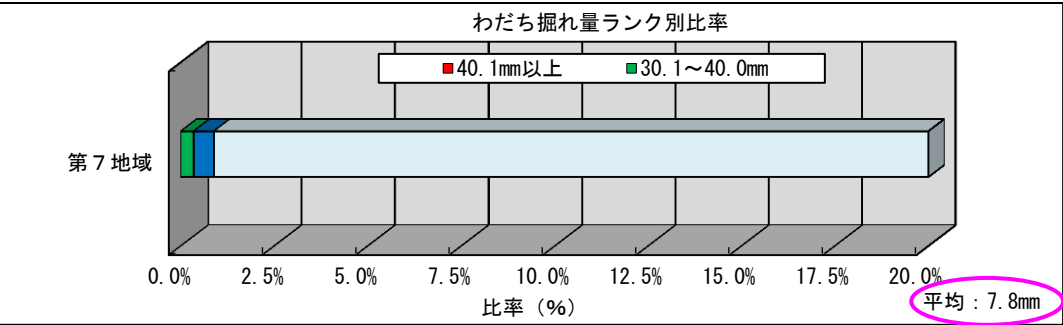
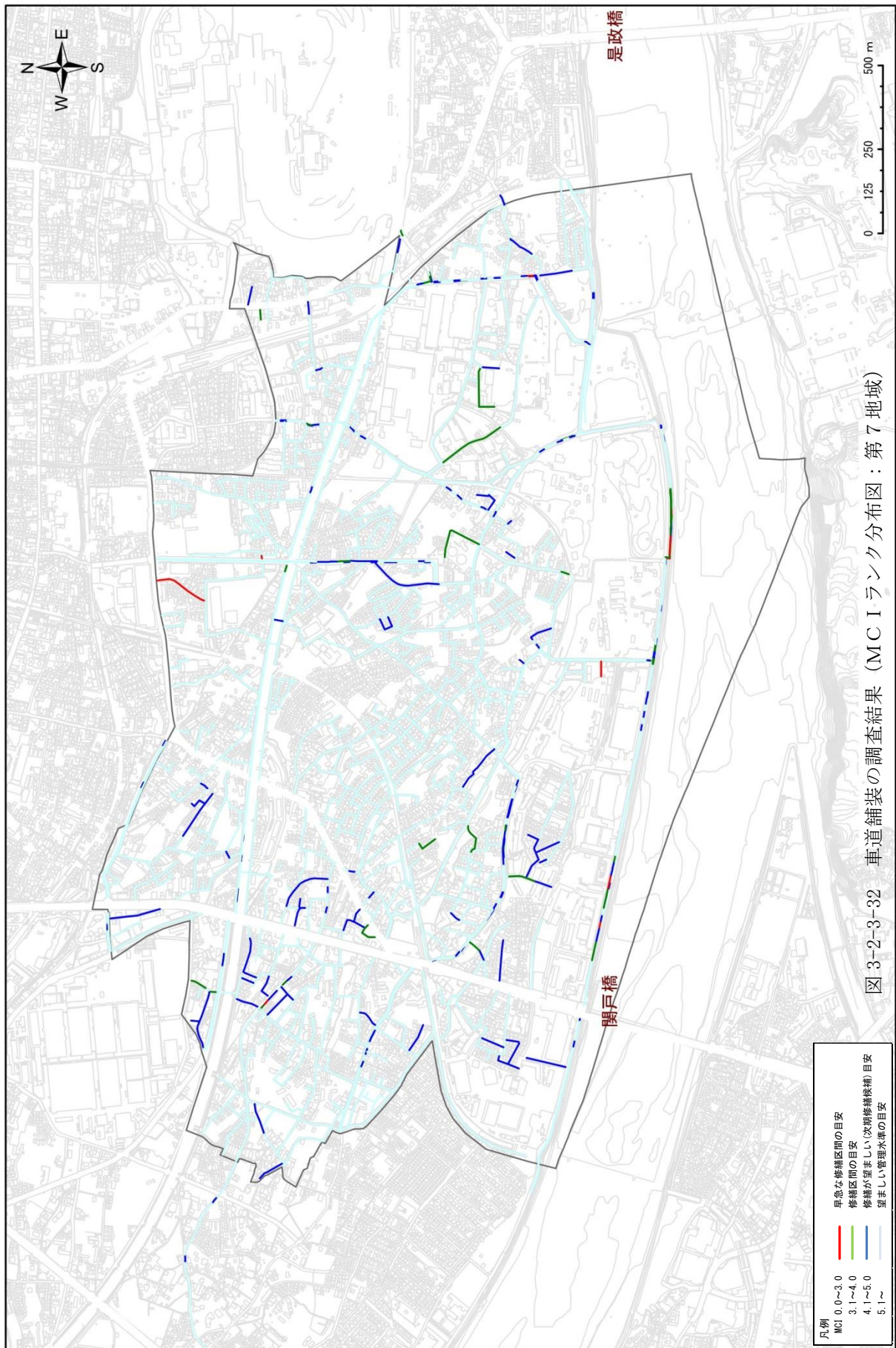


図 3-2-3-31 地域別・MC I ・路面性状 2 要素ランク別割合比較（第7地域）



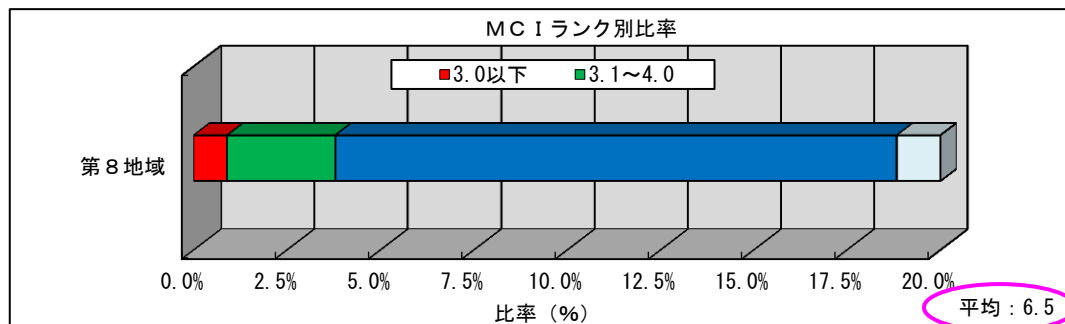
3-2-2

インフラの整備状況(車道舗装)

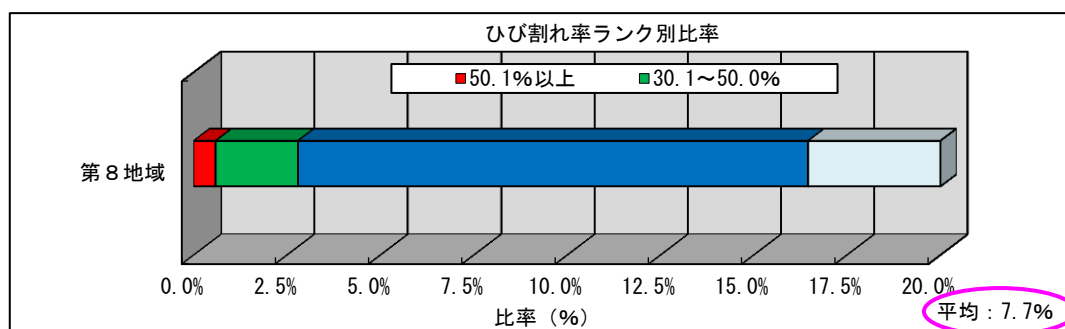
(4) 第8地域

「第8地域」は、8地域の中でひびわれ率の平均値がやや高く、わだち掘れ量もやや高い状態です。なお、MC Iは府中市8地域の中で最も低い(悪い)水準です。

MC I	3.0以下	3.1～4.0	4.1～5.0	5.1以上	合計
第8地域	0.9% (528m)	2.9% (1,695m)	15.0% (8,825m)	81.2% (47,608m)	100% (58,656m)



ひびわれ率	50.1%以上	30.1～50.0%	15.1～30.0%	15.0%以下	合計
第8地域	0.6% (348m)	2.2% (1,290m)	13.7% (8,017m)	83.5% (49,001m)	100% (58,656m)



わだち掘れ量	40.1mm以上	30.1～40.0mm	25.1～30.0mm	25.0mm以下	合計
第8地域	0.0% (0m)	0.2% (60m)	0.5% (120m)	99.3% (24,156m)	100% (24,336m)

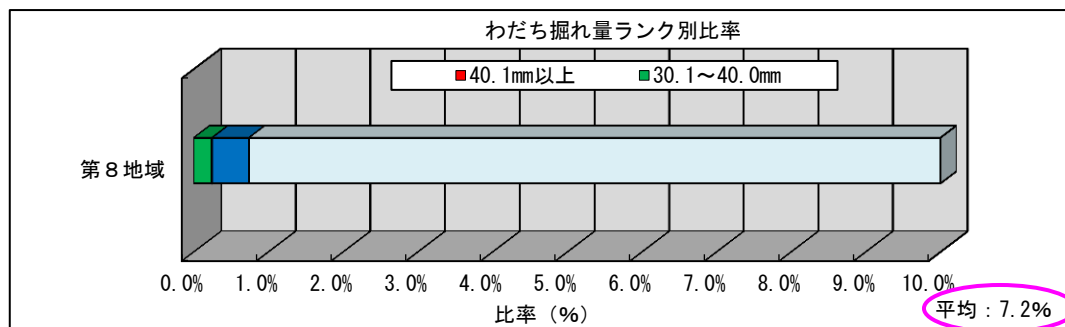
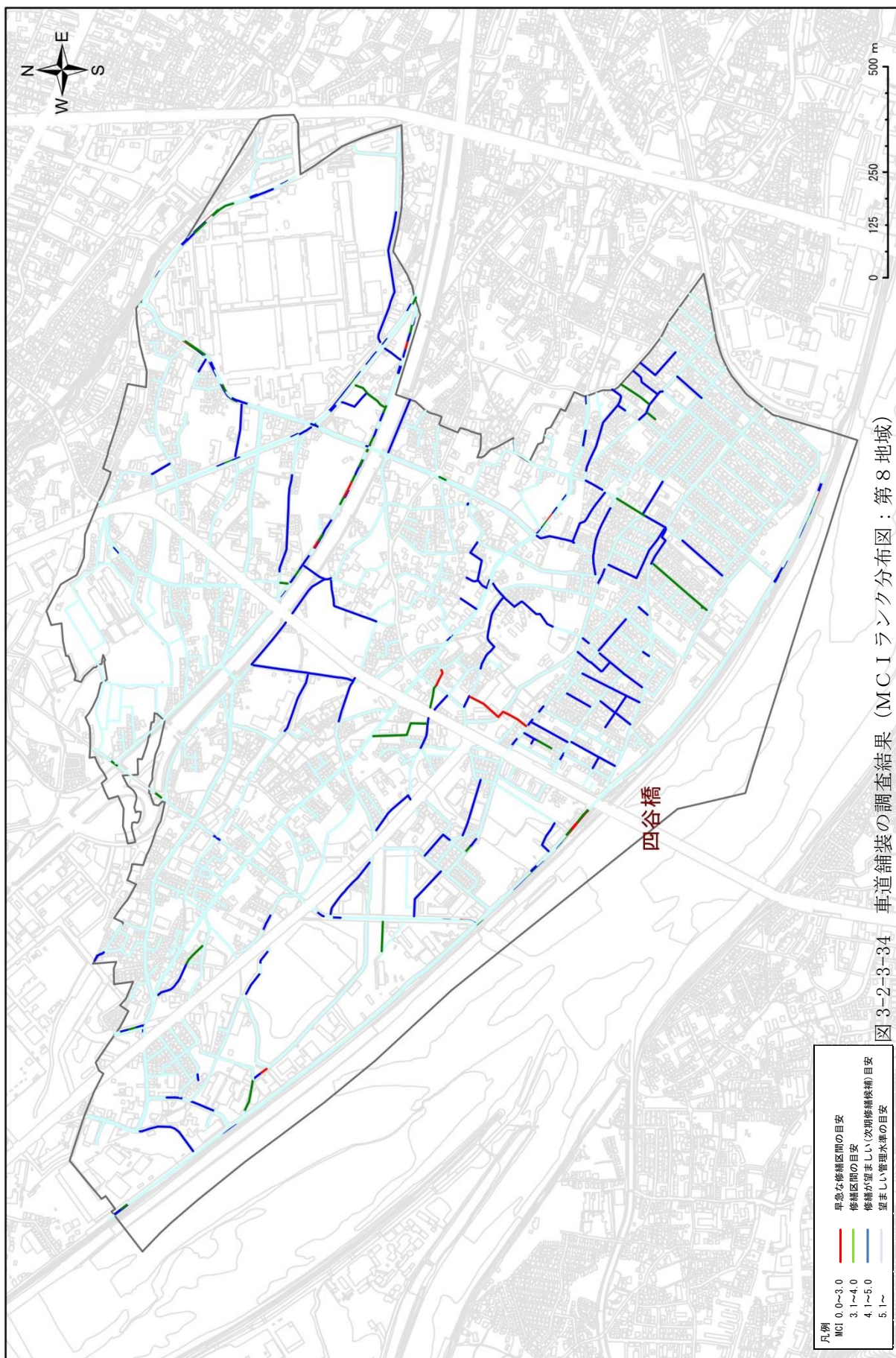


図 3-2-3-33 地域別・MC I・路面性状2要素ランク別割合比較 (第8地域)



3-2-2

インフラの整備状況（車道舗装）

3.2.4. 歩道・植樹ます

歩道・植樹ますは、現地調査により現状を段階評価しました。

3.2.4.1. 全体数量

歩道、植樹ますは、交差点で区切られる街区を単位とする区間を調査しました。

表 3-2-4-1 歩道・植樹ますの調査数量一覧

調査方法	調査延長 (m)	調査面積 (㎡)	調査項目	評価 単位 (区間)	備 考
目視	173,502	489,158	舗 装：ひびわれ、段差、 ポットホール ^(※2) 、種別 植樹樹：根上がり、本数、グレー チング ^(※3) 有無・種別	交差点 街 区	平均歩道幅員 ^(※1) 幹線道路 3.03m 一般市道 2.46m
合 計		489,158		1,923	

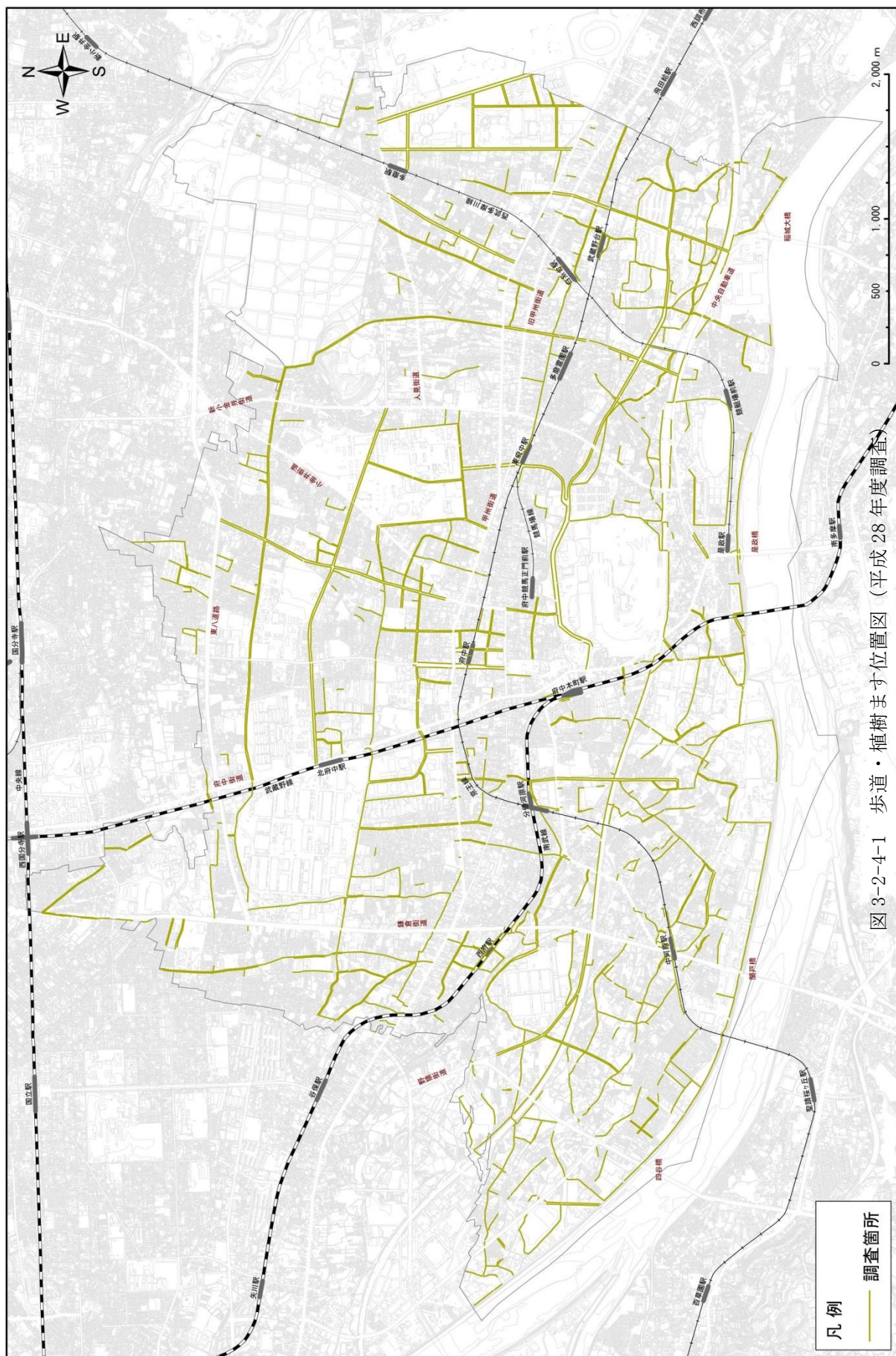
※1 平均幅員は、「市の道路管理に関する調書：平成 28 年 3 月 31 日現在」から算出しました。

※2 舗装表面の局所的な小穴をいい、ひびわれに起因する剥離等が原因となって生じます。

※3 道路の表面排水を目的として側溝におく蓋（縁石）のことで、歩道や植樹樹にも使われます。

3.2.4.2. 歩道・植樹ます位置

次頁の図に、歩道・植樹ますがある道路位置を示します。



3-2-3

インフラの整備状況（歩道・植樹ます）

3.2.4.3. 歩道・植樹ますの整備状況

(1) 調査項目及び解析手法

① 調査項目

歩道調査における調査項目は、段差によるつまずきの可能性を判断することを目的とし、次のとおりとしました。

- ア. 舗装状況（ひびわれ、段差、ポットホール）
- イ. 植樹状況（根上がり、本数）

また、歩道状況の基礎情報として、舗装種別、植樹柵の種別（グレーチングの有無、素材）について確認を行いました。

② 調査項目の対象判定

調査では、次の基準で判定と記録をしました。

- ア. 歩道舗装：切り下げ部のコンクリート舗装は調査しない。
歩行するための支障程度を判定する。
道路台帳と現地に相違がある場合は、簡易に記録する。
- イ. 植樹ます：「高木」、「中木」の本数や樹種は調査しない。
「低木」、「花株」は調査しない。
「切り株」がある場合は記録する。

③ 調査箇所の設定

道路台帳附図により、調査箇所の位置を確認しました。

④ 現地調査

調査員による徒歩調査を基本とし、歩道状況の評価は交差点街区（交差点巻き込みごと）を1単位区間としました。

(2) 評価方法と要補修判定基準

① 評価方法

調査結果の評価方法は、次に示す3つのランクとしました。

- 「大」：歩行や通行に問題がある(転倒など)と評価した箇所
- 「小」：根上がり等あるが、歩行や通行には問題がないと評価した箇所
- 「無」：問題がないと評価した箇所

以下の図3-2-4-2に、根上がり判定例を示します。



図3-2-4-2 根上がり判定例（左：小、右：無）

3-2-3

インフラの整備状況（歩道・植樹ます）

② 要補修判定基準

歩道や植樹ますにおいて、補修を必要とする判定基準を、表 3-2-4-2 と表 3-2-4-3 整理しました。

表 3-2-4-2 歩道舗装の要補修判定基準

歩道舗装劣化の程度	劣化判定	備 考
劣化箇所(段差、穴)を跨ぐ程度	大	舗装材の流出や穴がある。
歩行に支障がない程度 (成人がつまずかない程度)	小	足の大きさ程度(30cm 程度)以下のひび割れを許容する。
ベビーカーなどの手押し車や杖利用の歩行に支障がない程度	なし	沿道からの流出土堆積や縁石の擦り減り、破損は判定に影響しない。

表 3-2-4-3 植樹柵の要補修判定基準

植樹柵劣化の程度	劣化判定	備 考
植樹柵(植樹帯)原型が認められない	大	
植樹柵(植樹帯)の縁石やグレーチングがゆがんでいる	小	
街路樹による破損が認められない	なし	

(3) 歩道舗装・植樹ます調査結果

歩道・植樹ますは、現地調査により現状を段階評価しました。

【歩道・植樹ますの整備状況】

- 歩道の劣化は若干進んでおります。また、前回調査で劣化していると判定された区間は前回同様の結果でした。ただし、それらの区間は幹線道路と比較して交通量の低い一般市道が大半です。
- 植樹ますの劣化の多くは、街路樹が成長したことによる根上がりが原因と考えられます。特に街路樹がサクラの箇所では根上がりが目立ちました。

① 歩道舗装調査結果

歩道舗装の劣化状況調査結果を、表 3-2-4-4 に示します。

表 3-2-4-4 歩道劣化状況の調査結果

劣化判定	単位	平成 28 年度				前回調査（平成 23 年度）		
		区間数	延長 (m)	面積 (㎡)	摘要	区間数	延長 (m)	面積 (㎡)
「大」	区間	8	1,063	2,643	1-307、2-119、4-342、4-384、6-265、6-322、すずかけ通り、多摩川通り	5	545	1,397
「小」	区間	151	23,190	57,464	a : 116、Co : 37、I : 37 ※	93	11,835	32,142
「なし」	区間	1,764	149,249	418,203		1,757	158,624	439,167
合 計		1,923	173,502	478,310		1,855	171,005	472,707

※ a=アスファルトコンクリート舗装、Co=セメントコンクリート舗装、I=インターロッキング舗装

② 植樹ます調査結果

植樹ますの状況調査結果を、表 3-2-4-5 に示します。

表 3-2-4-5 植樹樹劣化状況の調査結果

劣化判定	単位	平成 28 年度				前回調査（平成 23 年度）		
		区間数	劣化箇所数	グレーチング材質（区間数）	摘要	区間数	劣化箇所数	グレーチング材質（区間数）
「大」	区間	10	17	鉄 : 4 なし : 3	1-96、1-307、1-355、2-234、6-265、6-351、「桜通り」2 箇所、「多摩川通り」5 箇所、「中央道側道」、「多磨霊園南参道」3 箇所	7	7	鉄 : 2 なし : 5
「小」	区間	151	124	P : 2※ 鉄 : 23 なし : 52		65	112	P : 2※ 鉄 : 17 なし : 46
「なし」	区間	1,764	----	P : 47※ 鉄 : 212 なし : 1,570		1,783	----	P : 47※ 鉄 : 212 なし : 1,524
合 計		1,923	141	P : 49※ 鉄 : 239 なし : 1,635		1,855	119	P : 49※ 鉄 : 231 なし : 1,575

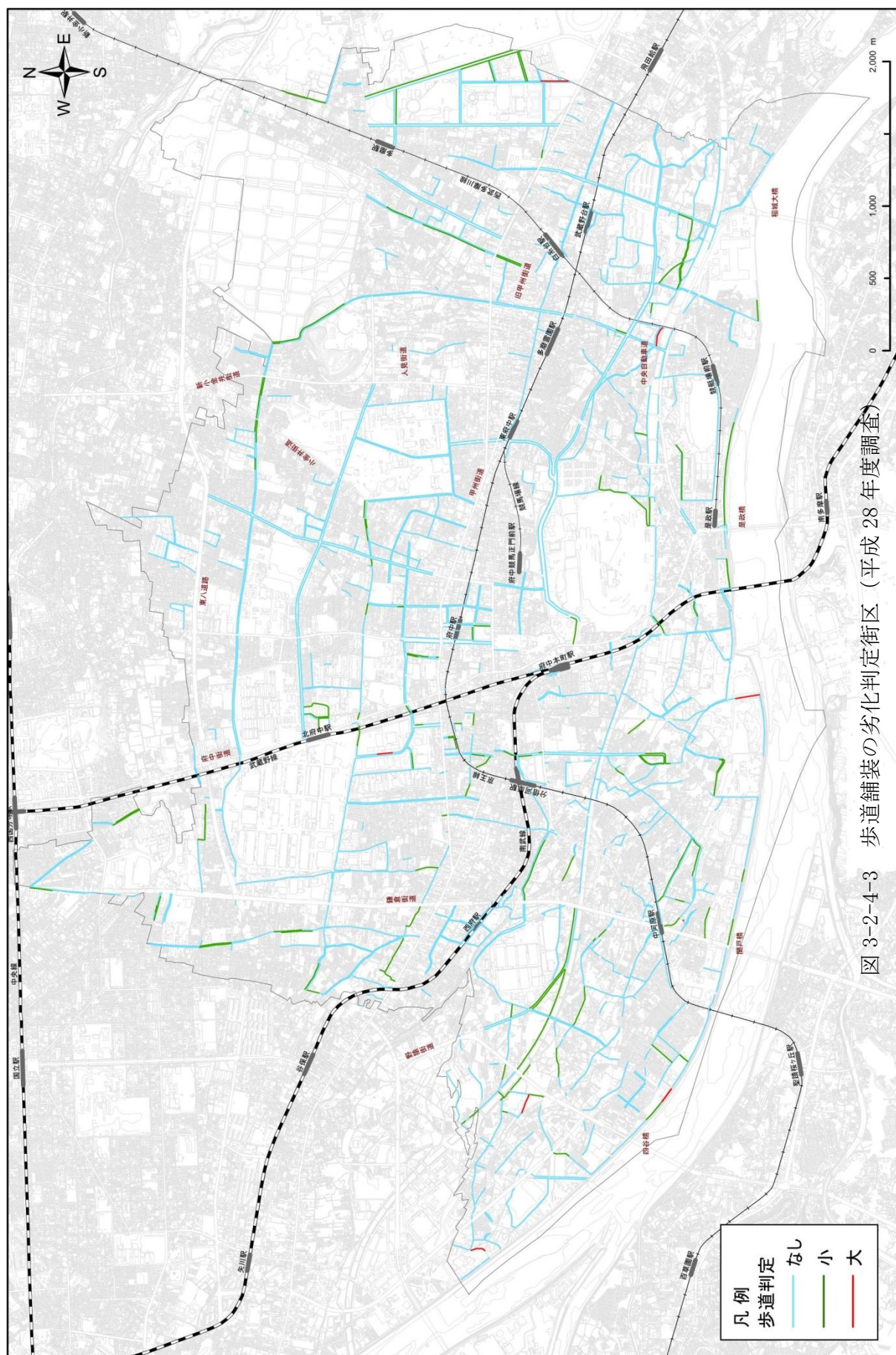
※ P=コンクリート盤

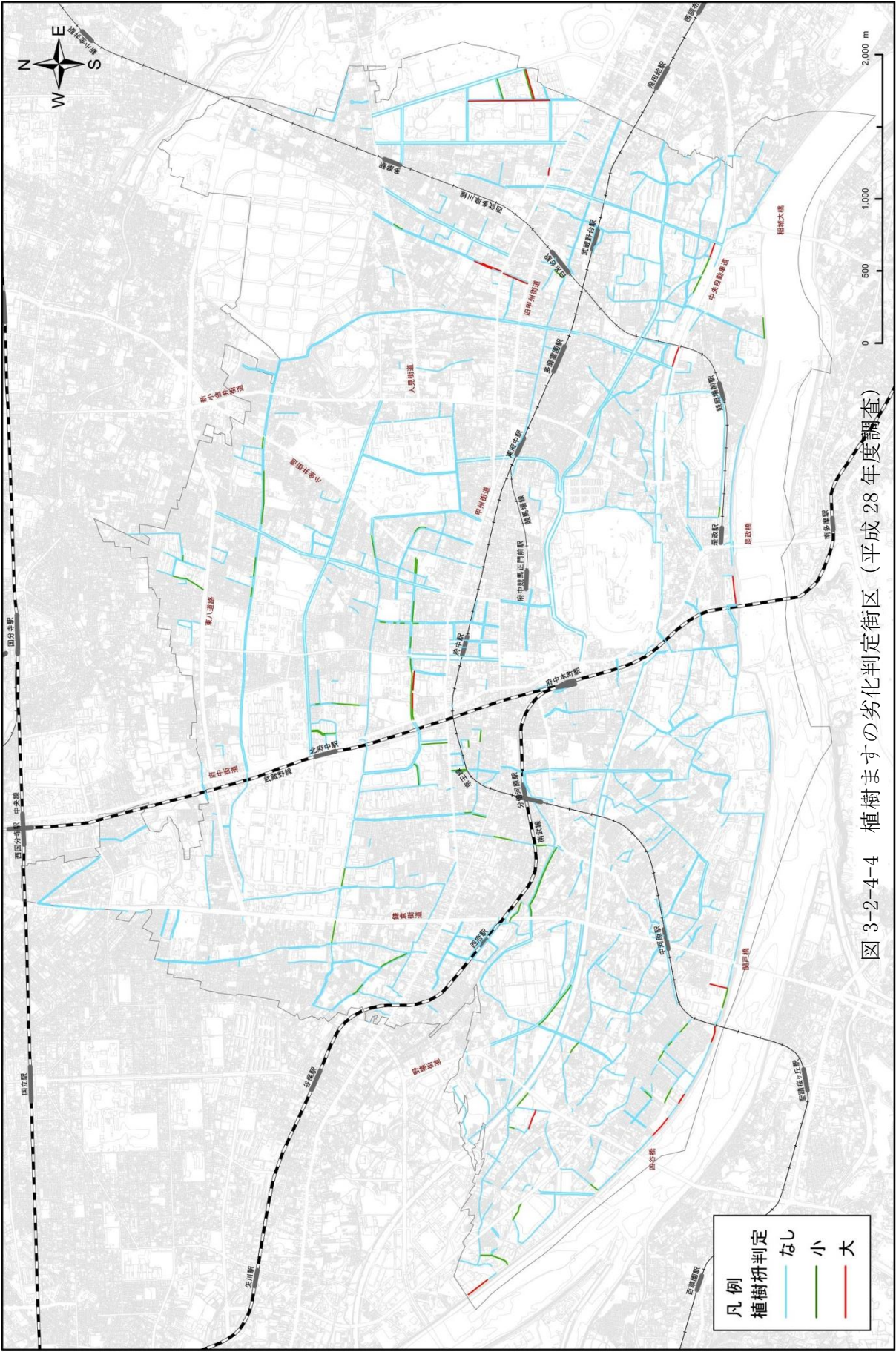
(4) 補修対策箇所

劣化判定が「大」と「小」の区間の結果を補修対策箇所とし、それぞれ図 3-2-4-3、図 3-2-4-4 に街区箇所を示します。あわせて、図 3-2-4-5、図 3-2-4-6 に劣化していると判定した箇所の調査写真を示します。

3-2-3

インフラの整備状況（歩道・植樹ます）





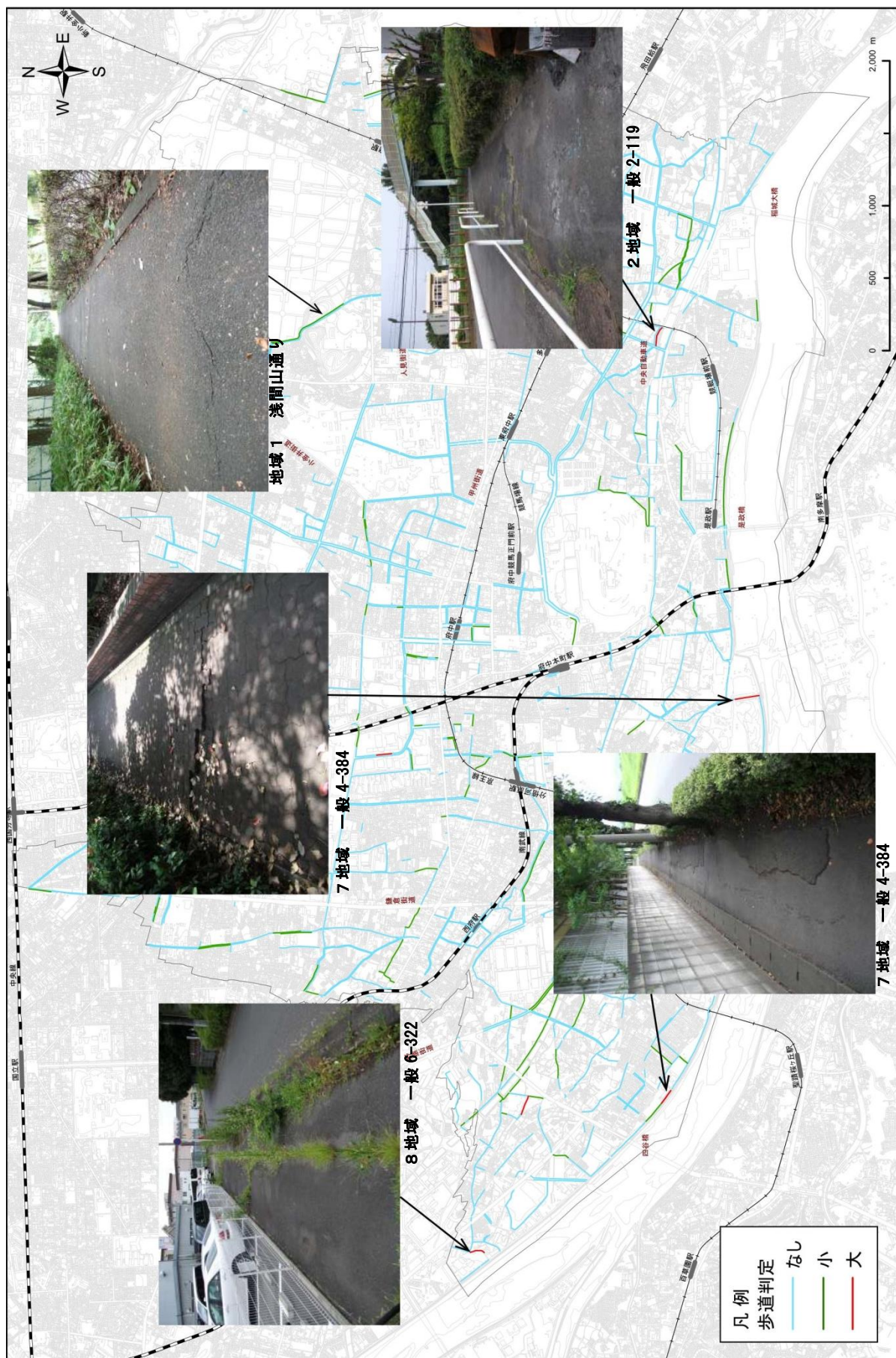
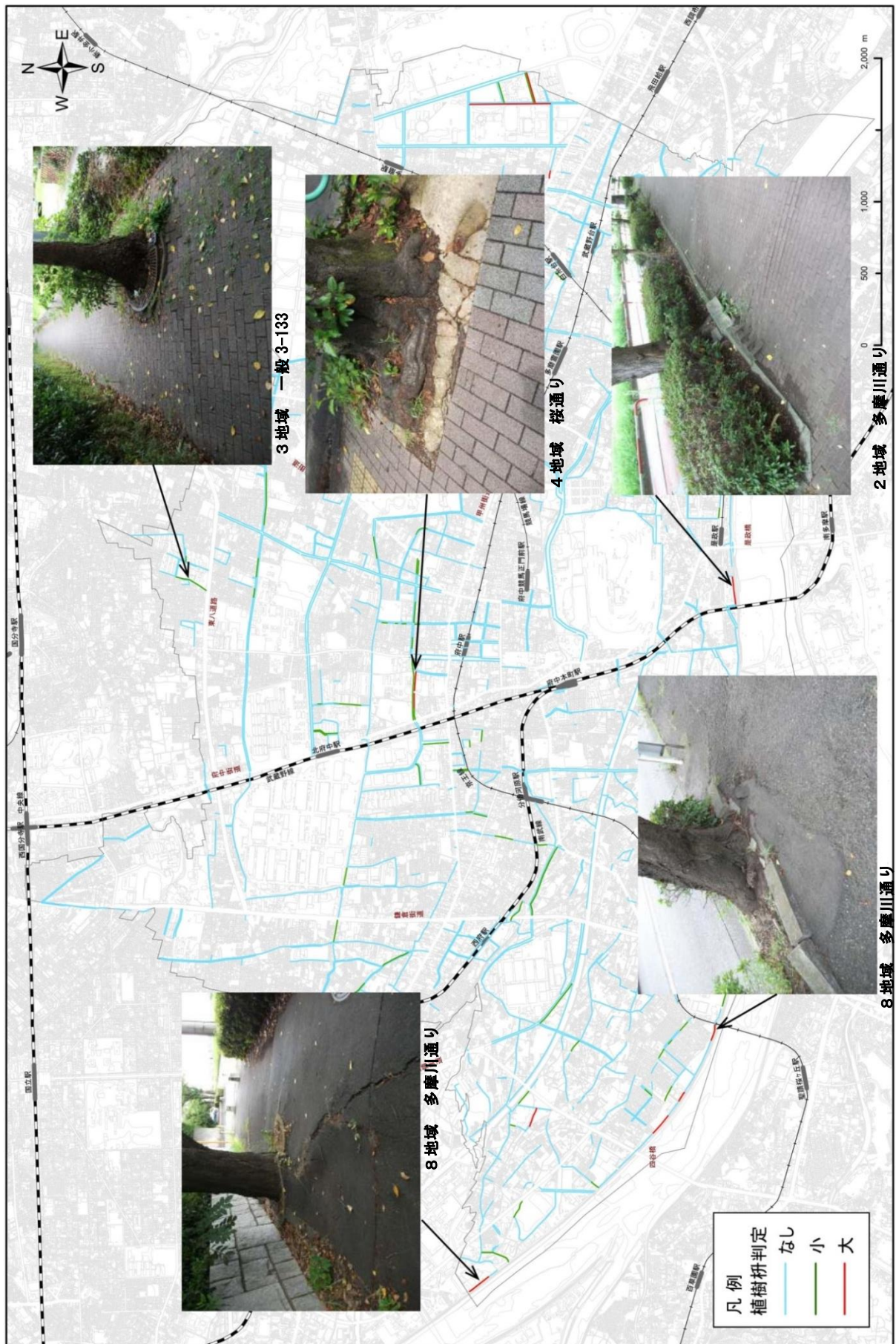


図 3-2-4-5 歩道舗装の劣化箇所（平成 28 年度調査）



3-2-3

インフラの整備状況) 歩道・植樹ます(

図 3-2-4-6 植樹ますの劣化箇所 (平成 28 年度調査)

3.2.5. 案内標識

案内標識は、現地調査により箇所および現状を確認しました。

3.2.5.1. 全体数量

案内標識は、「府中市サイン基本計画」（平成 2 年 11 月）のデザインに従って設置された標識が 401 基と、それ以前のデザインの標識が 138 基あります。また、そのほかに個別に設置した施設案内標識が 264 基あります。

表 3-2-5-1 案内標識の内訳

案内標識の分類	基 数（基）	全体に対する割合（%）	備 考
新型案内標識	401	49.94%	府中市サイン基本計画（H2.11 策定）に準拠
旧型案内標識	138	17.19%	サイン基本計画以前のデザイン
その他案内標識	264	32.87%	上記に含まれないデザイン
合 計	803	100%	



図 3-2-5-1 案内標識の例（新型）



図 3-2-5-2 案内標識の例（旧型：道路名称）



図 3-2-5-3 案内標識の例（旧型：施設名称）

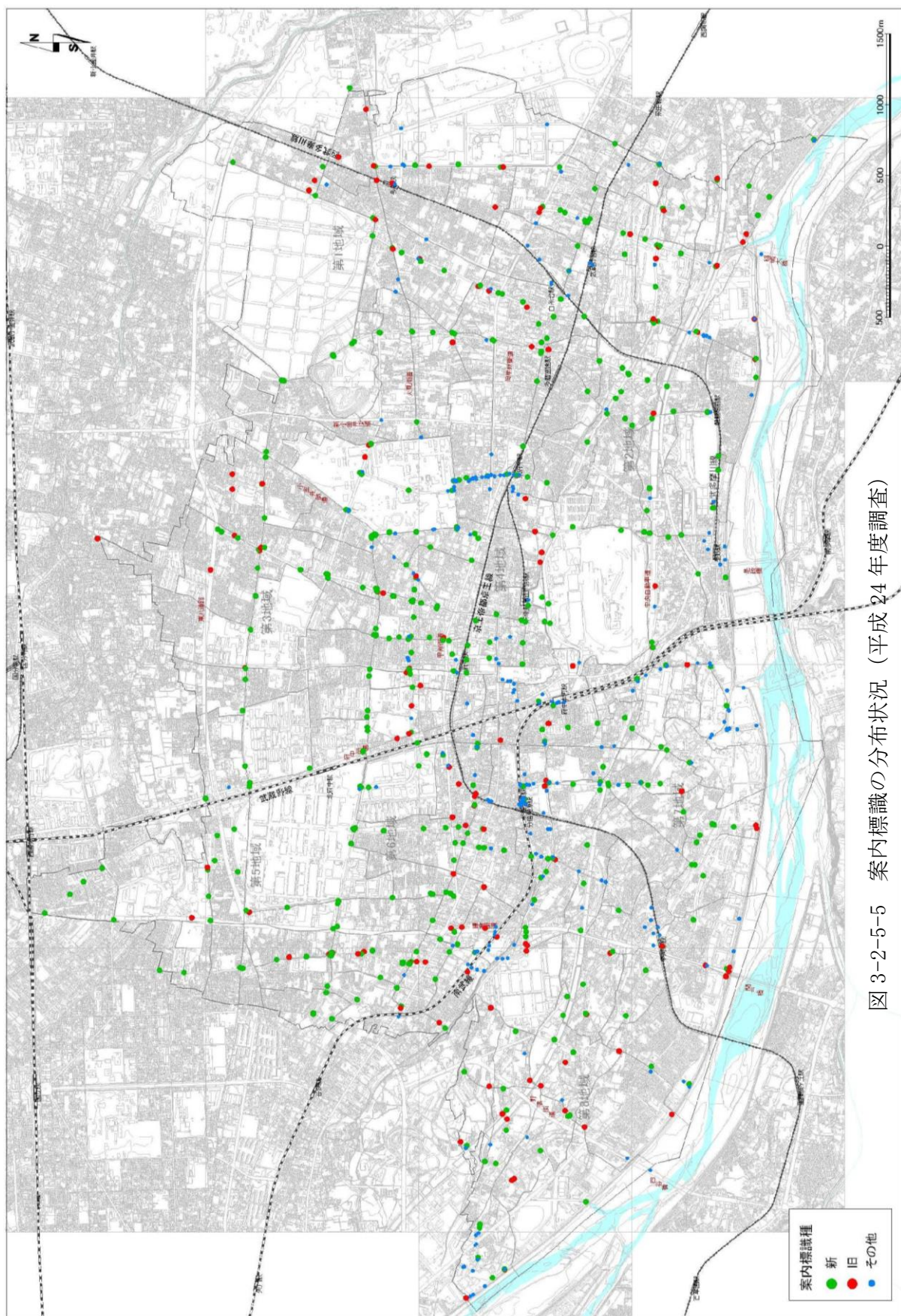


図 3-2-5-4 案内標識の例（その他）

3-2-6

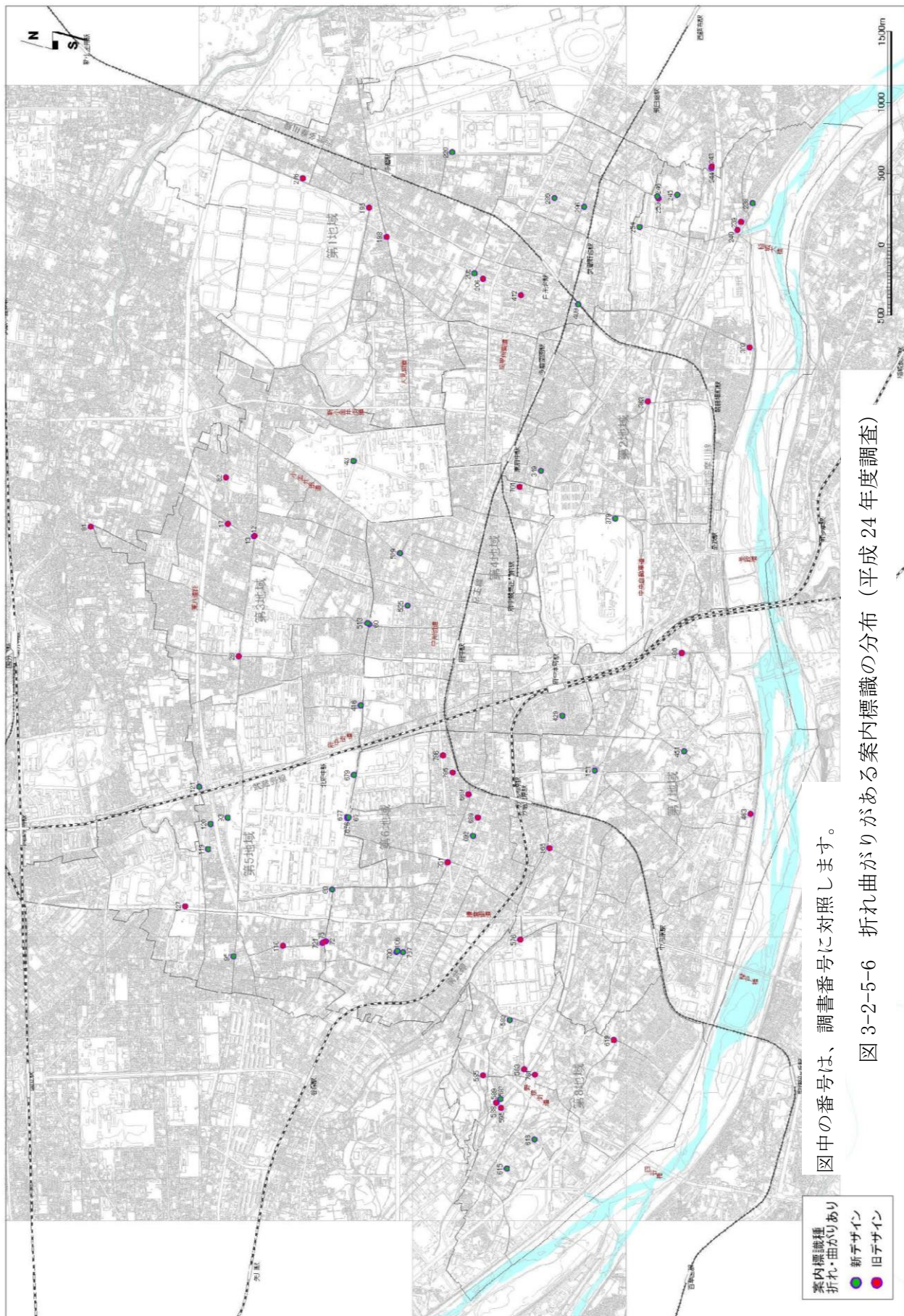
インフラの整備状況（案内標識）

3.2.5.2. 案内標識位置



3-2-6

インフラの整備状況（案内標識）



3.2.5.3. 案内標識の整備状況

- 「府中市サイン基本計画（平成 2 年 11 月）」のサイン計画に従って設置された案内標識と旧型案内標識が混在している状況です。
- 78 基程度に、看板折れや曲がり等の看板破損があります。（支柱の破損はありません。）
- 色あせ等により、表示が見にくくなっている標識は 63 基あります。

3.2.5.4. 地域別集計

各地域とも、10 基～30 基程度の旧型案内標識があります。また、損傷のうち「折れ・曲がり」の看板破損がある案内標識は地域ごとに 10 基程度ずつあります。

表 3-2-5-2 地域ごとの案内標識基数

地域区分	全案内標識（基）			うち、折れ・曲がりがある標識（基）		
	新型案内標識	旧型案内標識	その他	新型案内標識	旧型案内標識	その他
第 1 地域	53	19	28	5	5	0
第 2 地域	68	24	52	7	6	0
第 3 地域	48	13	8	4	6	0
第 4 地域	63	13	39	4	1	0
第 5 地域	22	4	0	9	4	0
第 6 地域	74	31	61	4	6	0
第 7 地域	50	15	50	2	3	0
第 8 地域	23	19	26	4	8	0
全 体	401	138	264	39	39	0

3-2-6

インフラの整備状況（案内標識）

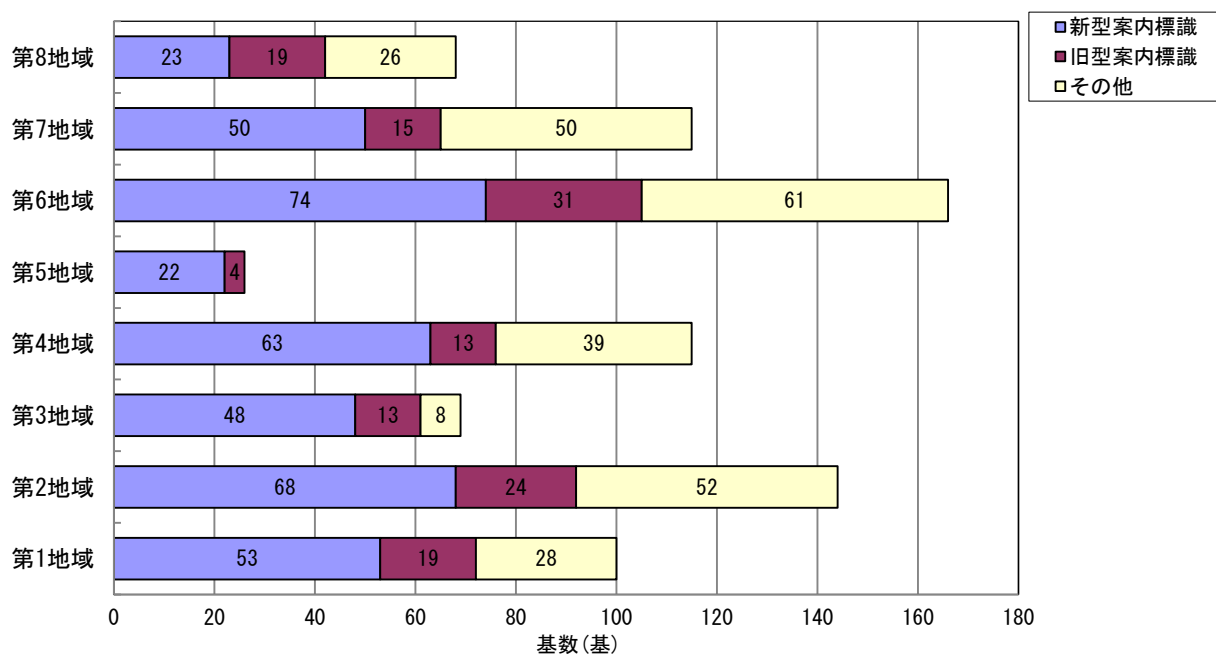


図 3-2-5-7 地域ごとの案内標識数

3-2-6

インフラの整備状況（案内標識）

3.2.6. 警戒標識・その他標識

警戒標識・その他標識は、標識台帳を確認しました。

3.2.6.1. 全体数量

警戒標識・その他標識は、市が所有している標識台帳内に記録されています。その他標識とは、制限標識、遊歩道案内板、安眠標識、路面凍結注意標識、すべり止め用砂案内標識です。

表 3-2-6-1 警戒標識・その他標識基数

分類		基 数 (基)	全体に対する割合 (%)	備 考
警戒標識	警戒標識	283	69.88%	
その他標識	制限標識	37	9.14%	
	遊歩道案内板	19	4.69%	
	安眠標識	10	2.47%	
	路面凍結注意標識	40	9.88%	
	すべり止め用砂 案内標識	16	3.95%	
合 計		405	100%	



図 3-2-6-1 警戒標識の例



図 3-2-6-2 制限標識の例



図 3-2-6-3 遊歩道案内板の例



図 3-2-6-4 安眠標識の例

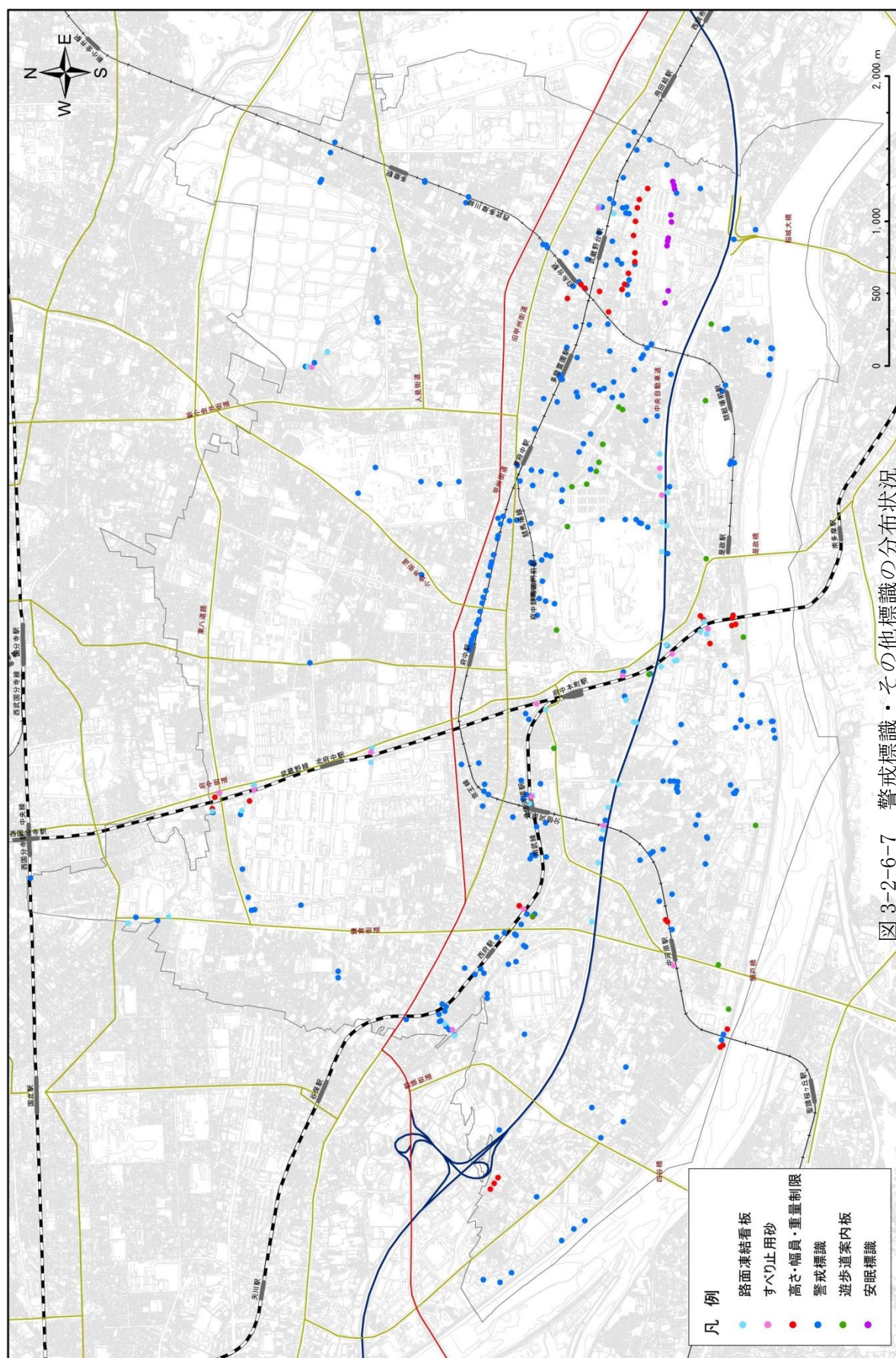


図 3-2-6-5 路面凍結注意標識の例



図 3-2-6-6 すべり止め用砂案内の例

3.2.6.2. 警戒標識・その他標識位置



3.2.6.3. 警戒標識・その他標識の整備状況

- 府中市標識台帳に記載されている警戒標識及びその他標識については、最も古い設置年が 1975 年です。最新設置年は 1994 年となっており、その後台帳の更新は実施されていません。

3.2.6.4. 地域別集計

警戒標識は、各地域に設置されています。また、路面凍結看板やすべり止め用砂案内は、鉄道を交差する路線に設置されています。地域別には、第 2 地域が 101 基、第 7 地域が 79 基と、市の南側の地域に多く設置されています。

表 3-2-6-2 地域ごとの案内標識基数

警戒標識・その他標識（基）						
地域区分	警戒 標識	制限 標識	遊歩道 案内板	安眠 標識	路面凍結 看板	すべり止め 用砂案内
第 1 地域	48	15	0	0	4	1
第 2 地域	67	3	11	10	8	2
第 3 地域	8	2	0	0	2	4
第 4 地域	41	0	1	0	3	1
第 5 地域	12	2	0	0	5	0
第 6 地域	41	1	2	0	4	3
第 7 地域	46	9	5	0	14	5
第 8 地域	20	5	0	0	0	0
全 体	283	37	19	10	40	16

3.2.7. 街路灯

街路灯は、日常的に照明の交換をしています。次に対象の照明件数の把握を目的とし、「管理台帳」を基に年度毎の照明の設置個数と累積合計を整理しました。

3.2.7.1. 全体数量

府中市が管理する街路灯は、18,706 基です。

(1) 照明形式

街路灯は、昭和 59 年度～昭和 61 年度に多く設置されています。
市内の街路灯の大半が、交通安全灯と防犯灯に分類されます。

表 3-2-7-1 街路灯 照明形式

交通安全灯	防犯灯	不明	合計
7,245 基	11,335 基	126 基	18,706 基

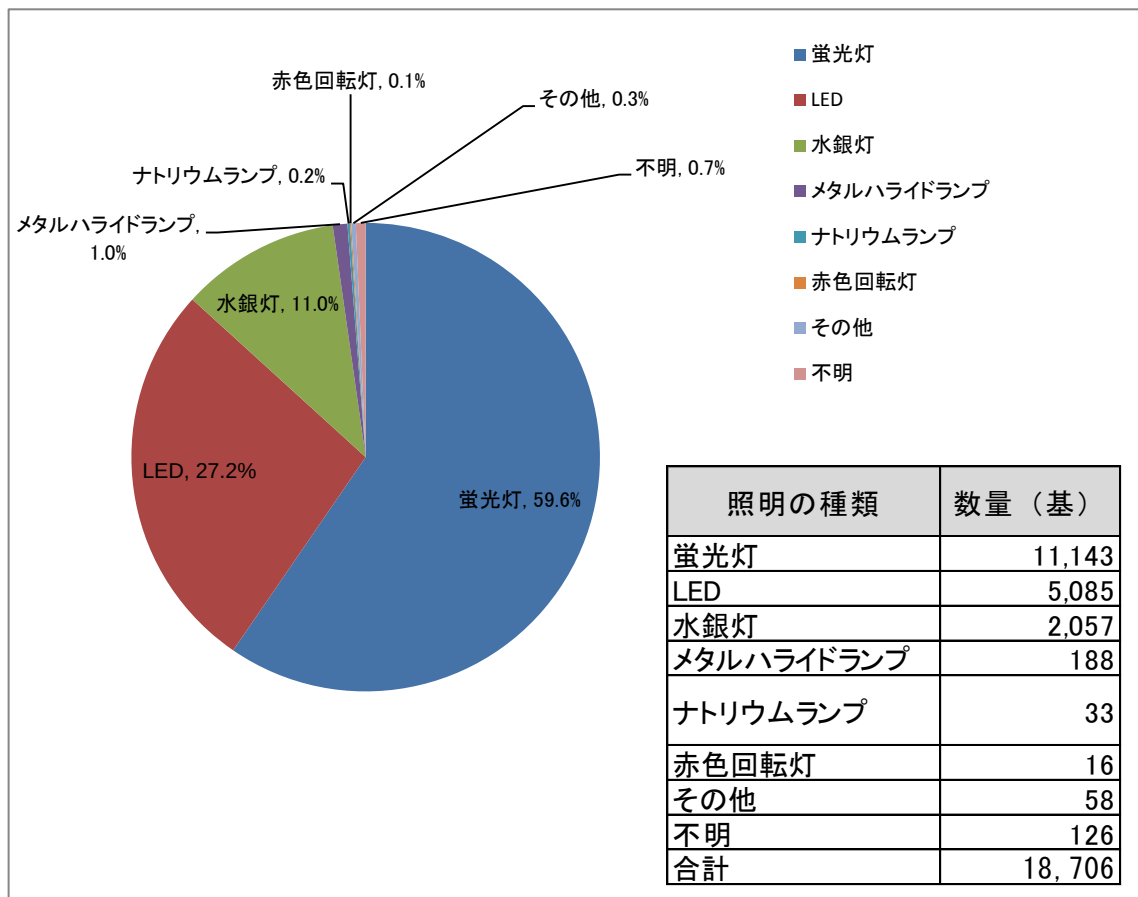


図 3-2-7-1 街路灯の照明区分の内訳

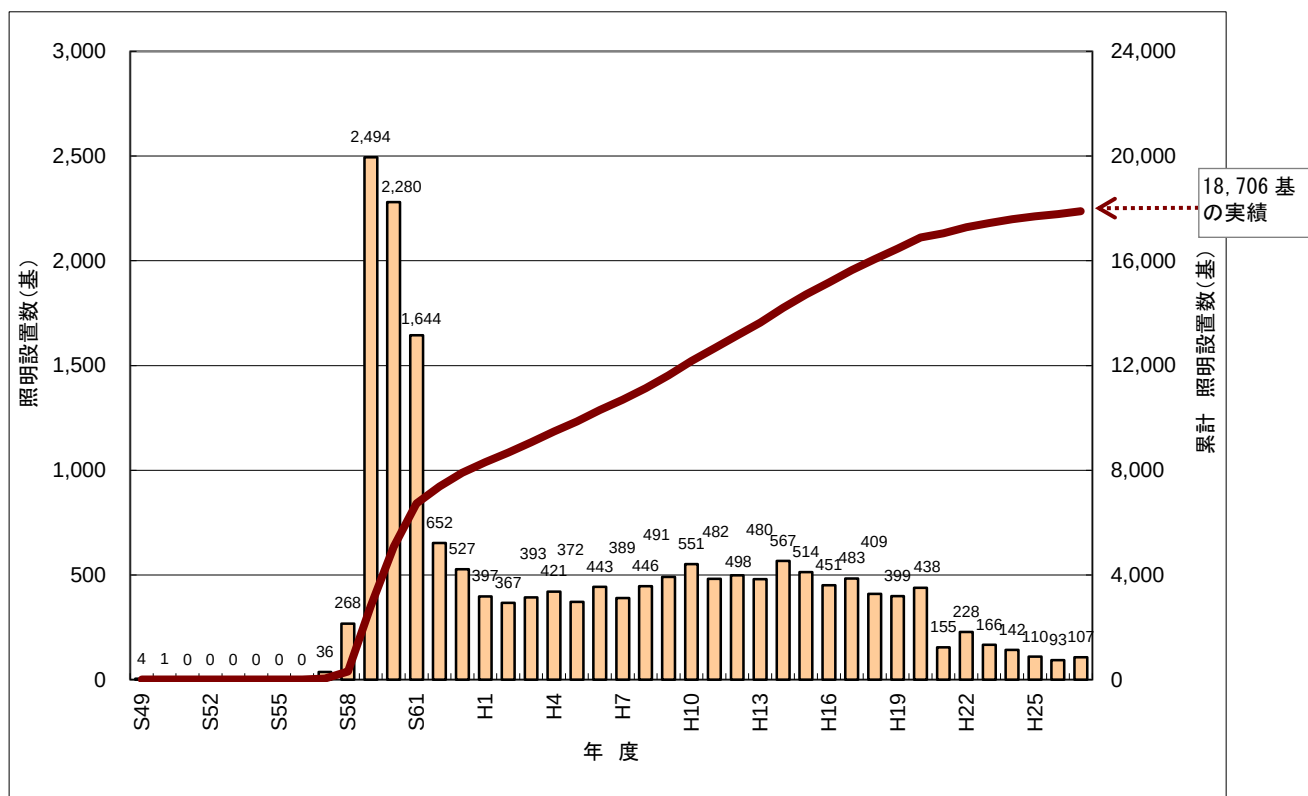


図 3-2-7-2 街路灯 照明の設置実績

(2) 灯種形式

街路灯は、東京電力や電話の電柱などに共架している「共架柱」と、独立した柱に設置している「独立柱」があります。

なお、灯具の設置は、第1地域と第2地域でそれぞれ全体の17%を占めます。

表 3-2-7-2 地域ごとの灯種形式の内訳

地域区分	共架柱（基）	独立柱（基）	合計	割合
第1地域	2,152	703	2,855	17.01%
第2地域	2,211	688	2,899	17.27%
第3地域	1,933	597	2,530	15.07%
第4地域	1,159	725	1,884	11.22%
第5地域	983	229	1,212	7.22%
第6地域	1,357	402	1,759	10.48%
第7地域	1,796	440	2,236	13.32%
第8地域	1,254	160	1,414	8.42%
全 体	12,845	3,944	16,789	100.00%

3-2-7

インフラの整備状況（街路灯）

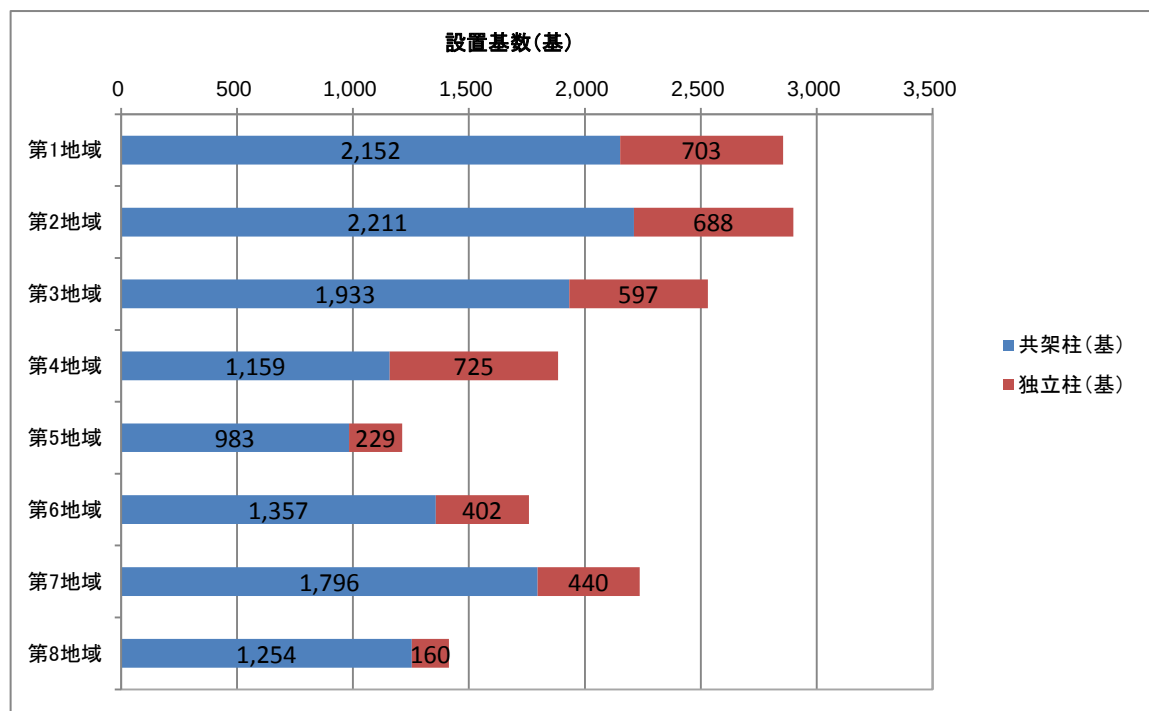


図 3-2-7-3 地域ごとの灯種形式の内訳

(3) 灯柱形式

街路灯の灯柱形式は、鉄柱が全体の7%（1,196基）を占めています。また、コンクリート柱は全体の4%（728基）あります。ただし、灯柱形式が不明の灯柱が88%（14,658基）あります。

表 3-2-7-3 灯種形式の内訳

地域区分	灯種形式	合 計	コンクリート柱 (基)	鉄 柱 (基)	木 柱 (基)	不 明 (基)
全 体	共架柱	12,845	724	1,015	207	10,899
	独立柱	3,944	4	181	0	3,759
	合 計	16,789	728	1,196	207	14,658

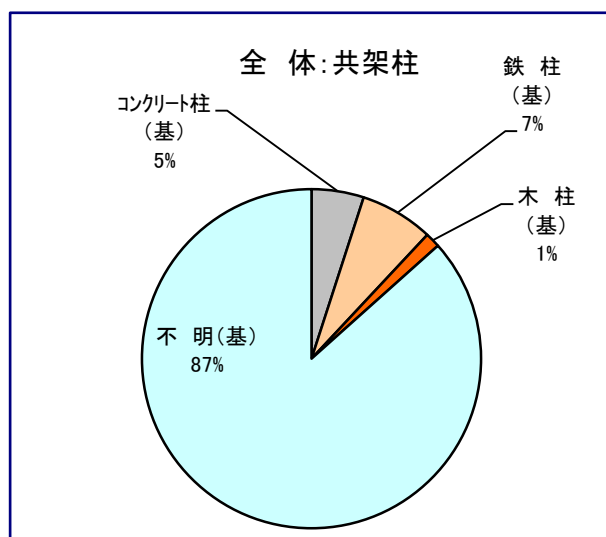


図 3-2-7-4 灯柱形式（全体：共架柱）

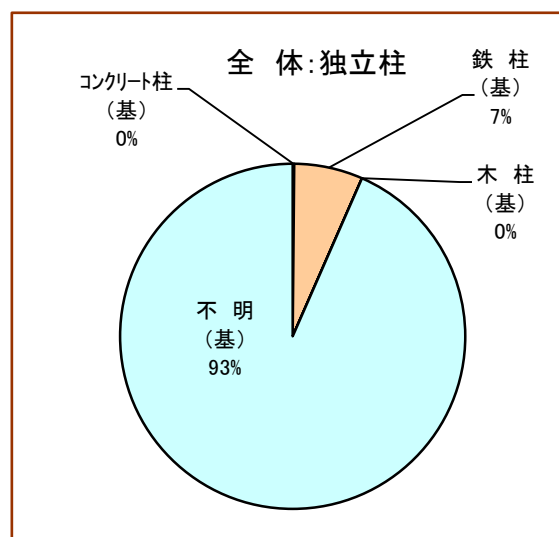


図 3-2-7-5 灯柱形式（全体：独立柱）

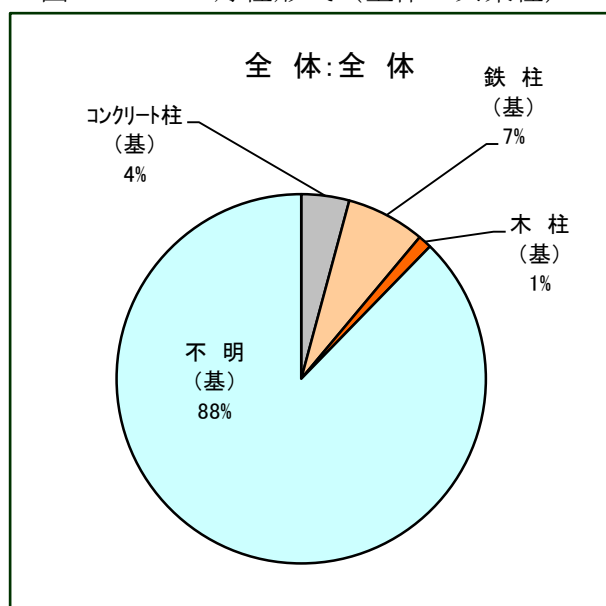


図 3-2-7-6 灯柱形式（全体：全体）

3.2.7.2. 街路灯の整備状況

- 街路灯の設置年に関する資料は保管されていません。しかし、照明などの交換記録（昭和 49 年以降）によると、昭和 58 年～昭和 60 年の 3 年間に、全体の 36%の照明が交換されています。
- 平成 24 年度から、年平均 4,003 基の照明を交換しています。

3.2.7.3. 街路灯の整備状況

(1) 照明の交換実績

照明の交換実績は、平成 24 年度からの 4 年間を次に示します。

表 3-2-7-4 街路灯 照明の交換実績

年 度	交通安全灯		防犯灯		合 計 (基)
	個 数	割 合	個 数	割 合	
平成 24 年度	798	20.34%	3,126	79.66%	3,924
平成 25 年度	1,030	25.63%	2,989	74.37%	4,019
平成 26 年度	859	19.73%	3,495	80.27%	4,354
平成 27 年度	783	21.09%	2,929	78.91%	3,712
年平均 交換個数	868	21.68%	3,135	78.32%	4,003
4 年間の合計個数	3,470	21.68%	12,539	78.32%	16,009

※ 出典 平成 27 年度 各事業の概要(管理課・決算資料) より

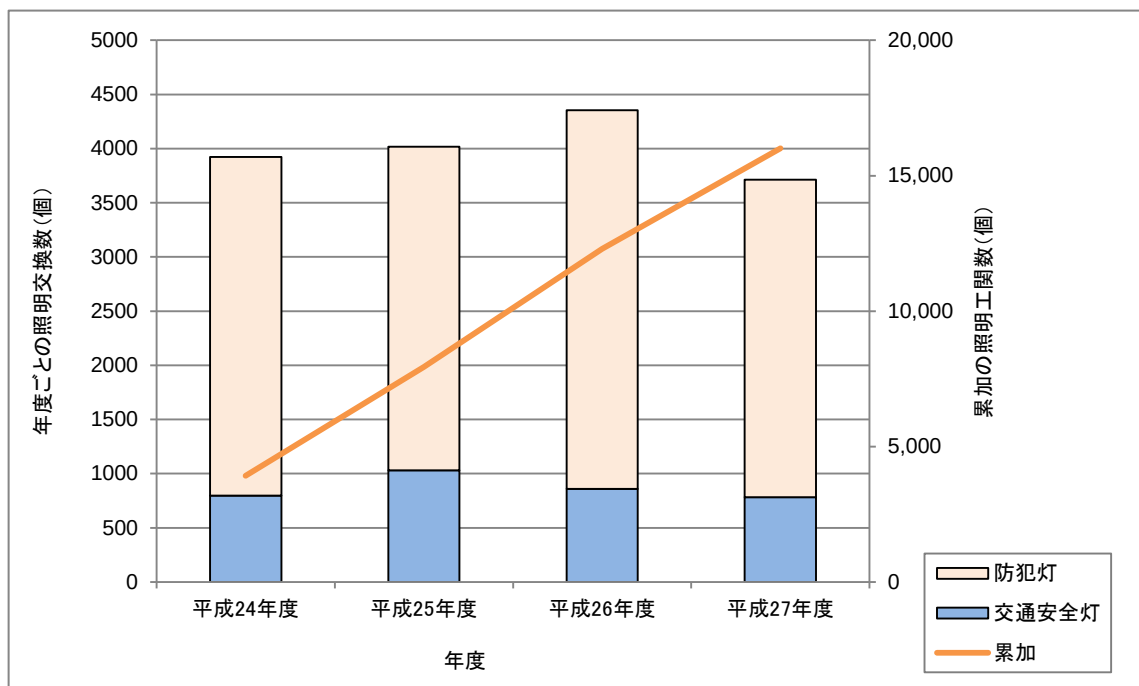


図 3-2-7-7 街路灯 照明の交換実績

(2) 照明形式

① 照明形式ごとの交換数と交換年数

照明形式ごとに交換数および交換年数を、記載いたします。

i. 蛍光灯

蛍光灯は、2年～3年で交換しています。

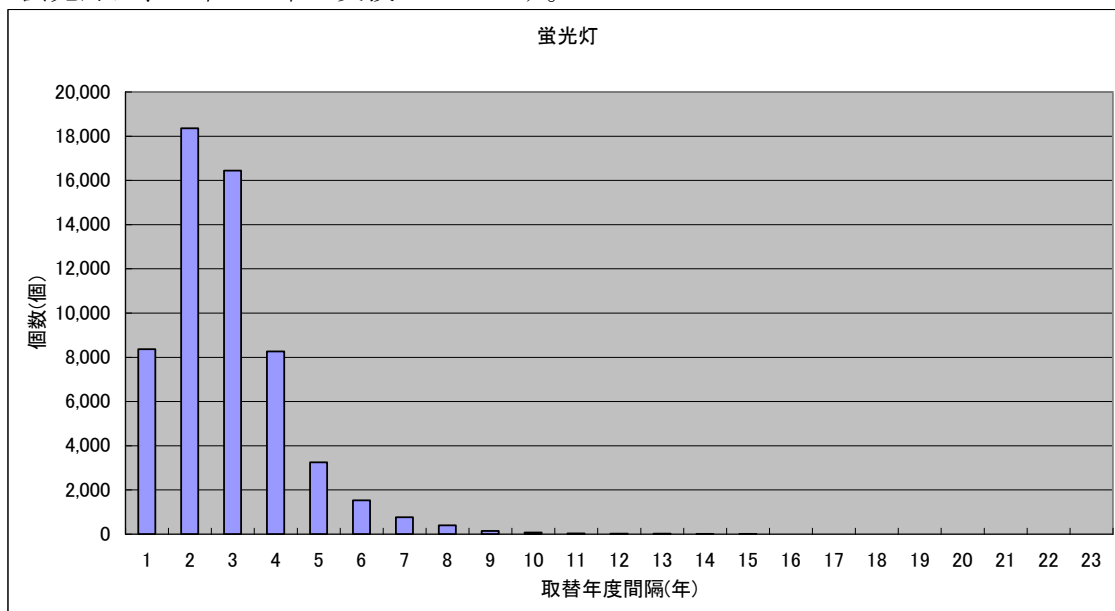


図 3-2-7-8 蛍光灯の取替え年度間隔

ii. 水銀灯

水銀灯は、1年～8年で交換しています。

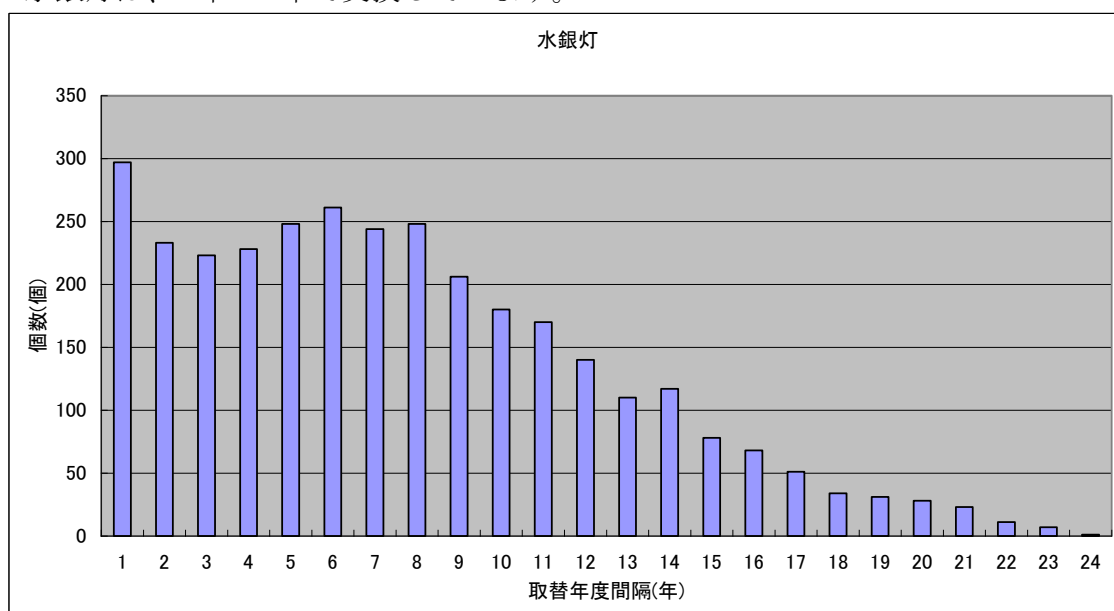


図 3-2-7-9 水銀灯の取替年度間隔

iii. 白熱球

白熱球は該当機器が少なく、「その他」として分類しています。

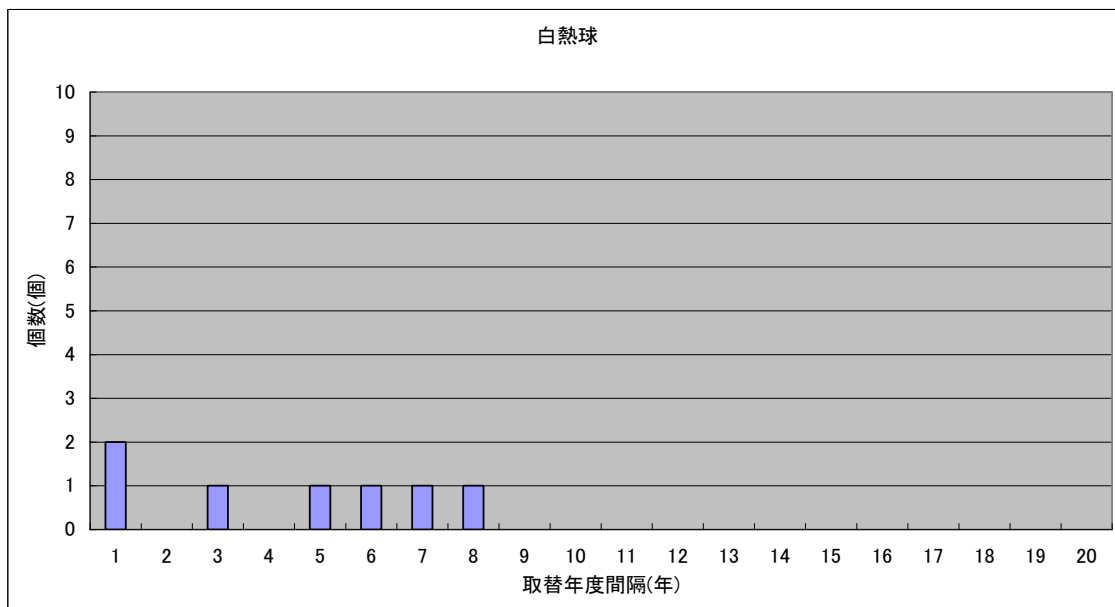


図 3-2-7-10 白熱球の取替年度間隔

iv. ナトリウムランプ

ナトリウムランプは、1年～5年で交換しています。

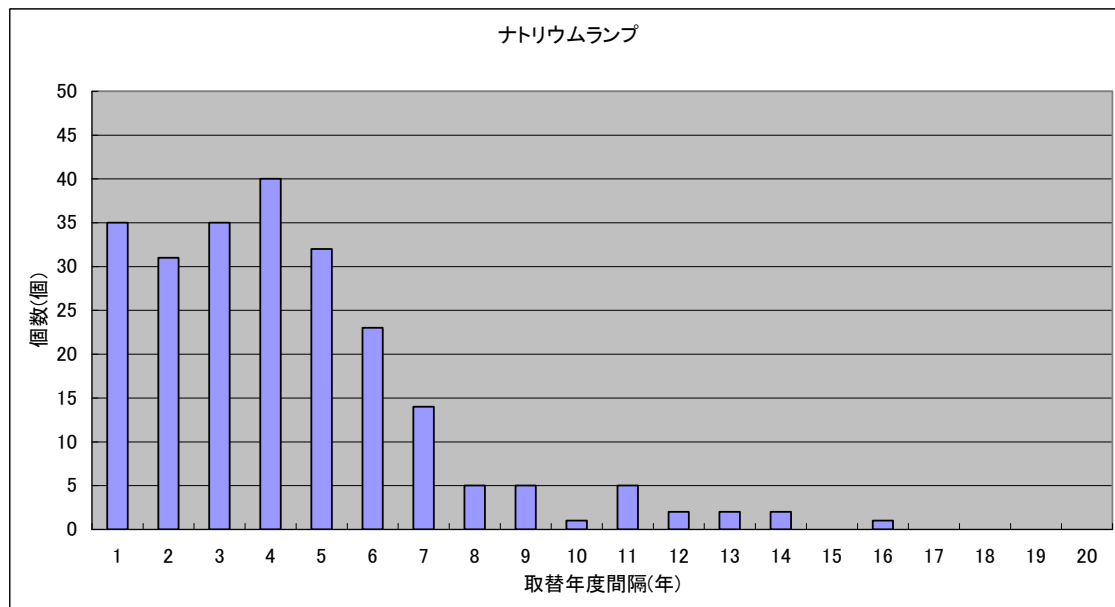


図 3-2-7-11 ナトリウムランプの取替年度間隔

v. メタルハライドランプ

メタルハライドランプは、1年～3年で交換しています。

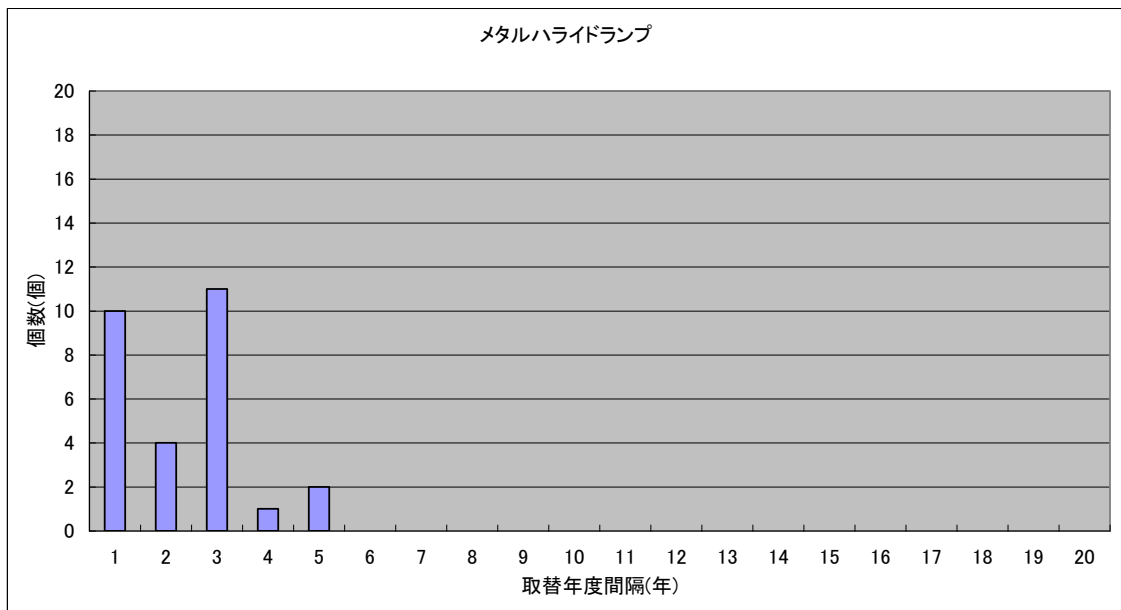


図 3-2-7-12 メタルハライドランプの取替年度間隔

vi. シールドビーム

シールドビームは、1年～3年で交換しています。

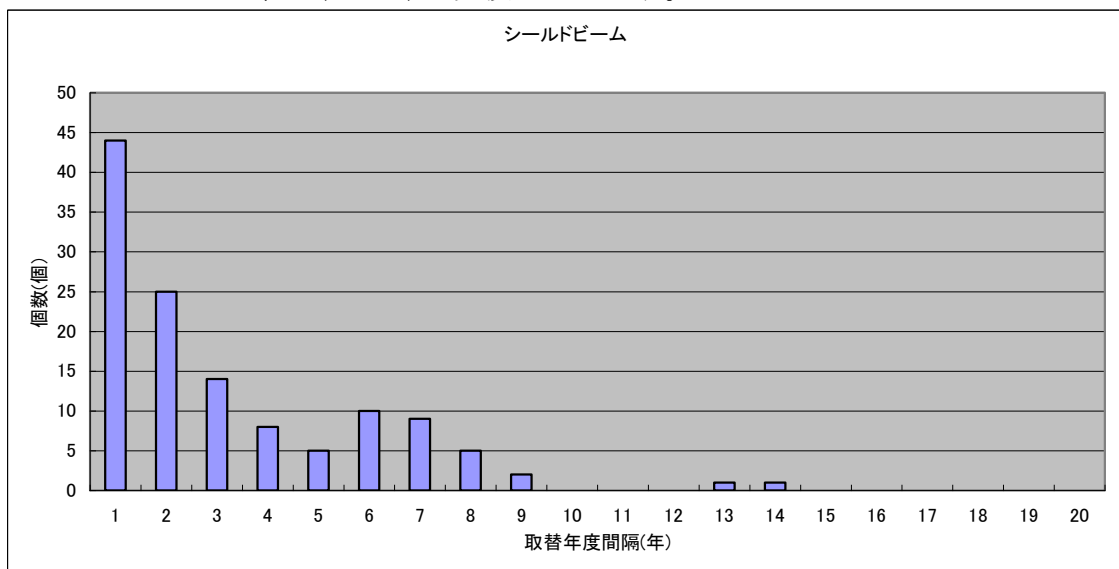


図 3-2-7-13 シールドビームの取替年度間隔

vii. 赤色回転灯

赤色回転灯は、1年～2年で交換しています。また、赤色回転灯は緊急時を知らせることを目的とし、道路を照らす役割とは異なります。

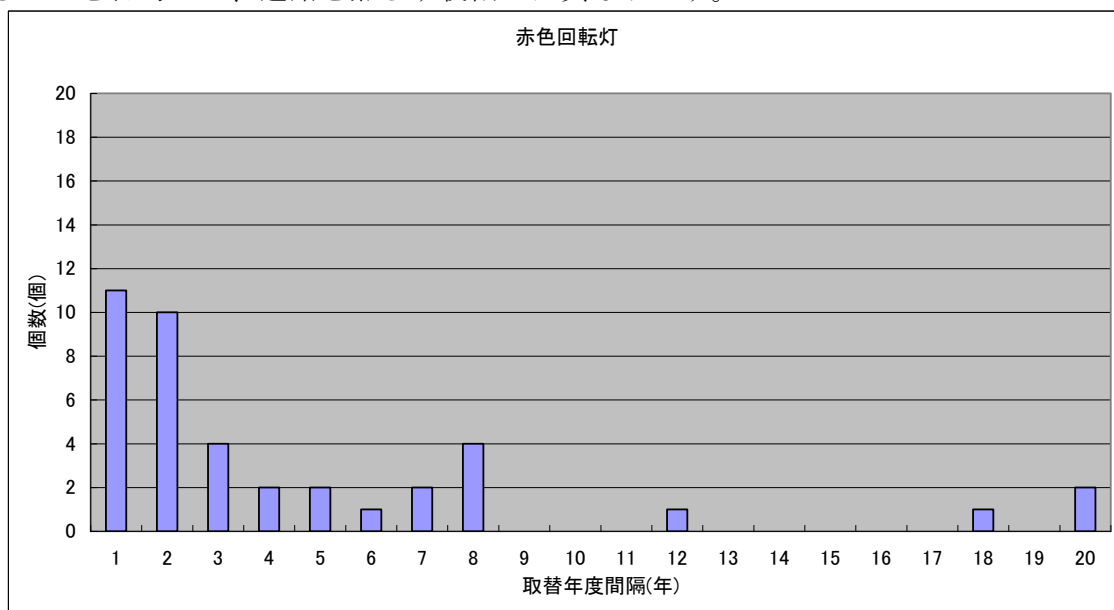


図 3-2-7-14 赤色回転灯の取替年度間隔

viii. 自動点滅器

自動点滅器は、3年～6年で交換しています。

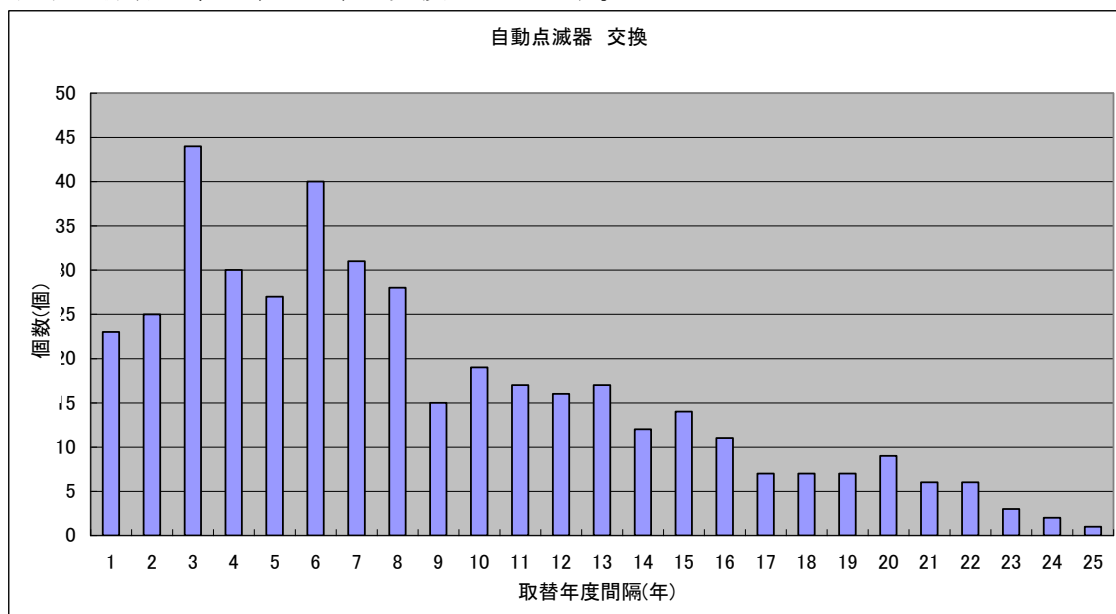


図 3-2-7-15 自動点滅器の取替年度間隔

② 地域ごとの照明形式

市管理の街路灯を地域別に集計し、次の図に示します。なお、照明の分類では蛍光灯が最も多く用いられており、次いでLEDが街路灯で多く用いられています。

表 3-2-7-5 地域ごとの照明形式の内訳

地域	蛍光灯	LED	水銀灯	ナトリウムランプ	メタルハライドランプ	赤色回転灯	その他	不明	合計(基)
第1地域	1,709	1,304	14	0	7	0	5	0	3,039
第2地域	1,920	821	343	1	14	4	7	0	3,110
第3地域	1,735	646	264	2	10	6	1	0	2,664
第4地域	1,361	267	548	3	56	1	18	0	2,254
第5地域	923	206	100	5	0	1	1	0	1,236
第6地域	1,098	562	308	8	82	1	6	126	2,191
第7地域	1,680	411	443	13	11	3	12	0	2,573
第8地域	710	851	24	1	7	0	2	0	1,595
不明	7	17	13	0	1	0	6	0	44
合計	11,143	5,085	2,057	33	188	16	58	126	18,706

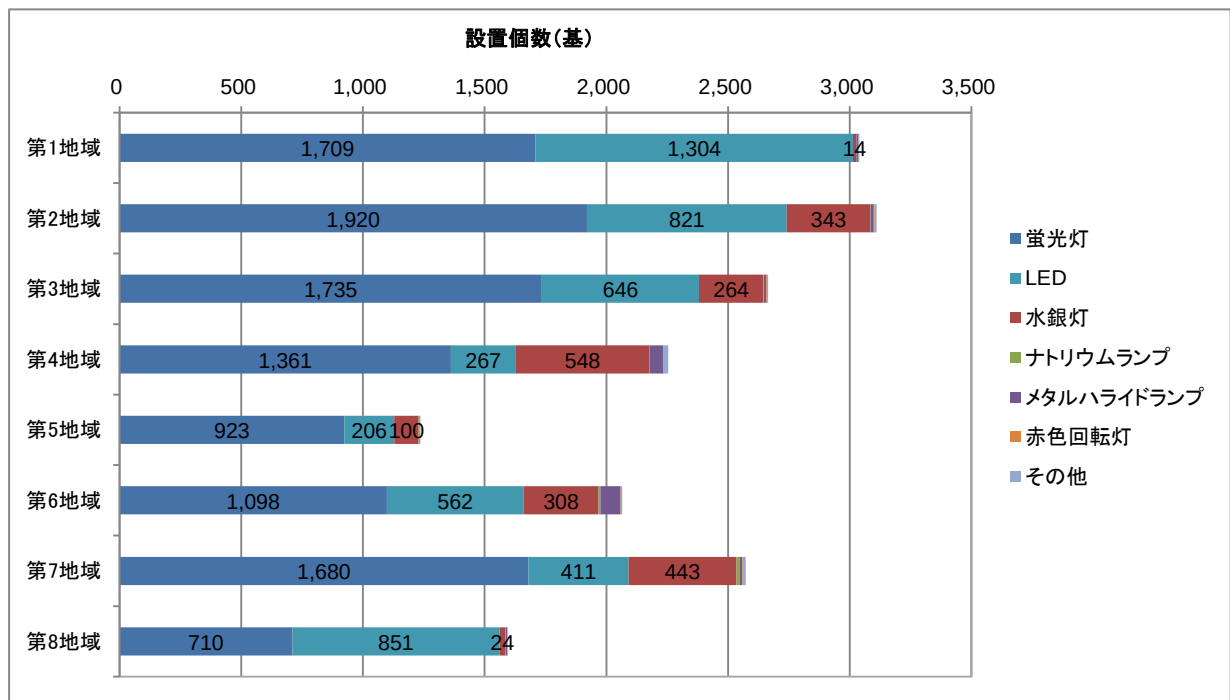


図 3-2-7-16 地域ごとの照明形式の内訳

3.2.7.4. 地域別集計

(1) 第1地域

第1地域の灯種形式は、「共架電柱」が2,152基(75%)を占めています。また、共架形式の中では、「鉄柱」が最も多く、144基で共架形式全体の6%を占めています。

表 3-2-7-6 第1地域の灯柱形式の内訳

地域区分	灯種形式	合 計	コンクリート柱 (基)	鉄 柱 (基)	木 柱 (基)	不 明 (基)
第1地域	共架柱	2,152	90	144	28	1,890
	独立柱	703	2	80	0	621
	合 計	2,855	92	224	28	2,511

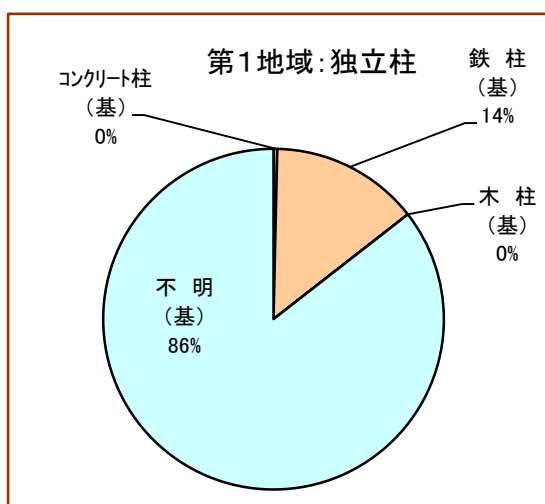
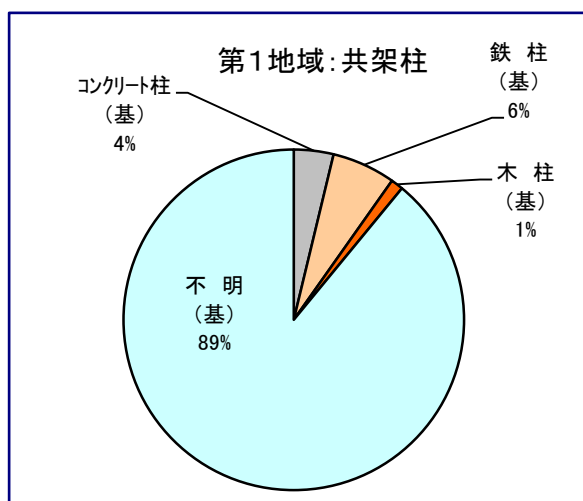


図 3-2-7-17 灯柱形式 (第1地域: 共架柱) 図 3-2-7-18 灯柱形式 (第1地域: 独立柱)

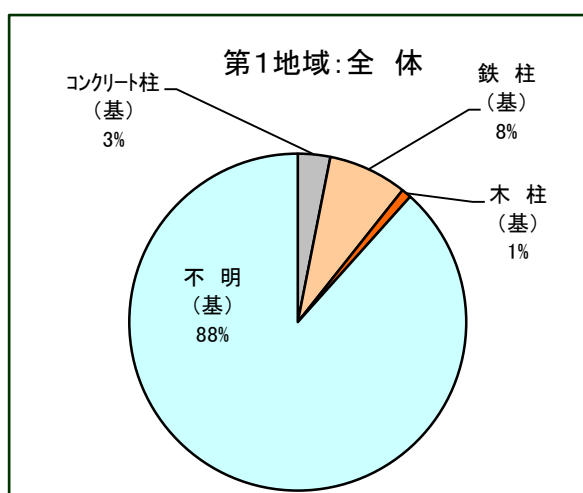


図 3-2-7-19 灯柱形式 (第1地域: 全体)

(2) 第2地域

第2地域の灯種形式は、「共架電柱」が2,211基(76%)を占めています。また、共架形式の中では、「鉄柱」が最も多く、228基で共架形式全体の10%を占めています。

表 3-2-7-7 第2地域の灯柱形式の内訳

地域区分	灯種形式	合 計	コンクリート柱 (基)	鉄 柱 (基)	木 柱 (基)	不 明 (基)
第2地域	共架柱	2,211	106	228	27	1,850
	独立柱	688	0	30	0	658
	合 計	2,899	106	258	27	2,508

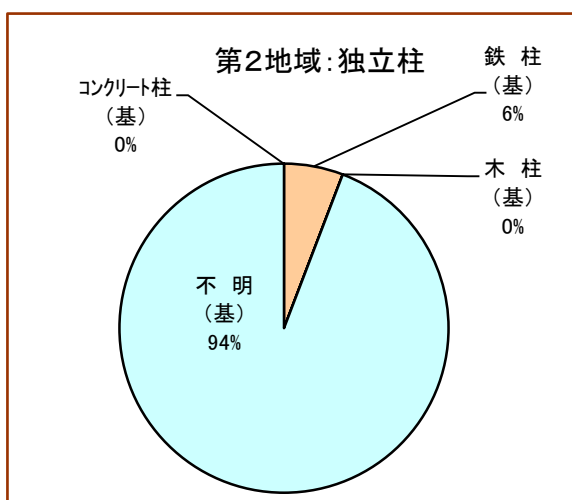
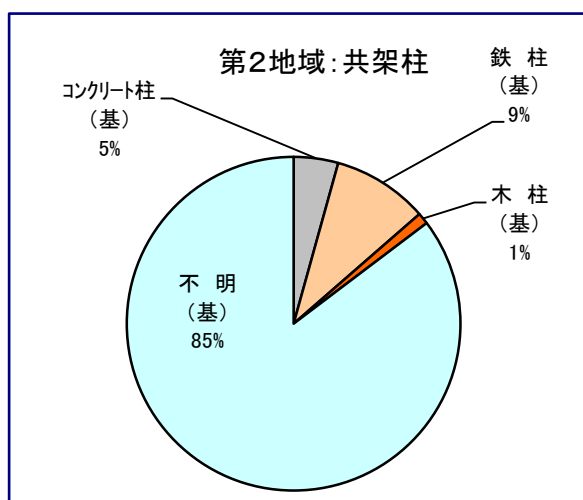


図 3-2-7-20 灯柱形式 (第2地域: 共架柱) 図 3-2-7-21 灯柱形式 (第2地域: 独立柱)

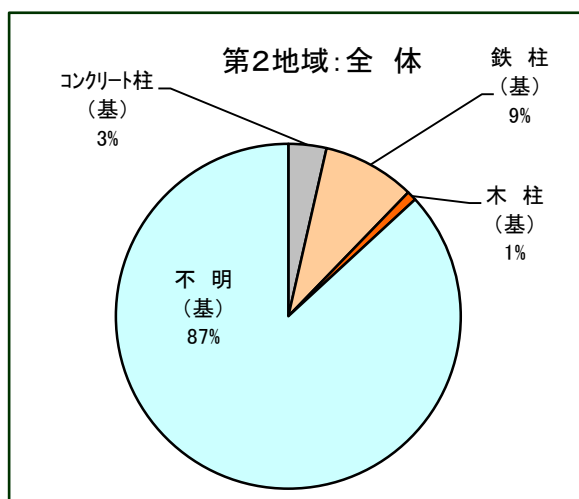


図 3-2-7-22 灯柱形式 (第2地域: 全体)

(3) 第3地域

第3地域の灯種形式は、「共架電柱」が1,933基(76%)を占めています。また、共架形式の中では、「鉄柱」が最も多く、176基で共架形式全体の9%を占めています。

表 3-2-7-8 第3地域の灯柱形式の内訳

地域区分	灯種形式	合 計	コンクリート柱 (基)	鉄 柱 (基)	木 柱 (基)	不 明 (基)
第3地域	共架柱	1,933	144	176	67	1,546
	独立柱	597	1	20	0	576
	合 計	2,530	145	196	67	2,122

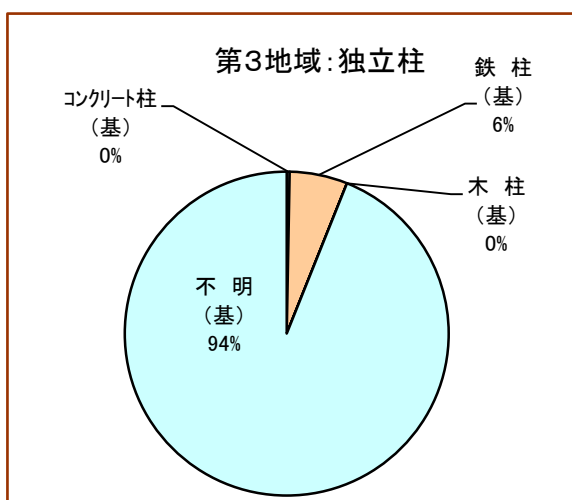
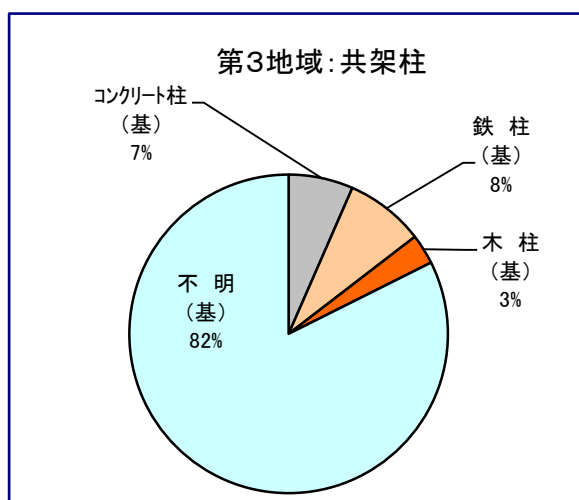


図 3-2-7-23 灯柱形式 (第3地域: 共架柱) 図 3-2-7-24 灯柱形式 (第3地域: 独立柱)

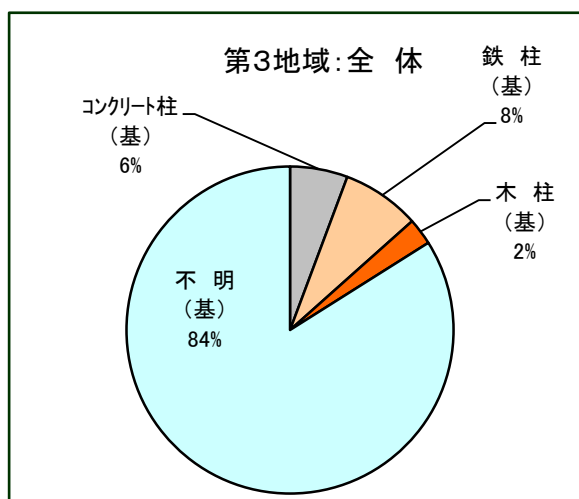


図 3-2-7-25 灯柱形式 (第3地域: 全体)

(4) 第4地域

第4地域の灯種形式は、「共架電柱」が1,159基(62%)を占めています。また、共架形式の中では、「鉄柱」が最も多く、117基で共架形式全体の10%を占めています。

表 3-2-7-9 第4地域の灯柱形式の内訳

地域区分	灯種形式	合 計	コンクリート柱 (基)	鉄 柱 (基)	木 柱 (基)	不 明 (基)
第4地域	共架柱	1,159	56	117	20	966
	独立柱	725	1	22	0	702
	合 計	1,884	57	139	20	1,668

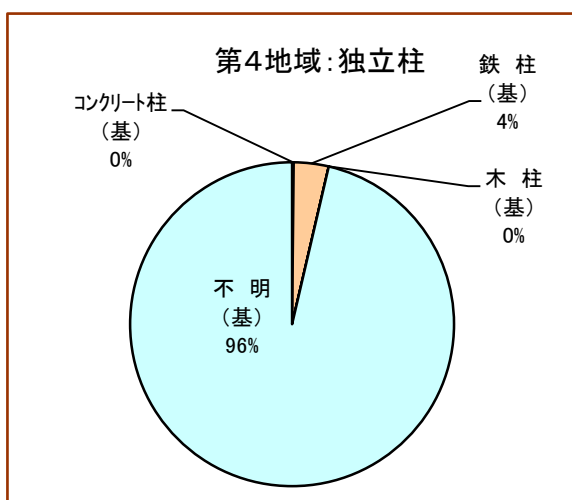
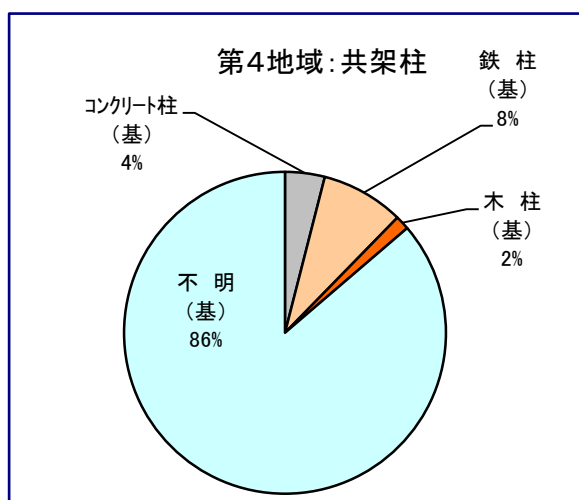


図 3-2-7-26 灯柱形式 (第4地域: 共架柱) 図 3-2-7-27 灯柱形式 (第4地域: 独立柱)

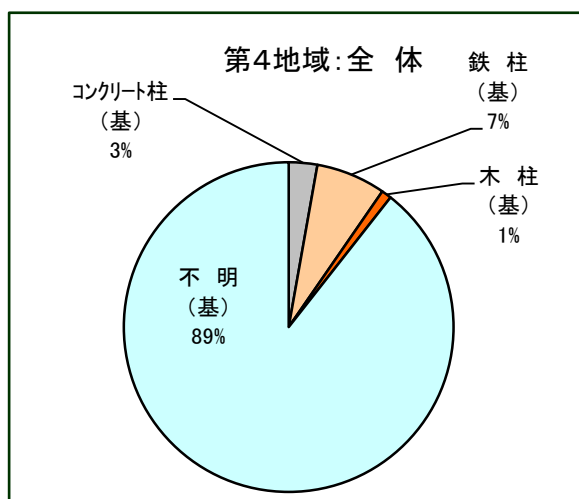


図 3-2-7-28 灯柱形式 (第4地域: 全体)

(5) 第5地域

第5地域の灯種形式は、「共架電柱」が983基(81%)を占めています。また、共架形式の中では、「コンクリート柱」が最も多く、99基で共架形式全体の10%を占めています。

表 3-2-7-10 第5地域の灯柱形式の内訳

地域区分	灯種形式	合 計	コンクリート柱 (基)	鉄 柱 (基)	木 柱 (基)	不 明 (基)
第5地域	共架柱	983	99	83	34	767
	独立柱	229	0	0	0	229
	合 計	1,212	99	83	34	996

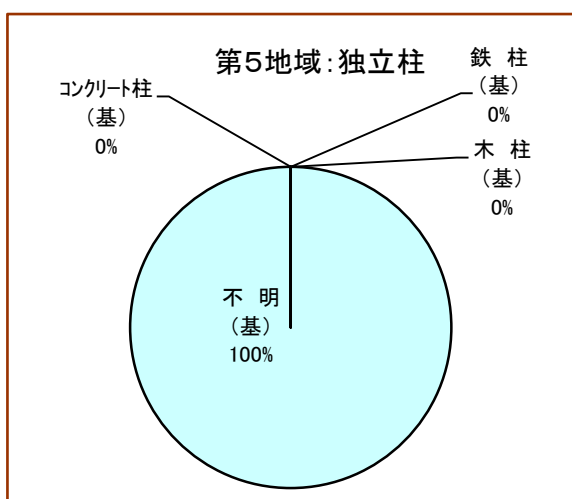
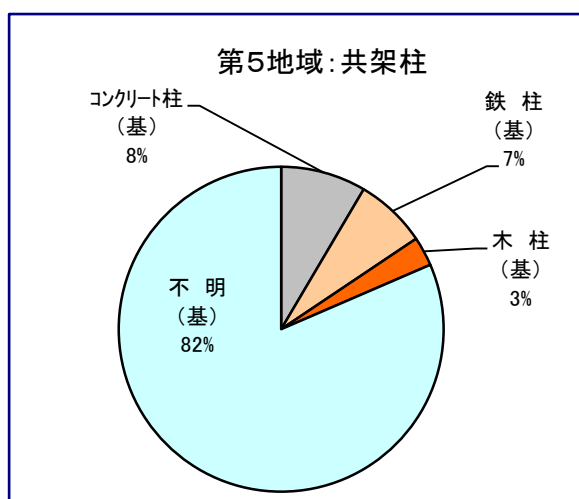


図 3-2-7-29 灯柱形式 (第5地域: 共架柱) 図 3-2-7-30 灯柱形式 (第5地域: 独立柱)

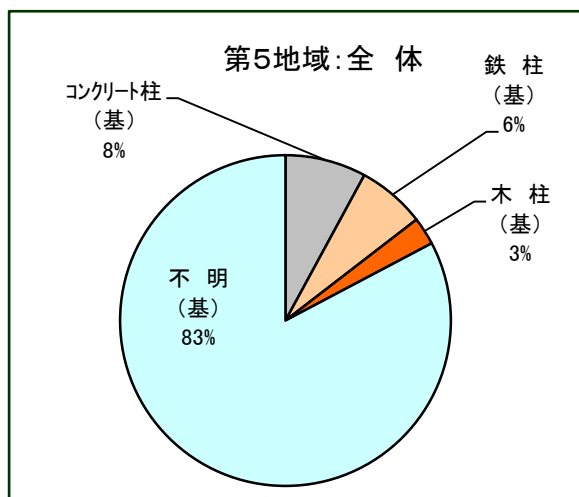


図 3-2-7-31 灯柱形式 (第5地域: 全体)

(6) 第6地域

第6地域の灯種形式は、「共架電柱」が1,357基(77%)を占めています。また、共架形式の中では、「鉄柱」が最も多く、91基で共架形式全体の6%を占めています。

表 3-2-7-11 第6地域の灯柱形式の内訳

地域区分	灯種形式	合 計	コンクリート柱 (基)	鉄 柱 (基)	木 柱 (基)	不 明 (基)
第6地域	共架柱	1,357	86	91	18	1,162
	独立柱	402	0	15	0	387
	合 計	1,759	86	106	18	1,549

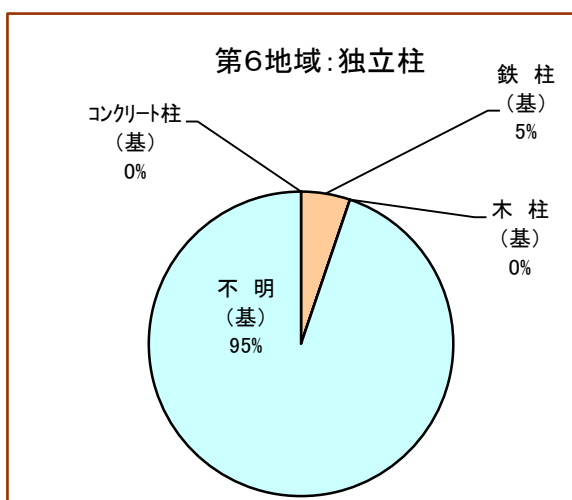
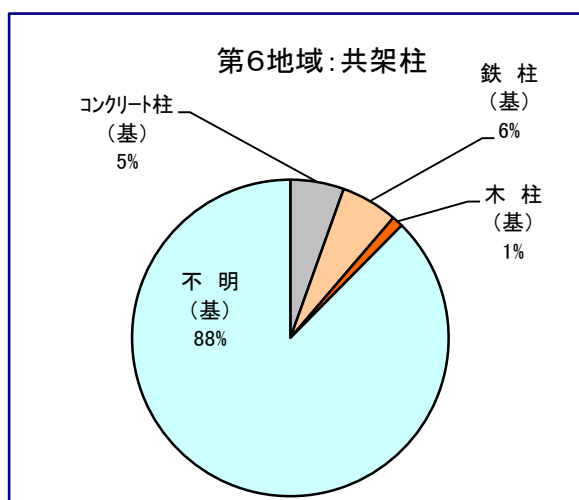


図 3-2-7-32 灯柱形式 (第6地域: 共架柱) 図 3-2-7-33 灯柱形式 (第6地域: 独立柱)

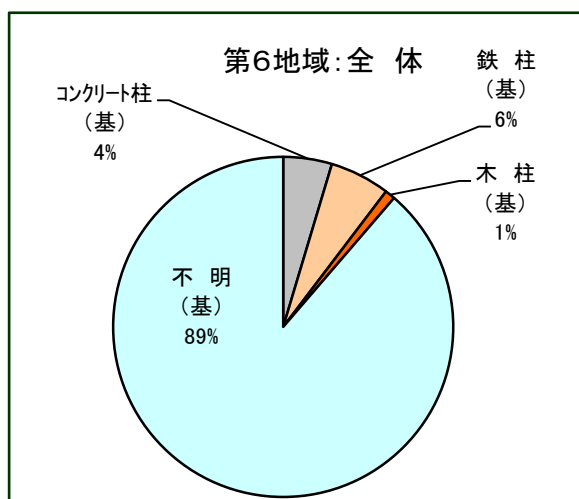


図 3-2-7-34 灯柱形式 (第6地域: 全体)

(7) 第7地域

第7地域の灯種形式は、「共架電柱」が1,796基(80%)を占めています。また、共架形式の中では、「コンクリート柱」が多く、112基で共架形式全体の6%を占めています。

表 3-2-7-12 第7地域の灯柱形式の内訳

地域区分	灯種形式	合 計	コンクリート柱 (基)	鉄 柱(基)	木 柱(基)	不 明(基)
第7地域	共架柱	1,796	112	104	11	1,569
	独立柱	440	0	7	0	433
	合 計	2,236	112	111	11	2,002

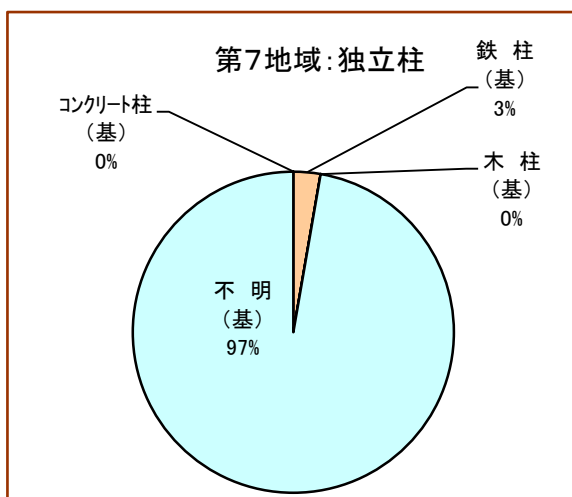
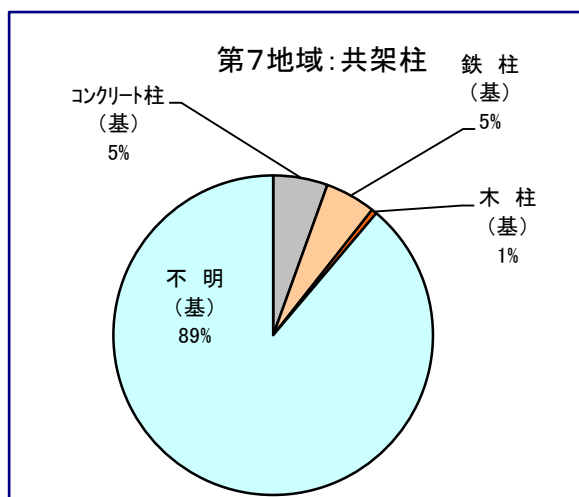


図 3-2-7-35 灯柱形式 (第7地域: 共架柱) 図 3-2-7-36 灯柱形式 (第7地域: 独立柱)

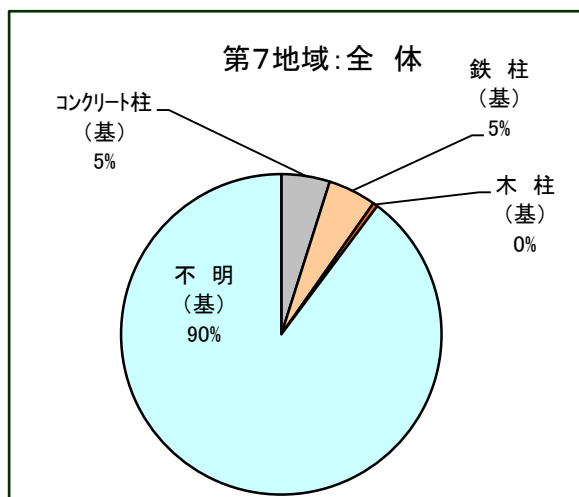


図 3-2-7-37 灯柱形式 (第7地域: 全体)

(8) 第8地域

第8地域の灯種形式は、「共架電柱」が1,254基(89%)を占めています。また、共架形式の中では、「鉄柱」が最も多く、72基で共架形式全体の5%を占めています。

表 3-2-7-13 第8地域の灯柱形式の内訳

地域区分	灯種形式	合 計	コンクリート柱 (基)	鉄 柱 (基)	木 柱 (基)	不 明 (基)
第8地域	共架柱	1,254	31	72	2	1,149
	独立柱	160	0	7	0	153
	合 計	1,414	31	79	2	1,302

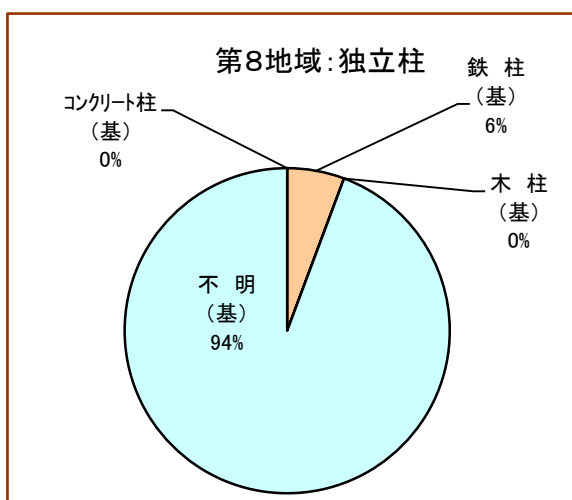
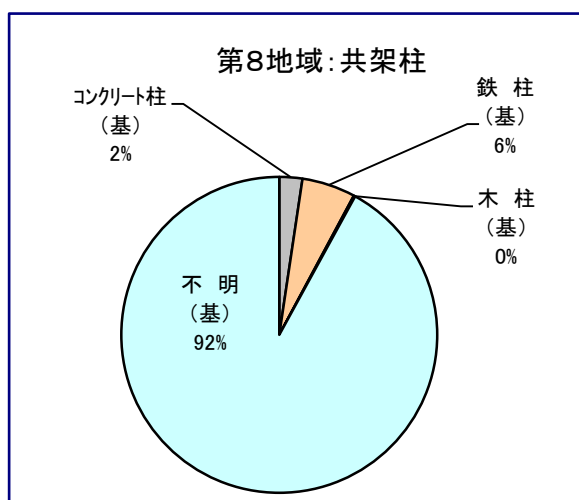


図 3-2-7-38 灯柱形式 (第8地域: 共架柱) 図 3-2-7-39 灯柱形式 (第8地域: 独立柱)

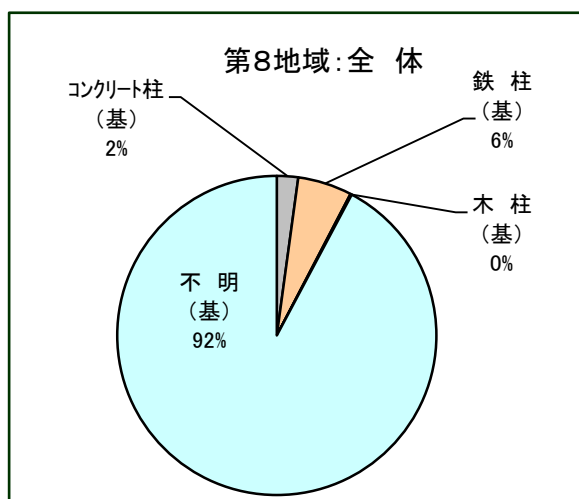


図 3-2-7-40 灯柱形式 (第8地域: 全体)

3.2.8. 道路反射鏡

道路反射鏡は、「管理台帳」を基に整理しました。

3.2.8.1. 全体数量

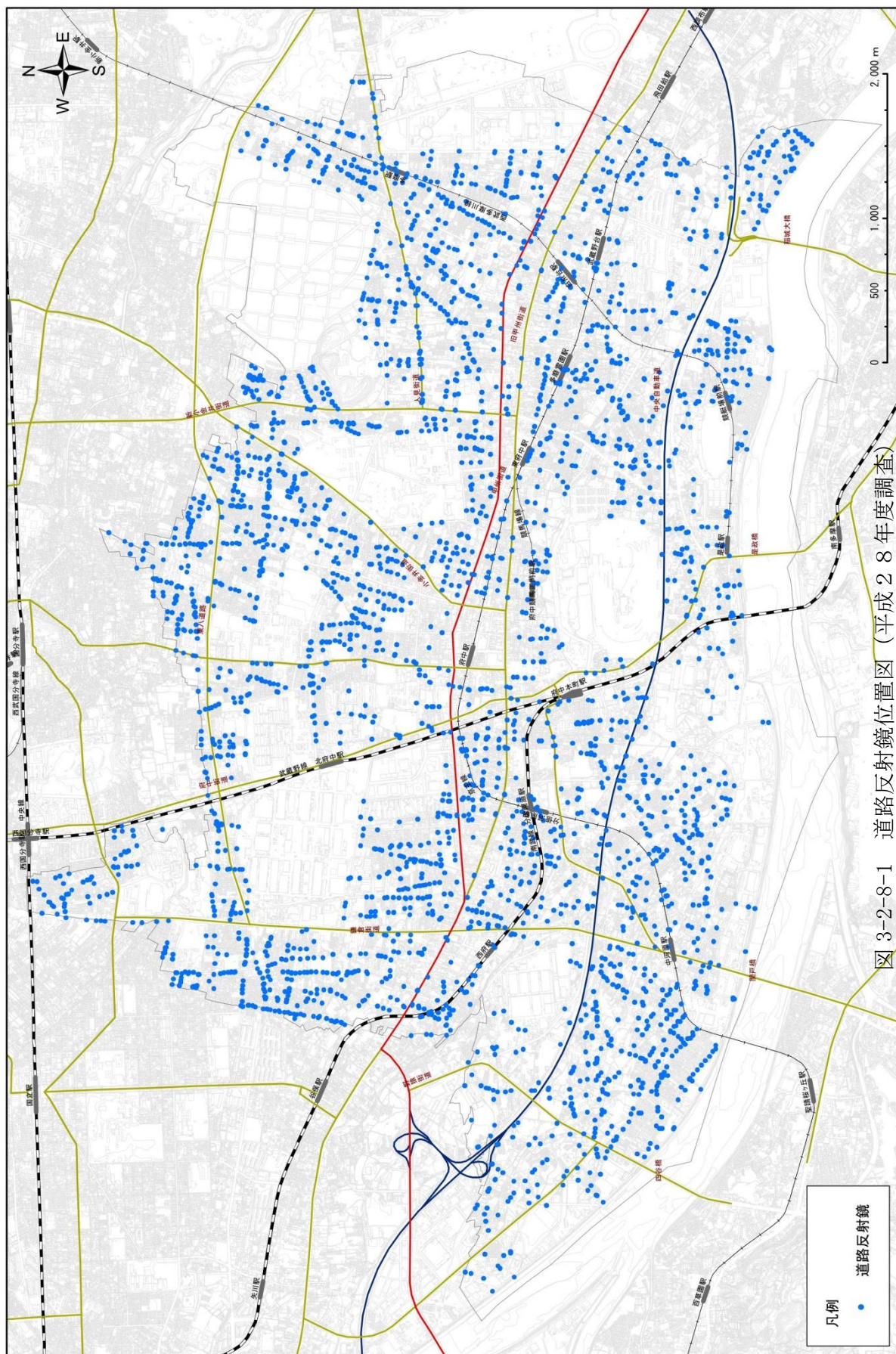
市が管理する道路反射鏡は、3,113 基です。なお、過去 5 年間の年間平均では、17 基の新設（建替えを含む。）、114 基の修理を実施しています。

道路反射鏡は、市が所有している道路反射鏡管理台帳内に記録されています。

表 3-2-8-1 道路反射鏡全体数量

道路反射鏡 の形式	基 数(基)	全体に対する 割合(%)	備 考
独立柱	2,688	86.35%	
共架柱	425	13.65%	
合計	3,113	100%	

3.2.8.2. 道路反射鏡位置



3.2.8.3. 道路反射鏡の整備状況

- 道路反射鏡は年平均 17 基程度新設・建替しています。

表 3-2-8-2 年度別新設個数

年度	個数（建替含む）
平成 23 年度	18
平成 24 年度	21
平成 25 年度	16
平成 26 年度	16
平成 27 年度	13
平均	16.8

- 既存の道路反射鏡については、毎年 500 件 程度点検・清掃を実施しています。
主な点検・清掃内容は、次のとおりです。
- 鏡面の清掃
 - 角度調整等の良好な状態に維持する軽作業
 - 不良なものの報告
 - 鏡面枚数の確認
 - 設置位置の確認
- 上記点検で修繕が必要な道路反射鏡について、年平均 114 件程度措置しています。

表 3-2-8-3 年度別修繕措置の内訳

年度	鏡面取替	支柱取替	その他	合計
平成 23 年度	56	11	74	141
平成 24 年度	71	4	84	159
平成 25 年度	53	7	32	92
平成 26 年度	38	10	43	91
平成 27 年度	45	5	39	89
合計	263	37	272	572
平均	53	7	54	114

3.2.8.4. 地域別集計

市で所有している道路反射鏡を地域別に集計し、次の図に示します。

表 3-2-8-4 地域ごとの道路反射鏡基数

地域区分	道路反射鏡（基）	
	独立	共架
第 1 地域	447	62
第 2 地域	402	77
第 3 地域	507	85
第 4 地域	213	28
第 5 地域	249	40
第 6 地域	327	40
第 7 地域	308	62
第 8 地域	235	31
全 体	2,688	425

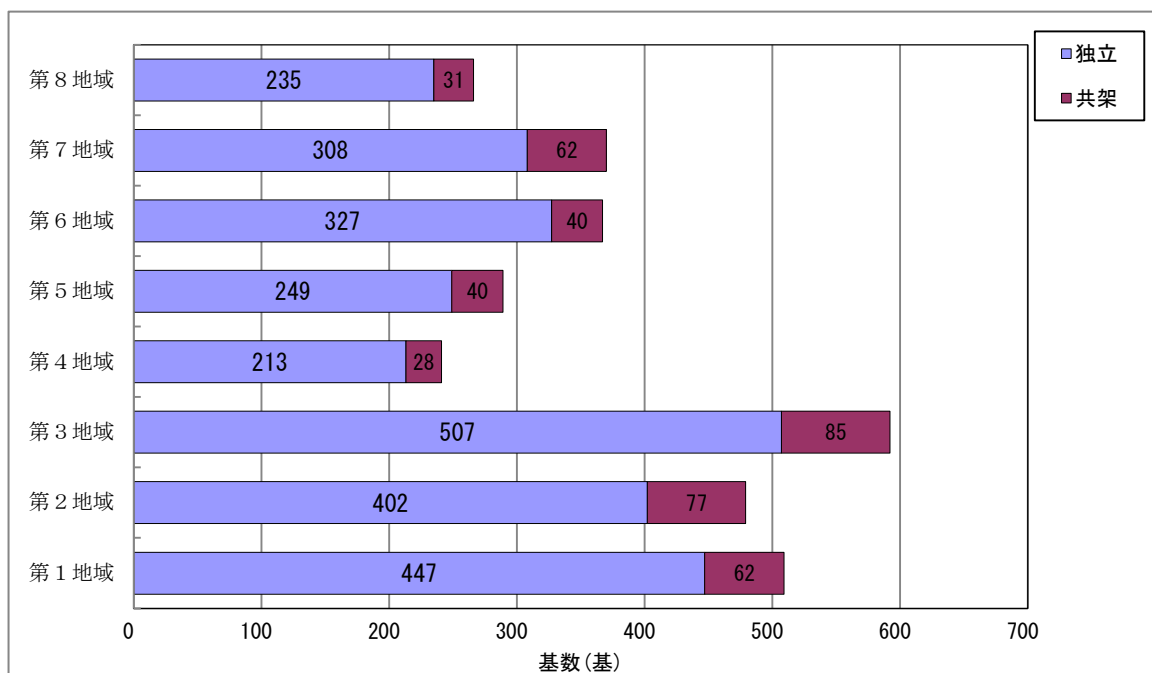


図 3-2-8-2 地域ごとの道路反射鏡基数

3.2.9. 街路樹

街路樹は、平成 2 7 年度に撮影した航空写真から、高さ、樹冠を調査しました。

3.2.9.1. 全体数量

(1) 高さ

府中市が管理する街路樹は、1 0, 4 8 8 本です。このうち、約 6 5 パーセントは、高さ 4 メートル以上 1 2 メートル未満の高木です。

表 3-2-9-1 街路樹の内訳

街路樹の分類	区 分	本 数 (本)	全体に対する割合 (%)
低 木	2m未満	531	5.06%
中 木	2m以上 4m未満	1,783	17.00%
高 木	4m以上 12m未満	6,811	64.94%
高木木	12m以上	1,363	12.99%
合 計		10,488	100.00%

3-2-5

インフラの整備状況（街路樹）

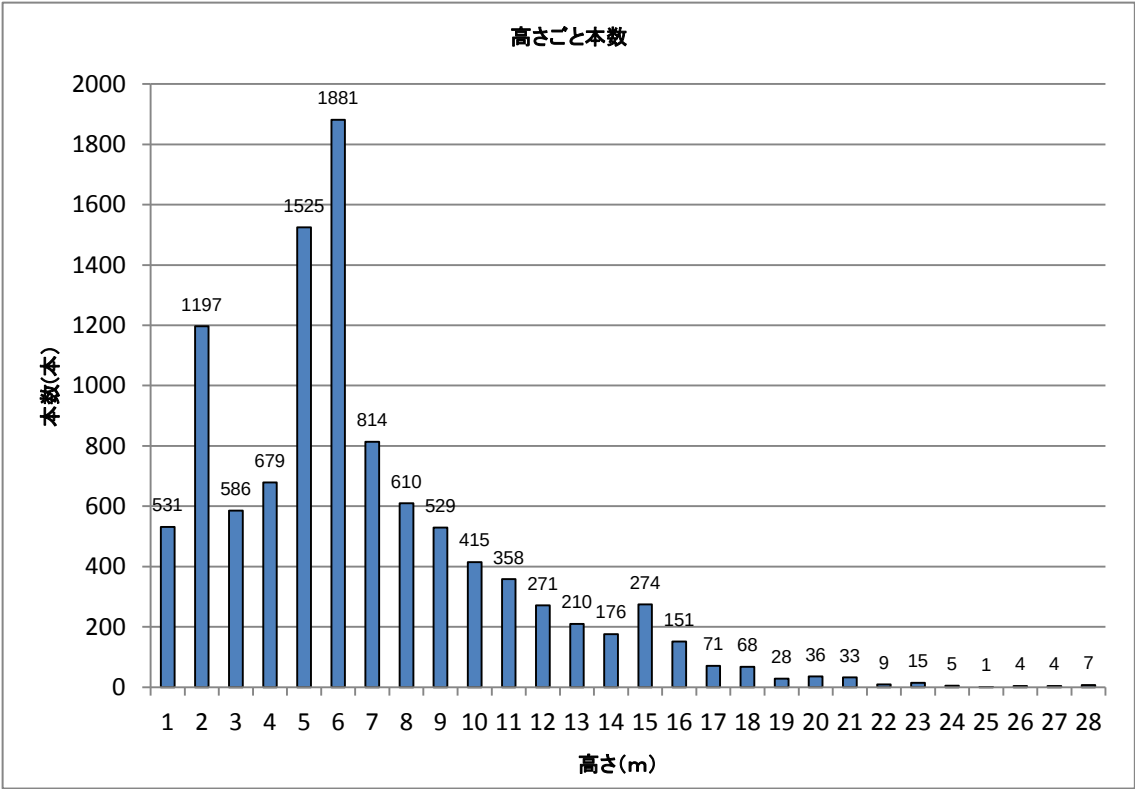


図 3-2-9-1 街路樹の高さ別本数分布図

(2) 樹冠

府中市が管理する街路樹の78パーセントが樹冠直径5メートル程度の街路中であつた。

表 3-2-9-2 街路樹の樹冠内訳

樹冠の分類	区 分 (樹冠直径)	本 数 (本)	全体に対する割合 (%)
小	5m程度	8,144	77.65%
中	10m程度	1,928	18.38%
大	15m程度	416	3.97%
合 計		10,488	100.00%

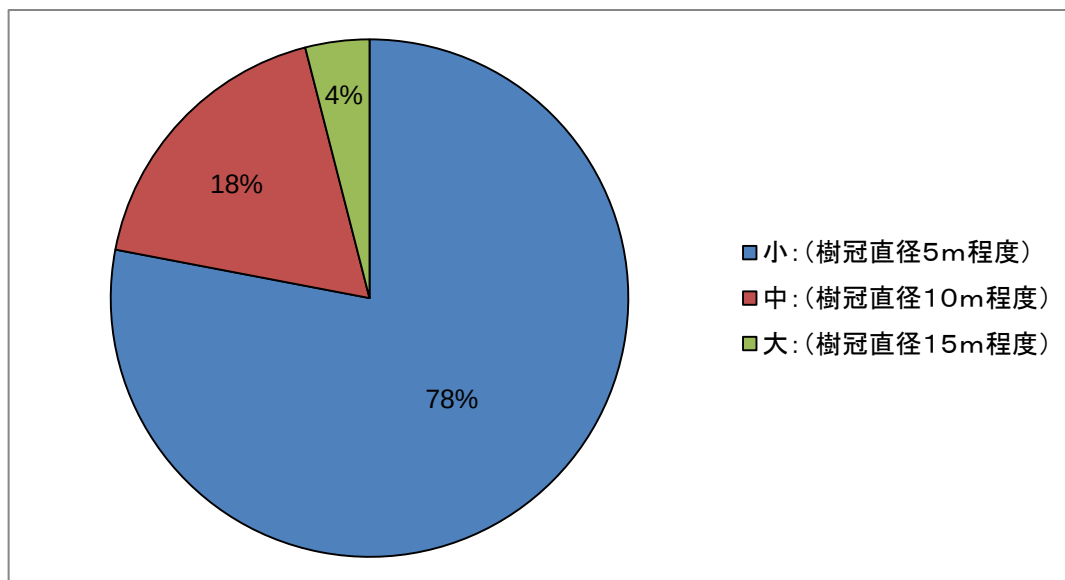


図 3-2-9-2 街路樹の樹冠別割合

3.2.9.2. 街路樹位置



3.2.9.3. 街路樹の整備状況

- 市が管理する街路樹の高さは、平均 6.69m です。
- 樹冠（枝振りの範囲）の大きい街路樹が、特定の路線に片寄っている傾向があります。
- 樹高が高い街路樹が 50 本以上ある路線は、「多摩川通り」、「平和通り」、「競馬場通り」、「けやき並木通り」、「美術館通り」、「桜通り」の 6 路線です。

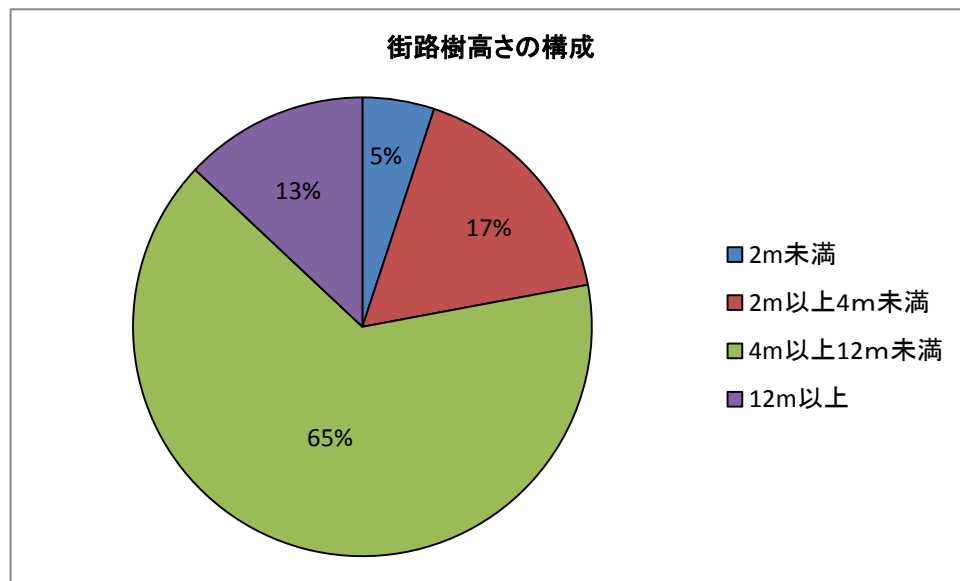


図 3-2-9-4 街路樹高さの構成

3-2-5

インフラの整備状況（街路樹）

3.2.9.4. 地域別集計

(1) 地域別の街路樹本数

街路樹は、「けやき並木通り」、「桜通り」、「府中公園通り」、「競馬場通り」、「平和通り」、「多磨霊園南参道」に多く分布しています。地域では、第1地域、第2地域、第3地域と市の東部地域に多い傾向です。

表 3-2-9-3 地域別の高さごと街路樹本数

分類	低木 (本)	中木 (本)	高木 (本)	高高木 (本)	合計 (本)
区分	2m未満	2m以上 4m未満	4m以上 12m未満	12m以上	
第1地域	70	256	1,364	193	1,883
第2地域	135	272	1,360	278	2,045
第3地域	41	372	1,159	192	1,764
第4地域	70	149	697	350	1,266
第5地域	31	188	406	5	630
第6地域	60	114	558	48	780
第7地域	121	250	856	133	1,360
第8地域	3	182	411	164	760
全体	531	1,783	6,811	1,363	10,488

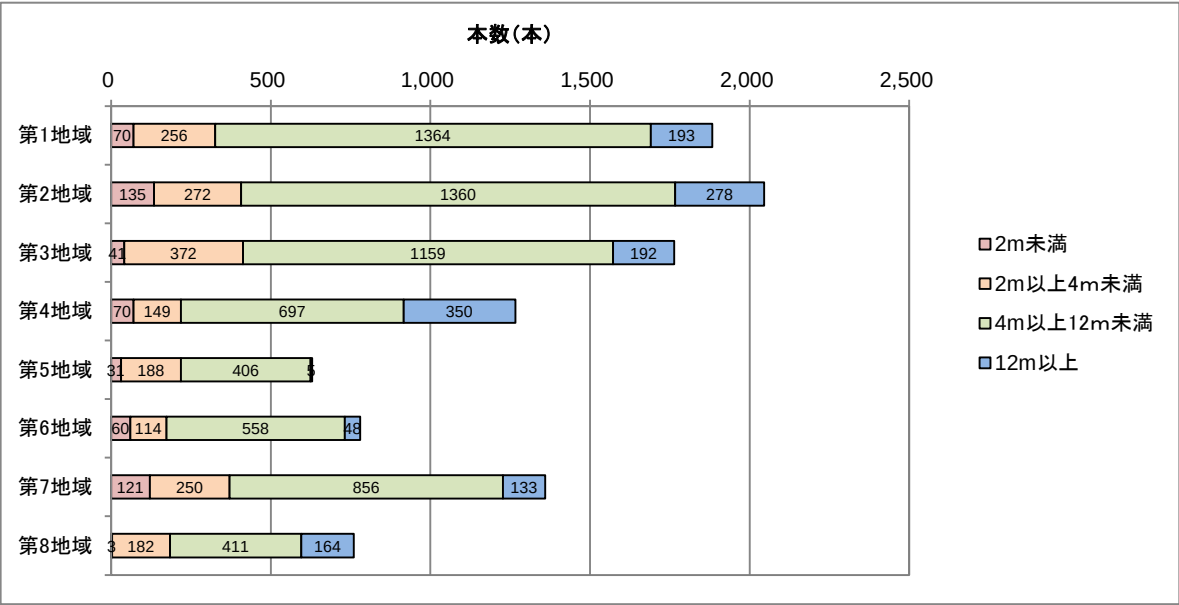


図 3-2-9-5 地域別の高さごと街路樹本数

(2) 路線ごとの街路樹本数

街路樹は、239 路線にあります。街路樹が最も多い路線は、「多摩川通り」(550 本)です。このほかに街路樹が多い市道は、「しみず下通り」(390 本)、「中央道側道」(387 本)、「美術館通り」(363 本)、「競馬場通り」(331 本)、「浅間山通り」(324 本)、「学園通り」(305 本)です。

なお、前回調査から精査して路線の見直しを行った結果、路線数は前回路線数(247 路線)より減少しています。

表 3-2-9-4 路線別の高さごと本数 (1/2)

連番	路線名称	低木 (本)	中木 (本)	高木 (本)	高高木 (本)	総計
		2m未満	2m以上 4m未満	4m以上 12m未満	12m以上	
1	あかしあ通り	1	32	29	1	63
2	あんず通り	0	99	73	0	172
3	いちょう通り	0	0	281	9	290
4	かえで通り	0	1	195	32	228
5	くすのき通り	0	3	202	0	205
6	けやき並木通り	0	0	0	85	85
7	しみず下通り	50	79	257	4	390
8	すずかけ通り-1	1	10	108	0	119
8	すずかけ通り-2	0	2	27	0	29
9	スタジアム通り	0	0	214	3	217
10	ふるさと通り	0	12	126	0	138
11	押立通り	0	1	3	1	5
12	横街道	0	14	47	0	61
13	下河原通り	0	30	31	0	61
14	学園通り	0	93	203	9	305
15	宮町中央通り	0	0	0	2	2
16	京所道	0	2	8	0	10
17	競艇場通り	0	14	98	0	112
18	競馬場正門通り	0	0	11	0	11
19	競馬場通り	11	6	192	122	331
20	九中通り	1	36	107	0	144
21	御狐場道	5	3	81	0	89
22	桜通り	0	1	126	58	185
23	三本木通り	0	17	68	0	85
24	七小通り	0	17	25	0	42
25	芝間通り	0	9	12	0	21
26	十中通り	0	14	56	0	70
27	新宿仲通り	0	26	11	0	37
28	是政通り	0	1	11	0	12
29	西府駅前通り	18	0	0	0	18
30	浅間山通り	0	1	293	30	324
31	多摩川通り	1	4	116	429	550
32	多磨駅東通り	43	0	1	1	45
33	多磨町通り	0	0	4	0	4
34	多磨雲園南参道	0	0	155	28	183
35	中央道側道	85	43	248	11	387
36	朝日町通り	7	22	203	1	233
37	東郷寺通り	0	1	13	0	14
38	東大山道	0	1	24	0	25
39	奈良橋通り	0	1	69	0	70
40	南通り	0	3	17	0	20
41	日新四谷通り	3	70	19	0	92
42	日新通り	0	59	61	0	120
43	白糸台通り	0	8	131	38	177
44	番場北表通り	9	0	1	0	10
45	美好町通り	0	30	72	0	102
46	美術館通り	1	114	188	60	363
47	品川街道	1	63	101	0	165
48	富士見通り	0	66	132	1	199
49	府中駅前通り	0	0	3	0	3
50	府中公園通り	0	0	63	26	89
51	武蔵台通り	30	0	0	0	30
52	分梅通り	0	0	45	0	45
53	平和通り	0	0	31	142	173
54	本宿小通り	1	46	25	0	72
55	本宿南表通り	16	0	18	0	34
56	六中通り	4	0	46	0	50

連番	路線名称	低木 (本)	中木 (本)	高木 (本)	高高木 (本)	総計
		2m未満	2m以上 4m未満	4m以上 12m未満	12m以上	
57	1-102	0	13	5	0	18
58	1-12	0	25	3	0	28
59	1-139	6	0	0	0	6
60	1-20	0	0	8	14	22
61	1-300	0	1	15	0	16
62	1-302	0	0	56	17	73
63	1-303	8	0	0	0	8
64	1-307	0	0	125	29	154
65	1-330	0	0	7	0	7
66	1-349	0	3	0	0	3
67	1-354	0	0	30	0	30
68	1-355	0	0	29	11	40
69	1-357	0	0	1	0	1
70	1-392	24	4	8	0	36
71	1-410	0	0	1	0	1
72	1-67	0	0	3	1	4
73	1-90	0	0	13	0	13
74	1-96	0	9	10	0	19
75	2-119	0	1	0	0	1
76	2-130	0	2	5	0	7
77	2-145	0	3	3	0	6
78	2-148	0	0	16	0	16
79	2-149	0	0	22	0	22
80	2-160	0	32	42	0	74
81	2-174	0	7	1	1	9
82	2-179	0	0	0	1	1
83	2-189	0	2	15	0	17
84	2-206	0	0	1	0	1
85	2-208	0	3	11	0	14
86	2-227	2	2	15	16	35
87	2-230	0	0	5	1	6
88	2-231	0	12	8	0	20
89	2-234	0	0	32	0	32
90	2-243	38	1	0	0	39
91	2-250	0	1	1	0	2
92	2-279	0	0	17	5	22
93	2-280	0	0	41	3	44
94	2-281	0	0	8	17	25
95	2-288	0	0	10	0	10
96	2-302	0	6	2	0	8
97	2-311	0	0	1	0	1
98	2-312	0	0	3	3	6
99	2-317	0	0	9	0	9
100	2-318	0	2	2	0	4
101	2-319	0	0	2	0	2
102	2-59	0	8	3	0	11
103	2-74	0	5	12	0	17
104	2-93	0	0	27	0	27
105	3-100	14	23	1	0	38
106	3-131	0	9	2	0	11
107	3-133	0	1	13	5	19
108	3-134	0	1	19	6	26
109	3-144	0	0	3	3	6
110	3-148	0	1	17	2	20
111	3-15	0	0	0	18	18
112	3-150	0	2	3	0	5
113	3-17	0	10	22	0	32
114	3-172	0	9	16	0	25
115	3-173	0	7	20	0	27
116	3-187	0	8	25	0	33
117	3-188	0	0	19	0	19
118	3-2	0	0	18	25	43
119	3-211	0	0	1	0	1
120	3-25	0	0	4	0	4
121	3-255	0	0	12	0	12
122	3-257	0	0	26	0	26
123	3-284	0	0	5	0	5
124	3-285	0	0	3	0	3
125	3-286	0	3	9	0	12
126	3-288	0	0	35	2	37
127	3-29	0	5	10	3	18

3-2-5

インフラの整備状況(街路樹)

表 3-2-9-4 路線別の高さごと本数 (2/2)

連番	路線名称	低木 (本)	中木 (本)	高木 (本)	高木 (本)	総計
		2m未満	2m以上 4m未満	4m以上 12m未満	12m以上	
128	3-4	0	0	14	3	17
129	3-405	0	30	18	0	48
130	3-427	1	5	5	0	11
131	3-430	1	5	34	0	40
132	3-431	0	0	12	0	12
133	3-432	0	3	33	0	36
134	3-445	0	0	8	1	9
135	3-446	0	0	11	0	11
136	3-451	0	0	3	0	3
137	3-58	1	3	15	0	19
138	3-79	0	4	3	0	7
139	3-83	0	0	4	0	4
140	3-94	0	32	79	19	130
141	3-95	0	4	28	0	32
142	4-112	0	0	1	5	6
143	4-117	0	9	9	0	18
144	4-121	0	0	13	11	24
145	4-124	6	0	0	0	6
146	4-132	1	0	3	0	4
147	4-154	0	3	10	0	13
148	4-159	0	0	4	0	4
149	4-162	0	0	4	0	4
150	4-186	3	0	11	2	16
151	4-202	15	1	49	0	65
152	4-207	0	2	11	0	13
153	4-21	0	0	2	0	2
154	4-213	0	0	11	0	11
155	4-22	0	5	16	2	23
156	4-228	0	16	28	0	44
157	4-229	0	3	2	0	5
158	4-23	0	0	7	0	7
159	4-24	0	1	15	0	16
160	4-245	0	22	3	0	25
161	4-25	0	5	2	0	7
162	4-251	0	0	26	0	26
163	4-258	0	62	20	1	83
164	4-267	0	6	7	1	14
165	4-272	0	8	0	0	8
166	4-280	0	2	1	0	3
167	4-281	3	0	1	0	4
168	4-284	0	0	2	0	2
169	4-288	0	0	4	0	4
170	4-318	29	2	0	0	31
171	4-320	0	1	23	0	24
172	4-325	0	6	17	0	23
173	4-338	0	11	4	0	15
174	4-343	0	3	17	2	22
175	4-345	0	0	13	6	19
176	4-352	0	3	11	0	14
177	4-354	0	0	4	7	11
178	4-36	25	0	2	2	29
179	4-38	0	0	3	0	3
180	4-383	0	2	13	0	15
181	4-384	0	0	17	0	17
182	4-388	16	2	2	0	20
183	4-390	0	5	6	0	11
184	4-392	0	0	9	0	9
185	4-393	3	0	0	0	3
186	4-394	0	1	5	0	6
187	4-398	0	0	5	0	5

連番	路線名称	低木 (本)	中木 (本)	高木 (本)	高木 (本)	総計
		2m未満	2m以上 4m未満	4m以上 12m未満	12m以上	
188	4-41	0	5	4	0	9
189	4-424	0	7	3	0	10
190	4-443	1	1	33	0	35
191	4-474	0	0	3	0	3
192	4-482	0	13	0	0	13
193	4-466	8	6	3	0	17
194	4-467	0	10	3	0	13
195	4-74	0	13	11	0	24
196	4-90	4	5	6	0	15
197	4-95	8	0	0	0	8
198	5-101	0	2	3	0	5
199	5-103	0	0	1	0	1
200	5-131	0	44	59	2	105
201	5-136	0	15	86	0	101
202	5-141	0	3	17	0	20
203	5-167	0	1	6	3	10
204	5-188	0	4	22	0	26
205	5-200	0	2	4	0	6
206	5-201	0	13	13	0	26
207	5-228	0	0	16	13	29
208	5-231	0	5	1	0	6
209	5-4	8	1	10	0	19
210	5-48	0	0	13	0	13
211	5-50	0	2	9	0	11
212	5-80	16	0	0	0	16
213	5-93	0	4	2	0	6
214	6-136	0	8	3	0	11
215	6-140	0	11	7	0	18
216	6-165	2	0	0	0	2
217	6-195	0	2	7	0	9
218	6-203	0	2	11	0	13
219	6-217	0	7	8	0	15
220	6-218	0	12	25	0	37
221	6-229	0	0	19	0	19
222	6-235	0	1	3	0	4
223	6-246	0	0	3	0	3
224	6-258	0	1	4	0	5
225	6-263	0	3	12	0	15
226	6-264	0	0	14	0	14
227	6-265	0	0	15	3	18
228	6-27	0	2	2	0	4
229	6-279	0	2	6	0	8
230	6-281	0	2	9	0	11
231	6-294	0	0	9	0	9
232	6-31	0	0	2	0	2
233	6-319	0	6	5	0	11
234	6-320	0	0	24	1	25
235	6-325	0	15	6	0	21
236	6-326	0	10	3	0	13
237	6-35	0	0	10	0	10
238	6-59	0	1	3	0	4
239	6-62	0	0	1	3	4

3-2-5

インフラの整備状況（街路樹）

3.2.10. 橋りょう

橋りょうは、市が管理する橋りょう台帳および現地確認、目視点検により現状を確認しました。

3.2.10.1. 全体数量

(1) 橋りょう数

市が管理する橋りょうは、道路橋が 21 橋、歩道橋が 15 橋の合計 36 橋です。

橋りょう数は表 3-2-10-1 のとおりです。また、市が管理する橋りょう一覧表を表 3-2-10-2、表 3-2-10-3 に示します。

表 3-2-10-1 橋りょう数

橋 種	橋りょう数	路線数
道路橋	21 橋	19 路線
歩道橋	15 橋	9 路線
合計	36 橋	28 路線

(2) 橋りょうリスト

橋りょう台帳を基に現地を確認した市が管理する橋りょうについて、次のとおり示します。

表 3-2-10-2 市が管理する道路橋

No	橋梁名	路線名	所在地	橋長(m)	架設年度	橋種
1	鶴代橋	しみず下通り	小柳町2-45 ~ 小柳町3-19	213	1990	PC橋
2	富士見通り立体橋	富士見通り	晴見町2-24-14	35.4	1973	鋼橋
3	白糸橋1号	白糸台通り	白糸台5-18-2	15	1976	RC橋
4	白糸橋2号	白糸台通り	白糸台5-19-15	10.5	1976	RC橋
5	白糸橋3号	市道2-221号	白糸台5-5-10	10.5	1976	RC橋
6	小柳橋	市道2-107号	小柳町4丁目	16	1984	RC橋
7	みょうらい橋	市道4-90号	本町2-10-13	20	1977	PC橋
8	中央道側道1号	中央道側道1号	中央道側道1号	8.14	1950	RC橋
9	矢崎排水第三号橋	市道4-280号	是政3-47-1	5.51	1962	RC橋
10	256号	市道4-276号	是政3-61-2	4.47	1967	RC橋
11	雑田橋	市道4-173号	本町3-31-22	5.75	1972	RC橋
12	261号	市道6-117号	住吉町1-33-2	2.56	1972	RC橋
13	262号	市道6-121号	住吉町4-26-1	2.83	1965	RC橋
14	大山橋	大山道	日新町2-23-1	7.11	1963	RC橋
15	相模橋	大山道	日新町2-40-1	4.08	1963	RC橋
16	264号	市道6-67号	日新町5-17-1	2.75	1965	RC橋
17	208号	東大山道	四谷2-44-5	3.7	1964	RC橋
18	265号	市道6-263号	四谷2-37-5	2.36	1966	RC橋
19	火の見橋	市道6-176号	四谷2-54-3	2.9	1965	RC橋
20	267号	三屋通り	日新町5-50-7	2.99	1970	不明
21	270号	市道6-269号	日新町4-44-1	3.41	1967	RC橋

3-2-4

インフラの整備状況（橋りょう）

表 3-2-10-3 市が管理する歩道橋

No	橋梁名	路線名	所在地	橋長(m)	架設年度	橋種	管理者
1	分倍1号橋	市道4-158号	分梅町1-7	19.53	1929	鋼橋	市
2	武蔵台3丁目跨線橋	市道5-174号	武蔵台3-52-9	30.5	1960	鋼橋	市
3	第六小前歩道橋	学園通り	天神4-14	11.5	1968	鋼橋	市
4	第九小前歩道橋	学園通り	栄町3-7	12	1968	鋼橋	市
5	紅葉丘歩道橋	多摩霊園南参道	紅葉丘1-30	10.5	1968	鋼橋	市
6	第五小前歩道橋	市川緑道	日新町1-7	33.85	1973	鋼橋	市
7	西府駅南側西府崖線歩道橋	市川緑道	日新町1-6	48	2010	鋼橋	市
8	西武多摩川線横断歩道橋	無し	小柳町2-46	16.25	1973	鋼橋	市
9	本町2丁目跨線人道橋	市道4-122号	本町1-6-1	34.35 (85.60)	1974	鋼橋	市
10	車返団地横断歩道橋	白糸台通り	白糸台5-31	31	1975	RC橋	市
11	南白糸台横断歩道橋	しみず下通り	押立町2-30	22.75	1975	鋼橋	市
12	分倍河原駅人道橋	無し	片町2-38	39 14.4	1978	鋼橋	市
13	府中スカイナード (府中駅北口歩道橋)	府中駅前通り (及び国道20号)	府中町1-14	34.5	1994	鋼橋	市
14	観月橋立体交差人道橋	市道4-138号	矢崎町1-32-2	7.9	1972	RC橋	市
15	北府中駅階段	府中街道	晴見町2-27	20.4	2014	鋼橋	市

3-2-4

インフラの整備状況（橋りょう）

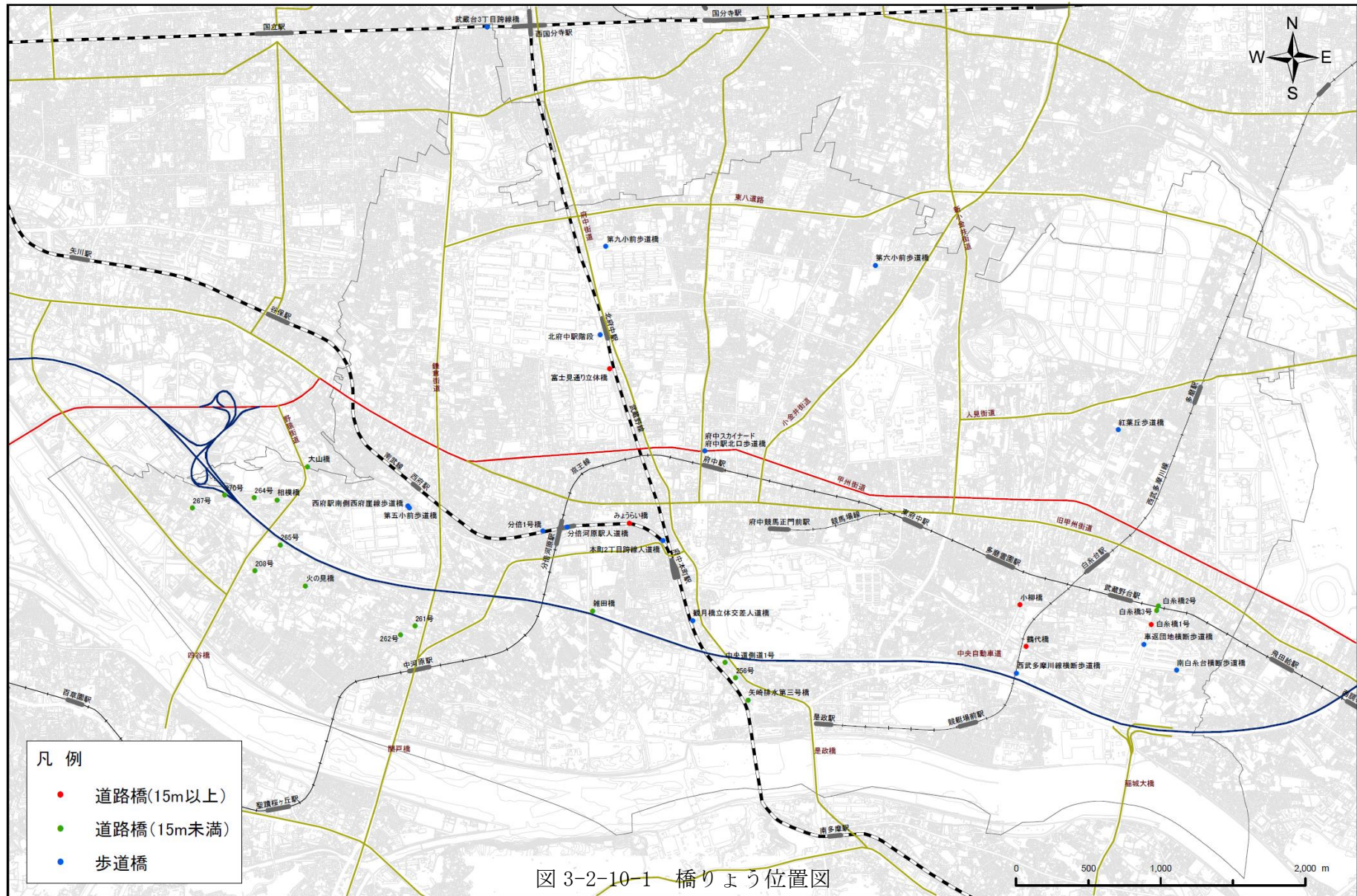
3.2.10.2. 橋りょう位置

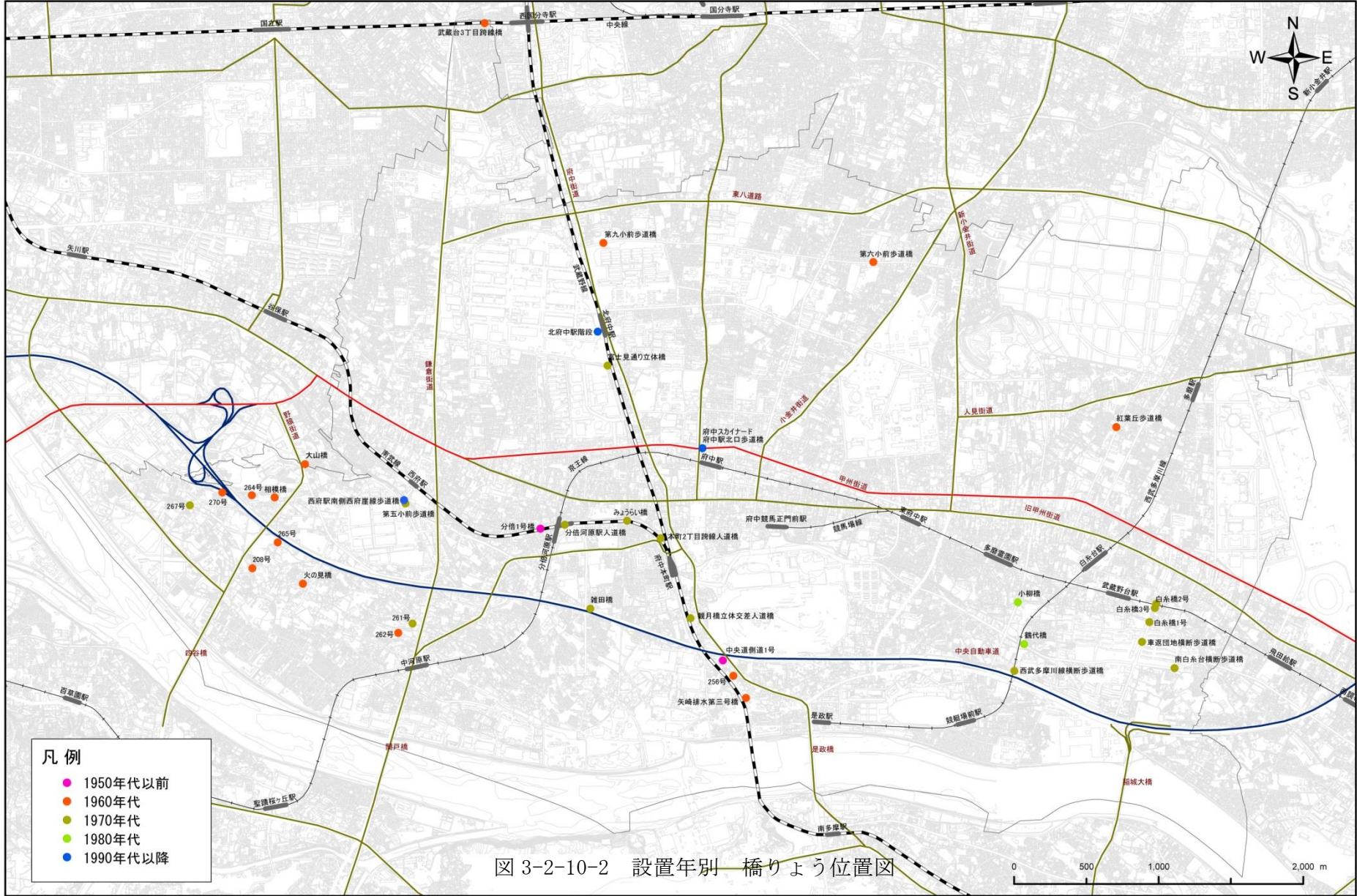
次頁より市が管理する道路橋と歩道橋の位置を、指標ごとに位置図で示します。

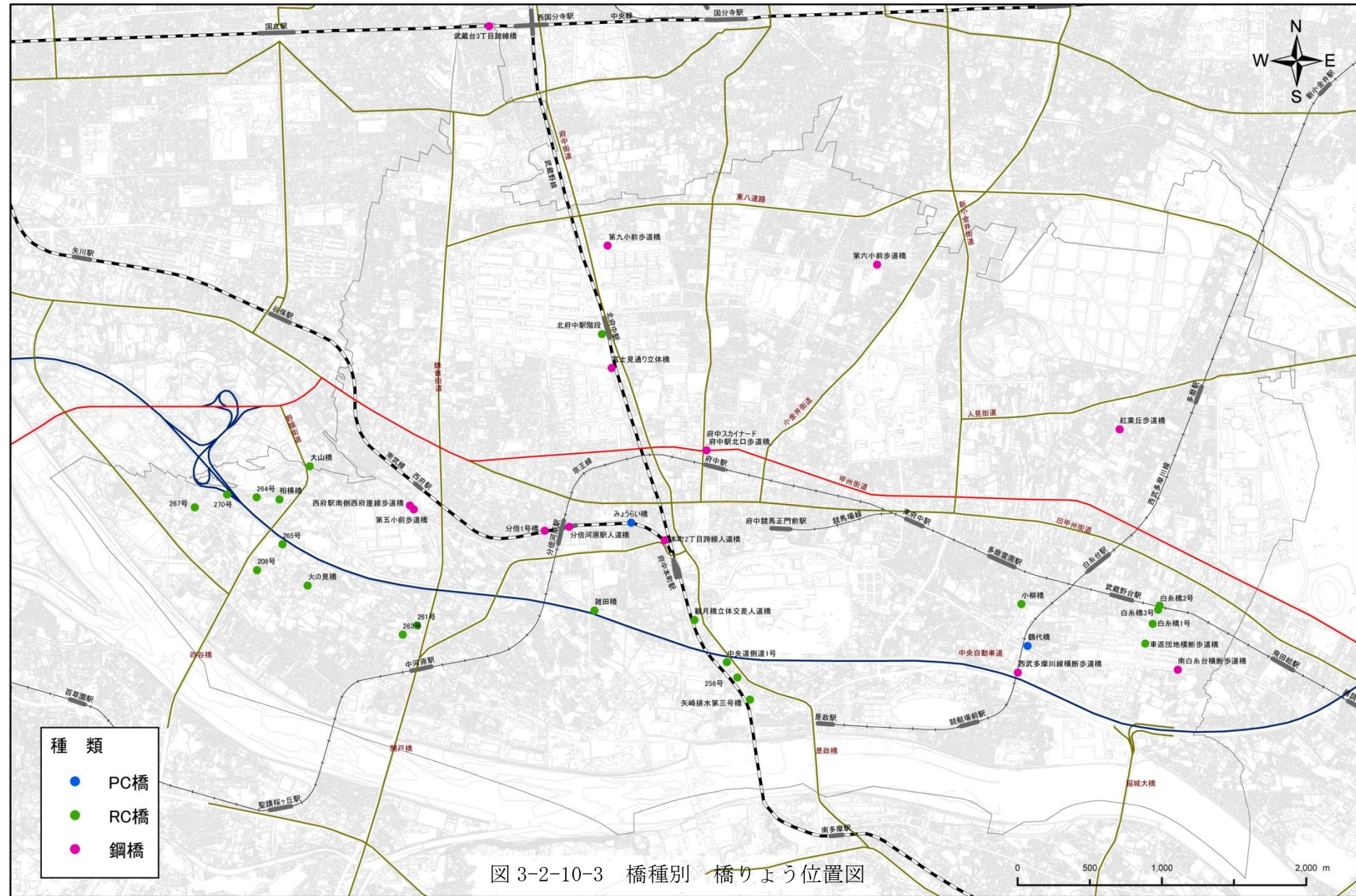
- 1) 橋りょう施設 (図 3-2-10-1)
- 2) 設置年別 (図 3-2-10-2)
- 3) 橋種別 (図 3-2-10-3)
- 4) 建設年代と橋長別 (図 3-2-10-4)

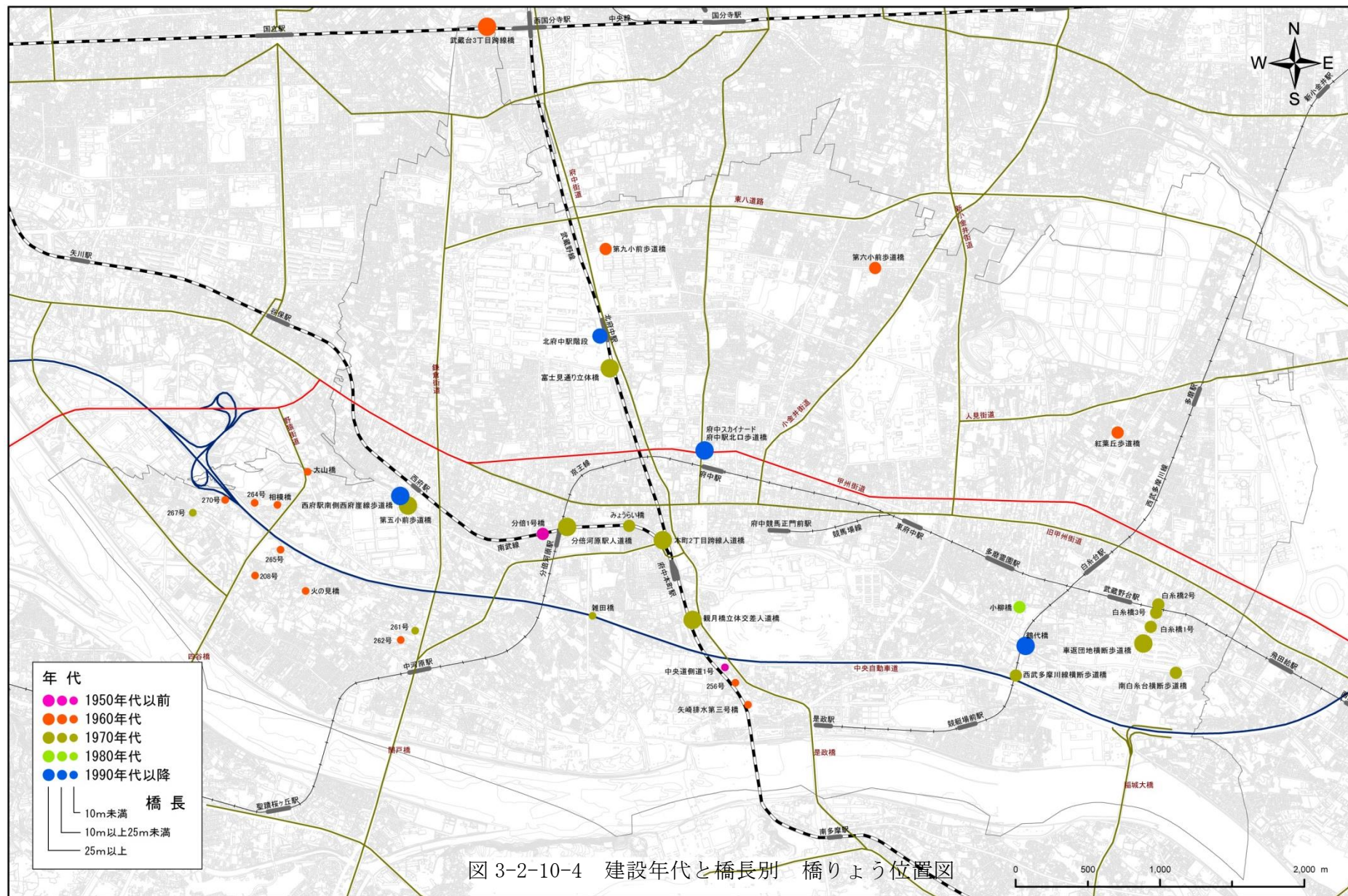
3-2-4

インフラの整備状況
(橋りょう)









3.2.10.3. 橋りょうの整備状況

(1) 橋りょう数の推移

府中市が管理する橋りょうは、道路橋が21橋、歩道橋が15橋の合計36橋です。なお、橋りょうの数は、昭和35年度から昭和44年度にかけて急増しており、橋りょうの管理延長は、昭和47年度から昭和54年度にかけて増加しています。これは、建設技術の向上等により、昭和45年度以前に整備された橋りょうに比べ、1橋当たりの規模が大きくなったことによります。

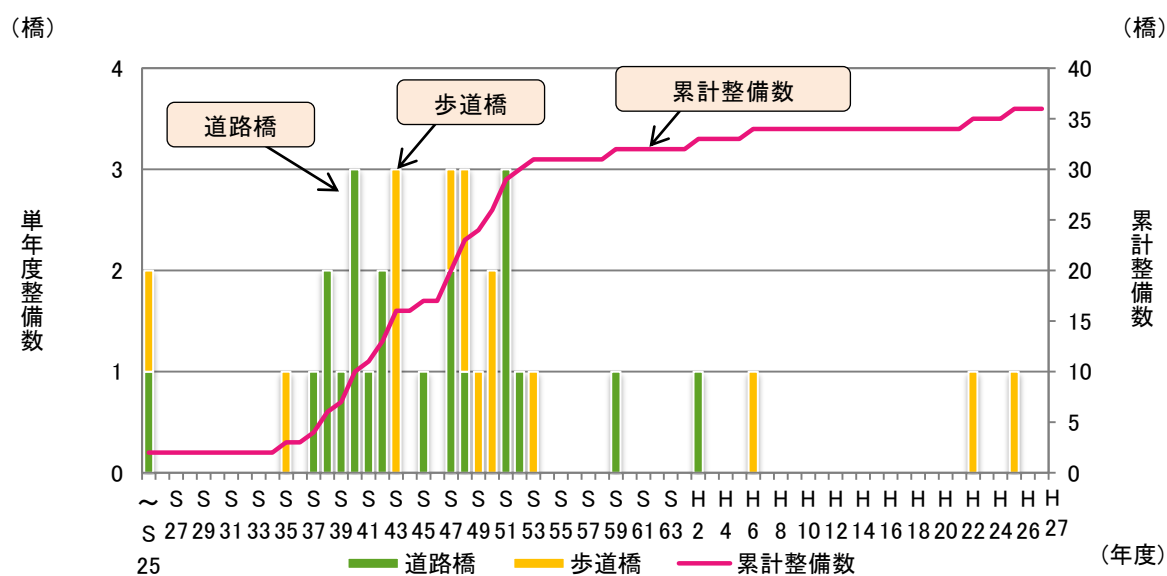


図 3-2-10-5 橋りょうの建設年度分布

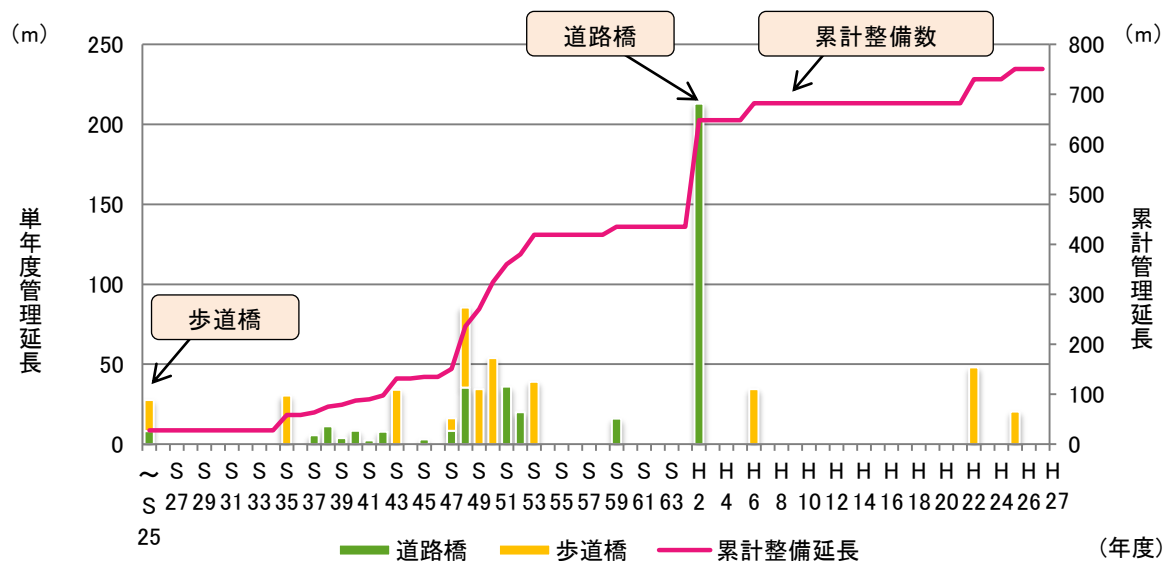


図 3-2-10-6 橋りょうの管理延長の推移

(2) 橋りょうの建設年度

市で管理する橋りょう 36 橋について建設年を 10 年単位で整理した図を示します。平成 28 年度（2017 年）現在、建設から 50 年以上を経過した橋りょうは 36.1%（13 橋）で、国土交通白書で示される全国の平均的割合（約 20%：2016 年度実績）と比べ多い傾向です。また、40 年以上 49 年以下の橋りょうも 47.2%と高く、今後は耐用年数が近い高齢化橋りょうとして維持していくことになります。

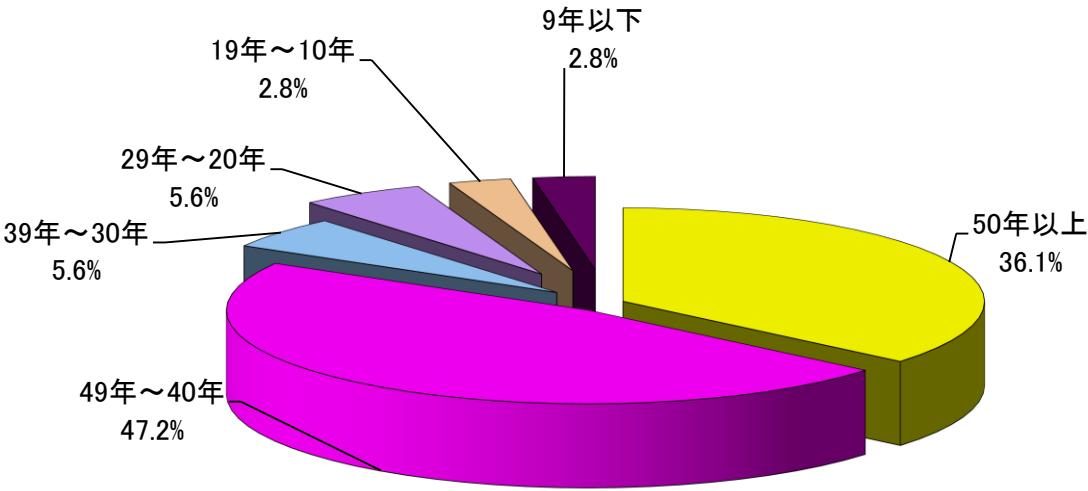


図 3-2-10-7 管理橋りょうの供用年数区分

表 3-2-10-4 府中市の道路橋の供用年数区分内訳 一覧表

供用年数の分類	合 計
供用後 50 年以上が経過している橋りょう （昭和 42 年（1967 年）以前に供用開始）	13 橋 （36.1%）
供用後 49 年～40 年が経過している橋りょう （昭和 52 年（1977 年）以前に供用開始）	17 橋 （47.2%）
供用後 39 年～30 年が経過している橋りょう （昭和 62 年（1987 年）以前に供用開始）	2 橋 （5.6%）
供用後 29 年～20 年が経過している橋りょう （平成 9 年（1997 年）以前に供用開始）	2 橋 （5.6%）
供用後 19 年～10 年が経過している橋りょう （平成 19 年（2007 年）以前に供用開始）	1 橋 （2.8%）
供用後 9 年以内の橋りょう （平成 20 年（2008 年）以降に供用開始）	1 橋 （2.8%）
合 計	36 橋

橋りょうを今後も供用し続ける条件のもとで将来の推計を行うと、2017 年度を基準として建設後 50 年以上と 50 年未満で整理した場合、2027 年に 83.3%，2057 年に約 94.4%の橋りょうが 50 年以上となります。（図 3-2-10-8）

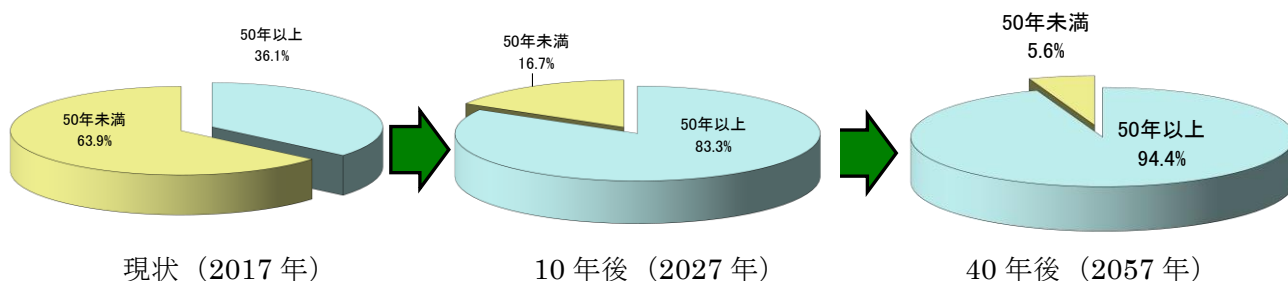


図 3-2-10-8 建設後 50 年以上を経過する道路橋の割合

(3) 橋りょうの種類

市が管理する道路橋の材質を、「橋りょう数単位」と「橋りょう延長単位」で整理します。「橋りょう数単位」で集計すると、R C 橋の占める割合が 54.3%と多い傾向です。また、「橋りょう延長単位」で比較すると、54.1%で鋼橋が多くなります。

なお、市の P C 橋は、鶴代橋の一橋のみです。このことから、小規模橋りょうは R C 橋（現場打ち鉄筋コンクリート橋）や鋼橋としていることが確認できます。

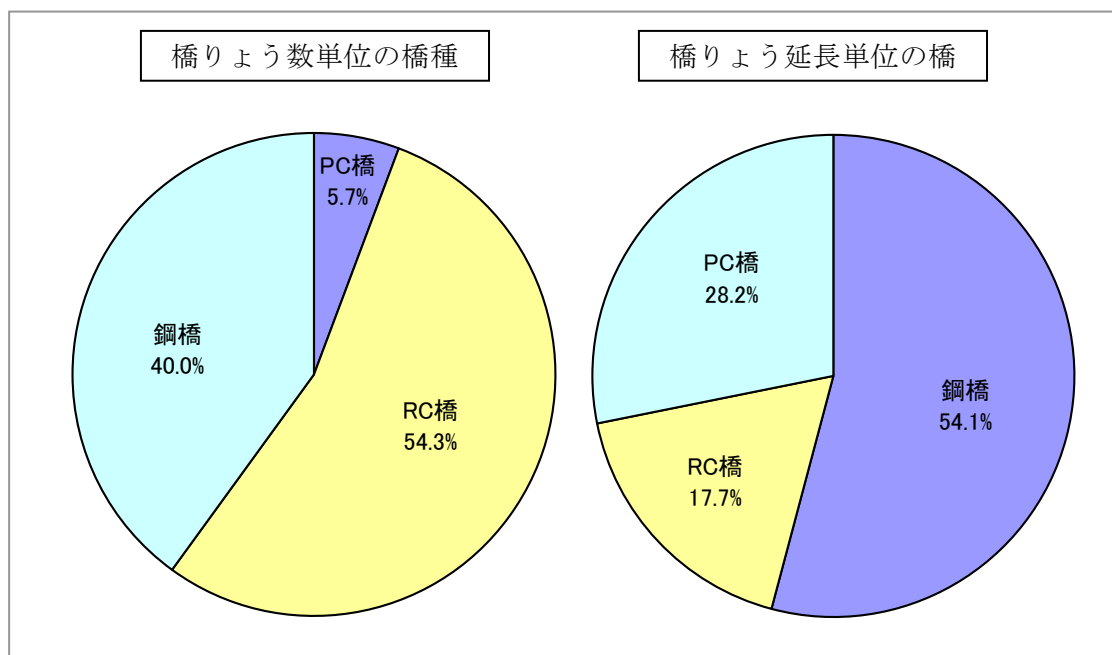


図 3-2-10-9 橋りょう種類の内訳

(4) 橋長分類

橋長別に分類すると、橋長が5m以下のものが最も多くあります。また、鶴代橋は市で唯一の100mを越える大型道路橋（鶴代橋）であり、その橋長は213mです。

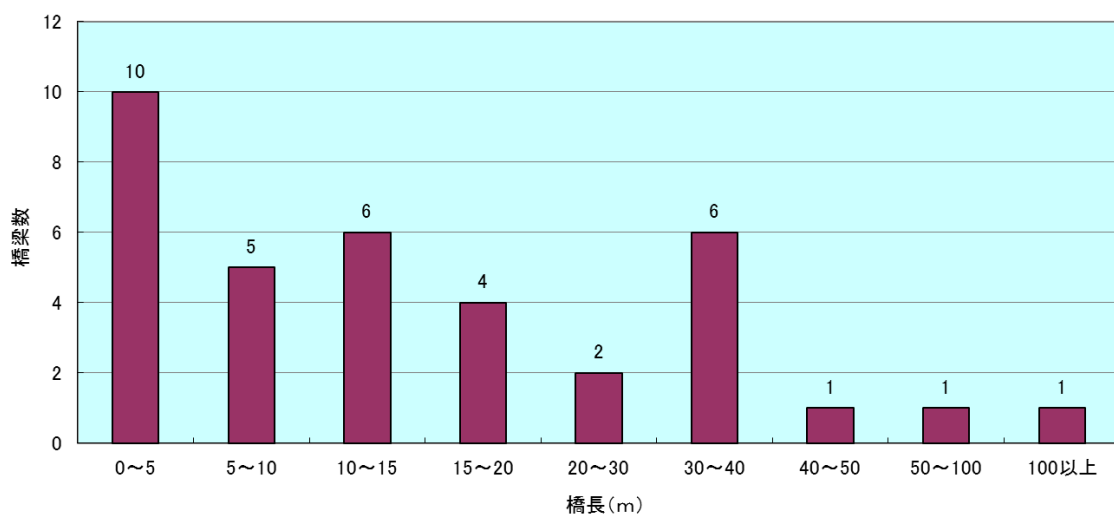


図 3-2-10-10 橋長ごとの橋りょう数

3.2.10.4. 橋りょうの劣化状況

(1) 目視点検

平成 25 年の道路法等の改正により、道路橋等について、五年に一回の頻度を基本として定期的に点検し、健全性を把握しつつ道路の効率的な維持及び修繕が図られるように必要な措置を講ずるよう規定されました。本市における道路橋 36 橋のうち、平成 25 年度に架設された「北府中駅階段」を除く 35 橋について目視点検を行いました。橋りょう点検は、「道路橋定期点検要領」：平成 26 年 6 月 国土交通省 道路局（以下「点検要領」という。）に基づいて実施しています。

表 3-2-10-5 点検対象橋りょう数

橋 長	平成 27-28 年度 実施橋りょう数 (橋)	橋 種 (橋)	
		コンクリート橋	鋼 橋
橋長 15m以上の道路橋	14	4	10
橋長 15m未満の道路橋	21	18	3
合 計	35	22	13

※「北府中駅階段」は、2013 年度架設のため 5 年経過していません。
そのため、現時点では点検の対象外です。

表 3-2-10-6 損傷程度の判定区分

判定区分		状 態
I	健 全	構造物の機能に支障が生じていない状態。
II	予防保全段階	構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。
III	早期措置段階	構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。
IV	緊急措置段階	構造物の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態。

※「道路橋定期点検要領」：平成 26 年 6 月 国土交通省 道路局によります

(2) 目視点検結果

目視点検をした 35 橋の損傷状況は、次のとおりです。目視点検の結果では、緊急に補修が必要な（Ⅳ判定）の橋りょうはありません。

① 目視点検結果の概要

- 全ての対象橋りょうに、大小を問わず損傷があります。
- 損傷は、主に上部工と下部工のコンクリートひび割れ、腐食です。
- 目視点検は、「道路橋定期点検要領」：平成 26 年 6 月 国土交通省 道路局によります。

② 橋りょうごとの損傷程度

目視点検した橋りょうごとの損傷程度を、表 3-2-10-7 に示します。

表 3-2-10-7 目視点検した橋りょうの損傷程度

NO	橋梁名	橋種	評価区分	結果概要
1	鶴代橋	PC橋	Ⅱ	・2径間地覆下面に鉄筋露出、うきが広範囲にみられる。 ・埋設伸縮の舗装ひびわれから桁下橋脚上面に流水し公園、管理施設へと滴下している
2	富士見通り立体橋	鋼橋	Ⅲ	・防護柵（内側）、地覆（3径間外側）に鉄筋露出、うきが多数みられる。第三者予防措置として叩き落としをした。 ・伸縮装置に排水工がなく、下面に著しい腐食がみられる。
3	白糸橋1号	RC橋	Ⅲ	・上部構造の主桁、横桁、床版に多くの鉄筋露出、剥離があり、主桁には一定間隔（50cm以下）にひびわれ（0.2mm程度）が発生している。 ・階段主桁にも多くの剥離、ひびわれが見られる。
4	白糸橋2号	RC橋	Ⅲ	・上部構造の横桁、床版に多くの鉄筋露出、剥離がある。 ・主桁には一定間隔（50cm以下）にひびわれ（0.2mm程度）が発生している。
5	白糸橋3号	RC橋	Ⅲ	・主桁の剥離はわずかであるが、床版（張出端部）の鉄筋露出が多くある。 ・主桁には一定間隔（50cm以下）にひびわれ（0.2mm程度）が発生している。
6	小柳橋	RC橋	Ⅲ	・上部構造の主桁、横桁、床版に多くの鉄筋露出、剥離があり、主桁には一定間隔（50cm以下）にひびわれ（0.2mm程度）が発生している。 ・階段主桁にも多くの剥離、ひびわれが見られる。
7	みょうらい橋	PC橋	Ⅱ	・橋台前面にひびわれが見られる。前回点検よりひび幅が0.2mm→0.7mmへの拡大が見られる。 ・地覆下面に鉄筋露出がみられる。 ・第三者予防措置で叩き落としを施した
8	中央道側道1号	RC橋	Ⅱ	・主桁間詰め部（床版）に軽微な遊離石灰が見られる。また、橋台前面に影響の少ない縦ひびわれが見られる。 ・高欄の腐食が広がっている。
9	矢崎排水第三号橋	RC橋	Ⅱ	・橋台前面に影響の少ない縦ひびわれが見られる。
10	256号	RC橋	Ⅱ	・主桁間詰め部（床版）に軽微な遊離石灰が見られる。 ・防護柵に鉄筋露出が広がっている。
11	帷田橋	RC橋	Ⅱ	・上流側に添架された歩道橋の主桁、横桁に軽微な腐食が見られる。 ・径間中央の橋脚（水路壁）にうき、剥離が生じている。
12	261号	RC橋	Ⅰ	・主要な部材は健全であるが、地覆の一部が欠損している。
13	262号	RC橋	Ⅰ	・主要な部材は健全、防護柵に腐食が見られる。
14	大山橋	RC橋	Ⅰ	・支承のエラストイトが一部はみ出しているが、支承機能障害とはならない。
15	相模橋	RC橋	Ⅰ	・主要な部材は健全であるが、防護柵に腐食が見られる。
16	264号	RC橋	Ⅱ	・主桁中間部に直角方向のひびわれが数本見られる。 ・防護柵の栈材に欠損が見られる。
17	208号	RC橋	Ⅱ	・主桁端部に部分的な剥離、鉄筋露出が見られる。 ・地覆、防護柵支柱に剥離、鉄筋露出が見られる。
18	265号	RC橋	Ⅰ	・主要な部材は健全だが、防護柵に腐食し欠損が生じている。
19	火の見橋	RC橋	Ⅱ	・主桁端部に部分的な剥離、鉄筋露出が見られる。 ・防護柵散在に腐食が見られる。
20	267号	RC橋	Ⅰ	・主要な部材は健全、防護柵に腐食が見られる。 ・舗装面にひびわれが見られる。
21	270号	RC橋	Ⅱ	・主桁（BOX頂版）、橋脚（BOX中央側壁）に剥離、鉄筋露出が見られる。 ・その他、袖擁壁にひびわれが見られる。

3-2-4

インフラの整備状況（橋りょう）

22	分倍1号橋	鋼橋	Ⅱ	・橋脚下部に板厚減少をともなう腐食がみられる。 ・床版間詰め部からの遊離石灰が広範囲にみられる
23	武蔵台3丁目跨線橋	鋼橋	Ⅲ	・床版に部分的に板厚減少をともなう腐食がみられる。 ・支承（102）著しい腐食により支承の機能障害が発生している。
24	第六小前歩道橋	鋼橋	Ⅲ	・主桁、横桁は防食機能劣化の段階であるが、床版、階段部職上・踏板及び橋脚基部の腐食が進行している。
25	第九小前歩道橋	鋼橋	Ⅲ	・上部構造の腐食は軽微であるが、階段部各部、その他で排水設備（排水樋）の腐食が進行している。
26	紅葉丘歩道橋	鋼橋	Ⅲ	・端横桁、階段部職上、橋脚基部の損傷が進行している。
27	第五小前歩道橋	鋼橋	Ⅲ	・路面からの雨水が箱桁内部に主桁添接部より浸入しており、主桁添接部の腐食が顕著である。 ・階段部主桁も部分的に腐食が進行している。 ・伸縮装置のシールゴムに劣化が見られる。
28	西府駅南側西府崖線歩道橋	鋼橋	I	・主桁のごく一部に点錆が見られるが、主要な部材は健全である。 ・A1橋台伸縮装置のシールゴムに劣化が見られる。
29	西武多摩川線横断歩道橋	鋼橋	Ⅱ	・鋼材全体的に広範囲な腐食がみられる。 ・3径間、4径間は主桁、床版に板厚減少、膨張をともなう著しい腐食がみられる。
30	本町2丁目跨線人道橋	鋼橋	Ⅲ	・5径間、6径間主桁、床版、職上板に板厚減少をともなう著しい腐食がみられる。 ・橋脚下部には孔食をともなう腐食がみられる。
31	車返団地横断歩道橋	RC橋	Ⅲ	・跨道部桁、斜路部桁は概ね健全であるが、橋脚躯体の一部に剥離、鉄筋露出、橋脚梁付け根にひびわれが見られる。 ・階段主桁中間部に多くのひびわれ（幅0.2mm以上、間隔0.5m未満）が見られる。
32	南白糸台横断歩道橋	鋼橋	Ⅲ	・上部構造各部材、下部構造、階段部とも腐食が進行している。 ・路面の排水溝には土砂詰まりが生じている。
33	分倍河原駅人道橋	鋼橋	Ⅲ	・階段地覆（5～6径間）に広範囲で鉄筋露出がみられる。 ・橋台側面にうき（800mm×300mm）がみられる。
34	府中スカイナード （府中駅北口歩道橋）	鋼橋	I	・主桁を覆う化粧板内部に雨水の漏水が部分的に見られ、床版に軽微な腐食の発生が認められたが、概ね健全の状態にある。
35	観月橋立体交差人道橋	RC橋	Ⅲ	・主桁には多数のひびわれ（幅0.2mm程度、間隔0.5m未満）、部分的な剥離、鉄筋露出が見られた。 ・A1橋台伸縮装置近傍に路面の凹凸（3cm）が見られた。

※「道路橋定期点検要領」：平成26年6月 国土交通省 道路局によります

※「北府中駅階段」は2013年度架設のため5年経過していません。そのため、現時点では点検の対象外です。

3.2.10.5. 地域別集計

市が管理する道路橋と市内に架かる歩道橋を、地域別に集計して下表に示します。
また、地域区分と橋りょう位置を示した位置図を示します。

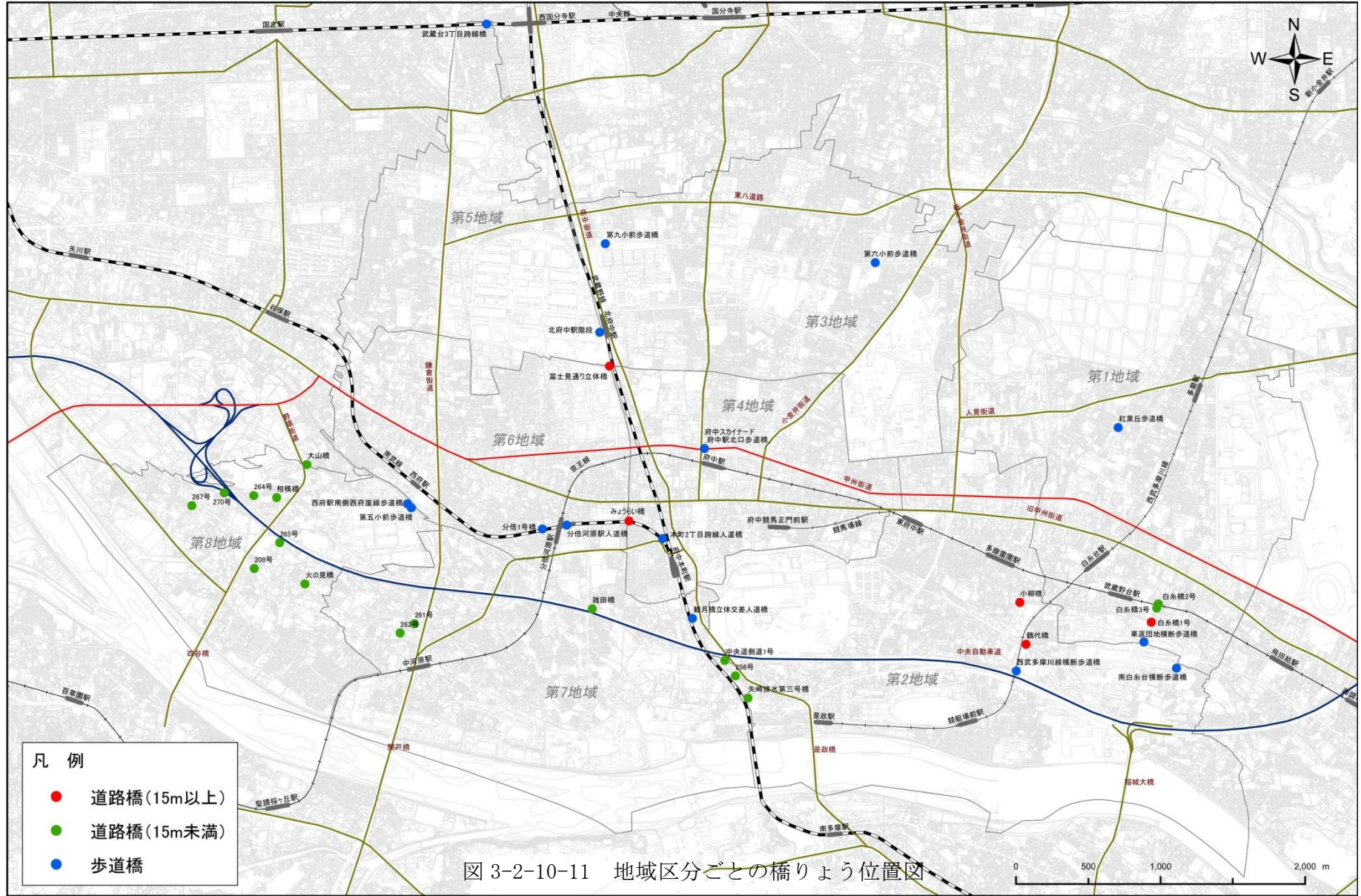
表 3-2-10-8 地域区分と該当区分内の橋りょう

地域区分	橋梁種別	橋梁名
第1地域	道路橋	白糸橋1号
		白糸橋2号
		白糸橋3号
	歩道橋	紅葉丘歩道橋
第2地域	道路橋	鶴代橋
		小柳橋
		中央道側道1号
		矢崎排水第三号橋
		256号
	歩道橋	西武多摩川線横断歩道橋
		車返団地横断歩道橋
		南白糸台横断歩道橋
第3地域	道路橋	なし
	歩道橋	第六小前歩道橋
		第九小前歩道橋
		みょうらい橋
第4地域	道路橋	本町2丁目跨線人道橋
	歩道橋	府中スカイナード 府中駅北口歩道橋

地域区分	橋梁種別	橋梁名
第5地域	道路橋	なし
	歩道橋	武蔵台3丁目跨線橋
		北府中駅階段
第6地域	道路橋	富士見通り立体橋
	歩道橋	分倍1号橋
		分倍河原駅人道橋
第7地域	道路橋	雑田橋
		261号
		262号
	歩道橋	観月橋立体交差人道橋
第8地域	道路橋	大山橋
		相模橋
		208号
		264号
		火の見橋
		265号
		270号
		267号
	歩道橋	第五小前歩道橋
		西府駅南側西府崖線歩道橋

3-2-4

インフラの整備状況（橋りょう）



3.2.11. 立体横断施設等

立体横断施設等は、市管理のエレベーター、エスカレーター、ペDESTロリアンデッキを対象とし、決算資料や現地確認等より箇所を確認しました。

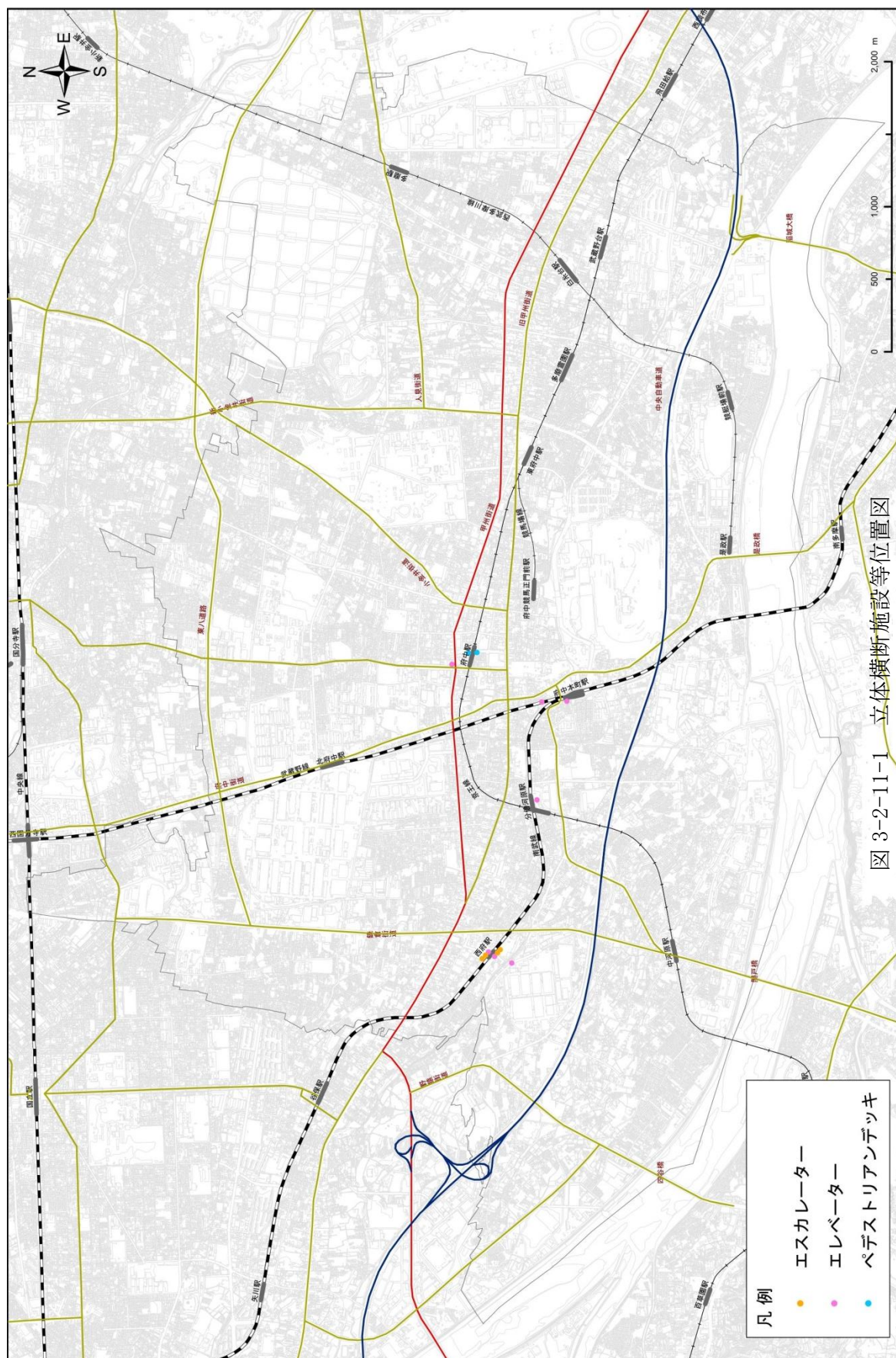
3.2.11.1. 全体数量

府中市が管理する立体横断施設等は、ペDESTロリアンデッキ、エレベーター及びエスカレーターの 3 種類です。その内訳は、ペDESTロリアンデッキが府中駅付近に 2 橋、エレベーターが府中駅、府中本町駅、西府駅及び分倍河原駅付近に 7 基、エスカレーターが西府駅付近に 4 基となっています。

表 3-2-11-1 立体横断施設等全体数量

No	分類	名称	名称 2	設置駅	設置年度
1	ペDESTロリアン デッキ	府中駅北口	—	府中駅	1994
2		府中駅南口	—	府中駅	1995
3	エレベーター	府中駅北口歩道橋 エレベーター	—	府中駅	1994
4		府中本町駅構外北側 エレベーター	—	府中本町駅	2003
5		府中本町駅構外西側 エレベーター	—	府中本町駅	1998
6		西府駅自由通路 エレベーター	駅北側	西府駅	2009
7		西府駅自由通路 エレベーター	駅南側	西府駅	2009
8		西府駅南側歩道橋 エレベーター	—	—	2009
9		分倍河原駅南側 エレベーター	—	分倍河原駅	2012
10	エスカレーター	西府駅自由通路 エスカレーター	駅北側上り	西府駅	2009
11		西府駅自由通路 エスカレーター	駅北側下り	西府駅	2009
12		西府駅自由通路 エスカレーター	駅南側上り	西府駅	2009
13		西府駅自由通路 エスカレーター	駅南側下り	西府駅	2009

3.2.11.2. 立体横断施設等位置



3.2.11.3. 立体横断施設等の整備状況

- 全てのエレベーター、エスカレーターについて、定期的な点検（毎月 1 回）を行っています。また、全てのエレベーターは遠隔保守監視サービスを実施しており、機器を良好な状態に保つようにしています。
- 過去 2 年間で分倍河原駅南側エレベーターでは乗り場液晶表示板修繕やメインロープ修繕、エレベータカゴドア修繕を実施しております。また、府中本町駅構外西側エレベーターでは、乗り場操作盤表面板の交換やかご床タイルの修理を実施しています。
- ペDESTリアンデッキの点検については今後予定しておりますが、簡易な補修について、平成 26 年度に 21 回、平成 27 年度に 30 回実施しています。

3.2.12. 大型構造物

大型構造物は、市管理の擁壁やボックスカルバート、その他構造物（西府駅自由通路）を対象としています。

3.2.12.1. 全体数量

府中市が管理する大型構造物は、26 か所です。なお、大型構造物は、主に鉄道や道路部との交差箇所に、アンダーパスや地下通路部として、ボックスカルバートや地下道の擁壁などを設置しています。

表 3-2-12-1 大型構造物全体数量

名称	名称2	市道名	市道番号	構造	交差物	車両通行の有無	車線数	ポンプの有無	冠水表示板の有無
武蔵台通りアンダーパス	横街道第一	武蔵台通り		擁壁	鉄道	○	2	○	
横街道アンダーパス	横街道第二	横街道		擁壁	鉄道	○	2	○	○
西府駅地下通路-1				ボックスカルバート	鉄道	—	—	○	
西府駅地下通路-2				ボックスカルバート	鉄道	—	—	○	
西府駅自由通路				建築物	鉄道	—	—		
矢崎町3丁目歩道アンダー	是政第二架道橋		4-198	擁壁 ボックスカルバート	鉄道 /高速道路	—	—	○	○
矢崎地下道			4-132	擁壁	鉄道	—	—	○	
観月橋立体	矢崎架道橋		4-507	擁壁 ボックスカルバート	鉄道	○	1	○	○
村雨BV			4-280	擁壁	鉄道	○	1	○	○
小柳散歩道				擁壁	鉄道	—	—	○	
白糸台地下道				ボックスカルバート	鉄道	—	—		
多磨駅前地下通学路			1-88	ボックスカルバート	鉄道	—	—		
多磨霊園駅ポンプ			2-310	ボックスカルバート	鉄道	—	—	○	
白糸台通りアンダーパス		白糸台通り		擁壁	市道	○	2		
白糸台4丁目擁壁			2-204	擁壁	市道	○	1		
九中通りアンダーパス		九中通り		擁壁	市道	○	2		
新田川緑道				擁壁 ボックスカルバート	鉄道	—	—		
亀里橋アンダー			4-320	擁壁 ボックスカルバート	都道	—	—	○	
二ヶ村緑道		是政通り		擁壁 ボックスカルバート	市道	—	—	○	
富士見通り立体		富士見通り		擁壁	鉄道	—	—		

3.2.12.2. 大型構造物位置

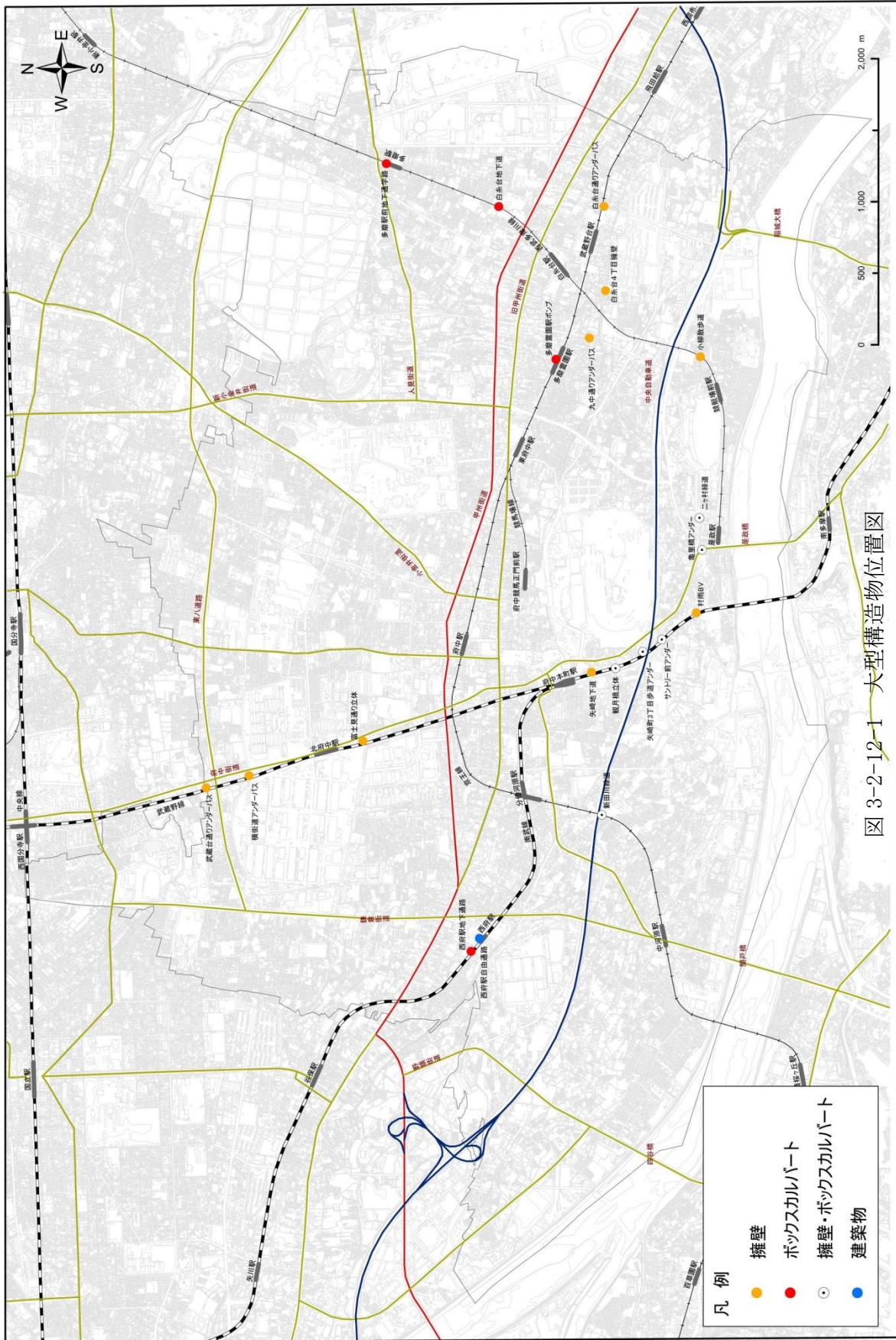


図 3-2-12-1 大型構造物位置図

3.2.12.3. 大型構造物の整備状況

- 全ての大型構造物に付帯する排水ポンプや冠水表示板について、定期的な点検（年1回）を行っています。

3.2.13. 公園緑地等

公園緑地等に関する施設数や規模は、市が管理する台帳により整理します。

3.2.13.1. 全体数量

市が整備し、管理している公園緑地等は、396 か所、約 144 万㎡です。なお、公園緑地等の数は、本市の人口の急激な増加に伴い、昭和 45 年度以降に増加しており、昭和 53 年度には、最多となる 24 か所の公園緑地等を開設しています。また、公園緑地等の面積も、昭和 43 年度以降に増加しています。

一方、平成 27 年度末時点における開設から 30 年以上が経過した公園緑地等は、全体の約 48 パーセントに当たる 192 か所です。今後、施設の老朽化がより進行することに伴い、維持管理費の増大が見込まれています。

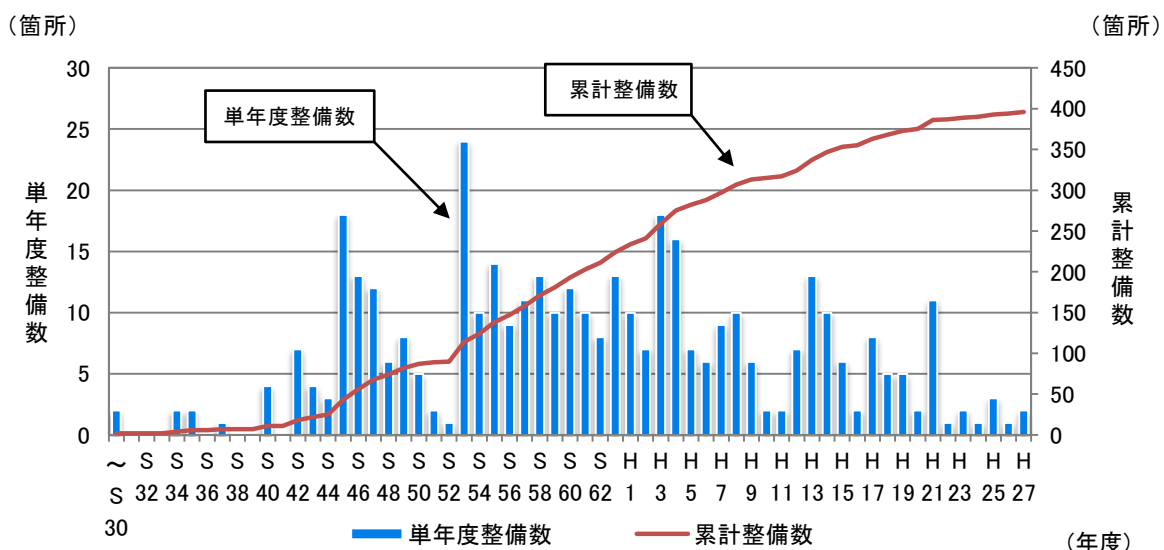


図 3-2-13-1 公園緑地等の整備状況（箇所数）

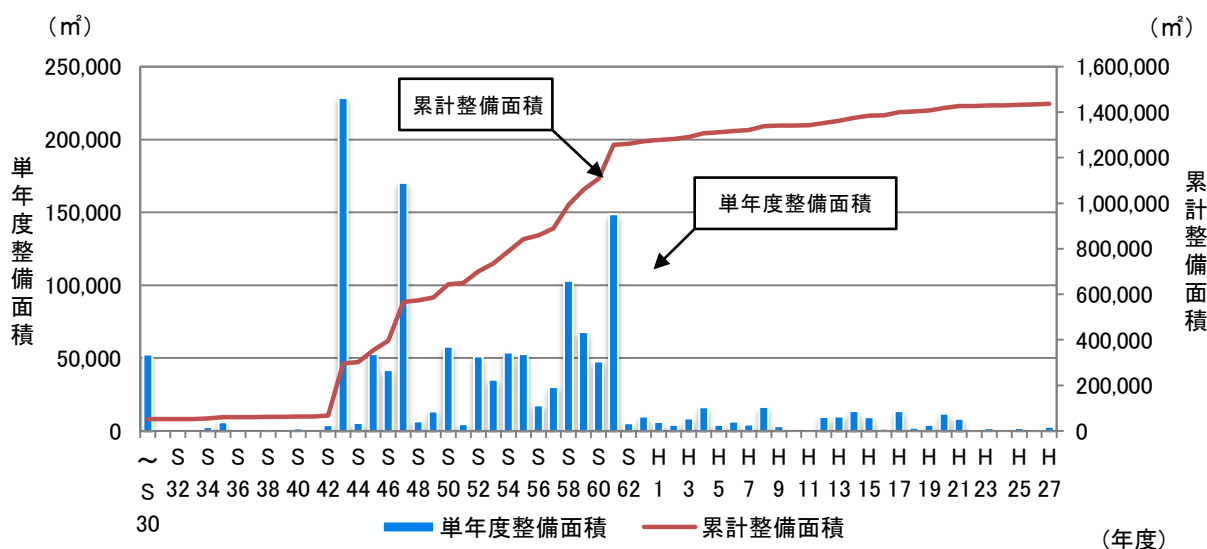


図 3-2-13-2 公園緑地等の整備状況（面積）

※上記文章およびグラフの数量や面積は公園緑地関係資料の施設単位で集約された数字を用いています。

ここからの公園緑地等箇所数は、公園緑地等関係資料の施設単位で集約されている数字とは異なります。本白書では、同一施設内において開設年度が異なる箇所については、一つの施設として集計しています。

市が管理する公園緑地等の箇所数と面積は、次のとおりです。

表 3-2-13-1 公園緑地等区分別の箇所数

区 分	箇所数（箇所）	割 合
都市公園	287	70.00 %
広 場	41	10.00 %
スポットパーク	35	8.54 %
府中多摩川かぜのみち	1	0.24 %
市立公園以外の管理地	46	11.22 %
合 計	410	100 %

【公園緑地等区分別箇所数】

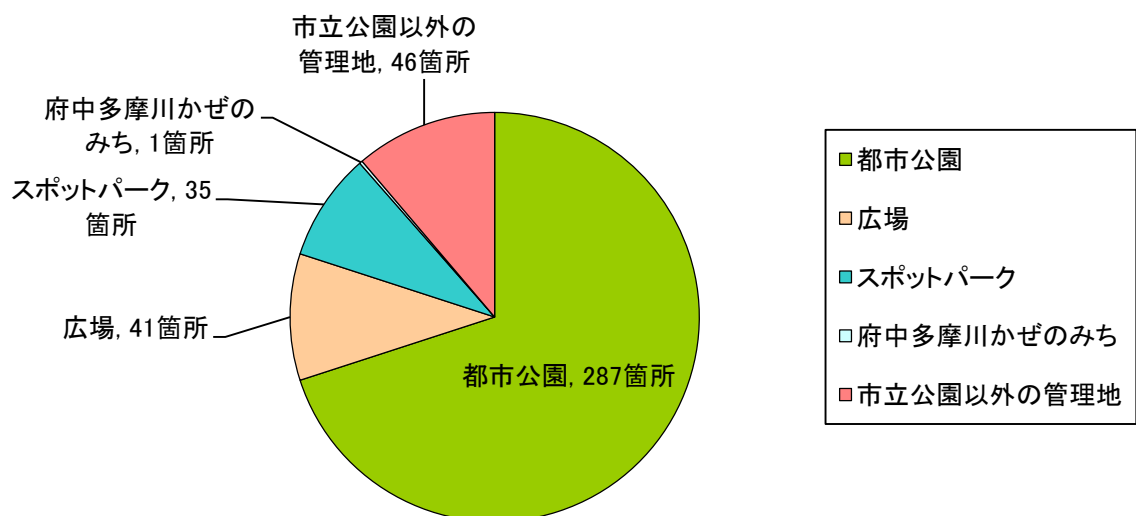


図 3-2-13-3 公園緑地等区分別の箇所数

3-2-8

表 3-2-13-2 公園緑地等区分別面積

区 分	面積（㎡）	割 合
都市公園	1,306,207.75	90.22 %
広 場	16,035.75	1.11 %
スポットパーク	5,103.42	0.35 %
府中多摩川かぜのみち	35,047.8	2.42 %
市立公園以外の管理地	85,476.11	5.90 %
合 計	1,447,870.83	100 %

【公園緑地等区分別面積】

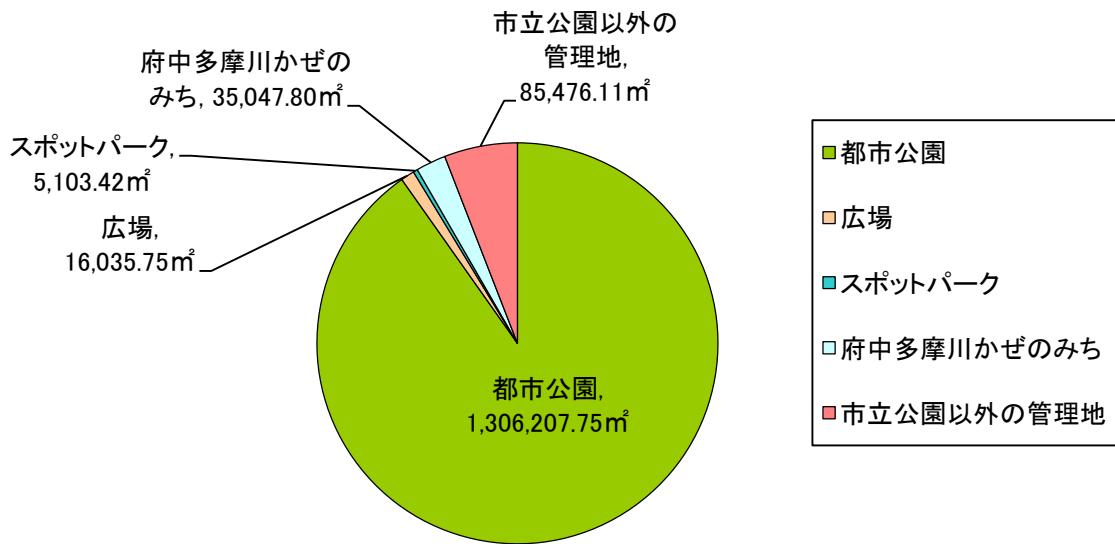


図 3-2-13-4 公園緑地等区分別面積

公園緑地等区分	コード番号
都市公園	1
広場	2
スポーツパーク	3
府中多摩川かぜのみち	4
市立公園以外の管理地	5

表 3-2-13-3 公園緑地等一覧表 (1/8)

公園緑地等区分	項目 コード番号	番号 (国際記号付加)	名 称	所 在 地	延 長 m	所在地境数分名称	面積 ㎡	開設年月日	開設年度	契約期限	備 考	公園 種別
都市公園	1	234	多摩町東公園	多摩町1-29-1			1,011.83	H.16.2.29	2004		開発行為	街区
都市公園	1	63	多摩町公園	多摩町1-29			1,157.02	S.53.4.21	1973		都市計画	街区
都市公園	1	170	多摩町小川公園	多摩町2-32			331.21	H.4.9.24	1992		開発行為	街区
都市公園	1	169	おだわ公園	多摩町2-32			374.50	H.4.1.9	1992		開発行為	街区
都市公園	1	205	多摩町北公園	多摩町2-34-59			760.73	H.12.3.25	2000		開発行為	街区
都市公園	1	14	朝日町公園	朝日町1-20-7			991.74	S.44.3.31	1988		都市計画	街区
都市公園	1	252	朝日町やき公園	朝日町1-24-20			972.57	H.22.3.31	2009		都市計画	街区
都市公園	1	217	北の原公園	朝日町1-29			1,442.63	H.13.11.14	2001		条例改正	街区
都市公園	1	253	四季の杜公園	朝日町1-30-71			457.91	H.22.3.31	2009		開発行為	街区
都市公園	1	149	朝日町第2公園	朝日町2-16			1,110.93	S.63.3.31	1987	H.24.11.30	開発行為	街区
都市公園	1	70	紅葉丘第3公園	紅葉丘1-9			2,545.13	S.54.3.31	1978		都市計画	街区
都市公園	1	132	紅葉丘中央公園	紅葉丘1-28			3,007.73	S.61.3.31	1985		開発行為	街区
都市公園	1	148	紅葉丘北公園	紅葉丘2-24			827.83	S.63.3.31	1987		都市計画	街区
都市公園	1	14	紅葉丘第2公園	紅葉丘3-17-11			703.33	H.18.9.20	2006		都市計画	街区
都市公園	1	242	紅葉丘東公園	紅葉丘3-17-10			950.92	H.18.9.20	2006		都市計画・開発行為道路分 約23mを含む	街区
都市公園	1	7	紅葉丘公園	紅葉丘3-23			535.28	S.42.4.1	1967		一部開発行為	街区
都市公園	1	232	上栗屋八幡台公園	白糸台1-38-7			341.90	H.15.6.4	2003		開発行為	街区
都市公園	1	123	白糸台北公園	白糸台1-50			1,613.12	S.60.3.30	1984		都市計画	街区
都市公園	1	21	白糸台公園	白糸台2-39-2			939.98	S.46.3.25	1970		都市計画	街区
都市公園	1	138	白糸台中央公園	白糸台2-67			2,369.78	S.61.10.1	1986		開発行為	街区
都市公園	1	187	神明台公園	白糸台3-16			490.62	H.7.10.9	1995		都市計画	街区
都市公園	1	72	白糸台第3公園	白糸台4-39			2,457.87	S.54.10.1	1979		都市計画	街区
都市公園	1	231	府中屋敷白糸台第2緑地	白糸台5-45-12			293.33	H.15.3.24	2002		開発行為	緑地
都市公園	1	90	白糸台東部公園	白糸台6-34			1,164.61	S.56.3.31	1980		開発行為	街区
都市公園	1	203	府中屋敷白糸台緑地	白糸台6-47			342.61	H.11.11.19	1999		開発行為	緑地
都市公園	1	56	白糸台第2公園	白糸台6-53			771.78	S.53.4.21	1978		開発行為	街区
都市公園	1	91	押立緑道	押立町1-4～押立町3-10			4,643.24	S.56.3.31	1980		下水道 上部利用	緑道
都市公園	1	183	押立町幼原公園	押立町1-13-26			360.00	H.6.11.10	1994		開発行為	街区
都市公園	1	155	三御殿堀緑道	押立町1-14～押立町1-15			1,205.75	H.2.3.31	1989		緑道	緑道
都市公園	1	73	押立公園	押立町1-18-5			15,000.00	S.54.10.1	1979		都市計画 区画整理	近隣
都市公園	1	113	押立町緑地	押立町1-34			2,796.10	S.59.3.31	1963		開発行為	街区
都市公園	1	68	押立町第3公園	押立町2-32			304.63	S.54.3.31	1978		開発行為	街区
都市公園	1	33	押立町第3公園	調布市飛田緑3-9-11			304.63	S.54.3.31	1978		開発行為	街区
都市公園	1	246	押立町第3公園	押立町2-38-7			909.34	H.20.3.31	2007		開発行為	街区
都市公園	1	35	押立町西公園	押立町3-9			1,874.51	S.57.3.31	1981		開発行為	街区
都市公園	1	58	押立町公園	押立町4-17			1,391.58	S.53.4.21	1978		都市計画	街区
都市公園	1	37	押立町第5公園	押立町5-2			1,109.24	H.12.11.21	2000		開発行為	街区
都市公園	1	212	押立町の前公園	押立町5-7			1,495.07	H.13.11.14	2001		条例改正	街区
都市公園	1	39	押立町第2公園	押立町5-14-47			418.33	S.53.4.21	1978		宅地開発 宅地法の寄付公園	街区
都市公園	1	40	府中屋敷小柳町緑地	小柳町1-29-1			1,142.04	H.15.3.24	2002		開発行為	緑地
都市公園	1	41	小柳町分田公園	小柳町2-19			811.85	H.13.11.14	2001		都市計画	街区
都市公園	1	157	小柳町田公園	小柳町2-20			752.63	H.2.3.31	1989		開発行為	街区
都市公園	1	43	清公園	小柳町2-50			578.79	H.4.3.31	1991		開発行為	街区
都市公園	1	171	鶴代公園	小柳町3-16			656.89	H.4.12.26	1992	H.27.11.30	下水道 上部利用	街区
都市公園	1	45	小柳町公園	小柳町4-2-3			448.30	S.43.2.1	1967		児童福祉法で設置	街区
都市公園	1	30	小柳町第2幼原公園	小柳町4-17			336.58	S.47.10.25	1972		開発行為	街区
都市公園	1	71	小柳町第3公園	小柳町4-34			1,302.92	S.54.3.31	1978	H.24.12.31	都市計画	街区
都市公園	1	48	小柳町第2公園	小柳町5-1			1,996.64	S.56.3.31	1980		一部開発行為	街区
都市公園	1	177	小柳町西公園	小柳町5-2			603.06	H.5.12.1	1993		開発行為	街区
都市公園	1	29	五柳公園	小柳町5-9			373.06	S.47.6.8	1972		一部宅地法の寄付公園	街区

表 3-2-13-4 公園緑地等一覧表（2/8）

公園緑地等区分		項目 コード番号	番号 (国政統管付加)	旧 番号	名 称	所 在 地	延 長 m	所在地種数分名称	面積 ㎡	開設年月日	開設年度	契約期限	備 考	公園 種別
公園緑地等区分	都市公園	1	51	52	29	小柳公園		小柳町6-10	51,147.02	S.52.11.2	1977		都市計画 一部開発行為	地区
	公園緑地等区分	都市公園	52	191	192	やなぎはら緑道		小柳町6-23	618.35	H.8.6.11	1986		緑道	緑道
	公園緑地等区分	都市公園	53	153	154	高森公園		若松町1-25	463.85	H.元.3.31	1988		街区	街区
	公園緑地等区分	都市公園	54	147	130	紫久公園		若松町1-32	946.23	S.53.3.31	1987		街区	街区
	公園緑地等区分	都市公園	55	94	94	紫久公園		若松町2-5-1	1,983.20	S.57.3.31	1981		都市計画 区画整理	街区
公園緑地等区分	都市公園	56	185	186	明一代公園		若松町3-18	427.01	H.7.6.1	1995			開発行為	街区
	都市公園	57	49	31	若松町公園		若松町3-21	1,072.33	S.51.3.29	1975			都市計画	街区
	都市公園	58	137	138	若松町第2幼児公園		若松町3-25	342.18	S.61.10.1	1986			開発行為	街区
	都市公園	59	214	156	新井東公園		若松町3-40	1,045.72	H.13.11.14	2001			開発行為	街区
	都市公園	60	134	106	新井東公園		若松町3-41 目	1,052.23	H.元.3.31	1988			一部開発行為	緑道
公園緑地等区分	都市公園	61	109	106	若松町幼児公園		若松町4-22	423.63	S.58.3.31	1982			都市計画	街区
	都市公園	62	198	136	若松町相模台公園		若松町5-17	623.21	H.10.3.31	1997			開発行為	街区
	都市公園	63	128	136	若松町の森公園		浅間町1-8	10,000.16	S.61.3.31	1985		H.26.3.29	都市計画	街区
	都市公園	64	6	6	若松公園		浅間町2-4-6	991.74	S.40.7.2	1965			街区	街区
	都市公園	65	243		浅間西北公園		浅間町3-2-10	419.91	H.20.2.27	2007			開発行為	街区
公園緑地等区分	都市公園	66	211		浅間町三丁目公園		浅間町3-18	2,139.01	H.13.9.18	2001			開発行為	街区
	都市公園	67			紫雲台公園		浅間町4-5-8	540.00	H.11.3.1	1998			開発行為	街区
	都市公園	68	39	38	浅間町第2公園		浅間町4-7	1,051.84	S.49.3.20	1973			都市計画	街区
	都市公園	69	172	173	天神町南公園		天神町1-3	517.74	H.5.1.14	1992			開発行為	街区
	都市公園	70	5	5	天神町幼児公園		天神町1-7-46	313.68	S.40.7.2	1992		H.27.6.14	契約面積変更	街区
公園緑地等区分	都市公園	71	78	80	天神町公園		天神町1-12-13	1,774.98	S.54.10.1	1979			開発行為	街区
	都市公園	72	76	78	天神町第3公園		天神町1-12-7	337.57	S.54.10.1	1979			開発行為	街区
	都市公園	73	124	125	一本木公園		天神町2-10	1,040.00	S.60.3.30	1984			開発行為	街区
	都市公園	74	23	25	天神町第2幼児公園		天神町2-26	1,054.33	S.46.9.10	1971			都市計画	街区
	都市公園	75	249		字間通り新井山谷公園		天神町3-12-7	1,033.21	H.21.6.30	2009			街区	街区
公園緑地等区分	都市公園	76	95	96	天神町第2公園		天神町4-18	1,096.78	S.57.3.31	1991		H.25.3.31	都市計画	街区
	都市公園	77	40	33	新町第3公園		新町1-18-8	2,000.67	S.49.4.1	1974			開発行為	街区
	都市公園	78	143	144	新町第2公園		新町1-35	1,282.09	S.62.3.31	1986			都市計画	街区
	都市公園	79	11	12	新町第2公園		新町1-68	1,664.83	S.43.4.1	1968			都市計画	街区
	都市公園	80	129	129	新町東公園		新町2-25	1,971.84	S.61.3.31	1985			都市計画	街区
公園緑地等区分	都市公園	81	199	7	新町東公園		新町2-44	1,282.60	H.10.3.31	1997		H.24.9.30	一部開発行為	街区
	都市公園	82	130	130	新町公園		新町2-57	3,249.56	S.61.3.31	1985			開発行為	街区
	都市公園	83	86	90	新町第2幼児公園		新町2-70	439.01	S.56.3.31	1980			開発行為	街区
	都市公園	84	152	155	新町北公園		新町3-26	1,864.58	H.元.3.31	1988		H.26.9.30	都市計画	街区
	都市公園	85	2	2	幸町公園		幸町1-24	2,255.79	S.34.4.1	1959			都市計画	街区
公園緑地等区分	都市公園	86	133	135	相模木公園		幸町2-13	3,798.92	S.61.3.31	1985			開発行為	街区
	都市公園	87	117	117	馬場東公園		府中町1-22	1,652.81	S.59.3.31	1983			都市計画	街区
	都市公園	88	200		馬場先公園		府中町1-38-7	284.59	H.10.4.8	1998		H.26.12.26	区画整理	街区
	都市公園	89	125	127	府中公園		府中町2-26	22,501.53	S.60.3.30	1984			都市計画	近隣
	都市公園	90	101	102	橘久保公園		府中町3-8	1,799.08	S.58.3.31	1982			都市計画	街区
公園緑地等区分	都市公園	91	118	118	八幡宿公園		緑町1-5	1,963.58	S.59.3.31	1983			都市計画	街区
	都市公園	92	77	79	緑町公園		緑町2-6-2	435.46	S.54.10.1	1979			区画整理	街区
	都市公園	93	88	88	三本木公園		緑町2-23	3,137.01	S.56.3.31	1980			都市計画	街区
	都市公園	94	100	101	万歳蔵公園		緑町3-27	1,956.41	S.58.3.31	1982			都市計画	街区
	都市公園	95	219	95	平和通り広場公園		緑町3-33	209.22	H.3.7.18	1991			区画整理	街区
公園緑地等区分	都市公園	96	192	193	新館公園		宮町1-27	690.88	H.8.11.15	1996			開発行為	広場公園
	都市公園	97	66	73	宮町中央公園		宮町2-20	1,404.16	S.54.3.31	1978			都市計画	街区
	都市公園	98	197		宮東公園		宮町3-9	316.67	H.10.3.31	1997			都市計画	街区
	都市公園	99	69	70	八幡町公園		八幡町2-12	297.00	S.54.3.31	1978			開発行為	街区

公園緑地等区分	コード番号
都市公園	1
広場	2
スポーツパーク	3
府中多摩川かぜのみち	4
市立公園以外の管理地	5

表 3-2-13-5 公園緑地等一覧表 (3/8)

公園緑地等区分	項目 コード番号	番号 (国際標準付加)	旧 番号	名 称	所 在 地	延 長 m	所在地複数分名称	面積 ㎡	開設年月日	開設年度	契約期限	備 考	公園 種別
都市公園	1	00	79	八幡町第2公園	八幡町2-30			1,125.08	S.54.10.1	1979			街区
都市公園	1	01	112	八幡町第1公園	八幡町3-17			464.73	S.59.3.31	1963		開発行為	街区
都市公園	1	02	103	清水が丘第3公園	清水が丘1-12			1,080.19	S.56.3.31	1962			街区
都市公園	1	03	4	清水が丘公園	清水が丘2-4			932.24	S.37.12.15	1962		都市計画	街区
都市公園	1	04	25	清水が丘第2公園	清水が丘2-7			287.36	S.47.3.30	1971			街区
都市公園	1	05	48	清水が丘緑地	清水が丘2-23			4,165.54	S.51.3.29	1975	自動更新	都市計画 下水道上利用	緑地
都市公園	1	06	229	府中緑線清水が丘緑地	清水が丘2-53-3			441.00	H.15.3.24	2002			緑地
都市公園	1	07	238	清水が丘三丁目公園	清水が丘3-11-8			761.26	H.18.3.24	2005			街区
都市公園	1	08	216	清水が丘北公園	清水が丘3-15			808.26	H.13.11.14	2001		条例改正	街区
都市公園	1	09	168	分館町第1公園	分館町1-5			469.74	H.4.5.14	1992		開発行為	街区
都市公園	1	10	228	府中緑線分館町緑地	分館町1-23-4			107.64	H.15.3.24	1992			緑地
都市公園	1	11	17	分館公園	分館町2-37			2,982.35	S.45.4.1	1970	H.23.3.31	都市計画	街区
都市公園	1	12	17	分館公園	分館町2-44			4,495.00	S.56.3.31	1980	H.25.3.31	中央高速下	街区
都市公園	1	13	97	新田川分館公園	分館町2-55			2,122.30	S.57.3.31	1981		都市計画	街区
都市公園	1	14	63	分館第4公園	分館町3-45			607.10	S.53.4.21	1978		宅着道の寄付公園	街区
都市公園	1	15	180	分館第4公園	分館町4-4			849.44	H.6.3.31	1993	H.28.3.31	開発行為	街区
都市公園	1	16	213	分館第5公園	分館町5-2			835.33	H.13.11.14	2001		条例改正	街区
都市公園	1	17	15	分館第2公園	分館町5-11			2,750.13	S.44.10.1	1969		都市計画 一都県発行為	街区
都市公園	1	18	22	分館第3公園	分館町5-20			419.76	S.47.12.22	1972		宅着道の寄付公園	街区
都市公園	1	19	80	住吉町公園	住吉町1-63			1,974.74	S.54.10.1	1976		都市計画	街区
都市公園	1	20	111	住吉町第2公園	住吉町1-19			772.51	S.56.3.31	1963		開発行為	街区
都市公園	1	21	84	住吉町第1公園	住吉町1-30			1,063.02	S.60.3.30	1969		開発行為	街区
都市公園	1	22	126	中西原公園	住吉町15-21			10,633.02	S.61.3.31	1984		開発行為	近隣
都市公園	1	23	178	中西原公園	住吉町15-21			10,633.02	S.61.3.31	1984		開発行為	近隣
都市公園	1	24	16	多摩川緑地	住吉町17-1			29,801.68	S.48.4.1	1970	H.30.3.31	都市計画	運動
都市公園	1	25	21	多摩川緑地	住吉町17-1			14,946.30	S.48.4.1	1971	H.30.3.31	都市計画	運動
都市公園	1	26	16	多摩川緑地	建設4丁目			129,249.20	S.47.4.1	1972	H.30.3.31	都市計画	運動
都市公園	1	27	16	多摩川緑地	建設5丁目			63,871.36	S.56.3.31	1983	H.30.3.31	都市計画	運動
都市公園	1	28	16	多摩川緑地	住立町5丁目			21,928.69	S.56.3.31	1983	H.30.3.31	都市計画	運動
都市公園	1	29	175	宮前公園	住立町5-21			706.95	H.5.3.31	1982			街区
都市公園	1	30	116	住吉町第3公園	住吉町13-65			1,318.51	S.56.3.31	1983		区画整理	街区
都市公園	1	31	207	向田公園	住吉町13-85			1,000.11	H.12.11.29	2000			街区
都市公園	1	32	140	御蔵森公園	住吉町4-6			1,257.54	S.62.3.31	1986		都市計画	街区
都市公園	1	33	115	住吉町第2公園	住吉町4-16			1,478.32	S.56.3.31	1983		都市計画	街区
都市公園	1	34	139	小野宮公園	住吉町4-24			1,991.32	S.62.3.31	1986		都市計画	街区
都市公園	1	35	108	住吉町第2幼保公園	住吉町15-22			277.61	S.56.3.31	1992		開発行為	街区
都市公園	1	36	26	西原緑地	四谷1-63			17,632.75	S.47.3.29	1971		都市計画	近隣
都市公園	1	37	26	西原緑地	四谷3-32			2,381.40	S.56.3.31	1983		都市計画	近隣
都市公園	1	38	26	西原緑地	四谷3-32			2,381.40	S.56.3.31	1983		都市計画	近隣
都市公園	1	39	26	西原緑地	住吉町15-22			3,617.96	S.60.1.22	1984		都市計画	近隣
都市公園	1	139	209	四谷第5公園	四谷1-16-145			701.01	H.13.3.27	2000		都市計画 開発行為	街区
都市公園	1	140	28	四谷第2公園	四谷1-59			394.54	S.47.6.8	1972		宅着道の寄付公園	街区
都市公園	1	141	92	四谷第2幼保公園	四谷3-49			355.68	S.57.3.31	1981		開発行為	街区
都市公園	1	142	174	梅林公園	四谷3-66			690.69	H.5.3.31	1992			街区
都市公園	1	143	237	四谷自然森林	四谷4-25-3			1,361.66	H.17.12.22	2005	H.26.11.4		緑地
都市公園	1	144	119	四谷緑地	四谷4-36-四谷4-56			3,022.57	S.59.3.31	1983			緑地
都市公園	1	145	224	四谷北通緑地	四谷4-30			2,297.10	H.15.3.18	2002			緑地
都市公園	1	146	55	四谷第7公園	四谷4-54-41			266.93	S.53.4.21	1978		開発行為	街区
都市公園	1	147	27	四谷第3公園	四谷5-9			1,531.27	S.47.5.8	1972		都市計画 宅着道の寄付公園	街区
都市公園	1	148	193	四谷南通緑地	四谷5-10			1,967.22	H.8.11.15	1996			緑地
都市公園	1	149	233	四谷下通緑地	四谷5-15-1			6,800.09	H.16.3.8	2003		都市計画	緑地
都市公園	1	150	210	四谷さくさ公園	四谷5-44			5,484.15	H.13.3.22	2000		都市計画	近隣
都市公園	1	151	44	四谷西公園	四谷6-18			2,867.65	S.49.9.19	1974		一部開発行為	街区
都市公園	1	152	127	四谷第4公園	四谷6-54			9,745.25	S.60.9.2	1985		都市計画	近隣
都市公園	1	153	34	建設第2公園	建設1-50			831.43	S.48.3.31	1972		都市計画	街区
都市公園	1	154	187	鶴巻西公園	建設2-7			295.29	H.8.2.7	1995		開発行為	街区

表 3-2-13-6 公園緑地等一覧表（4/8）

公園緑地等区分					項目 コード番号	番号 (国勢調査付加)	旧 番号	名 称	所 在 地	延 長 m	所在地数分名称	面積 ㎡	開設年月日	開設年度	契約期限	備 考	公園 種別
公園緑地等区分	都市公園	広場	スポーツパーク	併中多摩川かけののみち	1	155	20	是政公園	是政2-10			1,258.96	S.46. 3.25	1970	H.23. 3.31	都市計画 中央公園下	街区
					2	156	142	鶴巻公園	是政2-16			1,231.48	S.62. 3.31	1986		都市計画	街区
					3	157	150	是政緑道	是政2-35			671.81	S.63.10. 1	1988		都市計画	緑道
					4	158	189	村中公園	是政3-8			1,709.60	H. 8. 3.31	1995			街区
					5	159	53	是政第3公園	是政4-2			317.13	S.63. 4.21	1978		都市計画 宅建法の寄付公園	街区
					6	160	75	是政第4公園	是政5-4			310.00	S.64.10. 1	1979		閉発行為	街区
					7	161	145	多摩川是政公園	是政5-19-5			1,300.02	S.62.10.31	1987		閉発行為	街区
					8	162	188	是政川原公園	是政5-6-23			336.01	H. 8. 3. 8	1995		閉発行為	街区
					9	163	81	二ヶ村緑道	是政4- 5. 6丁目			27,724.34	S.55. 3.31	1979		都市計画	緑道
					10	164	47	新田川緑道	日新町～住吉町～分町～南町～			43,813.61	S.60. 6. 1	1975		都市計画 一都宅建法寄付公園	緑道
					11	165	239	矢崎町防災公園	矢崎町～是政			7,116.65	H.18. 3.31	2005		閉発行為	近隣
					12	166	184	矢崎緑道	矢崎町1-16			331.89	H. 7. 3.31	1994		都市計画 中央公園下	緑道
					13	167	19	矢崎公園	矢崎町2-16			4,093.04	S.45. 4. 1	1970	H.23. 3.31	都市計画	街区
					14	168	19	矢崎公園	矢崎町2-17			4,093.04	S.45. 4. 1	1970	H.23. 3.31	都市計画 中央公園下	街区
					15	169	13	郷土の森公園	是政6-27 矢崎町5-5		郷土の森総合体育館周辺	178,880.54	S.44. 5. 3	1968	H.30. 3.31	都市計画	総合
					16	170	13	郷土の森公園	南町6-13 是政6-35		郷土の森博物館	138,982.57	H.元. 3.31	1986	H.30. 3.31	都市計画	総合
					17	171	13	郷土の森公園	南町6-60外、外		南町遊歩道・広場	9,769.41	H. 8. 8.19	1996		都市計画	緑道
					18	172	135	郷土の森公園	是政6丁目地内		レクリエーション広場	9,996.98	H.20. 4. 1	2008	H.30. 3.31	都市計画	緑道
					19	173	43	芝間公園	南町1-6			442.30	S.49. 6.26	1974		都市計画	街区
					20	174	160	芝間公園	南町2-43			1,736.55	H. 3. 3.30	1990		都市計画	街区
					21	175	96	南町公園	南町3-21			3,620.89	S.57. 3.31	1981		都市計画	街区
					22	176	41	南町児童公園	南町3-37-25			405.46	S.49. 6.26	1981		宅建法の寄付公園	街区
					23	177	105	おかしめの森公園	南町3-45～住吉町1-71			4,966.79	S.58. 3.31	1982		都市計画	街区
					24	178	194	南町緑地	南町3-47			565.17	H. 9. 3.31	1996		緑地	緑地
					25	179	106	南町第3公園	南町4-34			1,776.25	S.58. 3.31	1982		緑地	緑地
					26	180	120	下河原緑道	南町～宮西町～本町～矢崎町～南町			22,484.29	S.60. 1.22	1984		都市計画	緑道
					27	181	178	多摩川南町公園	南町4-40-39			2,050.00	H. 5.12. 1	1993		閉発行為	街区
					28	182	208	南町交通前公園	南町4-40			800.00	H.13. 2.26	2000	H.28. 3.31	閉発行為	街区
					29	183	135	中島公園	南町4-43			882.27	S.61. 3.31	1985		閉発行為	街区
					30	184	107	南町児童公園	南町5-11			337.17	S.58. 3.31	1982		閉発行為	街区
					31	185	179	南町児童公園	南町6-5			390.67	H. 6. 1.24	1993		閉発行為	街区
					32	186	244	御殿下公園	本町2-16-34			300.01	H.20. 3.11	2007		閉発行為	街区
					33	187	134	本町第2児童公園	本町2-31			500.00	S.61. 3.31	1985		閉発行為	街区
					34	188	74	本町第2公園	本町3-14			260.60	S.64.10. 1	1979		閉発行為	街区
					35	189	121	南町児童公園	本町4-5			976.09	S.60. 1.22	1984		閉発行為	街区
					36	190	82	緑田緑道	分町町2丁目～本町4丁目			3,213.00	S.55. 3.31	1979		都市計画 中央公園下	緑道
					37	191	18	本町公園	本町4-24			3,312.47	S.46. 4. 1	1970	H.23. 3.31	都市計画	街区
					38	192	148	片町第4公園	片町1-2			573.22	S.63. 3.31	1987	H.24. 9.16	閉発行為	街区
					39	193	60	片町第2公園	片町1-10-9			929.76	S.53. 4.21	1978		閉発行為	街区
					40	194	61	片町第3公園	片町2-17			1,212.80	S.53. 4.21	1978		都市計画	街区
					41	195	52	片町公園	片町3-26			1,201.61	H. 4. 3.31	1991		閉発行為	緑道
					42	196	35	宮西町公園	宮西町3-2-3-6			1,485.70	S.49. 3.20	1973		閉発行為	街区
					43	197	157	北新緑公園	宮西町3-1			1,009.23	H. 2. 3.31	1989		閉発行為	街区
					44	198	176	新緑公園	宮西町4-14			1,316.61	H. 5. 3.31	1992		閉発行為	街区
					45	199	36	宮西町第2公園	宮西町5-4-5-24			840.59	S.49. 3.20	1973		閉発行為	街区
					46	200	222	緑田緑道	南町1-12			260.60	H. 8. 3.31	1995		H14. 5月SPから個別変更	広場公園
					47	201	1	新中央公園	南町2-7			52,443.99	S.60. 4. 1	1959		都市計画	運動

表 3-2-13-7 公園綠地等一覽表 (5/8)

公園緑地等区分	コード番号
都市公園	1
広場	2
スポーツパーク	3
府中多摩川かぜのみち	4
市立公園以外の管理地	5

公園種別等区分	項目 番号	番号 (園地管理担当)	旧 番号	名 称	所 在 地	延 長 m	所在地種別名称	面積 ㎡	開設年月日	開設年度	契約期限	備 考	公園 種別
都市公園	1	37	34	新野公園	新野3-1-3-3			763.56	S.49.3.20	1973			街区
	2	235		新野緑道	新野3-1-1			481.72	H.17.3.31	2004			緑道
	3	221		下河原緑広場公園	新野3-3-21			424.95	H.7.3.31	1994		H14.5月SPAから種別変更	広場公園
	4	220		まゆのかげ広場公園	新野3-7			405.46	H.6.3.31	1993		H14.5月SPAから種別変更	広場公園
	5	167	168	すすかけ公園	日新町1番地23			9,101.04	H.4.4.1	1992		閉塞行為	街区
	6	45	47	晴見町公園	晴見町1-19			883.35	S.49.11.15	1974		都市計画 一部閉塞行為	街区
	7	102	104	晴見町第2公園	晴見町2-1			1,048.73	S.58.3.31	1982			街区
	8	131	131	北府中公園	晴見町2-9			4,774.82	S.61.3.31	1985		閉塞行為	街区
	9	210	236	東平公園	晴見町3-19-1			927.06	H.17.4.7	2005			街区
	10	99	100	栄町中央公園	栄町1-1			3,599.79	S.57.3.31	1981		閉塞行為	街区
都市公園	1	87	88	栄町北公園	栄町1-20			2,608.03	S.56.3.31	1980			街区
	2	123	196	明星前公園	栄町2-1			403.15	H.9.3.31	1996		H.31.6.7	街区
	3	57	59	栄町公園	栄町2-4			1,540.25	S.53.4.21	1978		都市計画 一部閉塞行為	街区
	4	162	167	あかまつ林公園	栄町2-6			1,374.76	H.4.3.31	1991			街区
	5	110	110	米町西児童公園	栄町3-11			620.98	S.58.3.31	1982		閉塞行為	街区
	6	123		武蔵台前公園	武蔵台1-19			1,707.82	S.60.3.30	1984		都市計画	街区
	7	10	11	武蔵台公園	武蔵台2-2			46,835.08	S.43.4.1	1968		都市計画	緑地
	8	219	225	白明坂緑地	武蔵台2-10			1,374.40	H.15.3.18	2002			街区
	9	166	164	さんかく公園	武蔵台2-21			450.00	H.4.3.3	1991		H.22.11.30	街区
	10	190	191	武蔵台連野公園	武蔵台2-29			639.22	H.8.5.30	1996		H.30.12.9	街区
都市公園	1	181	182	むさし台緑道	武蔵台3-19			1,980.00	H.6.9.5	1994			緑道
	2	83	85	武蔵台第3公園	武蔵台3-29			2,065.32	S.56.2.10	1980		都市計画 一部閉塞行為	街区
	3	38	37	武蔵台第2公園	武蔵台3-41			1,419.69	S.49.3.20	1973		都市計画	街区
	4	8	9	北山町公園	北山町3-17			324.49	S.43.1.1	1967		市営住宅用地	街区
	5	69		北山町第2公園	北山町3-20			2,931.46	S.54.3.31	1978		都市計画	街区
	6	173	177	せせらぎ公園	北山町4-2、4-3			2,081.37	H.5.3.31	1982		自動更新	街区
	7	161	163	鳥返り塚公園	北山町4-5			1,706.62	H.4.3.31	1991		都市計画 閉塞行為	街区
	8	141	143	西原町東公園	西原町2-26			1,243.31	S.62.3.31	1986		都市計画	街区
	9	151	153	富士見公園	西原町3-4-12			2,316.04	S.63.10.1	1988		都市計画 閉塞行為	街区
	10	33	31	西原町公園	西原町3-12			1,506.52	S.48.3.1	1972		都市計画	街区
都市公園	1	232		西原町中央公園	西原町3-13-1			1,211.19	H.20.3.31	2007			街区
	2	245		大塚北公園	西原町4-39			299.93	H.21.6.30	2009		閉塞行為	街区
	3	3	3	美好町公園	美好町1-27			5,785.15	S.35.4.1	1960		都市計画 近隣	近隣
	4	51	54	美好町第3公園	美好町2-5			495.93	S.51.8.25	1976		都市計画 一部閉塞行為	街区
	5	159	161	美好町児童公園	美好町2-17			685.28	H.3.3.30	1990		閉塞行為	街区
	6	24	26	美好町幼尼公園	美好町2-52			333.75	S.47.3.29	1971		H.22.11.30	街区
	7	218		清水坂公園	美好町3-23-2			419.40	S.63.3.19	1987		H.14.3.6 名称変更	街区
	8	239	114	美好町第2公園	美好町3-43			2,269.33	S.59.3.31	1963		都市計画	街区
	9	182	183	日新町緑道	日新町1-13			3,795.93	H.6.9.21	1994		緑道	緑道
	10	64	66	日新町公園	日新町3-27			2,074.90	S.54.3.31	1978		都市計画	街区
都市公園	1	156	159	日新町第2公園	日新町5-41			2,123.02	H.2.3.31	1989		都市計画	街区
	2	85	92	日新町幼尼公園	日新町5-72			331.82	S.56.3.31	1980			街区
	3	244	227	府中崖線本宿町緑地	本宿町1-32-4			983.53	H.15.3.24	2002			緑地
	4	67	67	本宿町幼尼公園	本宿町1-32			270.47	S.54.3.31	1978		宅通法の寄付公園 閉塞行為	街区
	5	136	139	府中段丘本宿緑道	本宿町1-33			377.41	S.61.10.1	1986		緑道	緑道
	6	104	105	本宿町第2公園	本宿町3-11			1,443.05	S.58.3.31	1982		都市計画	街区
	7	104	39	本宿町公園	本宿町4-14			6,519.31	S.50.3.18	1974		都市計画	街区
	8	248	46	御蔵塚公園	西原町1-60			2,683.68	H.21.6.30	2009		区画整理	街区
	9	249	251	御蔵塚公園	西原町1-60			1,450.00	H.21.6.30	2009		区画整理	街区
	10	250	250	みなみつばら公園	西原町1-49			6,152.09	H.15.3.24	2002		緑地	緑地
都市公園	1	251	226	府中崖線西府町緑地	西府町1-43								緑地

表 3-2-13-8 公園緑地等一覧表 (6/8)

公園緑地等区分	コード番号
都市公園	1
広場	2
スポーツパーク	3
府中多摩川かぜのみち	4
市立公園以外の管理地	5

公園緑地等区分	項目 コード番号	番号 (園路事業付加)	旧 番号	名 称	所 在 地	延 長 m	所在地標数分名称	面積 ㎡	開設年月日	開設年度	契約期限	備 考	公園 種別
都市公園	1	252	247	宝蔵府中熊野神社古墳公園	西府町2-9-15			671.99	H.21.6.30	2009			歴史 種別
都市公園	1	253	164	花の公園	西府町1-29			462.11	H.4.3.31	1991			街区
都市公園	1	254	223	西府ふれあい公園	西府町3-3-10			1,041.67	H.15.3.18	2002			街区
都市公園	1	255	62	西府町公園	西府町3-35			2,083.82	S.53.4.21	1978		都市計画	街区
都市公園	1	256	240	西府橋北公園	西府町4-2-1			1,740.57	H.18.3.31	2005			街区
都市公園	1	257	98	西府町第2公園	西府町5-11			2,015.49	S.57.3.31	1981		都市計画	街区
都市公園	1	258	256	新日町地域公園	新日町1-29			485.00	S.59.1.1	1983		自動更新	街区
都市公園	1	259	257	新葉丘第2地域公園	新葉丘1-29			388.10	S.56.8.25	1981		自動更新	街区
都市公園	1	260	258	新葉丘第2地域公園	新葉丘3-26			2,642.00	S.46.4.1	1971		自動更新	街区
都市公園	1	261	259	白糸台第2地域緑地	白糸台5-22(寺敷地内)			1,843.64	H.元.3.25	1988		H.21.12.31	緑地
都市公園	1	262	260	白糸台第2地域緑地	白糸台6-57			386.77	H.14.1.1	2001		自動更新	緑地
都市公園	1	263	261	小瀬町地域公園	小瀬町4-40-4			446.88	H.13.1.1	2000		自動更新	緑地
都市公園	1	264	262	若松町地域公園	若松町3-26-3			1,120.00	S.45.4.1	1970		自動更新	緑地
都市公園	1	265	263	八幡町地域公園	八幡町2-33(境内地)			1,940.00	S.45.4.1	1970		H.22.12.31	緑地
都市公園	1	266	265	分権町第2地域公園	分権町4-15		(都市計画緑地内)	1,405.00	H.18.1.1	2005		自動更新	緑地
都市公園	1	267	266	住吉町地域公園	住吉町1-1-2			585.00	S.46.4.1	1971		自動更新	緑地
都市公園	1	268	267	住吉町第2地域公園	住吉町3-19(境内地)			1,176.00	S.43.3.31	1967		H.23.12.31	緑地
都市公園	1	269	268	四谷地域公園	四谷2-44(境内地)			1,219.00	S.45.4.1	1970		H.21.12.31	緑地
都市公園	1	270	269	四谷第2地域公園	四谷3-14			1,018.50	H.11.10.4	1989		自動更新	緑地
都市公園	1	271	270	四谷第3地域公園	四谷4-30			614.00	H.4.3.30	1981		自動更新	緑地
都市公園	1	272	273	南町かえで通り公園	南町1-36			3,070.04	S.59.12.7	1984		自動更新	緑地
都市公園	1	273	274	南町第2地域公園	南町6-36			587.38	S.42.12.25	1967		自動更新	緑地
都市公園	1	274	275	本宿町地域公園	本宿町1-4(境内地等)			594.14	S.43.1.21	1967		H.21.12.31	緑地
都市公園	1	275	276	本宿町地域緑地	本宿町1-34			330.44	S.61.10.21	1986		地上機登記	緑地
都市公園	1	276	277	本宿町第2地域公園	本宿町3-30			906.99	S.45.2.7	1969		自動更新	緑地
都市公園	1	277	278	西府町地域公園	西府町1-47			1,499.00	S.46.4.1	1971		自動更新	緑地
都市公園	1	278	279	西府町第2地域公園	西府町5-15-5			330.00	S.46.12.15	1971		自動更新	緑地
都市公園	1	279	280	西府町第3地域公園	西府町5-22			861.00	S.46.1.20	1970		自動更新	緑地
都市公園	1	280	255	清水が丘地域緑地	清水が丘2-37			848.1	H.23.3.31	2010		H.23.3.31遊歩道から	緑地
都市公園	1	281	254	新日町緑道	新日町3-16			1,279.22	H.16.3.25	2004		緑道	緑地
都市公園	1	282	281	片町緑道	片町2-25			910.57	H.25.2.4	2012		緑道	緑地
都市公園	1	283	282	若松町第2地域公園	若松町3-9			330.00	H.25.6.17	2013		緑道	緑地
都市公園	1	284	283	清水が丘重公園	清水が丘3-24			791.56	H.25.6.17	2013		緑道	緑地
都市公園	1	285	284	新田堤親水公園	矢崎町3-14			843.81	H.25.6.17	2013		緑道	緑地
都市公園	1	286	285	四谷新通第2緑地	四谷4-16			1,423.59	H.25.3.31	2012		緑道	緑地
都市公園	1	287	286	新田公園	日新町4-58			2,550.49	H.27.3.31	2014		都市計画	緑地
広場	2	289		多摩町第二広場	多摩町2-33		(都市計画公園内)	4,461.81	S.54.3.31	1978		H.23.3.31	緑地
広場	2	290		白糸台第三広場	白糸台4-48		(武蔵野公園内)	197.00	H.14.1.1	2001		自動更新	緑地
広場	2	291		千歳広場	若松町2-21-1			220.04	H.22.3.31	2009		自動更新	緑地
広場	2	292		若松町広場	若松町2-23-1			1,884.00	S.44.4.1	1969		自動更新	緑地
広場	2	293		上ノ関広場	若松町4-14-12			288.35	H.15.3.17	2002		自動更新	緑地
広場	2	294		市郷第六若松町住宅内(北)広場	若松町4-35			432.73	S.34年度	1959		自動更新	緑地
広場	2	295		市郷第六若松町住宅内(南)広場	若松町4-35			310.51	H.17年度	2005		自動更新	緑地
広場	2	296		なかのせき広場	若松町5-6			195.15	H.9.5.19	1987		自動更新	緑地
広場	2	297		浅間町3-18-140	浅間町3-18-140			134.30	H.13.8.21	2001		自動更新	緑地
広場	2	298		浅間町4-13-49	浅間町4-13-49			241.01	H.16.3.15	2003		自動更新	緑地
広場	2	299		天瀬町4-3	天瀬町4-3			147.29	H.8.3.31	1995		自動更新	緑地
広場	2	300		分権町広場	分権町1-5			161.58	S.49.6.26	1974		自動更新	緑地
広場	2	301		分権町第三広場	分権町1-8-9			160.72	S.55.9.16	1980		自動更新	緑地
広場	2	302		住吉町第三広場	分権町1-23			342.65	H.14.1.1	2001		自動更新	緑地
広場	2	303		住吉町第三広場	住吉町3-71(境内地)			304.00	S.43.3.31	1967		自動更新	緑地
広場	2	304		住吉町第四広場	住吉町5-11			195.79	H.16.2.12	1978		自動更新	緑地
広場	2	305		住吉町第五広場	住吉町5-21			234.45	S.47.6.8	1972		愛宕社有地承認	緑地

表 3-2-13-9 公園綠地等一覽表 (7/8)

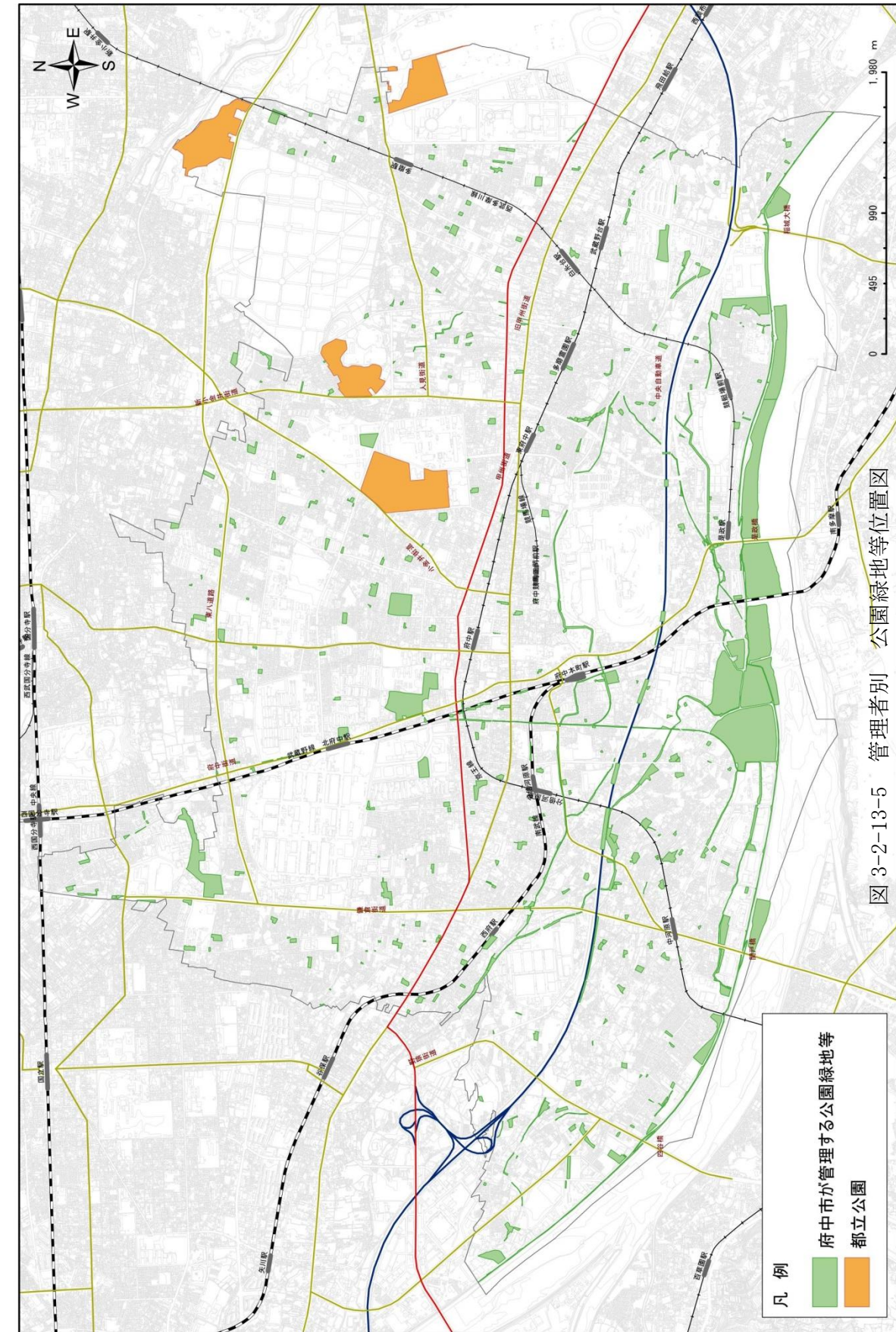
公園緑地等区分	コード番号
都市公園	1
広場	2
スポーツパーク	3
府中多摩川かぜのみち	4
市立公園以外の管理地	5

[illegible]

表 3-2-13-10 公園緑地等一覧表 (8/8)

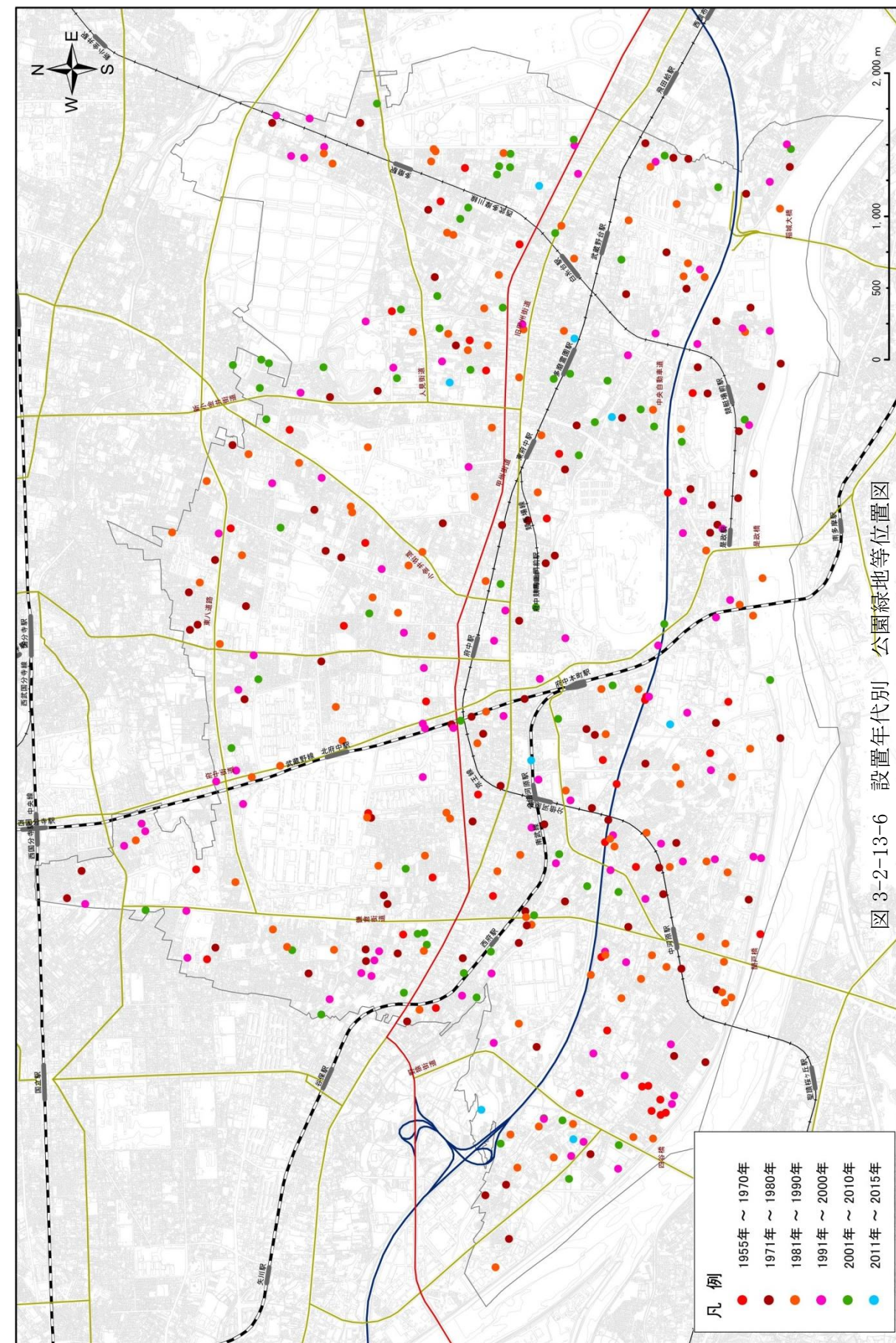
公園緑地等区分	項目 コード番号	番号 (国際標準付加)	旧 番号	名 称	所 在 地	延 長 m (平均幅 3.00m)	所在地標数分名称	面積 ㎡	開設年月日	開設年度	契約期限	備 考	公園 種別
府中多摩川かぜのみち	4	365		府中多摩川かぜのみち(武蔵野の館)	四谷～住吉町～南町～是政～小柳町～押立町	9400.00		35,047.80	\$47.9	1972		市立公園	
市立公園以外の管理地	5	366		四谷公共緑地 1	四谷3-55-33			220.33	\$45.9,24	1970		宅建法	
市立公園以外の管理地	5	367		四谷公共緑地 2	四谷3-55-49			272.81	\$45.9,24	1970		宅建法	
市立公園以外の管理地	5	368		四谷公共緑地 3	四谷3-68-11			459.93	\$45.9,24	1970		宅建法	
市立公園以外の管理地	5	369		四谷公共緑地 4	四谷3-68-13			73.74	\$45.9,24	1970		宅建法	
市立公園以外の管理地	5	370		四谷公共緑地 5	四谷3-55-45			46.22	\$45.12,16	1970		宅建法	
市立公園以外の管理地	5	371		四谷公共緑地 6	四谷3-55-108			136.02	\$45.12,16	1970		宅建法	
市立公園以外の管理地	5	372		栄町1丁目公共緑地	栄町1-20-31			99.19	\$47.6,8	1972		宅建法	
市立公園以外の管理地	5	373		日新町3丁目公共緑地	日新町3-1			59.00	H元,4.1	1989		水階敷利用	
市立公園以外の管理地	5	374		四谷2丁目公共緑地	四谷2-64			64.29	H,4.3.1	1991		水階敷利用	
市立公園以外の管理地	5	375		西府町4丁目公共緑地	西府町4-12-51			142.74	H,4.1,1,20	1992		開発行為	
市立公園以外の管理地	5	376		晴原町公共緑地	晴原町4-10 先			928.80	\$62.12,16	1987			
市立公園以外の管理地	5	377		住吉町3丁目公共緑地	住吉町3-64 先			420.00	\$59	1984		道路用地	
市立公園以外の管理地	5	378		分梅町2丁目公共緑地	分梅町2-48			132.21	H,3	1991		水階敷利用	
市立公園以外の管理地	5	379		分梅町2丁目公共緑地	分梅町2-48-13			53.00	H,3,3,18	1990		条例改正によるSPから種別変更	
市立公園以外の管理地	5	380		小柳町6丁目公共緑地	小柳町6-19			37.97	H,6	1994		条例改正によるSPから種別変更	
市立公園以外の管理地	5	381		宮町1丁目公共緑地	宮町1-10			111.03	H,6.6,2,7	1986		条例改正によるSPから種別変更	
市立公園以外の管理地	5	382		白糸台1丁目公共緑地	白糸台1-42			42.45	\$63,年度	1988		開発行為	
市立公園以外の管理地	5	383		小柳町5丁目公共緑地	小柳町5-1-50 外1筆			150.02	H,15,10,15	2003			
市立公園以外の管理地	5	384		西原町4丁目公共緑地	西原町4-8-11			52.35	H,4,7,1	1992		道路新設代移地 文化振興課へ貸出 (～H23.3.31)	
市立公園以外の管理地	5	385		西府町3丁目公共緑地	西府町3-3-35			165.49	H,19,3,27	2006			
市立公園以外の管理地	5	386		朝日町1丁目公共緑地	朝日町1-24-18 外7筆			236.34	H,22,3,31	2009		開発行為	
市立公園以外の管理地	7	387		小柳町歩道	小柳町4-6-4-35	530		417.7	\$5,1年度	1976			
市立公園以外の管理地	7	388		三ヶ村歩道	是政2,3,5,6丁目	1959		8,059	\$5,5,年度	1978			
市立公園以外の管理地	7	389		第一都市遊歩道	本町～日吉町～宮町～八幡町～清水が丘	2030		13,862	\$5,5,年度	1980			
市立公園以外の管理地	7	390		第二都市遊歩道	日新町～本宿町～分梅町～片町～本町～矢崎町	2434.1		17,992.2	\$5,5,年度	1980			
市立公園以外の管理地	7	391		第三都市遊歩道	住吉町～南町	1852		1,249.96	\$5,7,年度	1982			
市立公園以外の管理地	7	392		四谷4-5丁目遊歩道	四谷4-12-6-2	264.57		151.6	\$5,9,年度	1984			
市立公園以外の管理地	7	393		むさしだにのみち	武蔵台2-27	85.6		425.94	\$6,3,年度	1988			
市立公園以外の管理地	7	394		中河原遊歩道	住吉町1-68	107		235	H,3,年度	1991			
市立公園以外の管理地	7	395		よつやさんほみち(四谷小學校北側)	四谷3-2740 内	171.9		1243.89	H,7,年度	1995			
市立公園以外の管理地	7	396		日新町5丁目遊歩道	日新町5-41 先	141		771.43	H,13,年度	2001			
市立公園以外の管理地	7	397		本宿地区	本宿町1-33-8			45.93	\$46,12,15	1971		府中除庄本宿緑道の西側 東京都府中(下水道使用)	
市立公園以外の管理地	7	398		白糸台地区	白糸台6-48-17			240.63	\$60,6,2,9	1985			
市立公園以外の管理地	7	399		多摩町2-10	多摩町2-10			1,610.79	H,9,3,31	1996	H,23,3,31	公園施設設置許可	
市立公園以外の管理地	7	400		養好町広場	養好町18			1,249.96	\$56,6,26	1981		一階開放	
市立公園以外の管理地	7	401		万佐の本公園	若 町3-17-1			946.09	H,15,4,1	2003		指定管理 使目許可	
市立公園以外の管理地	7	402		是政広場	是政3-59			1,759.00	H,20,6,5	2008	H,27,4,30 H,24,3,31	占用許可	
市立公園以外の管理地	7	403		八幡町中央広場	八幡町1-5-10			109.77	H,22,3,31	2009			
市立公園以外の管理地	7	404		若松遊園	若松町5-1-3 外			8,586.74	\$50,4	1975			
市立公園以外の管理地	7	405		西府町3丁目遊園	西府町2-29-1			334.06	\$53,7	1978		(通称)養出園(計画地) (四谷第5公園計画地)	
市立公園以外の管理地	7	406		四谷4丁目遊園	四谷4-44 外			1,268.15	H元,3	1988		水路敷	
市立公園以外の管理地	7	407		多摩町2丁目遊園	多摩町2-1			727.82	H元,12	1989			
市立公園以外の管理地	7	408		是政公衆トイレ	是政4-30-14			66.66	\$5,5	1980		多摩川緑地最寄地区内の 位置づけ	
市立公園以外の管理地	7	409		一里塚	日新町5-72-8			37.22		8888			
市立公園以外の管理地	7	410		是政1丁目公共空地	是政1-2-19			82.88		8888			
市立公園以外の管理地	7	411		宮町3丁目広場	宮 町 3-6			1,950.00		8888			

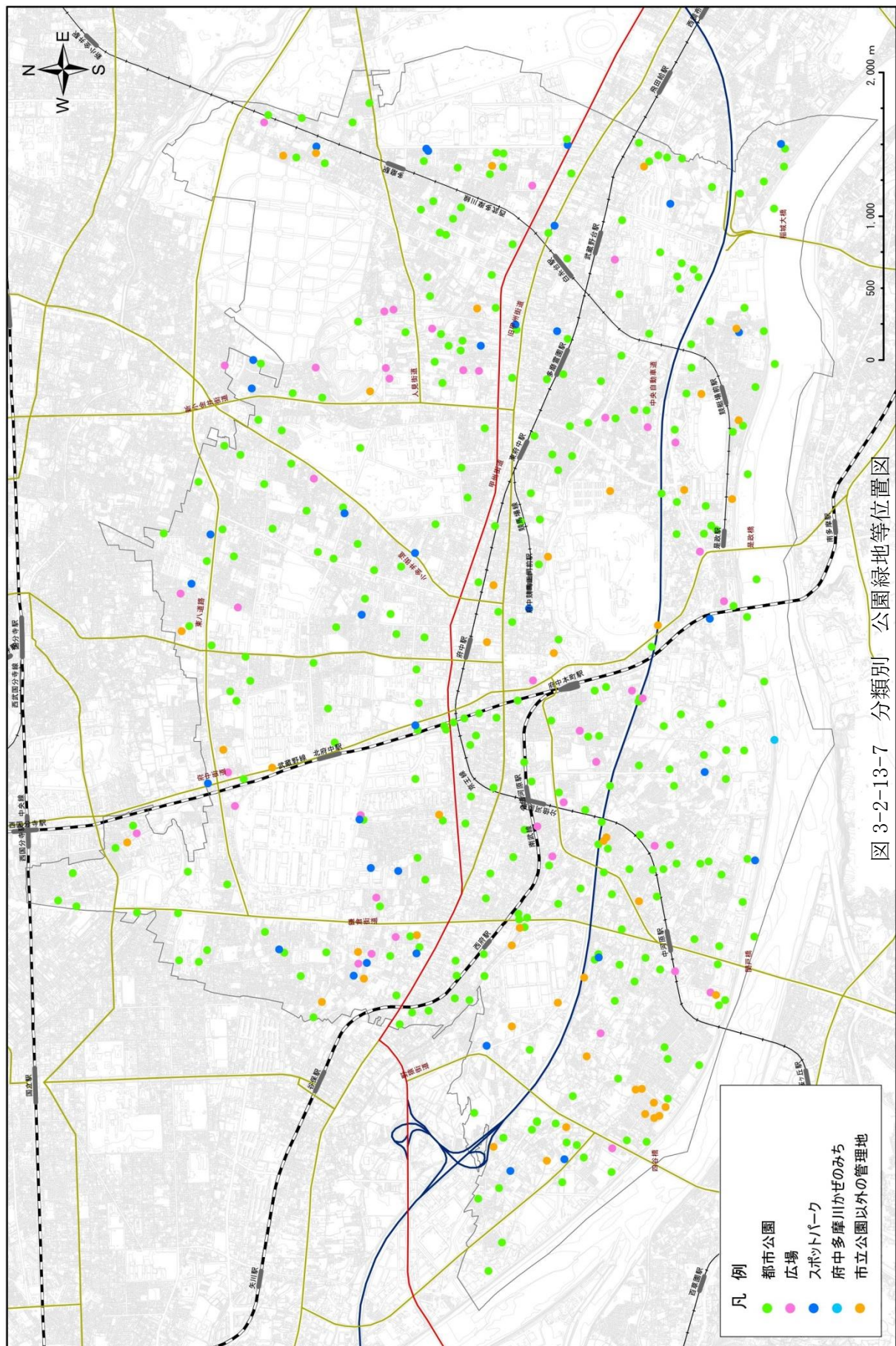
3.2.13.2. 公園緑地等位置



3-2-8

インフラの整備状況（公園）





3-2-8

インフラの整備状況（公園）

3.2.13.3. 公園緑地等の現況

(1) 公園緑地等の現状

- 市が管理する公園緑地等は、1970 年（昭和 45 年）以降に多く開設されています。とくに、1978 年（昭和 53 年）に 24 箇所と最も多くの公園緑地等を開設しています。
- 1993 年（平成 5 年）以降は開設する公園緑地等の数は、減少の傾向がみられます。
- 1980 年（昭和 55 年）以前に開設（開設から 30 年以上が経過）した公園緑地等は 134 箇所あり、全体の約 33%を占めています。
- 日常の維持管理をはじめ、老朽化した公園施設の補修・更新に順次取り組んでいます。
- 今後は更なる施設の老朽化に伴い、維持管理費の増大が想定されています。

(2) 公園施設の数量と更新費用

市が管理する公園緑地等にある施設数は、次の表のとおりです。施設の分類、内容は「国土交通省所管補助金等交付規則」（平成 12 年 12 月 21 日総理府・建設省令第九号）に基づく分類です。

【更新費用】

施設の分類に合わせて、過去の委託実績から推測し、更新費用の概算額を試算します。

【処分制限期間】

「国土交通省所管補助金等交付規則」に基づく、施設の処分制限期間です。この処分制限期間は、財産としての価値を算出する期限として規定されています。

表 3-2-13-11 公園緑地等における施設の数量

分類		内容	設置費用 (万円)	単位	数量	処分制限期間(年)
植物等	修景施設	芝生・草		本	270	20
		バーゴラ・東屋	300	個	460	7
		その他	-	個	38,061	
	中高木	中木		本	4,331	-
		高木		本	38,322	-
	低木	低木		本	45,438	-
施設	運動施設	鉄棒	21	個	107	30
		その他	-	個	6	
	園路及び広場	コンクリート・ブロック等	0.6	m ²	96,583	15
		その他	-	m ²	160,502	
	管理施設	外柵	4	m	1,171	10
		照明灯	53	個	1,451	15
		電線類	0.68	m	-	30
		排水マス	11	個	1,235	15
		排水管	0.75	m	-	15
		給水管	0.25	m	-	15
		その他	-	個	1	
	休養施設	ベンチ	22	個	1,439	7
		テーブル	55	個	16	7
		その他	-	個	266	
	教養施設	モニュメント	-	個	65	10
		記念碑	-	個	20	10
		その他	-	個	31	
	便益施設	トイレ	850	個	117	50
		水飲場		個	328	15
		その他	-	個	69	
	遊戯施設	ブランコ(4連)	107	個	42	15
		ブランコ(2連)	67	個	70	15
		ブランコ(その他)	-	個	92	15
		スベリ台	71	個	142	15
		砂場	50	個	182	10
		木製遊具	350	個	20	7
		健康遊具	-	個	43	
		その他	-	個	485	

3-2-8

インフラの整備状況（公園）

次に、施設ごとの「細区分」と「既存施設の数量」を示します。

① 修景施設

表 3-2-13-12 修景施設区分

府中市区分	施設分類No	府中市区分	施設分類No
クローバー吹付	1	植栽樹	3
シバザクラ	1	植樹帯ブロック	3
芝生	1	植樹樹	3
草地	1	親子ゴリラ	3
トレリス	2	水路	3
パーゴラ	2	生垣	3
ウォーターモニュメント	3	石	3
オブジェ	3	石縁石	3
ゲート	3	石垣	3
コンクリート橋	3	石橋	3
シェルター	3	石畳	3
ジャブジャブ池	3	石積み	3
シロクマ	3	石積縁石	3
ツリーサークル	3	石段	3
バードバス	3	石張花壇	3
フジ	3	石敷	3
フラワーポット	3	石並(縁石)	3
プランターボックス	3	泉	3
プレート	3	滝	3
モニュメント	3	池	3
レンガ花壇	3	置石	3
花壇	3	彫刻	3
既存庭園灯	3	庭園灯	3
擬木柱	3	渡り石	3
橋	3	土居木階段	3
橋工	3	灯籠	3
玉石積	3	陶板レリーフ	3
兄弟パンダ	3	飛石	3
景石	3	美濃石縁石	3
高木用樹名板	3	噴水	3
時計	3	壁泉	3
自然石	3	湧水(コンクリート枠)	3
修景池	3	流れ	3
植栽(株物)	3	流れ(石敷)	3
植栽(樹木)	3	灌木用樹名板	3

施設分類 No	内容	設置費用 (万円)	単位	数量	処分制限 期間(年)
1	芝生・草		本	270	20
2	パーゴラ・東屋	300	個	460	7
3	その他	-	個	38,061	

3-2-8

インフラの整備状況(公園)

② 運動施設

表 3-2-13-13 運動施設区分

府中市区分	施設分類No
高鉄棒	7
低鉄棒	7
鉄棒	7
複合鉄棒	7
ゴールポスト	8
スコアボード	8
ネット	8
ネットカベ	8
バスケットゴール	8
バックネット	8

施設分類 No	内容	設置費用 (万円)	単位	数量	処分制限 期間(年)
7	鉄棒	21	個	107	30
8	その他	-	個	6	

③ 園路及び広場

表 3-2-13-14 園路及び広場区分

府中市区分	施設分類No	府中市区分	施設分類No
PCカラー平板舗装	9	砂利敷	9
RP舗装	9	雑割石張	9
アクリル樹脂系舗装	9	視覚障害者誘導用ブロック	9
アスファルト	9	自然石敷石	9
アスファルト舗装	9	自然石平板舗装	9
インターロッキング	9	自然石乱張	9
インターロッキング舗装	9	自転車置場(タタキ)	9
ウッドチップ舗装	9	自由広場	9
カラーアスファルト	9	芝生広場	9
カラーアスファルト舗装	9	小舗石張	9
カラーコンクリート舗装	9	小舗石舗装	9
カラー平板舗装	9	石英岩乱張	9
クリンカタイル	9	石英石飛石	9
ゴムチップ舗装	9	石英石乱張	9
ゴム舗装	9	石張	9
コンクリート基礎	9	石張り舗装	9
コンクリート洗い出し舗装	9	石張舗装	9
コンクリート平板舗装	9	石貼舗装	9
コンクリート舗装	9	石版石張	9
タイルプレート	9	洗い出し平板舗装	9
タイル張	9	洗出舗装	9
タイル張り	9	線路	9
タイル敷	9	脱色アスファルト舗装	9
タイル舗装	9	地下道	9
タタキ	9	駐輪場	9
タタキ(橋)	9	鉄橋舗装	9
チップ舗装	9	鉄平石舗装	9
デザインタイル貼	9	点字ブロック	9
プラニットタイル舗装	9	豆砂利洗い出し平板	9
メトロレンガ舗装	9	透水性アスファルト	9
レンガブロック舗装A	9	透水性ゴムチップ舗装	9
レンガブロック舗装B	9	透水性スラグ舗装	9
レンガ張	9	透水性自然石舗装	9
レンガ舗装	9	道路舗装	9
園路	9	特殊ブロック舗装	9
化粧砂利接着仕上げ	9	特殊樹脂舗装	9
絵タイル	9	白ミカゲ舗装	9
擬石平板敷	9	板貼りデッキ	9
擬石ブロック	9	飛石舗装	9
擬石大谷石舗装	9	敷石舗装	9
橋	9	平板石畳	9
橋脚	9	平板敷	9
玉石敷	9	平板舗装	9
玉石舗装	9	舗石舗装	9
公園橋	9	誘導ブロック	9
広場	9	乱張	9
高架ピア	9	グリーンコート舗装	10
合成ゴムマット舗装	9	ダスト舗装	10
砂場広場	9	テニスコート舗装	10

施設分類 No	内容	設置費用 (万円)	単位	数量	処分制限 期間(年)
9	コンクリート・ブロック等	0.6	m ²	96,583	15
10	その他	-	m ²	160,502	

3-2-8

インフラの整備状況(公園)

④ 管理施設

表 3-2-13-15 管理施設区分 (1/5)

府中市区分	施設分類No	府中市区分	施設分類No
エキスパンドフェンス	11	公園灯	12
ガードパイプ	11	照明灯	12
ガードポール	11	埋込ライト	12
ガードレール	11	野球場照明	12
ガード柵	11	NTT人孔	14
コンクリート柵	11	インバート樹	14
ネットフェンス	11	コンクリート植樹	14
ネットフェンス(忍返付)	11	トラップ樹	14
パイプ柵	11	マンホール	14
フェンス	11	レンガ縁石植樹	14
フェンス支柱	11	飲用水槽人孔	14
メッシュフェンス	11	雨水マンホール	14
メッシュフェンス(忍返付)	11	雨水小口樹	14
ロープ柵	11	雨水浸透樹	14
安全柵	11	雨水人孔	14
外柵	11	雨水樹	14
格子柵	11	円形人孔	14
丸太ロープ柵	11	円形樹	14
擬木ロープ柵	11	汚水公設樹	14
擬木ロープ柵	11	汚水人孔	14
擬木杭柵	11	汚水樹	14
擬木柵	11	下水人孔	14
柵	11	下水人孔(雨水)	14
手すり柵	11	下水人孔(汚水)	14
重量ブロックフェンス	11	下水入孔	14
人止柵	11	街渠樹	14
竹柵	11	既設集水樹	14
鋳物柵	11	既設人孔蓋	14
鉄柵	11	既設樹	14
波形フェンス	11	既設樹蓋掛け	14
木柵	11	空気弁樹	14
目隠しフェンス	11	公設汚水樹	14
アッパーライト	12	公設樹	14
ガーデンライト	12	四型側溝樹	14
公園灯	12	集水樹	14
ハイブリッド照明灯	12	小舗石植樹	14
フットライト	12	植樹樹	14
外灯	12	植樹	14
街灯	12	植樹土留	14
競技場照明	12	浸透樹	14

施設分類No	内容	設置費用(万円)	単位	数量	処分制限期間(年)
11	外柵	4	m	1,171	10
12	照明灯	53	個	1,451	15
13	電線類	0.68	m	-	30
14	排水マス	11	個	1,235	15
15	排水管	0.75	m	-	15
16	給水管	0.25	m	-	15
17	その他	-	個	1	

3-2-8

インフラの整備状況(公園)

表 3-2-13-16 管理施設区分 (2/5)

府中市区分	施設分類No	府中市区分	施設分類No
人孔	14	ゴルフ禁止板	17
接続汚水桝	14	コンクリートウォール	17
鉄蓋マンホール	14	コンクリートブロック擁壁	17
点検孔	14	コンクリート縁石	17
電気マンホール	14	コンクリート基礎	17
透水桝	14	コンクリート土留	17
二重桝	14	コンクリート被覆	17
排水桝	14	コンクリート塀	17
歩道用汚水桝	14	コンクリート擁壁	17
防火水槽マンホール	14	コンクリート枠	17
防火貯水槽マンホール	14	コンセント盤	17
防水貯水槽マンホール	14	サポーター	17
桝	14	サランネット	17
L型側溝	17	すいがら入	17
L型擁壁	17	スクリーン	17
L字溝	17	スピーカー	17
SKドレーン	17	スプリンクラー	17
U型側溝	17	スロープ	17
U型桝	17	タイル説明板	17
U字構桝	17	ツリーサークル	17
U字溝	17	ツリーサークル(円形)	17
U字側溝	17	ツリーサークル(角形)	17
アーチ	17	トイレ用目隠し・園名板	17
アーチゲート	17	土留	17
アルミ蓋(汚水)	17	ネット集中制御盤	17
ウインチ操作盤	17	パイプ	17
ウォール	17	バックネット支柱	17
オーブングレート	17	バッテリー収納盤	17
ガス弁	17	バルブ	17
カルバート	17	バルブボックス	17
ガレージ	17	ハンドオール	17
くずかご	17	ハンドホール	17
くず入れ	17	ピット	17
グレーチング	17	広場名称	17
グレーチング側溝	17	プール管理棟	17
ゲートバルブ	17	フラッグポール	17
ケンチブロック	17	ブロック	17
ゴミ入れ	17	ブロック土留	17
ゴミ集積場	17	ブロック塀	17
ゴミ箱	17	ブロック擁壁	17

施設分類 No	内容	設置費用 (万円)	単位	数量	処分制限 期間(年)
11	外柵	4	m	1,171	10
12	照明灯	53	個	1,451	15
13	電線類	0.68	m	-	30
14	排水マス	11	個	1,235	15
15	排水管	0.75	m	-	15
16	給水管	0.25	m	-	15
17	その他	-	個	1	

3-2-8

インフラの整備状況(公園)

表 3-2-13-17 管理施設区分 (3/5)

府中市区分	施設分類No	府中市区分	施設分類No
ポール	17	器材小屋	17
ポンプコントローラー	17	既設ハンドホール	17
ポンプピット	17	既設量水器	17
ポンプ小屋	17	記念樹碑案内柱	17
メーター	17	擬石縁石	17
メーターボックス	17	擬木	17
レンガウォール	17	擬木(記念碑)	17
暗渠	17	擬木縁石	17
暗渠蓋	17	擬木階段	17
案内石	17	擬木階段	17
案内石柱	17	擬木土留	17
案内柱石	17	擬木擁壁	17
案内板	17	擬木乱杭	17
囲障壁	17	吸殻入れ	17
移動式車止	17	給水バルブ	17
引込柱	17	境界ブロック	17
円柱	17	橋	17
園名石	17	玉石縁石	17
園名柱	17	金網扉	17
園名板	17	空気弁	17
園名板・制札板	17	空気弁蓋掛け	17
縁石	17	屑入れ	17
縁石(2重)	17	掲示板	17
縁石(大谷石ブロック)	17	掲揚ポール	17
化粧袖壁	17	交通公園管理事務所	17
灰皿	17	交通標識	17
開渠	17	公園案内サイン	17
開閉盤	17	公園管理事務所	17
階段	17	公園名サイン	17
外灯操作盤	17	広場名板	17
街渠	17	広報掲示板	17
笠石	17	高欄	17
看板	17	国旗掲揚台	17
看板(バイク乗入禁止)	17	作業場	17
看板(広域避難場所)	17	雑割石縁石	17
看板(防火水槽)	17	皿型溝	17
看板(防災倉庫の標示)	17	皿型溝柵	17
管理小屋	17	皿型側溝	17
間知石積	17	散水栓	17
丸太縁石	17	仕切弁	17

施設分類 No	内容	設置費用 (万円)	単位	数量	処分制限 期間(年)
11	外柵	4	m	1,171	10
12	照明灯	53	個	1,451	15
13	電線類	0.68	m	-	30
14	排水マス	11	個	1,235	15
15	排水管	0.75	m	-	15
16	給水管	0.25	m	-	15
17	その他	-	個	1	

3-2-8

インフラの整備状況(公園)

表 3-2-13-18 管理施設区分 (4/5)

府中市区分	施設分類No	府中市区分	施設分類No
四型側溝	17	制札板	17
市揭示板	17	制水弁	17
市民の木標示板	17	制札板	17
市民の木標識	17	製札板	17
市民愛の木揭示板	17	石積擁壁	17
市民愛の木標示板	17	説明柱	17
市民愛の木揭示板	17	説明板	17
市民憲章板	17	倉庫	17
支線	17	操作盤・自動給水装置	17
支柱	17	総合案内板	17
止水バルブ	17	側溝	17
止水栓	17	堆肥置場	17
止水弁	17	大谷石ウォール	17
時計	17	大幟立	17
時計塔	17	地先(縁石)	17
自家発電装置	17	注意板	17
自治会揭示板	17	駐車場	17
自転車置場	17	点字案内板	17
自動給水盤	17	電源盤	17
自立分電盤	17	電磁弁格納箱	17
車止	17	電話柱	17
車止(石)	17	吐出口	17
車止め	17	土留	17
手押しポンプ	17	土留壁	17
手摺	17	塔	17
受水槽	17	塔屋	17
消火栓	17	排水口	17
消防水利看板	17	配電設備	17
照明施設	17	配電盤	17
照明配電盤	17	扉	17
照明分電盤	17	被覆	17
上水バルブ	17	非常災害用井戸操作盤	17
浄化槽設備	17	標示板	17
植栽土留	17	標識	17
信号	17	標識(制札)	17
身障者誘導標識	17	表示板	17
水道	17	物置	17
水利標識	17	分電盤	17
水路擁壁	17	塀	17
制御盤	17	壁面擁壁	17

施設分類 No	内容	設置費用 (万円)	単位	数量	処分制限 期間(年)
11	外柵	4	m	1,171	10
12	照明灯	53	個	1,451	15
13	電線類	0.68	m	-	30
14	排水マス	11	個	1,235	15
15	排水管	0.75	m	-	15
16	給水管	0.25	m	-	15
17	その他	-	個	1	

3-2-8

インフラの整備状況(公園)

表 3-2-13-19 管理施設区分 (5/5)

府中市区分	施設分類No
変圧器	17
変電設備	17
防火水槽標識	17
防火貯水槽標識	17
防火標識	17
防球ネット	17
防球ネット支柱	17
防球フェンス	17
防災パーゴラ	17
防災用仮設トイレ	17
防水標識	17
枕木	17
名称栓	17
名称柱	17
名称板	17
盲人用押ボタン	17
木の標示板	17
木の表示板	17
木製手摺	17
木製土留	17
門	17
門石	17
門柱	17
門柱(照明付)	17
門扉	17
門塀	17
揚水ポンプ室	17
擁壁	17
欄干	17
陸上競技場管理棟	17
流水制御盤	17
流入口	17
量水器	17
緑石土台丸太	17
濾過機室	17
濾過層	17
濾過層・ポンプ室	17
濾過装置小屋	17

3-2-8

インフラの整備状況(公園)

施設分類 No	内容	設置費用 (万円)	単位	数量	処分制限 期間(年)
11	外柵	4	m	1,171	10
12	照明灯	53	個	1,451	15
13	電線類	0.68	m	-	30
14	排水マス	11	個	1,235	15
15	排水管	0.75	m	-	15
16	給水管	0.25	m	-	15
17	その他	-	個	1	

⑤ 休養施設

表 3-2-13-20 休養施設区分

府中市区分	施設分類No
かまどベンチ	18
ウォールベンチ	18
サークルベンチ	18
タイルベンチ	18
パイプベンチ	18
バックボウベンチ	18
バックボーンベンチ	18
ベンチ	18
ベンチウォール	18
リスベンチ	18
縁台ベンチ	18
丸太ベンチ	18
自然石ベンチ	18
植樹ベンチ	18
石ベンチ	18
長ベンチ	18
背伸ばしベンチ	18
背伸ベンチ	18
背付ベンチ	18
腹筋ベンチ	18
平ベンチ	18
木ベンチ	18
テーブル	19
テーブルセット	19
屋外卓	19
卓	19
野外卓	19
かまどスツール	20
シェルター	20
スツール	20
テラス	20
プレイスカルプチャー	20
縁台	20
丸太スツール	20
休憩所	20
四阿	20
木製スツール	20
石スツール	20
東屋	20

施設分類 No	内容	設置費用 (万円)	単位	数量	処分制限 期間(年)
18	ベンチ	22	個	1,439	7
19	テーブル	55	個	16	7
20	その他	-	個	266	

3-2-8

インフラの整備状況（公園）

⑥ 教養施設

表 3-2-13-21 教養施設区分

府中市区分	施設分類No
オブジェ(カエル)	21
オブジェ(子供)	21
トーテムポール	21
モニュメント	21
記念樹碑	22
記念碑	22
擬木(記念碑)	22
地名由来碑	22
分倍河原古戦場碑	22
ホーム	23
モニュメント説明石	23
モニュメント説明板	23
遺跡説明石	23
稲荷	23
記念樹柱	23
記念柱	23
自然水路	23
鳥居	23
復元遺跡	23
覆屋根	23
方位盤	23
野外ステージ	23

施設分類 No	内容	設置費用 (万円)	単位	数量	処分制限 期間(年)
21	モニュメント	-	個	65	10
22	記念碑	-	個	20	10
23	その他	-	個	31	

3-2-8

インフラの整備状況(公園)

⑦ 便益施設

表 3-2-13-22 便益施設区分

府中市区分	施設分類No
トイレ	24
トイレ(身体障害者用)	24
トイレ・更衣室	24
障害者用便所	24
便所	24
便所(障害者対応)	24
飲用水栓	25
水飲み	25
水飲場	25
水景施設ビット	25
カーブミラー	26
ノズルビット(ミスト)	26
ポンプ	26
メーターボックス	26
飲用水栓(集水桧)	26
給水弁	26
仕切栓	26
止水栓	26
時計	26
集水桧	26
小口径桧	26
信号機	26
人孔桧	26
炊事場	26
制水桧	26
洗場	26
足洗い場	26
鳥のえさ箱	26
点検桧	26
売店	26
踏石	26
踏板	26
桧	26
目洗場	26
用水桧	26
量水気	26
濾過槽	26

施設分類 No	内容	設置費用 (万円)	単位	数量	処分制限 期間(年)
24	トイレ	850	個	117	50
25	水飲場		個	328	15
26	その他	-	個	69	

3-2-8

インフラの整備状況(公園)

⑧ 遊戯施設

表 3-2-13-23 遊戯施設区分

府中市区分	施設分類No	府中市区分	施設分類No
4連ブランコ	27	タイコバシゴ	33
2連ブランコ	28	タイヤピラミッド	33
ハコブランコ	29	タタキ(石入)	33
ブランコ	29	チェーンネットクライム	33
安全ブランコ	29	テニスコート舗装	33
腰掛けブランコ	29	トビトビタイヤ	33
椅子ブランコ	29	バスケットゴール	33
スベリ台	30	パネ遊具 A	33
滑り台	30	パネ遊具 B	33
象型スベリ台	30	ハン登棒	33
砂場	31	びよんびよん台	33
2連シーソー	32	ぶら下り平行棒	33
5人乗り木馬	32	ぶら下り棒	33
ラクダン	32	プレイウォール	33
丸太かべ	32	プレイスカルチャー	33
丸太ステップ	32	プレイスカルプチャー	33
丸太タイヤステップ	32	プレイステップ	33
丸太のぼり	32	プレイスプリング	33
丸太わたり	32	ブレイドーム	33
丸太階段	32	ベンチ	33
丸太柵ごえ	32	マッシュルームシェルター	33
丸太平均台	32	ラダー	33
木製クライミング	32	リングラダー	33
木製コンビネーション遊具	32	ロープわたり	33
木製遊具	32	ロープ遊具	33
4連鉄棒	33	ローラースケート場	33
アスレチック遊具	33	ロッキングボード	33
うんてい	33	ロッキンパッピー	33
オーバルキャッスルジム	33	宇宙船	33
キャラクター遊具	33	雲梯	33
グローブジャングル	33	擬木樹林	33
グローブジャングルジム	33	懸垂平行棒	33
ゴム舗装	33	水車コンビネーション	33
コンビネーション複合遊具	33	段ちがいステップ	33
コンビネーション遊具	33	築山	33
サークル	33	登り棒	33
シーソー	33	土管	33
ジャイアントスライダー	33	背のばしベンチ	33
ジャングルジム	33	複合遊具	33
ステップ山	33	平均台	33
ステンレス遊具	33	宝くじスプリング	33
ストーンハウス	33	野外車	33
スプリング遊具	33	遊具	33
スライダー	33	六角輪くぐり	33
ターザンロープ	33	健康遊具	34

施設分類 No	内容	設置費用 (万円)	単位	数量	処分制限 期間(年)
27	ブランコ(4連)	107	個	42	15
28	ブランコ(2連)	67	個	70	15
29	ブランコ(その他)	-	個	92	15
30	スベリ台	71	個	142	15
31	砂場	50	個	182	10
32	木製遊具	350	個	20	7
33	その他	-	個	485	
34	健康遊具	-	個	43	

3-2-8

インフラの整備状況(公園)

3.2.13.4. 公園緑地等の整備状況

(1) 設置年別の箇所数

市が管理する公園緑地等は、1970 年（昭和 45 年）以降に多く開設されています。特に、1978 年（昭和 53 年）には、24 箇所と最も多くの公園緑地等を開設しています。

また、1980 年（昭和 55 年）以前に開設された公園緑地等は、開設から 30 年以上が経過しています。該当の公園緑地等は 134 箇所あり、全体の約 33%を占めています。

市では、日常の維持管理をはじめ、老朽化した公園施設の修繕や更新に順次取り組んでいます。しかし、今後は更なる施設の老朽化が進むことに伴い、維持管理費の増大が想定されます。

表 3-2-13-24 年度別箇所数

開設年度	箇所数	開設年度	箇所数	開設年度	箇所数	開設年度	箇所数	開設年度	箇所数	開設年度	箇所数
1955	1	1971	11	1981	10	1991	17	2001	14	2011	0
1956	0	1972	12	1982	12	1992	17	2002	11	2012	2
1957	0	1973	5	1983	13	1993	8	2003	5	2013	3
1958	0	1974	8	1984	11	1994	7	2004	3	2014	2
1959	2	1975	4	1985	13	1995	10	2005	8	2015	1
1960	2	1976	2	1986	11	1996	11	2006	5	不明	3
1961	0	1977	1	1987	9	1997	6	2007	4		
1962	1	1978	24	1988	13	1998	3	2008	2		
1963	0	1979	11	1989	11	1999	3	2009	11		
1964	0	1980	15	1990	7	2000	8	2010	2		
1965	4										
1966	0										
1967	7										
1968	4										
1969	3										
1970	17										
小計	41	小計	93	小計	110	小計	90	小計	65	小計	11
										合計	410

※ 複数の場所を同じ公園名称で管理している場合があるため、管理数とは異なります。

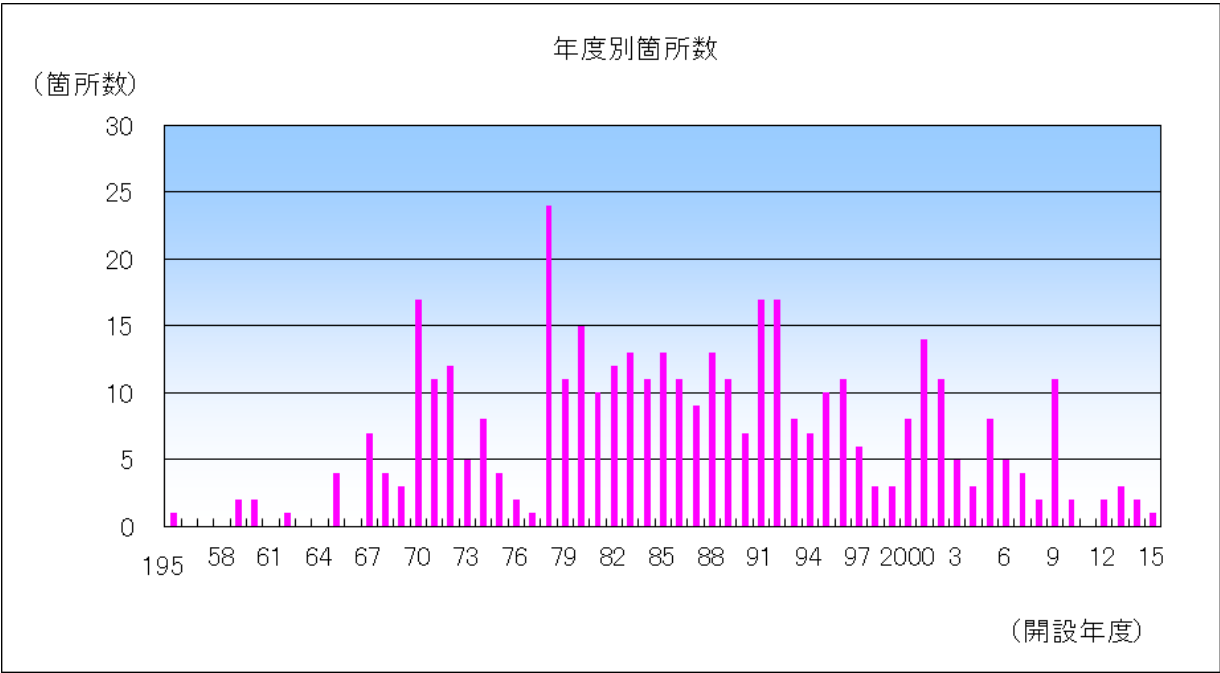


図 3-2-13-8 年度別の公園緑地等箇所数

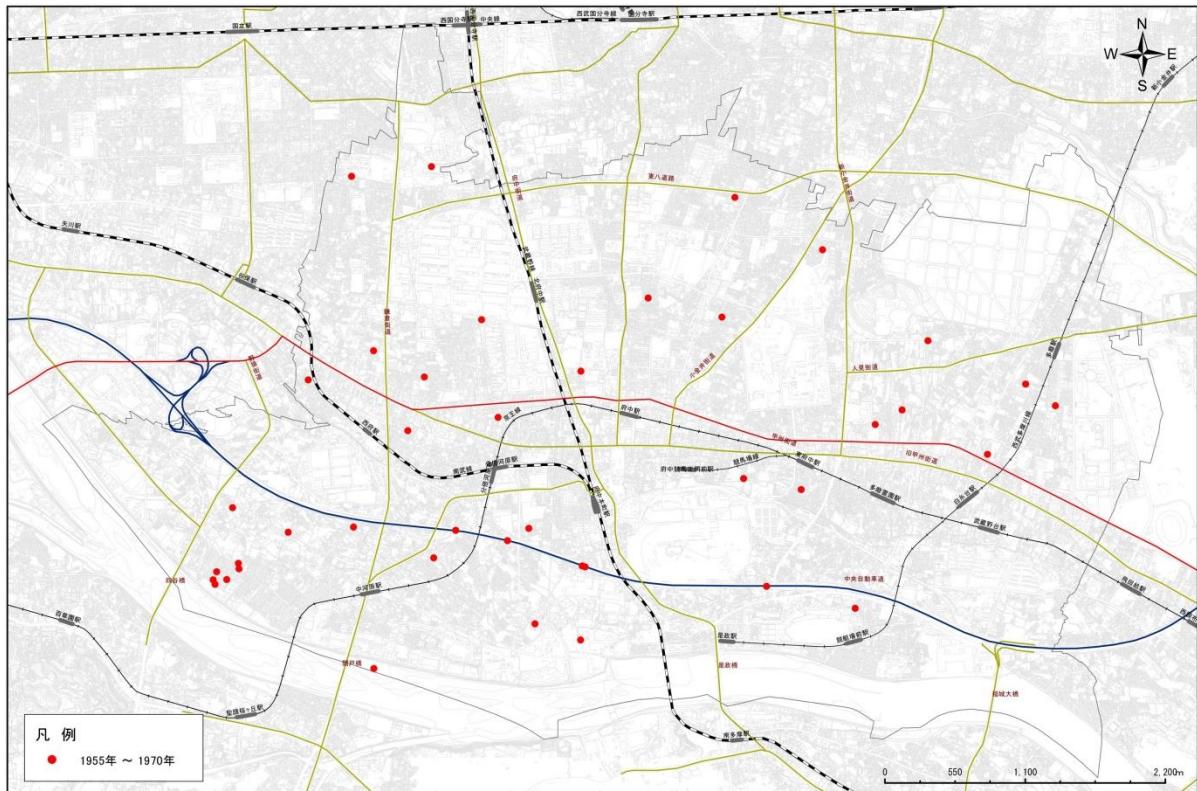


図 3-2-13-9 開設年度ごとの公園緑地等の位置図（1955 年～1970 年）

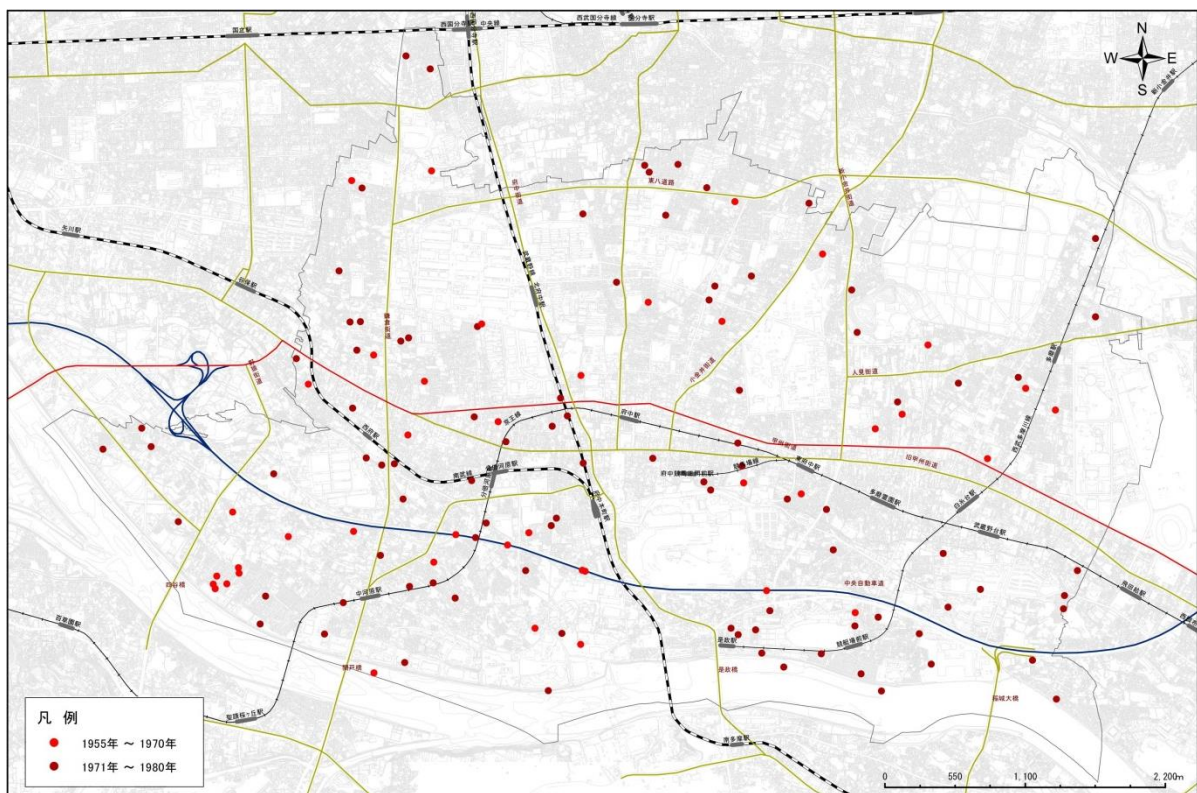


図 3-2-13-10 開設年度ごとの公園緑地等の位置図（1955 年～1980 年）

3-2-8

インフラの整備状況（公園）

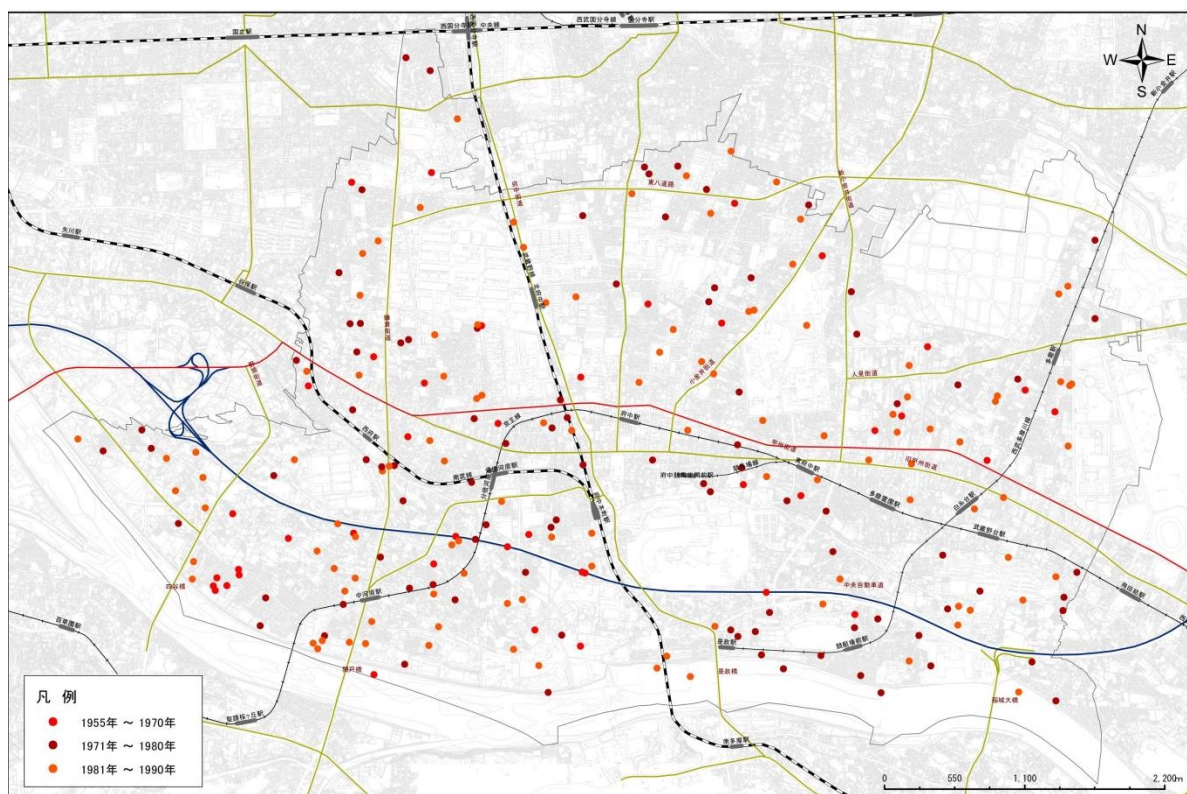


図 3-2-13-11 開設年度ごとの公園緑地等の位置図 (1955 年～1990 年)

3-2-8

インフラの整備状況 (公園)

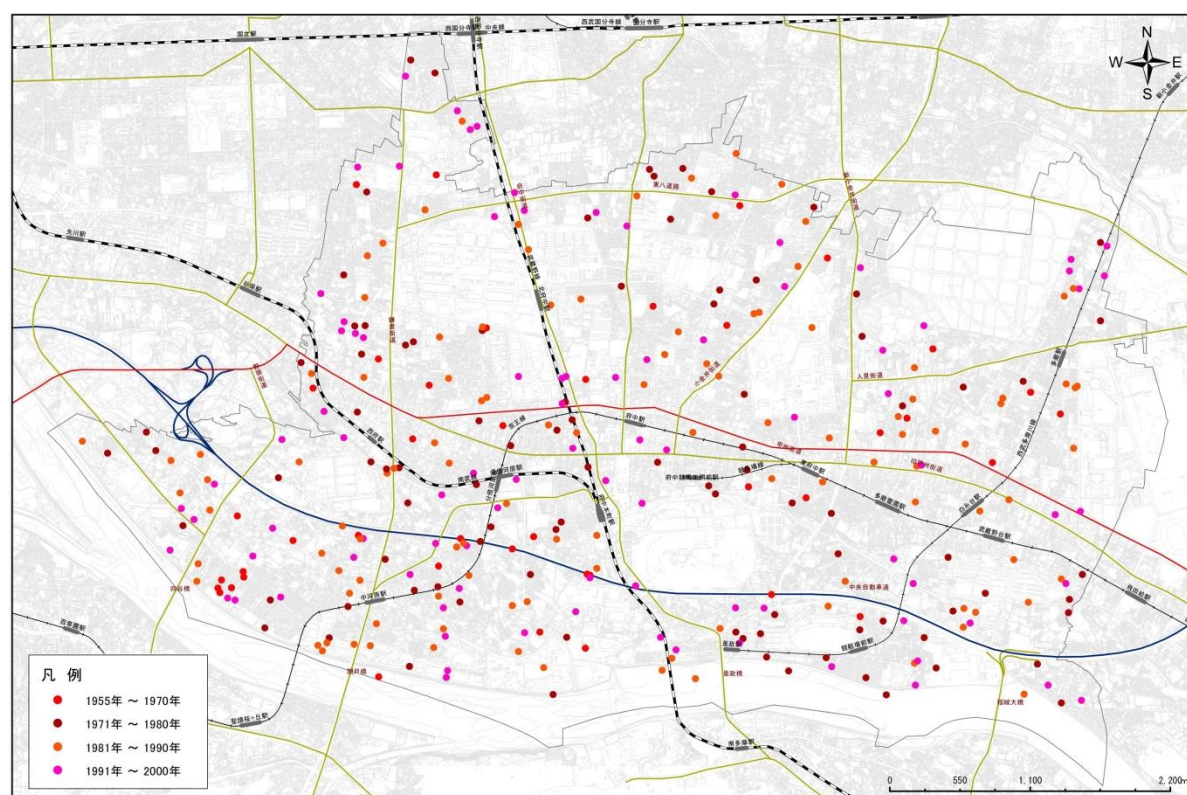


図 3-2-8-12 開設年度ごとの公園緑地等の位置図 (1955 年～2000 年)

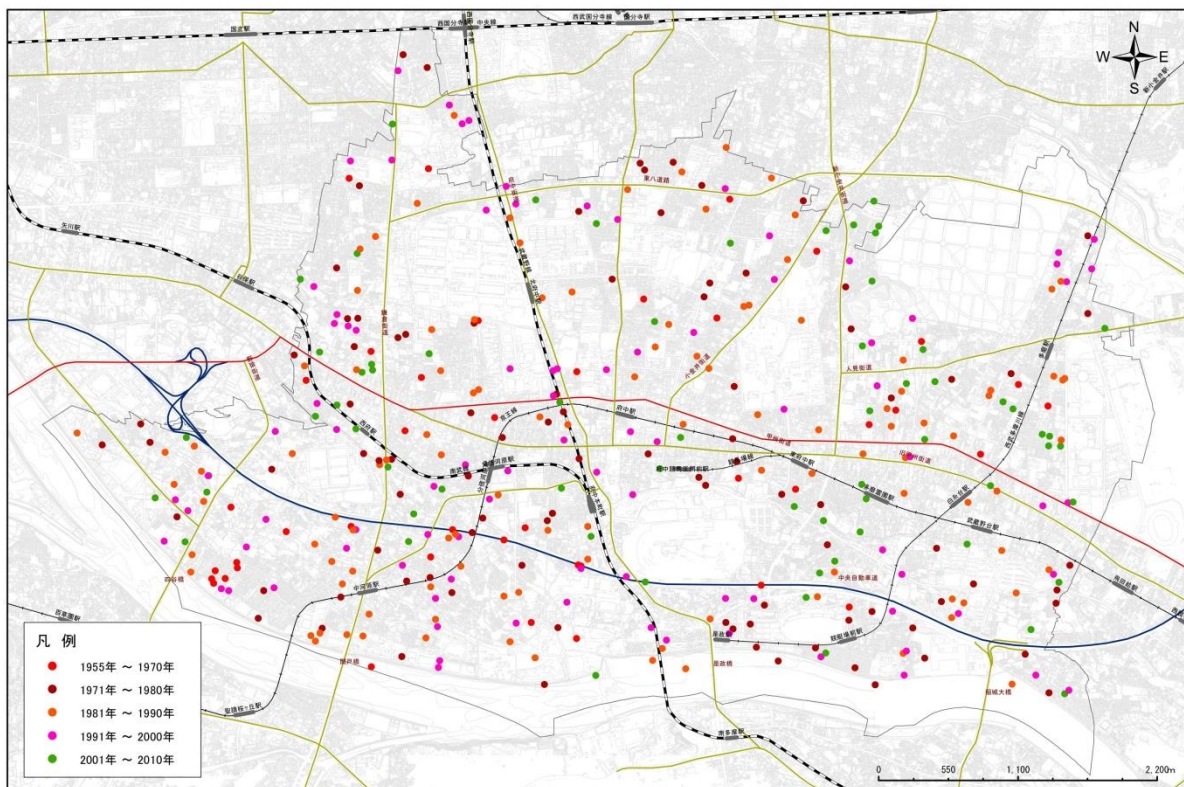


図 3-2-13-13 開設年度ごとの公園緑地等の位置図（1955 年～2010 年）

3-2-8

インフラの整備状況（公園）

(2) 設置年別の面積

設置年別の面積では、1968 年（昭和 43 年）に「郷土の森公園」や「武蔵台公園」といった大きな公園緑地等が開設されています。また、それ以外の大規模公園緑地等についても、1986 年以前に開設されています。

なお、開設後に撤去された公園緑地等については面積から除いています。

表 3-2-13-25 年度別の面積

開設年度	面積(m ²)	開設年度	面積(m ²)	開設年度	面積(m ²)	開設年度	面積(m ²)	開設年度	面積(m ²)	開設年度	面積(m ²)
1955	52,443.39	1971	39,264.66	1981	18,306.92	1991	7,999.80	2001	10,610.53	2011	0.00
1956	0.00	1972	170,307.45	1982	30,920.09	1992	17,171.28	2002	14,431.51	2012	2,334.16
1957	0.00	1973	5,571.58	1983	103,926.91	1993	5,064.56	2003	8,479.11	2013	1,965.37
1958	0.00	1974	13,503.76	1984	69,029.87	1994	7,181.19	2004	2,759.80	2014	2,765.53
1959	2,688.52	1975	57,643.22	1985	48,437.95	1995	5,221.88	2005	13,676.55	2015	242.07
1960	5,934.55	1976	4,672.93	1986	149,477.10	1996	17,227.15	2006	2,280.78	不明	2,070.10
1961	0.00	1977	51,147.02	1987	6,053.51	1997	3,047.04	2007	2,840.45		
1962	932.24	1978	35,181.01	1988	10,634.79	1998	1,068.65	2008	11,755.98		
1963	0.00	1979	54,633.64	1989	6,986.57	1999	1,436.89	2009	8,305.46		
1964	0.00	1980	53,486.89	1990	3,096.43	2000	10,581.01	2010	1,045.38		
1965	1,794.76										
1966	0.00										
1967	3,969.59										
1968	228,392.19										
1969	5,541.12										
1970	52,329.94										
小計	354,026.30	小計	485,412.16	小計	446,870.14	小計	75,999.45	小計	76,185.55	小計	9,377.23
										合計	1,447,870.83

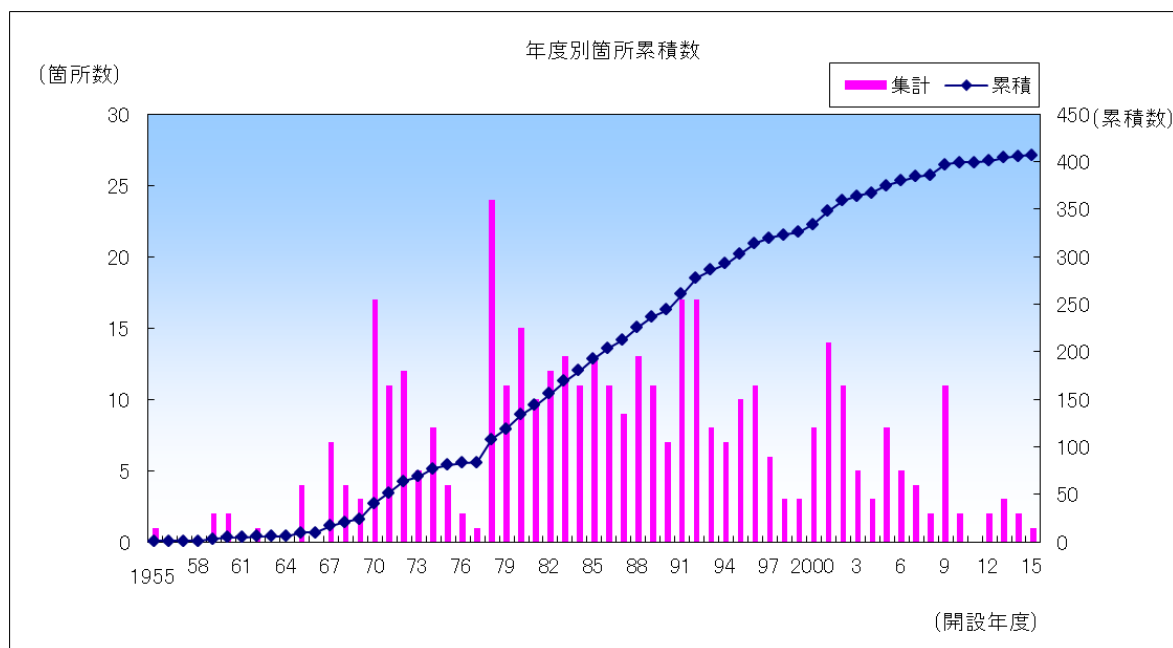


図 3-2-13-14 年度別の設置面積

表 3-2-13-26 面積が大きい公園緑地等

	公園名	開設年度	面積
①	郷土の森公園（郷土の森総合体育館周辺）	1968年	178,880.54m ²
②	郷土の森公園（郷土の森博物館）	1986年	138,962.57m ²
③	多摩川緑地（是政4丁目）	1972年	129,299.20m ²
④	多摩川緑地（是政5丁目）	1983年	63,871.36m ²
⑤	寿中央公園	1955年	52,235.10m ²
⑥	小柳公園	1977年	51,151.10m ²
⑦	武蔵台公園	1968年	46,835.08m ²
⑧	新田川緑道	1975年	43,813.61m ²

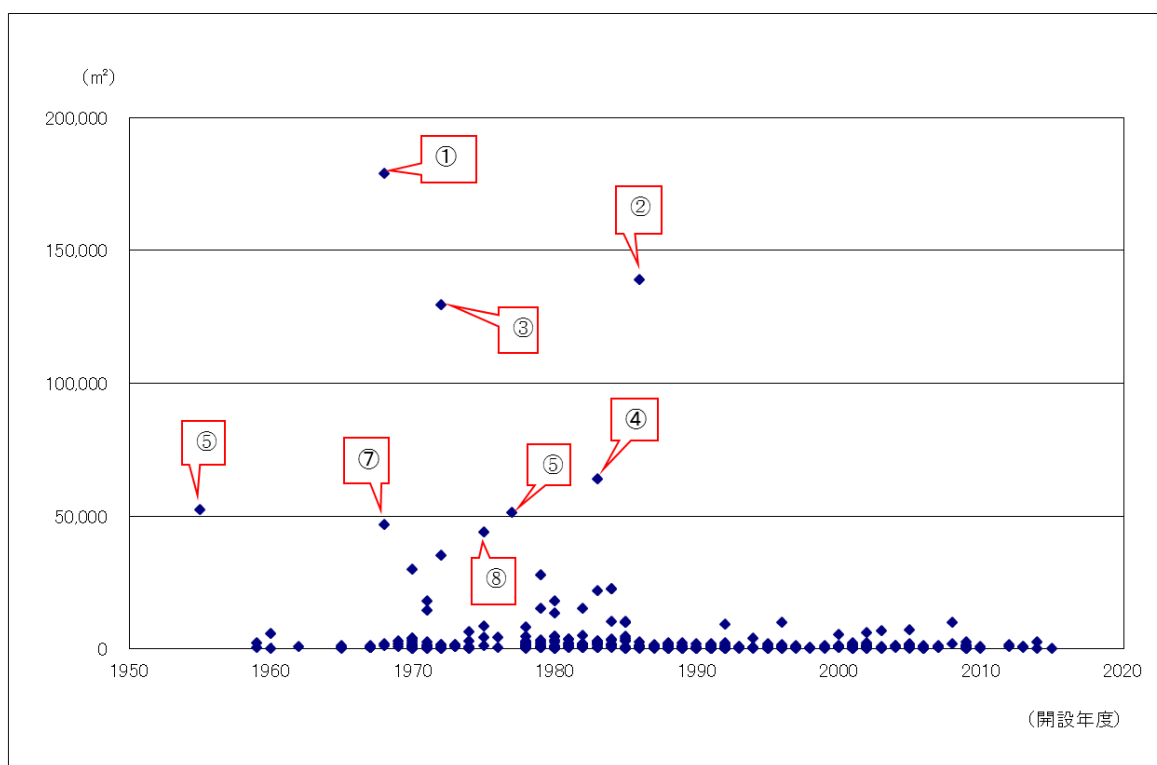


図 3-2-13-15 年度別の公園緑地等面積頻度図

表 3-2-13-27 年度別の地域別面積

(㎡)

開設年度	地域区分								
	第 1 地域	第 2 地域	第 3 地域	第 4 地域	第 5 地域	第 6 地域	第 7 地域	第 8 地域	管内全体
1955	0	0	0	52,443	0	0	0	0	52,443
1956	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1957	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1958	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1959	433	0	2,256	0	0	0	0	0	2,689
1960	0	0	0	0	0	5,935	0	0	5,935
1961	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1962	0	932	0	0	0	0	0	0	932
1963	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1964	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1965	0	0	1,305	0	0	392	97	0	1,795
1966	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1967	535	448	0	0	324	594	2,067	0	3,970
1968	992	0	1,685	0	46,835	0	178,881	0	228,392
1969	0	1,884	0	0	0	907	2,750	0	5,541
1970	2,060	1,258	0	1,940	0	861	43,783	2,428	52,330
1971	2,642	14,836	1,181	0	0	2,209	565	17,833	39,265
1972	0	130,840	0	99	1,507	234	35,702	1,926	170,307
1973	0	0	1,052	3,100	1,420	0	0	0	5,572
1974	0	0	3,046	0	0	6,643	848	2,968	13,504
1975	9,664	4,166	0	0	0	0	43,814	0	57,643
1976	0	4,177	0	0	0	496	0	0	4,673
1977	0	51,147	0	0	0	0	0	0	51,147
1978	8,164	12,869	1,540	1,701	2,931	4,830	803	2,342	35,181
1979	2,458	43,034	2,113	1,561	0	0	5,468	0	54,634
1980	1,185	6,707	3,047	16,743	2,065	18,143	5,266	332	53,487
1981	388	3,858	4,697	0	0	3,265	5,743	356	18,307
1982	430	1,080	1,670	3,755	0	1,443	22,542	0	30,920
1983	485	88,598	0	4,101	0	2,269	3,069	5,404	103,927
1984	1,613	0	1,040	22,502	1,708	0	40,651	1,516	69,030
1985	3,432	0	23,795	500	0	0	10,965	9,745	48,438
1986	2,712	1,231	1,282	0	1,243	797	142,211	0	149,477
1987	1,939	2,299	530	0	0	1,286	0	0	6,054
1988	3,426	1,217	1,885	97	2,742	0	0	1,268	10,635
1989	728	2,502	0	1,008	138	92	283	2,235	6,987
1990	69	0	354	0	0	685	1,988	0	3,096
1991	155	579	1,751	209	2,157	1,694	777	678	8,000
1992	721	657	518	1,317	2,134	9,821	1,154	851	17,171
1993	0	608	417	456	0	0	3,583	0	5,065
1994	0	648	0	425	1,980	0	332	3,796	7,181
1995	918	2,341	147	281	0	0	291	1,244	5,222
1996	1,788	678	403	1,416	639	0	10,335	1,967	17,227
1997	820	269	1,283	317	358	0	0	0	3,047
1998	0	0	540	295	234	0	0	0	1,069
1999	343	0	0	0	0	76	0	1,019	1,437
2000	761	1,556	0	0	0	269	1,800	6,195	10,581
2001	3,075	3,313	2,273	0	0	343	835	771	10,611
2002	592	1,583	0	163	1,374	8,177	0	2,542	14,432
2003	342	150	1,187	0	0	0	0	6,800	8,479
2004	2,291	0	0	469	0	0	0	0	2,760
2005	311	761	927	0	0	1,794	8,522	1,362	13,677
2006	1,654	461	0	0	0	165	0	0	2,281
2007	0	909	420	300	1,211	0	0	0	2,840
2008	0	1,759	0	0	0	0	9,997	0	11,756
2009	1,667	220	1,203	110	300	4,806	0	0	8,305
2010	197	848	0	0	0	0	0	0	1,045
2011	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2012	0	0	0	0	0	911	0	1,424	2,334
2013	330	792	0	0	0	0	844	0	1,965
2014	215	0	0	0	0	0	0	2,550	2,766
2015	0	242	0	0	0	0	0	0	242
不明		83		1,950				37	2,070
総計	59,532	391,542	63,546	117,258	71,301	79,136	585,966	79,589	1,447,871

3-2-8

インフラの整備状況（公園）

(3) 植栽の現状

公園樹木等の植栽の数量の推移は、概ね公園緑地等の開設数と同様の傾向を示しています。しかし、1955年（寿中央公園）、1968年（武蔵台公園）、1975年（新田川緑道）は、公園緑地等の開設数と比較して植栽等の数量が多い傾向にあります。

表 3-2-13-28 年度別の箇所数と植物等数量

(本・個)								
開設年度	箇所数	施設数量	開設年度	箇所数	施設数量	開設年度	箇所数	施設数量
1955	1	3,228	1971	11	495	1981	10	1,629
1956	0	0	1972	12	1,380	1982	12	1,636
1957	0	0	1973	5	1,295	1983	13	1,712
1958	0	0	1974	8	4,104	1984	11	4,738
1959	2	205	1975	4	6,367	1985	13	6,315
1960	2	662	1976	2	1,003	1986	11	5,231
1961	0	0	1977	1	0	1987	9	8,924
1962	1	203	1978	24	16,805	1988	13	10,593
1963	0	0	1979	11	8,390	1989	11	1,064
1964	0	0	1980	15	5,047	1990	7	339
1965	4	419						
1966	0	0						
1967	7	1,016						
1968	4	7,007						
1969	3	992						
1970	17	663						
小計	41	14,395	小計	93	44,886	小計	110	42,181
開設年度	箇所数	施設数量	開設年度	箇所数	施設数量	開設年度	箇所数	施設数量
1991	17	587	2001	14	1,040	2011	0	0
1992	17	3,129	2002	11	5,918	2012	2	14
1993	8	4,949	2003	5	624	2013	3	4
1994	7	3,649	2004	3	208	2014	2	1,094
1995	10	1,342	2005	8	1,160	2015	1	50
1996	11	1,238	2006	5	97	不明	3	0
1997	6	717	2007	4	887			
1998	3	239	2008	2	0			
1999	3	98	2009	11	949			
2000	8	417	2010	2	0			
小計	90	16,365	小計	65	10,883	小計	11	1,162
						合計	410	129,872

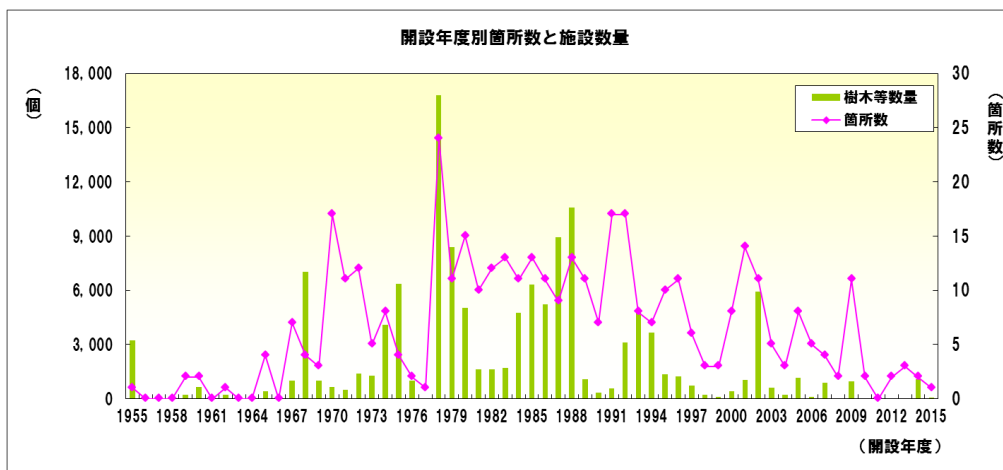


図 3-2-13-16 年度別の箇所数と植物等数量

【参考】 植物等の数量が多い公園緑地等 (本・個)

開設年度	公園名	修景施設	中高木・低木	合計
1955年	寿中央公園	1,087	2,141	3,228
1968年	武蔵台公園	2,024	4,065	6,089
1975年	新田川緑道	1,883	3,752	5,635

3-2-8

インフラの整備状況（公園）

表 3-2-13-29 年度別の高さ別樹木数

(本)

開設年度	低木	中木	高木	合計
1955	0	57	2,084	2,141
1956	0	0	0	0
1957	0	0	0	0
1958	0	0	0	0
1959	0	27	112	139
1960	0	75	387	462
1961	0	0	0	0
1962	0	44	104	148
1963	0	0	0	0
1964	0	0	0	0
1965	0	105	206	311
1966	0	0	0	0
1967	0	118	600	718
1968	0	359	4,340	4,699
1969	0	91	593	684
1970	126	99	318	543
1971	22	175	177	374
1972	0	243	759	1,002
1973	219	162	604	985
1974	1,578	318	1,445	3,341
1975	0	245	4,011	4,256
1976	839	69	62	970
1977	0	0	0	0
1978	12,337	872	2,326	15,535
1979	1,603	608	3,968	6,179
1980	2,557	226	1,298	4,081
1981	7	2	708	717
1982	0	2	808	810
1983	0	41	904	945
1984	0	37	2,226	2,263
1985	578	7	1,543	2,128
1986	3,360	0	927	4,287
1987	4,721	0	68	4,789
1988	2,423	0	0	2,423
1989	649	13	253	915
1990	0	136	198	334
1991	0	0	225	225
1992	1,743	64	527	2,334
1993	3,763	0	589	4,352
1994	2,164	6	724	2,894
1995	0	0	663	663
1996	0	6	694	700
1997	140	0	287	427
1998	0	0	119	119
1999	0	0	49	49
2000	0	21	223	244
2001	813	39	77	929
2002	4,190	8	847	5,045
2003	0	2	310	312
2004	0	0	104	104
2005	0	0	661	661
2006	0	0	51	51
2007	0	49	465	514
2008	0	0	0	0
2009	682	0	133	815
2010	0	0	0	0
2011	0	0	0	0
2012	0	0	14	14
2013	0	3	1	4
2014	884	0	210	1,094
2015	40	0	10	50

3-2-8

インフラの整備状況（公園）

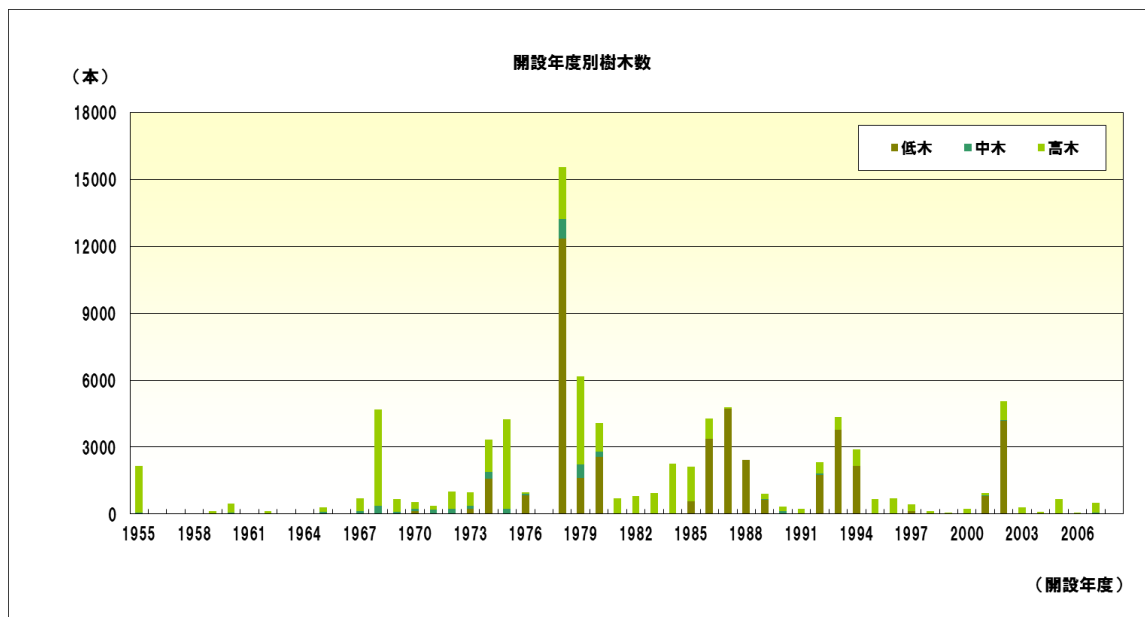


図 3-2-13-17 年度別の高さ別樹木数

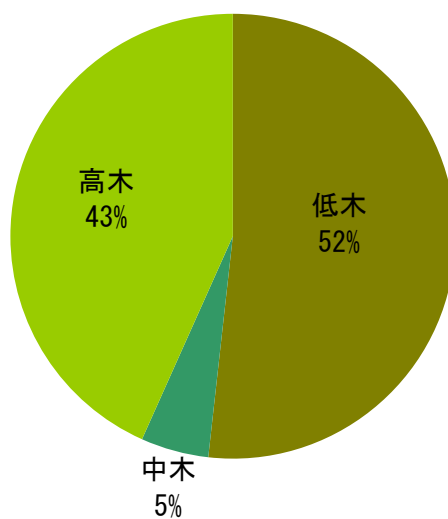


図 3-2-13-18 植樹木の高さ別割合

3-2-8

インフラの整備状況（公園）

(4) 運動施設・休養施設・教養施設・便益施設・遊戯施設

運動施設等の数量の推移は、概ね公園緑地等の開設数と同様の傾向を示しています。しかし、1955年（寿中央公園）、1960年（美好町公園）、1962年（清水が丘公園）、1968年（武蔵台公園）、1975年（新田川緑道）は、公園緑地等の数と比較して施設の数量が多い傾向があります。

表 3-2-13-30 年度別箇所数と施設数量

開設年度	施設数量	箇所数	開設年度	施設数量	箇所数	開設年度	施設数量	箇所数
1955	42	1	1971	131	11	1981	126	10
1956	0	0	1972	96	12	1982	142	12
1957	0	0	1973	51	5	1983	183	13
1958	0	0	1974	89	8	1984	241	11
1959	35	2	1975	105	4	1985	178	13
1960	49	2	1976	11	2	1986	143	11
1961	0	0	1977	44	1	1987	59	9
1962	18	1	1978	265	24	1988	35	13
1963	0	0	1979	166	11	1989	34	11
1964	0	0	1980	147	15	1990	18	7
1965	30	4						
1966	0	0						
1967	37	7						
1968	115	4						
1969	32	3						
1970	95	17						
小計	453	41	小計	1,105	93	小計	1,159	110
1991	53	17	2001	85	14	2011	0	0
1992	89	17	2002	21	11	2012	0	2
1993	45	8	2003	22	5	2013	9	3
1994	43	7	2004	4	3	2014	10	2
1995	67	10	2005	42	8	2015	0	1
1996	97	11	2006	21	5	不明	0	3
1997	26	6	2007	33	4			
1998	14	3	2008	48	2			
1999	11	3	2009	41	11			
2000	60	8	2010	2	2			
小計	505	90	小計	319	65	小計	19	11
						合計	3,560	410

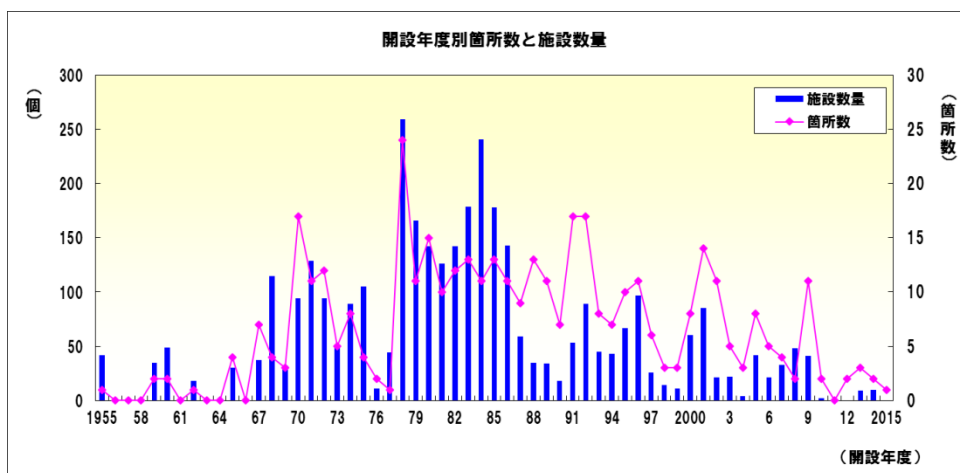


図 3-2-13-19 年度別箇所数と施設数量

【参考】 施設数量が多い公園緑地等

開設年度	公園名	運動施設	休養施設	教養施設	便益施設	遊戯施設	合計
1955年	寿中央公園	1	16	10	4	11	42
1960年	美好町公園	2	10	3	3	25	43
1962年	清水が丘公園	0	6	0	2	10	18
1968年	武蔵台公園	1	23	8	2	17	51
1975年	新田川緑道	1	66	4	5	7	83

表 3-2-13-31 年度別各施設数（「その他」に分類される施設を含む）

年度(西暦)	年度(和暦)	運動施設	休養施設	教養施設	便益施設	遊戯施設	合計
1955	S30	1	16	10	4	11	42
1956	S31	0	0	0	0	0	0
1957	S32	0	0	0	0	0	0
1958	S33	0	0	0	0	0	0
1959	S34	0	8	1	4	22	35
1960	S35	2	12	3	3	29	49
1961	S36	0	0	0	0	0	0
1962	S37	0	6	0	2	10	18
1963	S38	0	0	0	0	0	0
1964	S39	0	0	0	0	0	0
1965	S40	0	10	0	2	18	30
1966	S41	0	0	0	0	0	0
1967	S42	1	10	0	8	18	37
1968	S43	2	49	8	22	34	115
1969	S44	2	12	1	5	12	32
1970	S45	2	27	0	17	48	94
1971	S46	4	79	0	15	31	129
1972	S47	3	48	1	10	32	94
1973	S48	2	27	0	5	17	51
1974	S49	5	28	2	13	41	89
1975	S50	1	82	4	7	11	105
1976	S51	0	9	0	1	1	11
1977	S52	1	29	0	7	7	44
1978	S53	16	125	3	30	85	259
1979	S54	6	99	3	20	38	166
1980	S55	8	69	1	14	50	142
1981	S56	7	55	3	18	43	126
1982	S57	5	67	4	21	45	142
1983	S58	8	93	7	20	51	179
1984	S59	9	136	18	30	48	241
1985	S60	6	101	6	26	39	178
1986	S61	6	65	3	30	39	143
1987	S62	0	30	1	11	17	59
1988	S63	1	20	1	6	7	35
1989	S64	1	21	0	5	7	34
1990	H2	0	8	0	4	6	18
1991	H3	1	18	2	13	19	53
1992	H4	1	49	3	17	19	89
1993	H5	1	24	5	5	10	45
1994	H6	0	18	4	3	18	43
1995	H7	1	22	14	7	23	67
1996	H8	1	46	3	25	22	97
1997	H9	0	15	0	5	6	26
1998	H10	0	8	0	2	4	14
1999	H11	0	0	0	1	10	11
2000	H12	2	23	2	9	24	60
2001	H13	5	26	0	9	45	85
2002	H14	0	10	0	3	8	21
2003	H15	0	10	1	4	7	22
2004	H16	0	1	0	1	2	4
2005	H17	1	18	2	10	11	42
2006	H18	0	11	0	4	6	21
2007	H19	1	17	0	5	10	33
2008	H20	0	23	0	17	8	48
2009	H21	0	28	0	9	4	41
2010	H22	0	1	0	1	0	2
2011	H23	0	0	0	0	0	0
2012	H24	0	0	0	0	0	0
2013	H25	0	7	0	2	0	9
2014	H26	0	5	0	2	3	10
2015	H27	0	0	0	0	0	0
不明		0	0	0	0	0	0
合計		113	1,721	116	514	1,076	3,540

3-2-8

インフラの整備状況（公園）

施設の分布では、1970 年（昭和 45 年）の遊戯施設、1979 年（昭和 54 年）～1980 年（昭和 60 年）の休養施設の増加が顕著です。

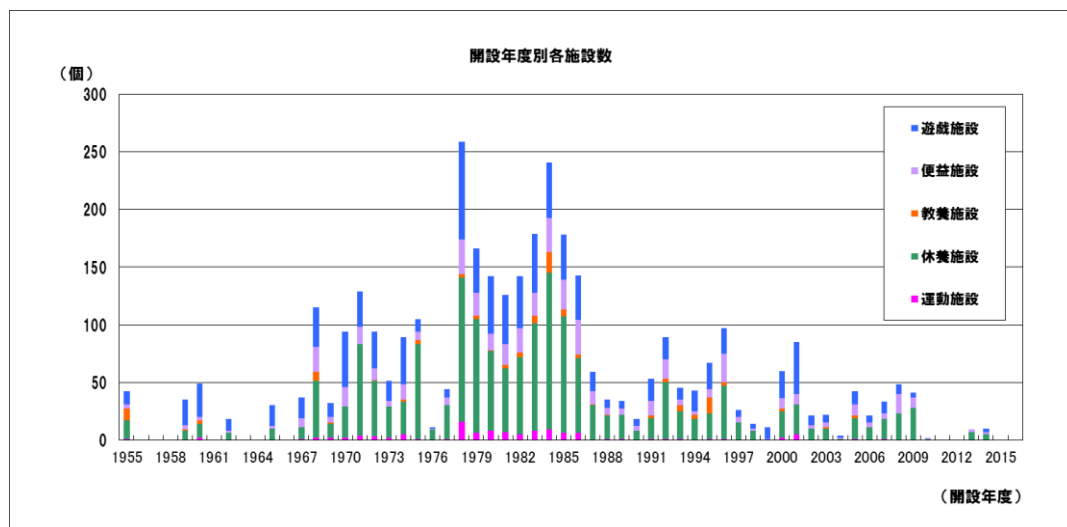


図 3-2-13-20 年度別各施設数（その他分類を含む）

3-2-8

インフラの整備状況（公園）

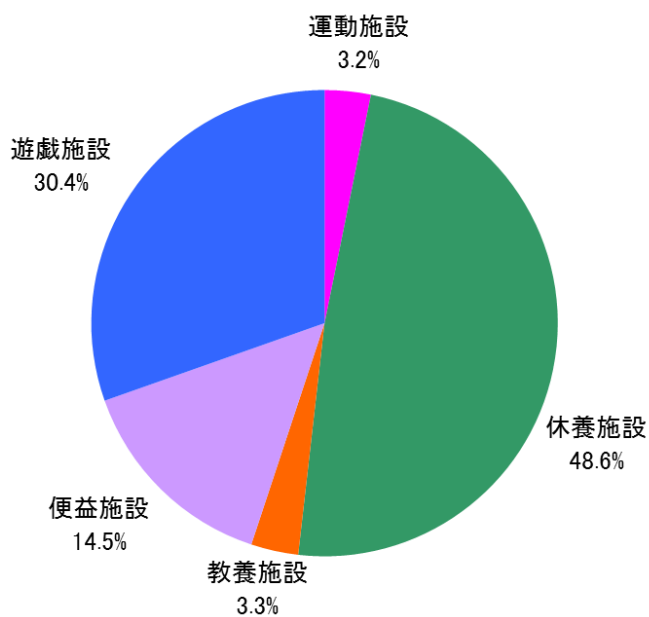


図 3-2-13-21 施設別割合（その他分類含む）

(5) 園路及び広場

園路および広場は、1970年（昭和45年）、1975年（昭和50年）～1977年（昭和53年）に多く設置されました。

表 3-2-13-32 年度別箇所数と施設数量

開設年度	箇所数	施設面積	開設年度	箇所数	施設面積	開設年度	箇所数	施設面積
1955	1	7853.64	1971	11	6819.68	1981	10	9819.36
1956	0	0.00	1972	12	3739.34	1982	12	9270.90
1957	0	0.00	1973	5	4240.58	1983	13	6422.30
1958	0	0.00	1974	8	8624.51	1984	11	29116.17
1959	2	1545.69	1975	4	14553.11	1985	13	10756.51
1960	2	3562.99	1976	2	330.28	1986	11	6484.28
1961	0	0.00	1977	1	12352.49	1987	9	229.11
1962	1	567.03	1978	24	11562.14	1988	13	1022.17
1963	0	0.00	1979	11	21659.34	1989	11	460.75
1964	0	0.00	1980	15	8311.83	1990	7	288.90
1965	4	1083.10						
1966	0	0.00						
1967	7	1062.76						
1968	4	14323.47						
1969	3	1930.40						
1970	17	21696.12						
小計	41	53,625	小計	93	92,193	小計	110	73,870
開設年度	箇所数	施設面積	開設年度	箇所数	施設面積	開設年度	箇所数	施設面積
1991	17	1535.55	2001	14	3096.66	2011	0	0.00
1992	17	4591.42	2002	11	373.97	2012	2	588.80
1993	8	2112.84	2003	5	1592.03	2013	3	0.00
1994	7	2642.23	2004	3	909.34	2014	2	369.80
1995	10	2377.79	2005	8	6476.40	2015	1	0.00
1996	11	1542.56	2006	5	228.36	不明	3	0.00
1997	6	503.47	2007	4	2058.17			
1998	3	562.18	2008	2	0.00			
1999	3	0.00	2009	11	1653.40			
2000	8	4180.84	2010	2	0.00			
小計	90	20,049	小計	65	16,388	小計	11	959
					合計	410	257,085	

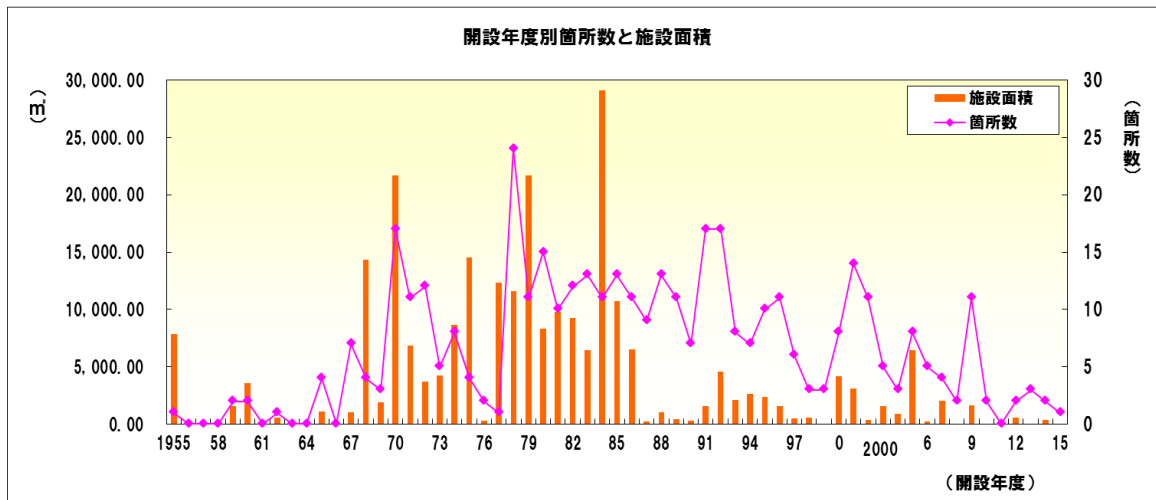


図 3-2-13-22 年度別箇所数と施設数量

【参 考】 施設数量が多い公園緑地等

開設年度	公園名	面積	開設年度	公園名	面積
1955年	寿中央公園	7853.64	1977年	小柳公園	12,352.49
1968年	新町第2公園	1,146.17	1984年	一本木公園	624.77
	朝日町公園	605.87		下河原緑道	15,117.42
	武蔵台公園	12,571.43		中河原公園	4,149.90
1975年	若松町公園	605.49		白糸台北公園	1,174.98
	新田川緑道	12,917.04		府中公園	6,546.30
	清水が丘緑地	1,030.58		武蔵台南公園	615.20
				本町児童公園	887.60

3-2-8

インフラの整備状況（公園）

3.2.13.5. 地域別集計

地域別では、第2地域（多摩川緑地）と第7地域（郷土の森公園）に大規模な公園緑地等が整備されています。

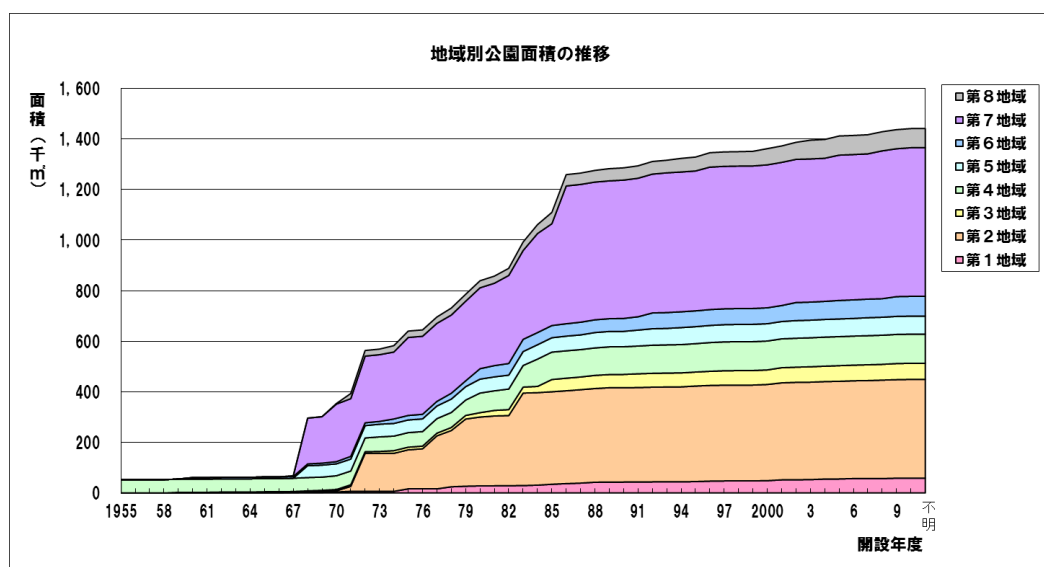


図 3-2-13-23 地域別公園緑地等面積の推移

3-2-8

インフラの整備状況（公園）

(1) 第1地域

① 公園緑地等位置

「第1地域」には、都市公園などの市の公園緑地等、多磨霊園、武蔵野公園があります。また、野川公園と隣接するなど、公園機能が多くあります。

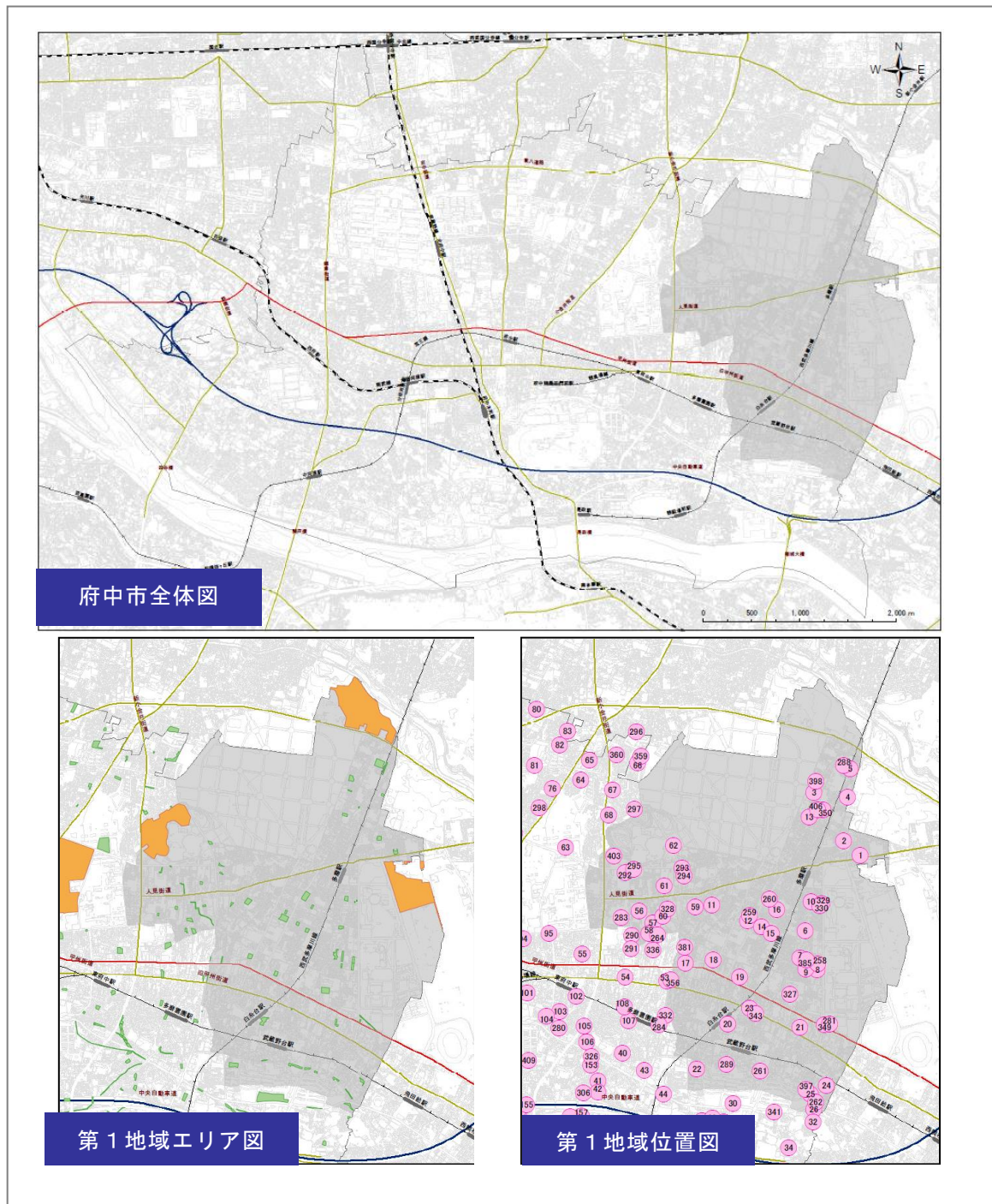


図 3-2-13-24 第1地域の公園緑地等位置図

3-2-8

インフラの整備状況（公園）

② 人口・面積

表 3-2-13-33 第1地域の人口と面積

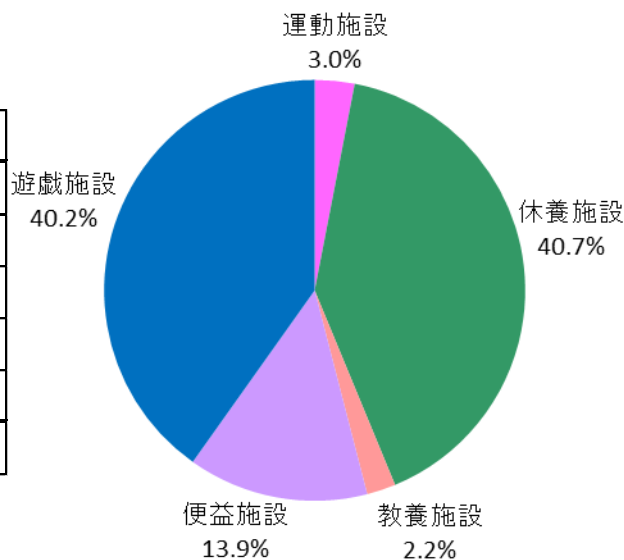
第1地域	項目	数量	備考
人口	総人口	2017年	37,656
		2035年予測	37,972
	年少人口	2017年	5,763
		2035年予測	4,582
	高齢人口	2017年	7,835
		2035年予測	10,569
面積	地域面積	539.00ha	
	公園面積	5.95ha	都立公園含めると 37.03ha

総人口当りの公園緑地等面積 : 0.16ha/千人 (7位/8地域)
 年少人口当りの公園緑地等面積 : 1.03ha/人
 高齢人口当りの公園緑地等面積 : 0.76ha/人
 市管理公園緑地等面積が占める割合 : 1.1%
 (都立公園面積を含めると : 6.9%)

③ 公園施設

表 3-2-13-34 第1地域の施設数量

	個数	割合
運動施設	11	3.0%
休養施設	147	40.7%
教養施設	8	2.2%
便益施設	50	13.9%
遊戯施設	145	40.2%
施設合計	361	100.0%



総人口当りの総施設数 : 9.59 個/千人 (8位/8地域)
 総人口当りの便益施設数 : 1.33 個/千人
 総人口当りの遊戯施設数 : 3.85 個/千人

図 3-2-13-25 第1地域の施設数分析

表 3-2-13-35 第1地域の施設数量

第1地域				
分類		内容	単位	数量
植物等	修景施設	芝生・草	本	0
		パーゴラ・東屋	個	41
		その他	個	2,412
	中高木	中木	本	367
		高木	本	2,412
	低木	低木	本	6,490
施設	運動施設	鉄棒	個	11
		その他	個	0
	園路及び広場	コンクリート・ブロック等	m ²	2,985
		その他	m ²	9,706
	管理施設	外柵	m	45
		照明灯	個	108
		電線類	m	-
		排水マス	個	74
		排水管	m	-
		給水管	m	-
		その他	個	0
	休養施設	ベンチ	個	128
		テーブル	個	0
		その他	個	19
	教養施設	モニュメント	個	4
		記念碑	個	2
		その他	個	2
	便益施設	トイレ	個	10
		水飲場	個	34
		その他	個	6
	遊戯施設	ブランコ(4連)	個	3
		ブランコ(2連)	個	18
		ブランコ(その他)	個	17
		スベリ台	個	18
		砂場	個	25
		木製遊具	個	1
		健康遊具	個	6
		その他	個	57

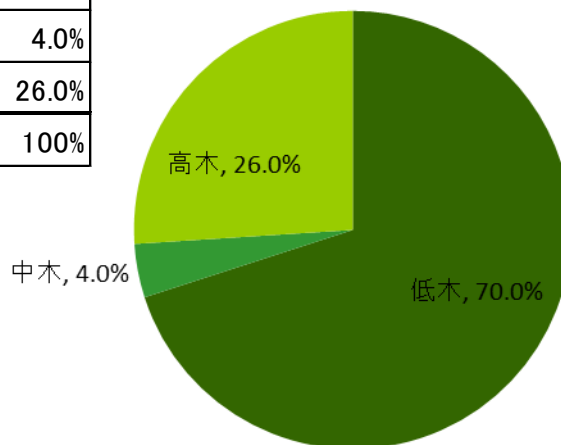
3-2-8

インフラの整備状況(公園)

④ 樹木の場合

表 3-2-13-36 第1地域の樹木数量

	本数	割合
低木	6,490	70.0%
中木	367	4.0%
高木	2,412	26.0%
低中高木合計	9,269	100%



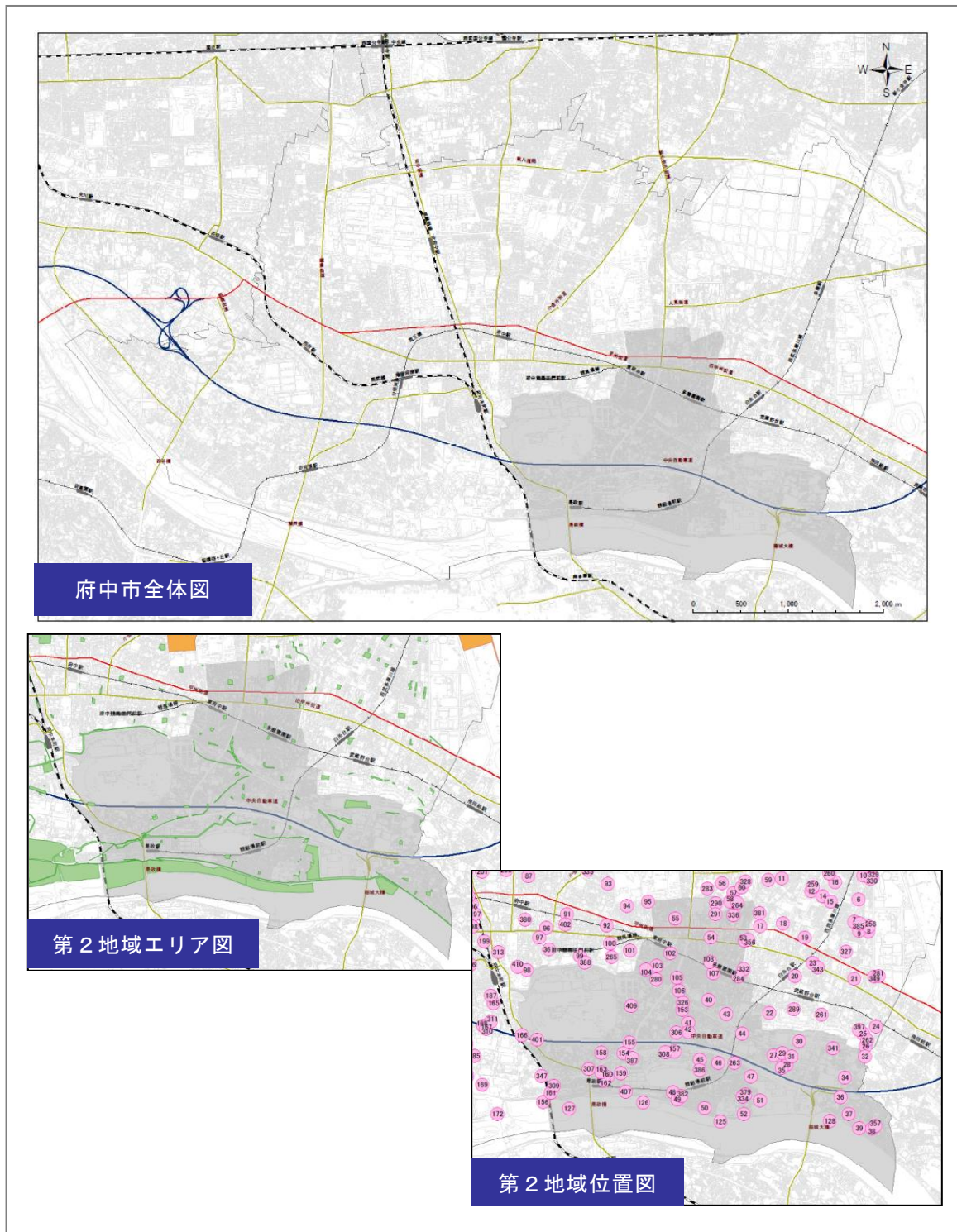
総人口当りの樹木数	: 242.18 本/千人 (7位/8地域)
地域面積当りの樹木数	: 17.18 本/ha
公園緑地等一箇所当りの樹木数 (低木)	: 106.39 本/公園緑地等
公園緑地等一箇所当りの樹木数 (中木)	: 6.02 本/公園緑地等
公園緑地等一箇所当りの樹木数 (高木)	: 39.54 本/公園緑地等
公園緑地等一箇所当りの樹木数 (低中高木)	: 151.95 本/公園緑地等

図 3-2-13-26 第1地域の樹木割合

(2) 第2地域

① 公園緑地等位置

「第2地域」は、多摩川河川敷があります。地域には東京競馬場やボートレース多摩川などの広い緑地を有しますが、市民が日常的に利用できる環境ではありません。



3-2-8

インフラの整備状況（公園）

図 3-2-13-27 第2地域の公園緑地等位置図

② 人口・面積

表 3-2-13-37 第2地域の人口と面積

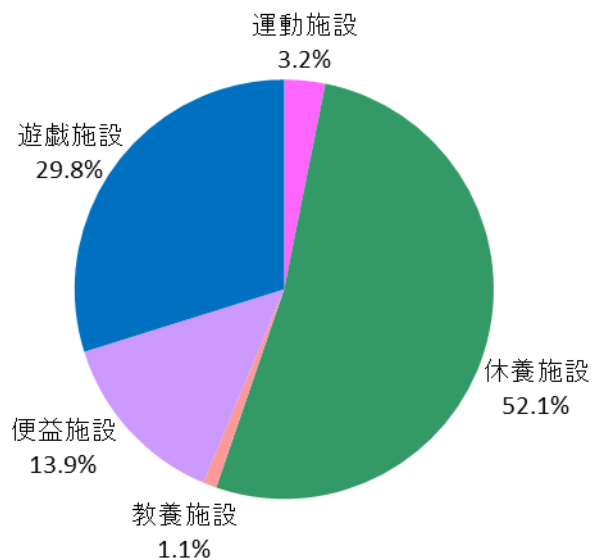
第2地域	項目	数量	備考
人口	総人口	2017年	46,257
		2035年予測	46,646
	年少人口	2017年	5,354
		2035年予測	4,257
	高齢人口	2017年	8,748
		2035年予測	11,800
面積	地域面積	594.00ha	
	公園面積	39.15ha	都立公園なし

総人口当りの公園緑地等面積 : 0.85ha/人 (2位/8地域)
 年少人口当りの公園緑地等面積 : 7.31ha/人
 高齢人口当りの公園緑地等面積 : 4.48ha/人
 市管理公園緑地等面積が占める割合 : 6.6%
 (都立公園面積なし)

③ 公園施設

表 3-2-13-38 第2地域の施設数量

	個数	割合
運動施設	18	3.2%
休養施設	297	52.1%
教養施設	6	1.1%
便益施設	79	13.9%
遊戯施設	170	29.8%
施設合計	570	100.0%



総人口当りの総施設数 : 12.32 個/千人 (4位/8地域)
 総人口当りの便益施設数 : 1.71 個/千人
 総人口当りの遊戯施設数 : 3.68 個/千人

図 3-2-13-28 第2地域の施設数分析

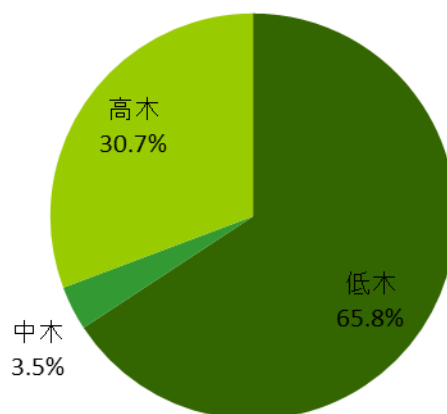
表 3-2-13-39 第2地域の施設数量

第2地域				
分類		内容	単位	数量
植物等	修景施設	芝生・草	本	270
		パーゴラ・東屋	個	98
		その他	個	6,367
	中高木	中木	本	731
		高木	本	6,358
	低木	低木	本	13,609
施設	運動施設	鉄棒	個	18
		その他	個	0
	園路及び広場	コンクリート・ブロック等	m ²	20,131
		その他	m ²	30,946
	管理施設	外柵	m	48
		照明灯	個	222
		電線類	m	－
		排水マス	個	138
		排水管	m	－
		給水管	m	－
		その他	個	0
	休養施設	ベンチ	個	232
		テーブル	個	2
		その他	個	63
	教養施設	モニュメント	個	5
		記念碑	個	1
		その他	個	0
	便益施設	トイレ	個	17
		水飲場	個	48
		その他	個	14
	遊戯施設	ブランコ(4連)	個	6
		ブランコ(2連)	個	8
		ブランコ(その他)	個	17
		スベリ台	個	23
		砂場	個	29
		木製遊具	個	0
		健康遊具	個	2
		その他	個	85

樹木の割合

表 3-2-13-40 第2地域の樹木数量

	本数	割合
低木	13,609	65.8%
中木	731	3.5%
高木	6,358	30.7%
低中高木合計	20,698	100%



総人口当りの樹木数	: 447.46 本/千人 (2位/8地域)
地域面積当りの樹木数	: 34.85 本/ha
公園緑地等一箇所当りの樹木数 (低木)	: 181.45 本/公園緑地等
公園緑地等一箇所当りの樹木数 (中木)	: 9.75 本/公園緑地等
公園緑地等一箇所当りの樹木数 (高木)	: 84.77 本/公園緑地等
公園緑地等一箇所当りの樹木数 (低中高木)	: 275.97 本/公園緑地等

図 3-2-13-29 第2地域の樹木割合

3-2-8

インフラの整備状況（公園）

(3) 第3地域

① 公園緑地等位置

「第3地域」には府中の森公園が所在しています。しかし、一方では、航空自衛隊、府中刑務所、東京農工大学などの公共用地が多くあります。一方で居住地区でもあることから、市民一人当たりの公園面積は少ない傾向です。

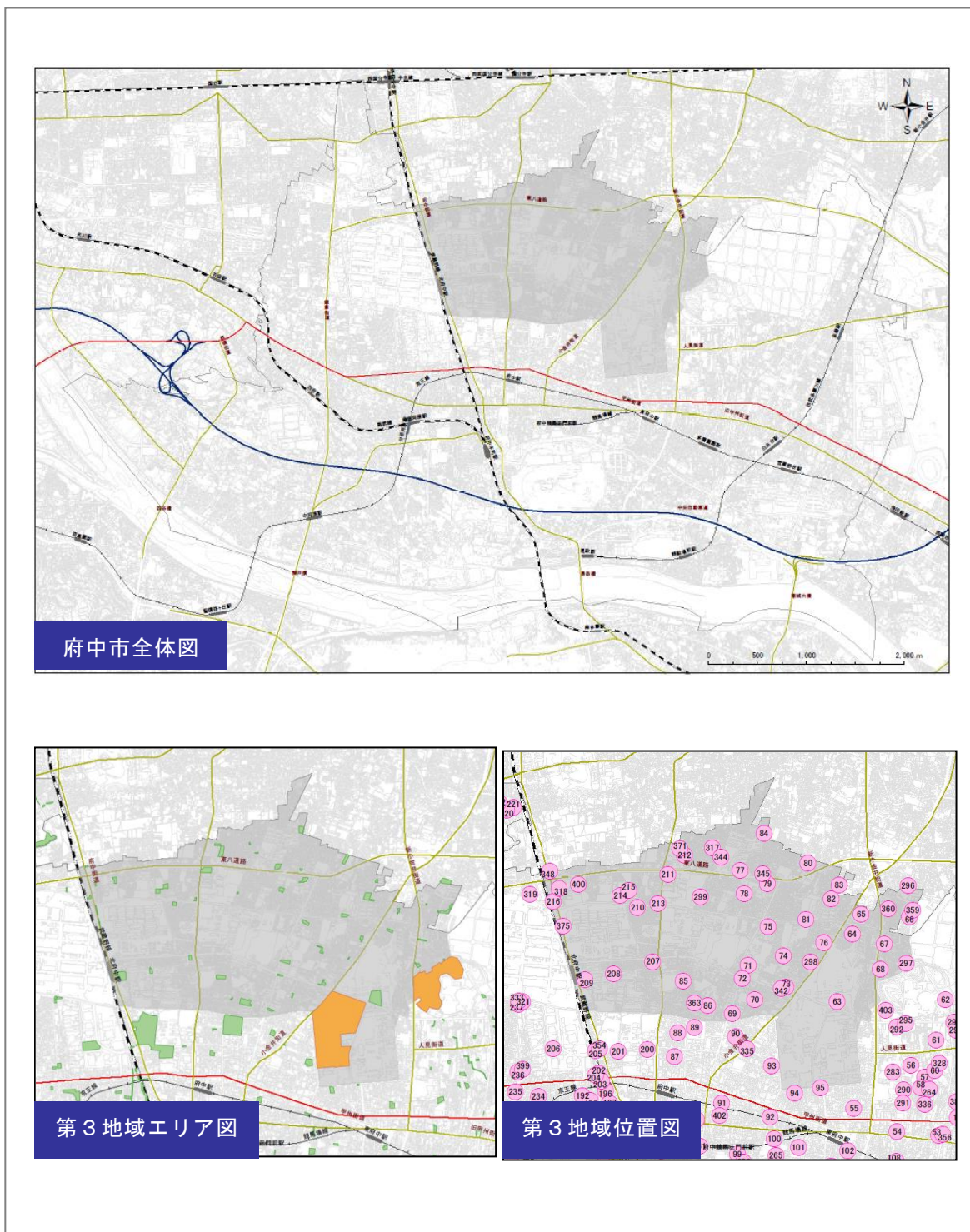


図 3-2-13-30 第3地域の公園緑地等位置図

3--8

インフラの整備状況（公園）

② 人口・面積

表 3-2-13-41 第3地域の人口と面積

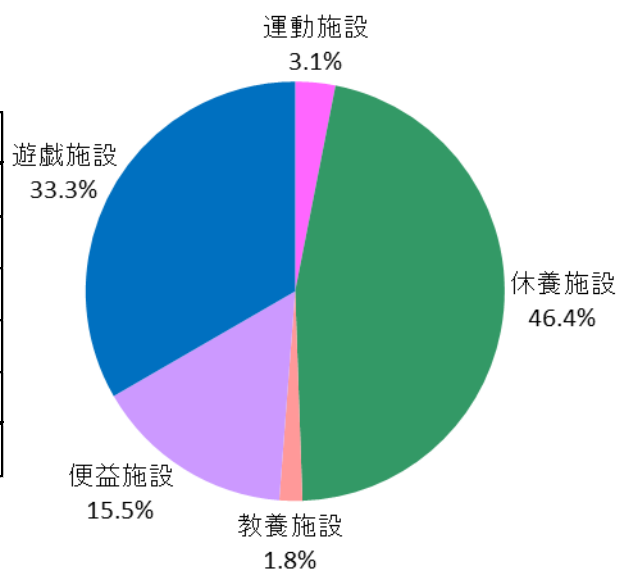
第3地域	項目	数量	備考
人口	総人口	2017年	40,467
		2035年予測	40,807
	年少人口	2017年	5,273
		2035年予測	4,192
	高齢人口	2017年	9,693
		2035年予測	13,075
面積	地域面積	394.00ha	
	公園面積	6.35ha	都立公園含めると 23.29ha

総人口当りの公園緑地等面積 : 0.16ha/人 (8位/8地域)
 年少人口当りの公園緑地等面積 : 1.21ha/人
 高齢人口当りの公園緑地等面積 : 0.66ha/人
 市管理公園緑地等面積が占める割合 : 1.6%
 (都立公園面積を含めると : 5.9%)

③ 公園施設

表 3-2-13-42 第3地域の施設数量

	個数	割合
運動施設	14	3.1%
休養施設	210	46.4%
教養施設	8	1.8%
便益施設	70	15.5%
遊戯施設	151	33.3%
施設合計	453	100.0%



総人口当りの総施設数 : 11.19 個/千人 (5位/8地域)
 総人口当りの便益施設数 : 1.73 個/千人
 総人口当りの遊戯施設数 : 3.73 個/千人

図 3-2-13-31 第3地域の施設数分布

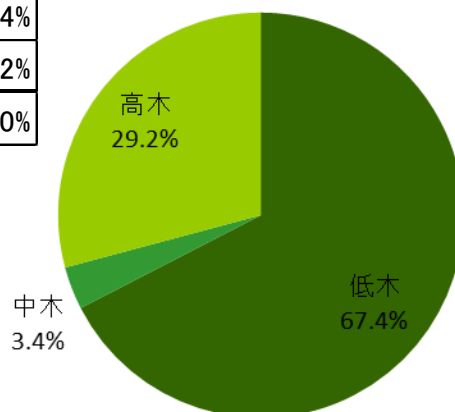
表 3-2-13-43 第3地域の施設数量

第3地域				
分類		内容	単位	数量
植物等	修景施設	芝生・草	本	0
		パーゴラ・東屋	個	67
		その他	個	4,713
	中高木	中木	本	551
		高木	本	4,712
	低木	低木	本	10,896
施設	運動施設	鉄棒	個	14
		その他	個	0
	園路及び広場	コンクリート・ブロック等	m ²	6,447
		その他	m ²	19,191
	管理施設	外柵	m	50
		照明灯	個	135
		電線類	m	－
		排水マス	個	138
		排水管	m	－
		給水管	m	－
		その他	個	0
	休養施設	ベンチ	個	186
		テーブル	個	44
		その他	個	20
	教養施設	モニュメント	個	6
		記念碑	個	1
		その他	個	1
	便益施設	トイレ	個	14
		水飲場	個	43
		その他	個	13
	遊戯施設	ブランコ(4連)	個	5
		ブランコ(2連)	個	13
		ブランコ(その他)	個	15
		スベリ台	個	16
		砂場	個	28
		木製遊具	個	2
		健康遊具	個	4
		その他	個	68

④ 樹木の割合

表 3-2-13-44 第3地域の樹木数量

	本数	割合
低木	10,896	67.4%
中木	551	3.4%
高木	4,712	29.2%
低中高木合計	16,159	100%



総人口当りの樹木数 : 399.31 本/千人 (3位/8地域)
 地域面積当りの樹木数 : 41.01 本/ha
 公園緑地等一箇所当りの樹木数 (低木) : 231.83 本/公園緑地等
 公園緑地等一箇所当りの樹木数 (中木) : 11.72 本/公園緑地等
 公園緑地等一箇所当りの樹木数 (高木) : 100.26 本/公園緑地等
 公園緑地等一箇所当りの樹木数 (低中高木) : 343.81 本/公園緑地等

図 3-2-13-32 第3地域の樹木割合

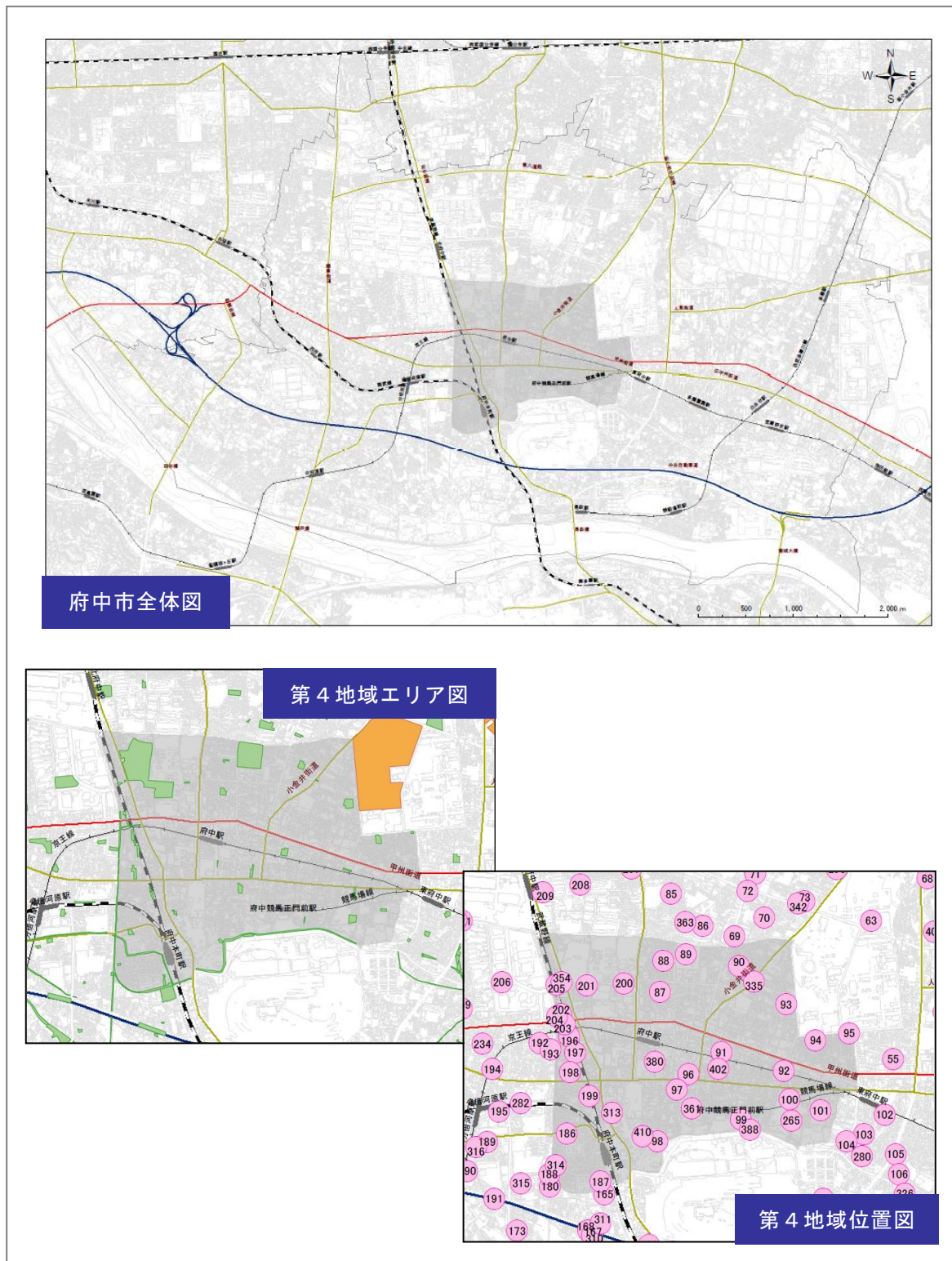
3-2-8

インフラの整備状況(公園)

(4) 第4地域

① 公園緑地等位置

「第4地域」には、府中公園や寿中央公園があります。そのことから、都立公園を有していない地域の中では、市民一人あたりの公園面積が比較的多い傾向にあります。



3-2-8

インフラの整備状況（公園）

図 3-2-13-33 第4地域の公園緑地等位置図

② 人口・面積

表 3-2-13-45 第4地域の人口と面積

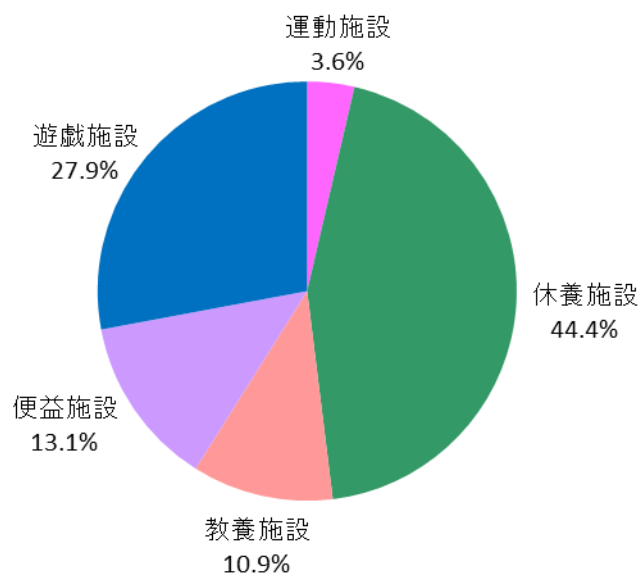
第4地域	項目	数量	備考
人口	総人口	2017年	36,311
		2035年予測	36,616
	年少人口	2017年	3,953
		2035年予測	3,143
	高齢人口	2017年	5,460
		2035年予測	7,365
面積	地域面積	227.00ha	
	公園面積	11.73ha	都立公園なし

総人口当りの公園緑地等面積 : 0.32ha/人 (5位/8地域)
 年少人口当りの公園緑地等面積 : 2.97ha/人
 高齢人口当りの公園緑地等面積 : 2.15ha/人
 市管理公園緑地等面積が占める割合 : 5.2%
 (都立公園面積なし)

③ 公園施設

表 3-2-13-46 第4地域の施設数量

	個数	割合
運動施設	13	3.6%
休養施設	159	44.4%
教養施設	39	10.9%
便益施設	47	13.1%
遊戯施設	100	27.9%
施設合計	358	100.0%



総人口当りの総施設数 : 9.86個/千人 (7位/8地域)
 総人口当りの便益施設数 : 1.29個/千人
 総人口当りの遊戯施設数 : 2.75個/千人

図 3-2-13-34 第4地域の施設数分析

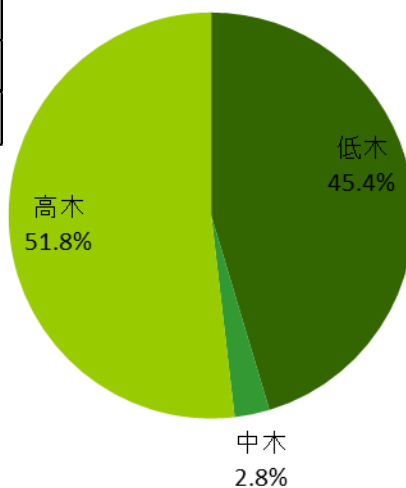
表 3-2-13-47 第4地域の施設数量

第4地域				
分類		内容	単位	数量
植物等	修景施設	芝生・草	本	0
		パーゴラ・東屋	個	35
		その他	個	4,716
	中高木	中木	本	254
		高木	本	4,712
	低木	低木	本	4,122
施設	運動施設	鉄棒	個	13
		その他	個	0
	園路及び広場	コンクリート・ブロック等	m ²	14,002
		その他	m ²	15,180
	管理施設	外柵	m	83
		照明灯	個	132
		電線類	m	-
		排水マス	個	180
		排水管	m	-
		給水管	m	-
		その他	個	1
	休養施設	ベンチ	個	117
		テーブル	個	3
		その他	個	39
	教養施設	モニュメント	個	26
		記念碑	個	4
		その他	個	9
	便益施設	トイレ	個	13
		水飲場	個	25
		その他	個	9
	遊戯施設	ブランコ(4連)	個	3
		ブランコ(2連)	個	7
		ブランコ(その他)	個	8
		スベリ台	個	17
		砂場	個	17
		木製遊具	個	1
		健康遊具	個	4
		その他	個	43

④ 樹木の割合

表 3-2-13-48 第4地域の樹木数量

	本数	割合
低木	4,122	45.4%
中木	254	2.8%
高木	4,712	51.8%
低中高木合計	9,088	100%



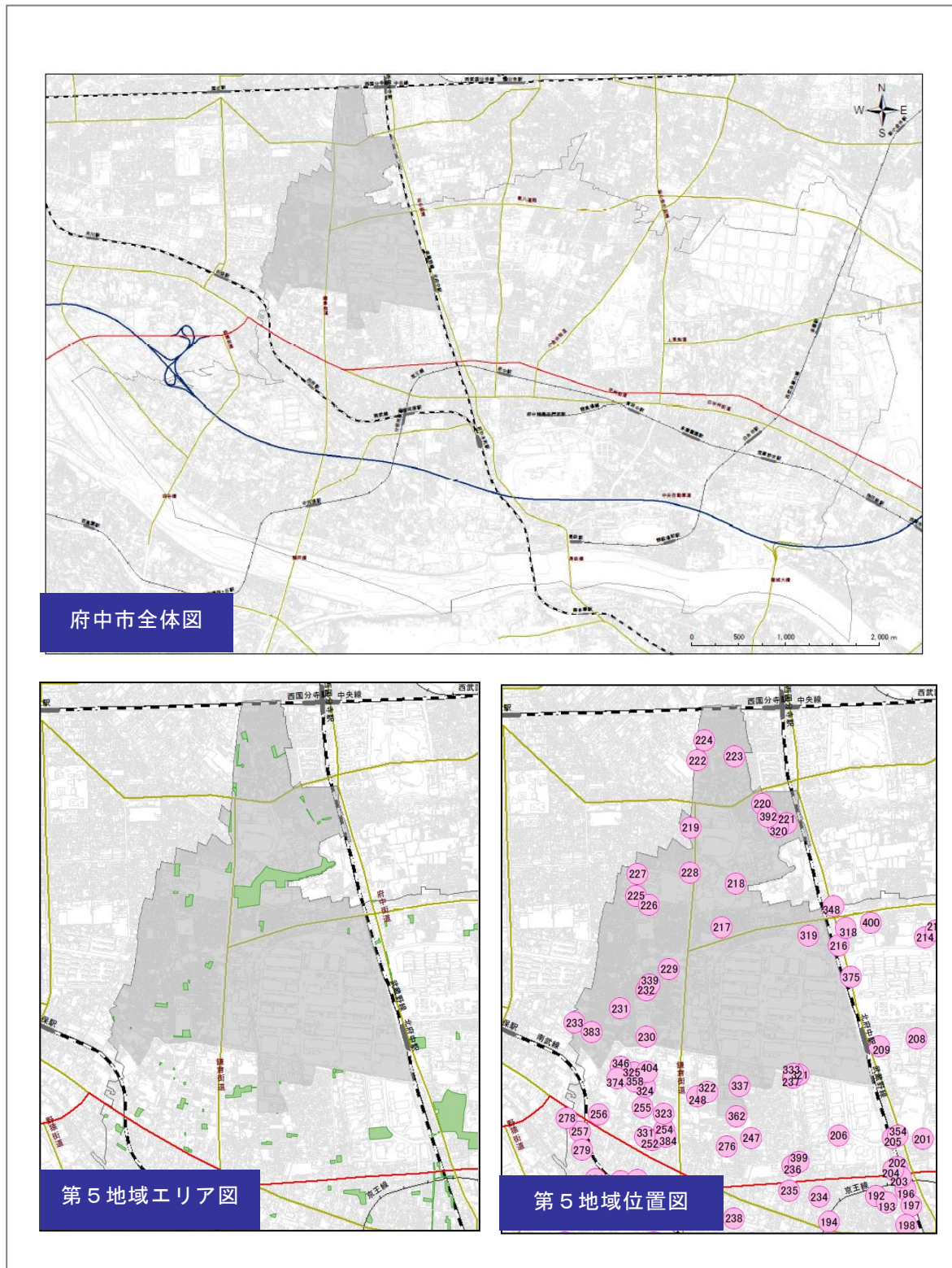
総人口当りの樹木数 : 250.28 本/千人 (6位/8地域)
 地域面積当りの樹木数 : 40.04 本/ha
 公園緑地等一箇所当りの樹木数 (低木) : 108.47 本/公園緑地等
 公園緑地等一箇所当りの樹木数 (中木) : 6.68 本/公園緑地等
 公園緑地等一箇所当りの樹木数 (高木) : 124.00 本/公園緑地等
 公園緑地等一箇所当りの樹木数 (低中高木) : 239.16 本/公園緑地等

図 3-2-13-35 第4地域の樹木割合

(5) 第5地域

① 公園緑地等位置

「第5地域」は、東芝府中事業所が大きな面積を占めています。また、市の地域別の中では、平均的な公園緑地等の構成であるといえます。



3-2-8

インフラの整備状況（公園）

図 3-2-13-36 第5地域の公園緑地等位置図

② 人口・面積

表 3-2-13-49 第5地域の人口と面積

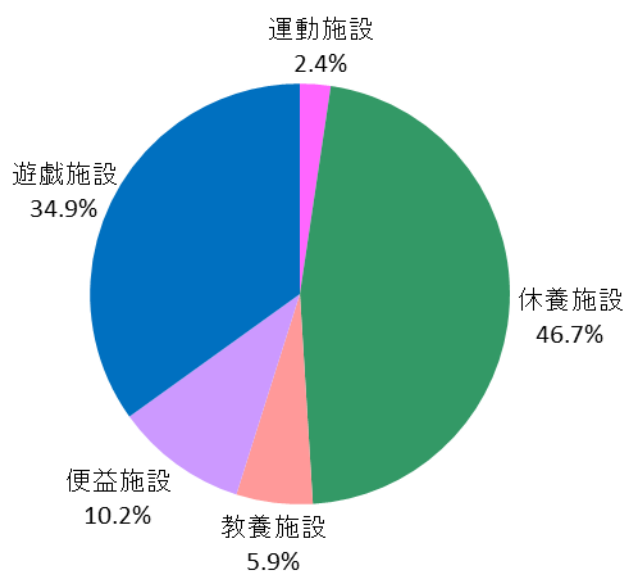
第5地域	項目	数量	備考
人口	総人口	2017年	15,444
		2035年予測	15,574
	年少人口	2017年	1,695
		2035年予測	1,348
	高齢人口	2017年	3,730
		2035年予測	5,031
面積	地域面積	244.00ha	
	公園面積	7.13ha	都立公園なし

総人口当りの公園緑地等面積 : 0.46ha/人 (4位/8地域)
 年少人口当りの公園緑地等面積 : 4.21ha/人
 高齢人口当りの公園緑地等面積 : 1.91ha/人
 市管理公園緑地等面積が占める割合 : 2.9%
 (都立公園面積なし)

③ 公園施設

表 3-2-13-50 第5地域の施設数量

	個数	割合
運動施設	6	2.4%
休養施設	119	46.7%
教養施設	15	5.9%
便益施設	26	10.2%
遊戯施設	89	34.9%
施設合計	255	100.0%



総人口当りの総施設数 : 16.51 個/千人 (3位/8地域)
 総人口当りの便益施設数 : 1.68 個/千人
 総人口当りの遊戯施設数 : 5.76 個/千人

図 3-2-13-37 第5地域の施設数分析

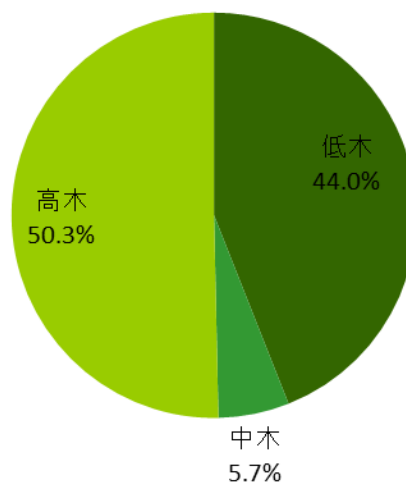
表 3-2-13-51 第5地域の施設数量

第5地域				
分類		内容	単位	数量
植物等	修景施設	芝生・草	本	0
		パーゴラ・東屋	個	28
		その他	個	6,009
	中高木	中木	本	675
		高木	本	6,009
	低木	低木	本	5,251
施設	運動施設	鉄棒	個	6
		その他	個	0
	園路及び広場	コンクリート・ブロック等	m ²	6,449
		その他	m ²	16,584
	管理施設	外柵	m	98
		照明灯	個	101
		電線類	m	-
		排水マス	個	223
		排水管	m	-
		給水管	m	-
		その他	個	0
	休養施設	ベンチ	個	104
		テーブル	個	3
		その他	個	12
	教養施設	モニュメント	個	5
		記念碑	個	2
		その他	個	8
	便益施設	トイレ	個	6
		水飲場	個	17
		その他	個	3
	遊戯施設	ブランコ(4連)	個	5
		ブランコ(2連)	個	3
		ブランコ(その他)	個	5
		スベリ台	個	9
		砂場	個	10
		木製遊具	個	0
		健康遊具	個	5
		その他	個	52

④ 植樹の割合

表 3-2-13-52 第5地域の樹木数量

	本数	割合
低木	5,251	44.0%
中木	675	5.7%
高木	6,009	50.3%
低中高木合計	11,935	100%



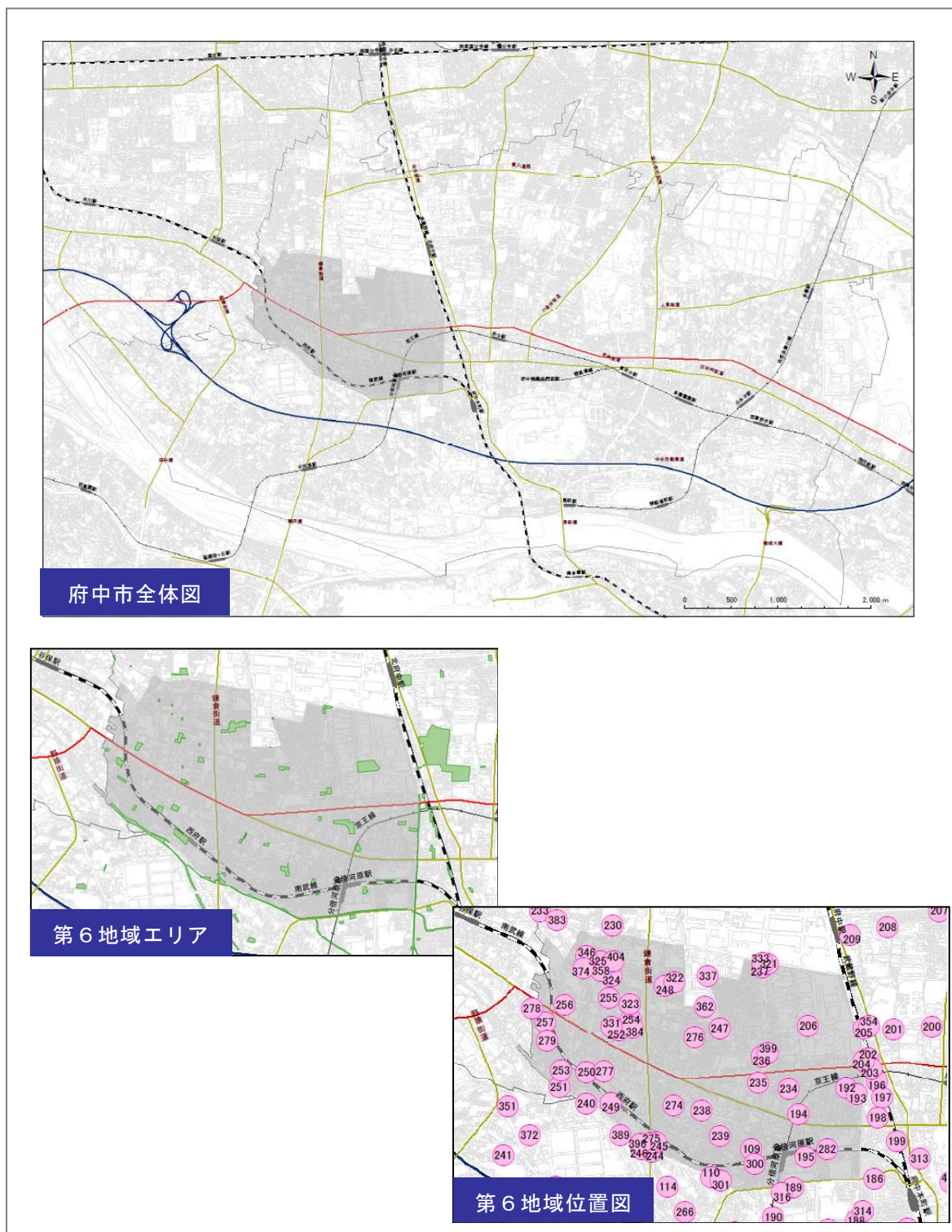
総人口当りの樹木数 : 772.79 本/千人 (1位/8地域)
 地域面積当りの樹木数 : 48.91 本/ha
 公園緑地等一箇所当りの樹木数 (低木) : 228.68 本/公園緑地等
 公園緑地等一箇所当りの樹木数 (中木) : 30.68 本/公園緑地等
 公園緑地等一箇所当りの樹木数 (高木) : 273.14 本/公園緑地等
 公園緑地等一箇所当りの樹木数 (低中高木) : 542.50 本/公園緑地等

図 3-2-13-38 第5地域の樹木割合

(6) 第6地域

① 公園緑地等位置

「第6地域」は、地域の人口が他の地域より少ないことから、市が管理する公園緑地等が少ない傾向にあります。



3-2-8

インフラの整備状況（公園）

図 3-2-13-39 第6地域の公園緑地等位置図

② 人口・面積

表 3-2-13-53 第6地域の人口と面積

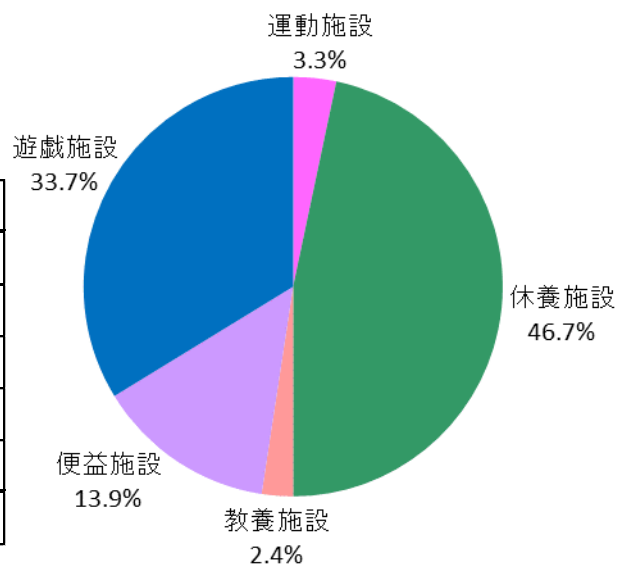
第6地域	項目	数量	備考
人口	総人口	2017年	30,730
		2035年予測	30,988
	年少人口	2017年	4,179
		2035年予測	3,322
	高齢人口	2017年	6,079
		2035年予測	8,200
面積	地域面積	248.00ha	
	公園面積	7.91ha	都立公園なし

総人口当りの公園緑地等面積 : 0.26ha/人 (6位/8地域)
 年少人口当りの公園緑地等面積 : 1.89ha/人
 高齢人口当りの公園緑地等面積 : 1.30ha/人
 市管理公園緑地等面積が占める割合 : 3.2%
 (都立公園面積なし)

③ 公園施設

表 3-2-13-54 第6地域の施設数量

	個数	割合
運動施設	11	3.3%
休養施設	155	46.7%
教養施設	8	2.4%
便益施設	46	13.9%
遊戯施設	112	33.7%
施設合計	332	100.0%



総人口当りの総施設数 : 10.80 個/千人 (6位/8地域)
 総人口当りの便益施設数 : 1.50 個/千人
 総人口当りの遊戯施設数 : 3.64 個/千人

図 3-2-13-40 第6地域の施設割合

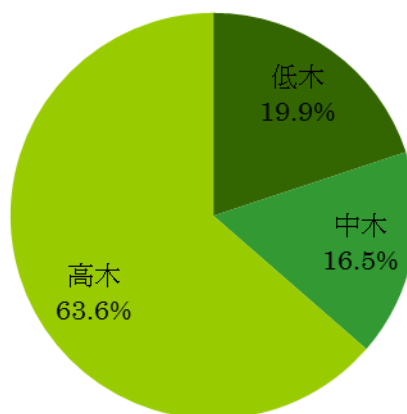
表 3-2-13-55 第6地域の施設数量

第6地域				
分類		内容	単位	数量
植物等	修景施設	芝生・草	本	0
		パーゴラ・東屋	個	41
		その他	個	2,680
	中高木	中木	本	695
		高木	本	2,680
	低木	低木	本	839
施設	運動施設	鉄棒	個	9
		その他	個	2
	園路及び広場	コンクリート・ブロック等	m ²	3,476
		その他	m ²	14,280
	管理施設	外柵	m	41
		照明灯	個	86
		電線類	m	－
		排水マス	個	80
		排水管	m	－
		給水管	m	－
		その他	個	0
	休養施設	ベンチ	個	130
		テーブル	個	0
		その他	個	25
	教養施設	モニュメント	個	5
		記念碑	個	0
		その他	個	3
	便益施設	トイレ	個	11
		水飲場	個	27
		その他	個	8
	遊戯施設	ブランコ(4連)	個	8
		ブランコ(2連)	個	5
		ブランコ(その他)	個	9
		スベリ台	個	16
		砂場	個	17
		木製遊具	個	0
		健康遊具	個	0
		その他	個	57

④ 植樹の割合

表 3-2-13-56 第6地域の樹木数量

	本数	割合
低木	839	19.9%
中木	695	16.5%
高木	2,680	63.6%
低中高木合計	4,214	100%



総人口当りの樹木数 : 137.13 本/千人 (8位/8地域)
 地域面積当りの樹木数 : 16.99 本/ha
 公園緑地等一箇所当りの樹木数 (低木) : 15.83 本/公園緑地等
 公園緑地等一箇所当りの樹木数 (中木) : 13.11 本/公園緑地等
 公園緑地等一箇所当りの樹木数 (高木) : 50.57 本/公園緑地等
 公園緑地等一箇所当りの樹木数 (低中高木) : 79.51 本/公園緑地等

図 3-2-13-41 第6地域の樹木割合

(7) 第7地域

① 公園緑地等位置

「第7地域」は、多摩川沿いの地域で、郷土の森公園が所在しています。市内でも公園面積が広い地域で、人口当たりの面積の構成などからも公園施設が充実しています。

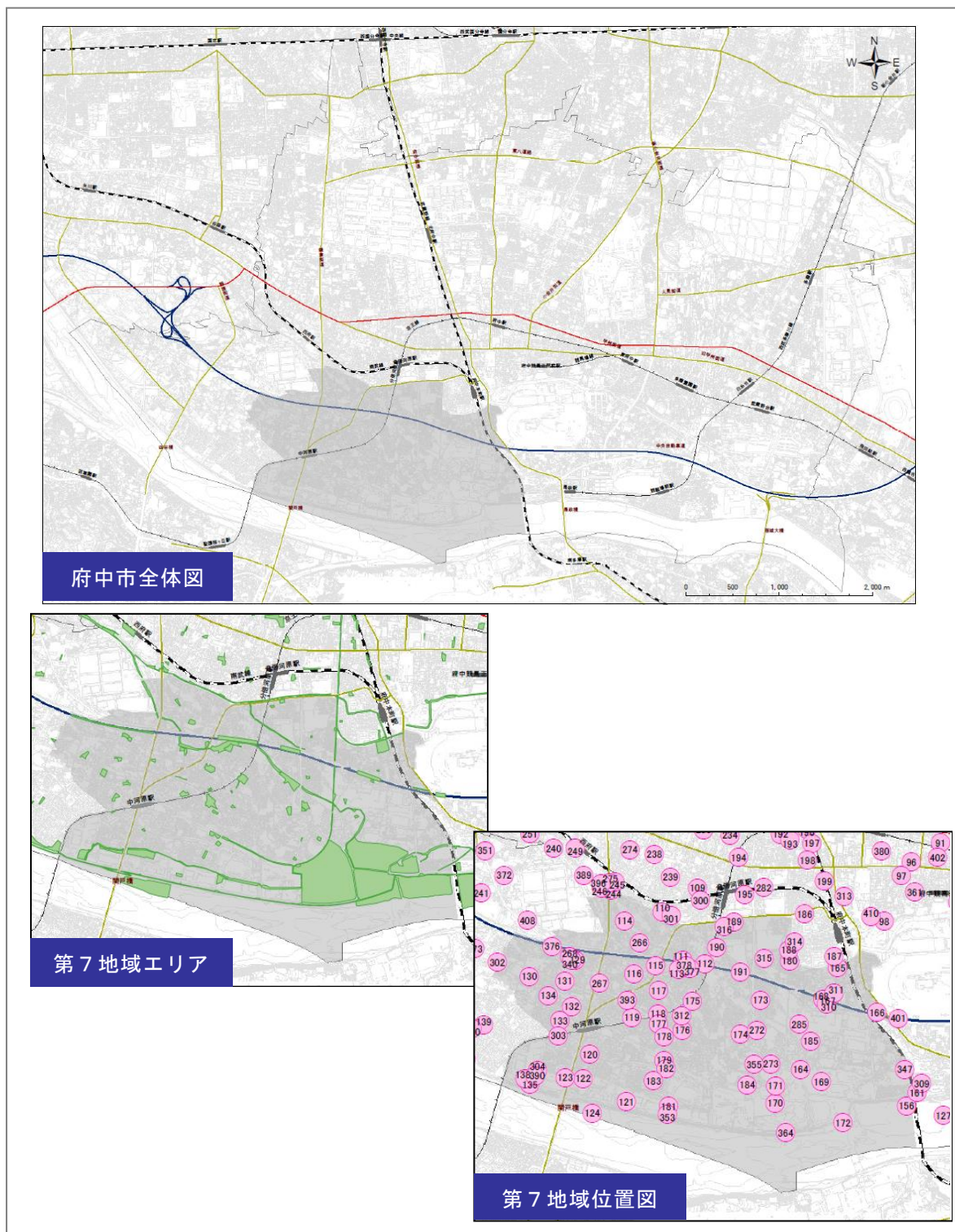


図 3-2-13-42 第7地域の公園緑地等位置図

3-2-8

インフラの整備状況（公園）

② 人口・面積

表 3-2-13-57 第7地域の人口と面積

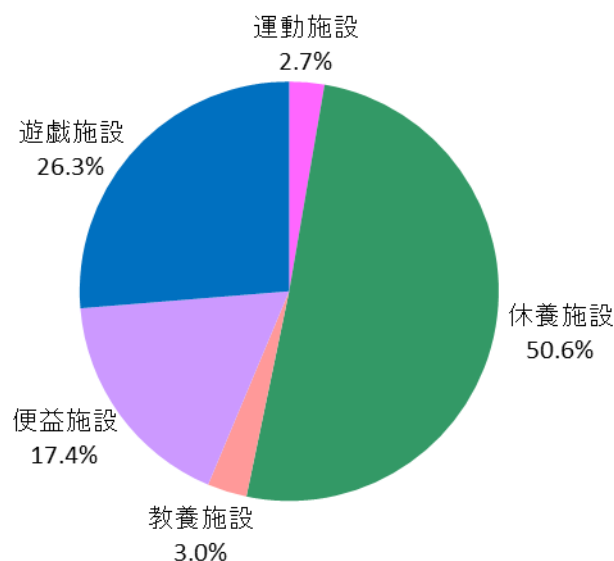
第7地域	項目	数量	備考
人口	総人口	2017年	32,300
		2035年予測	32,571
	年少人口	2017年	5,435
		2035年予測	4,321
	高齢人口	2017年	8,698
		2035年予測	11,733
面積	地域面積	413.00ha	
	公園面積	58.60ha	都立公園なし

総人口当りの公園緑地等面積 : 1.81ha/人 (1位/8地域)
 年少人口当りの公園緑地等面積 : 10.78ha/人
 高齢人口当りの公園緑地等面積 : 6.74ha/人
 市管理公園緑地等面積が占める割合 : 14.2%
 (都立公園面積なし)

③ 公園施設

表 3-2-13-58 第7地域の施設数量

	個数	割合
運動施設	24	2.7%
休養施設	448	50.6%
教養施設	27	3.0%
便益施設	154	17.4%
遊戯施設	233	26.3%
施設合計	886	100.0%



総人口当りの総施設数 : 27.43 個/千人 (1位/8地域)
 総人口当りの便益施設数 : 4.77 個/千人
 総人口当りの遊戯施設数 : 7.21 個/千人

図 3-2-13-43 第7地域の施設数分析

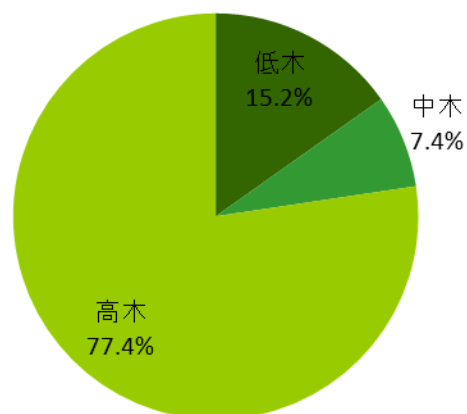
表 3-2-13-59 第7地域の施設数量

第7地域				
分類		内容	単位	数量
植物等	修景施設	芝生・草	本	0
		パーゴラ・東屋	個	120
		その他	個	8,694
	中高木	中木	本	830
		高木	本	8,665
	低木	低木	本	1,704
施設	運動施設	鉄棒	個	23
		その他	個	1
	園路及び広場	コンクリート・ブロック等	m ²	36,344
		その他	m ²	40,990
	管理施設	外柵	m	772
		照明灯	個	552
		電線類	m	-
		排水マス	個	357
		排水管	m	-
		給水管	m	-
		その他	個	0
	休養施設	ベンチ	個	374
		テーブル	個	3
		その他	個	71
	教養施設	モニュメント	個	14
		記念碑	個	6
		その他	個	7
	便益施設	トイレ	個	34
		水飲場	個	112
		その他	個	8
	遊戯施設	ブランコ(4連)	個	12
		ブランコ(2連)	個	10
		ブランコ(その他)	個	20
		スベリ台	個	31
		砂場	個	40
		木製遊具	個	16
		健康遊具	個	15
		その他	個	89

④ 植樹の割合

表 3-2-13-60 第7地域の樹木数量

	本数	割合
低木	1,704	15.2%
中木	830	7.4%
高木	8,665	77.4%
低中高木合計	11,199	100%



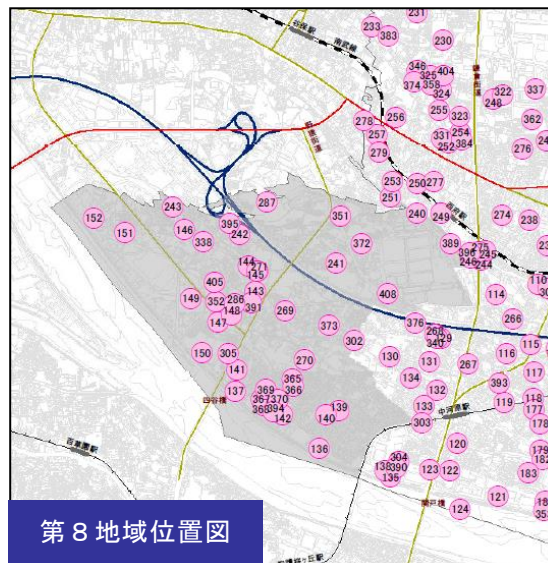
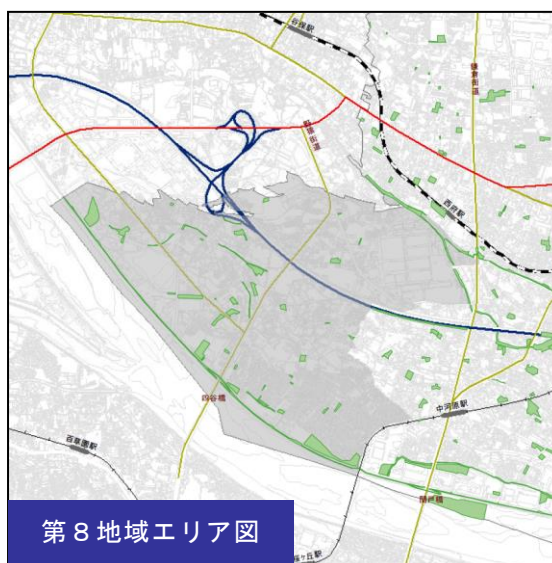
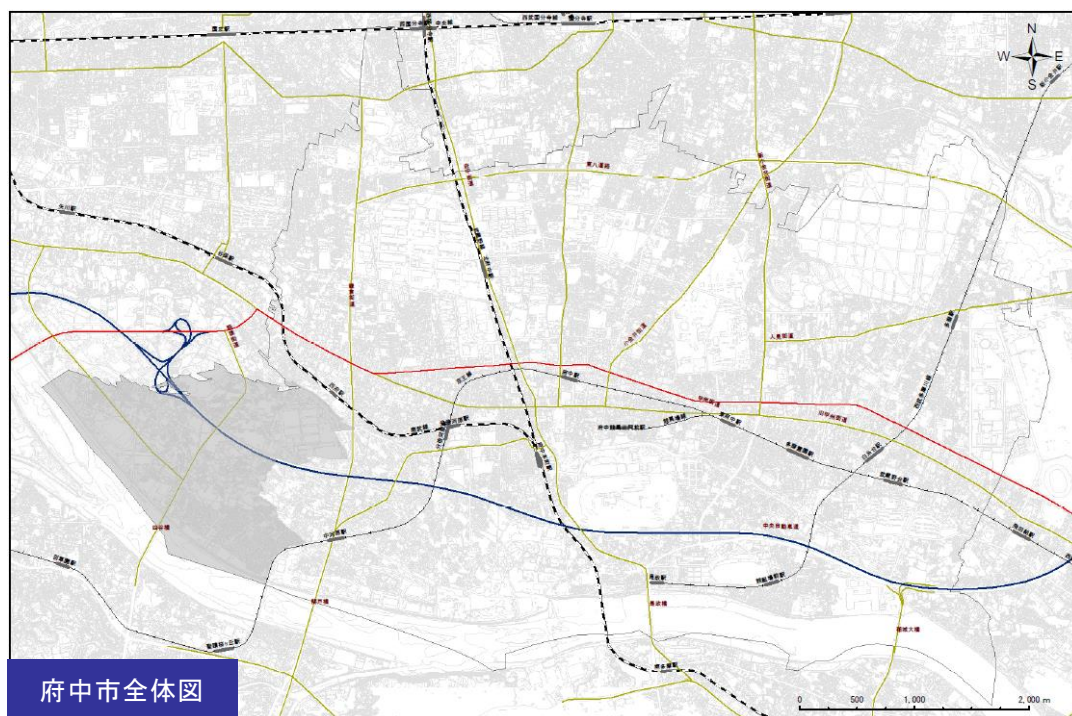
総人口当りの樹木数 : 346.72/千人 (4位/8地域)
 地域面積当りの樹木数 : 27.12本/ha
 公園緑地等一箇所当りの樹木数(低木) : 23.67本/公園緑地等
 公園緑地等一箇所当りの樹木数(中木) : 11.5本/公園緑地等
 公園緑地等一箇所当りの樹木数(高木) : 120.35本/公園緑地等
 公園緑地等一箇所当りの樹木数(低中高木) : 155.54本/公園緑地等

図 3-2-13-44 第7地域の樹木割合

(8) 第8地域

① 公園緑地等位置

「第8地域」は、市の西端の地域であり、国立府中I Cが所在します。地域内では、日本電気府中事業場が多くを面積を有しています。また、公園緑地等の箇所数は他の地域に比べて少ないですが、人口当たりの面積は平均的です。



3-2-8

インフラの整備状況（公園）

図 3-2-13-45 第8地域の公園緑地等位置図

② 人口・面積

表 3-2-13-61 第8地域の人口と面積

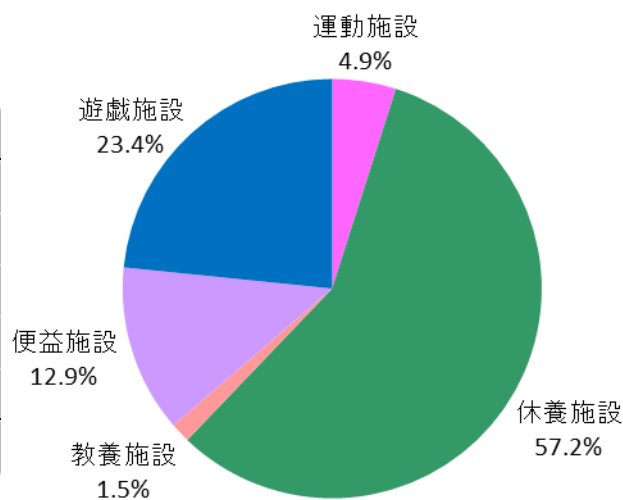
第8地域	項目	数量	備考
人口	総人口	2017年	16,181
		2035年予測	16,317
	年少人口	2017年	2,635
		2035年予測	2,095
	高齢人口	2017年	3,321
		2035年予測	4,480
面積	地域面積	271.00ha	
	公園面積	7.96ha	都立公園なし

総人口当りの公園緑地等面積 : 0.49ha/人 (3位/8地域)
 年少人口当りの公園緑地等面積 : 3.02ha/人
 高齢人口当りの公園緑地等面積 : 2.40ha/人
 市管理公園緑地等面積が占める割合 : 2.9%
 (都立公園面積なし)

③ 公園施設

表 3-2-13-62 第8地域の施設数量

	個数	割合
運動施設	16	4.9%
休養施設	186	57.2%
教養施設	5	1.5%
便益施設	42	12.9%
遊戯施設	76	23.4%
施設合計	325	100.0%



総人口当りの総施設数 : 20.09 個/千人 (2位/8地域)
 総人口当りの便益施設数 : 2.60 個/千人
 総人口当りの遊戯施設数 : 4.70/千人

図 3-2-13-46 第8地域の施設数分析

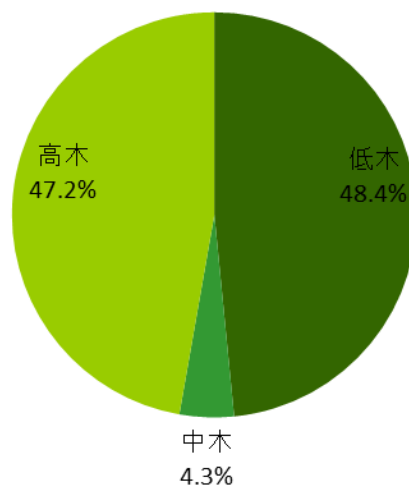
表 3-2-13-63 第8地域の施設数量

第8地域				
分類		内容	単位	数量
植物等	修景施設	芝生・草	本	0
		パーゴラ・東屋	個	30
		その他	個	2,470
	中高木	中木	本	226
		高木	本	2,464
	低木	低木	本	2,527
施設	運動施設	鉄棒	個	13
		その他	個	3
	園路及び広場	コンクリート・ブロック等	m ²	6,749
		その他	m ²	13,624
	管理施設	外柵	m	34
		照明灯	個	115
		電線類	m	-
		排水マス	個	45
		排水管	m	-
		給水管	m	-
		その他	個	0
	休養施設	ベンチ	個	168
		テーブル	個	1
		その他	個	17
	教養施設	モニュメント	個	0
		記念碑	個	4
		その他	個	1
	便益施設	トイレ	個	12
		水飲場	個	22
		その他	個	8
	遊戯施設	ブランコ(4連)	個	0
		ブランコ(2連)	個	6
		ブランコ(その他)	個	1
		スベリ台	個	12
		砂場	個	16
		木製遊具	個	0
		健康遊具	個	7
		その他	個	34

④ 樹木の割合

表 3-2-13-64 第8地域の樹木数量

	本数	割合
低木	2,527	48.4%
中木	226	4.3%
高木	2,464	47.2%
低中高木合計	5,217	100%



総人口当りの樹木数 : 322.42/千人 (5位/8地域)
 地域面積当りの樹木数 : 19.25本/ha
 公園緑地等一箇所当りの樹木数(低木) : 60.17本/公園緑地等
 公園緑地等一箇所当りの樹木数(中木) : 5.38本/公園緑地等
 公園緑地等一箇所当りの樹木数(高木) : 58.67本/公園緑地等
 公園緑地等一箇所当りの樹木数(低中高木) : 124.21本/公園緑地等

図 3-2-13-47 第8地域の樹木割合

3.2.14. 下水道

下水道は、「府中市下水道マスタープラン」（平成 23 年度）により、下水道施設の現状の把握と、老朽化対策などの維持管理の方針を定め、下水道事業の中長期的な財政見通しを行っています。

なお「白書」では、「府中市下水道マスタープラン」の資料に基づいて整理します。

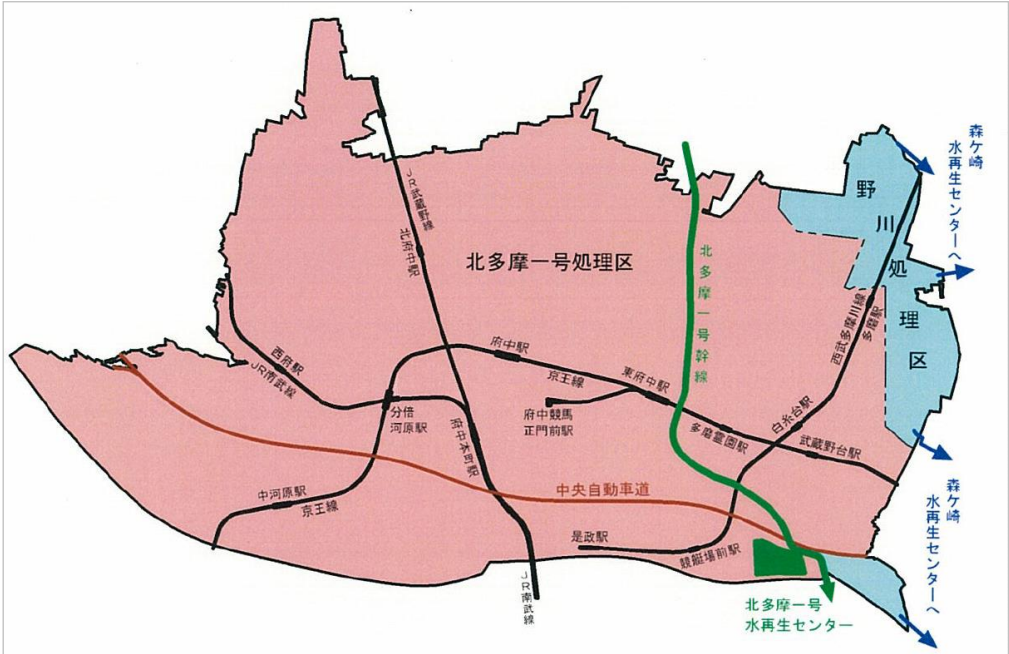
3.2.14.1. 下水道の全体数量

市の公共下水道事業は、「北多摩一号処理区」と「野川処理区」の 2 つの処理区に分けられています。その中で、「北多摩一号処理区」の排水は、市内の北多摩一号水再生センターに導かれています。また、「野川処理区」の排水は、大田区の森ヶ崎水再生センターへ流入しています。

市内の下水道は、昭和 39 年度の事業認可を取得以降、下水道整備区域の拡大を進め、昭和 59 年度には下水道計画区域全域の污水管整備が完了しています。

表 3-2-14-1 下水道全体計画区域

処理区名	全体計画区域面積 (ha)			備考
	合流	分流	合計	
北多摩一号	1,982.40	523.33	2,505.73	全域事業認可取得済み
野川	144.72	74.75	219.47	〃
合計	2,127.12	598.08	2,725.20	



※ 出典「下水道マスタープラン」P18 より抜粋

図 3-2-14-1 府中市下水道処理区の概要

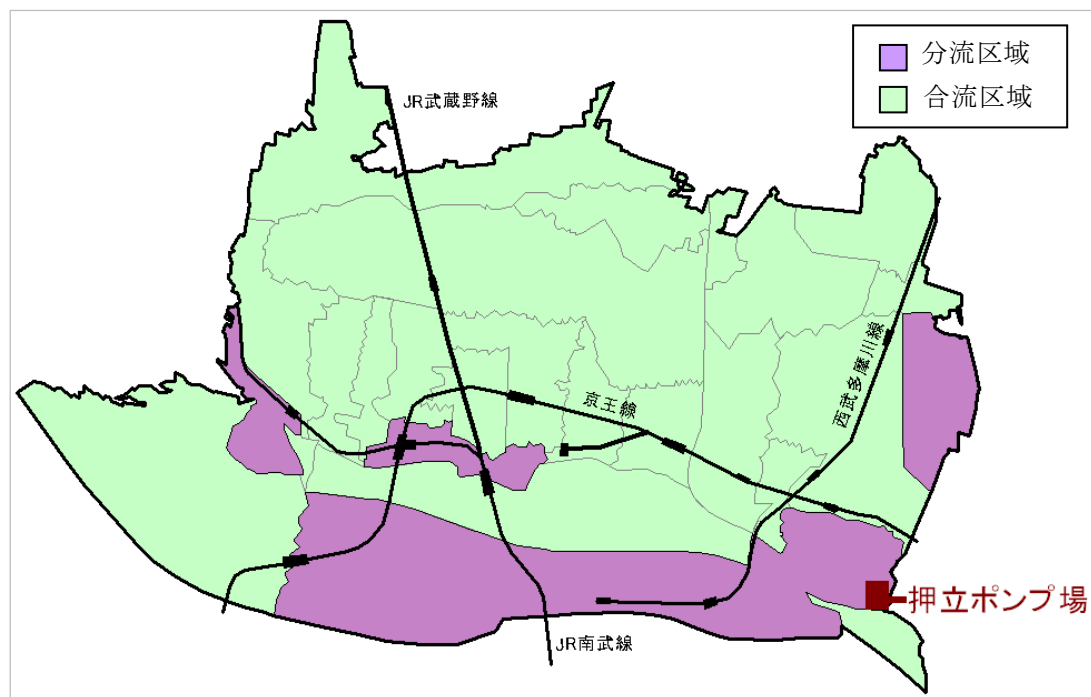


図 3-2-14-2 府中市下水道 分流・合流区分

(1) 処理分區別延長

市の管路総整備延長は現在約 752km です。以下に処理分區別延長を示します。

処理分区	延長(m)
なし	5,165.87
西部第1分区第1	23,233.17
西部第1分区第2	14,589.73
西部第1分区第3	10,988.87
西部第1分区第4	9,768.78
西部第1分区第5	13,055.10
西部第2	12,267.66
西部第3	7,521.84
中部第1分区第1	23,113.53
中部第1分区第2	13,693.82
中部第1分区第3	18,232.90
中部第2	4,224.03
東部第1	60,995.25
東部第2	22,468.80
東部第3	8,764.64
南部	150,703.61
南部第1	86,136.04
南部第2	1,728.40
南部第3	1,837.75
北多摩一号第1-1	61,088.10
北多摩一号第2	21,122.07
北多摩一号第3	60,589.38
北多摩一号第4	47,148.80
北多摩一号第5	10,877.78
北多摩一号第6	32,747.48
北多摩一号第7	7,081.84
北多摩一号第8	5,209.19
野川処理分区第1	6,944.06
野川処理分区第2	8,293.51
野川処理分区第3	2,816.61
総計	752,408.61

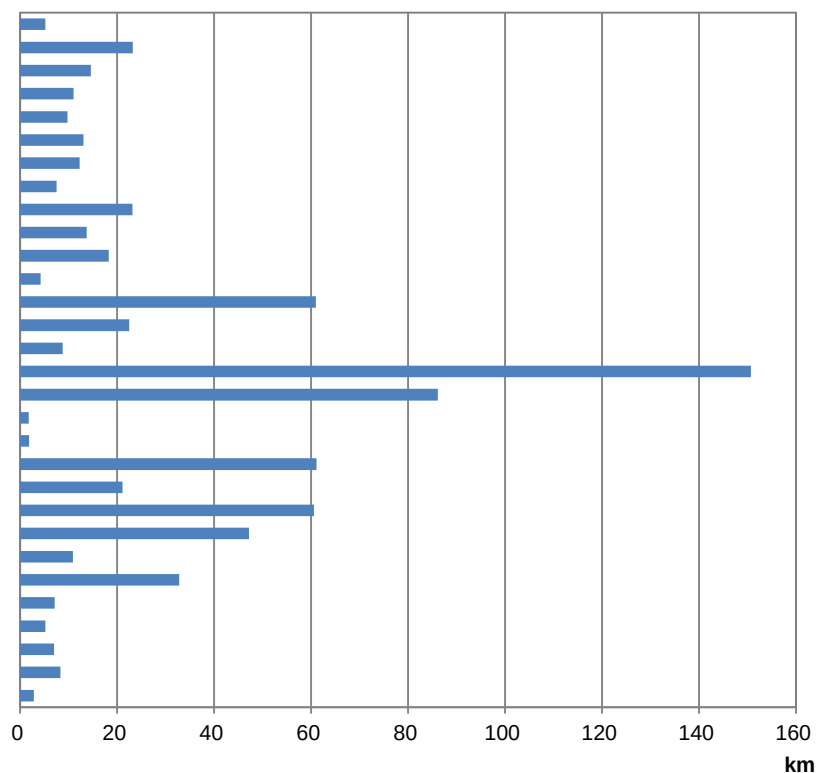


図 3-2-14-5 処理分區別延長

(2) 管の材質別延長

以下に管材質別延長を示します。

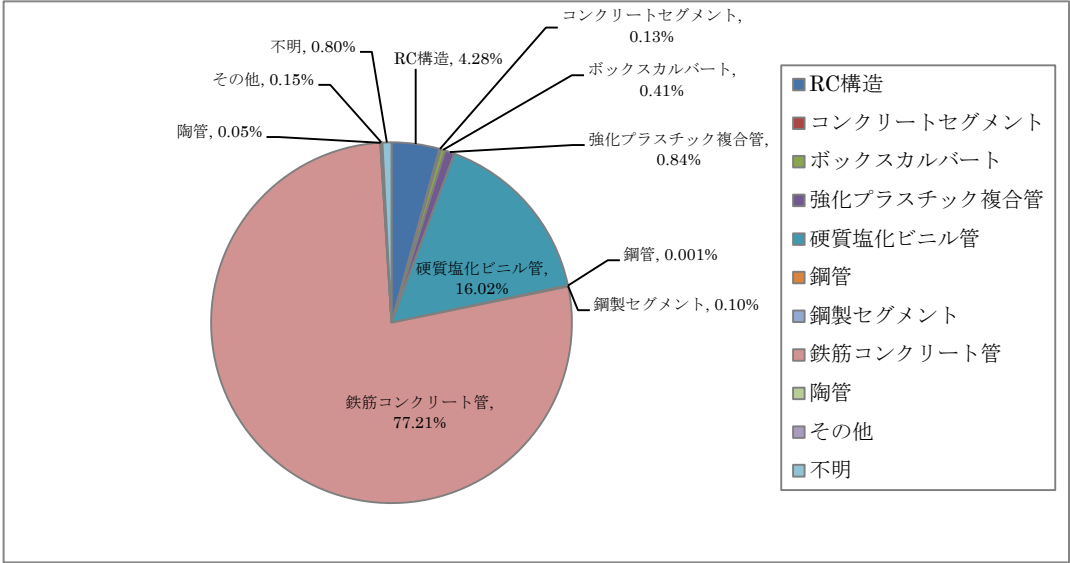


図 3-2-14-6 管の材質別延長割合

(3) ポンプ場

計画区域内の大半は自然流下方式です。しかし地形特性上、東部第二処理分区の分流式地区は低地部であり、自然流下によって北多摩 1 号東西幹線へ流入させることができません。そのため、押立ポンプ場を設置しています。

表 3-2-14-4 押立ポンプ場

・基本事項

計画排水面積	68.00ha
敷地面積	約 520 m ²
下水排除方法	分流式

・ポンプ仕様

形 式	水中汚水ポンプ
口 径	150mm
揚水量	2.7 m ³ /分
台 数	3 台 (内 1 台予備)



図 3-2-14-4 押立ポンプ場 外観

3.2.14.2. 下水道施設の位置

市下水道の主要施設の位置は、次のとおりです。

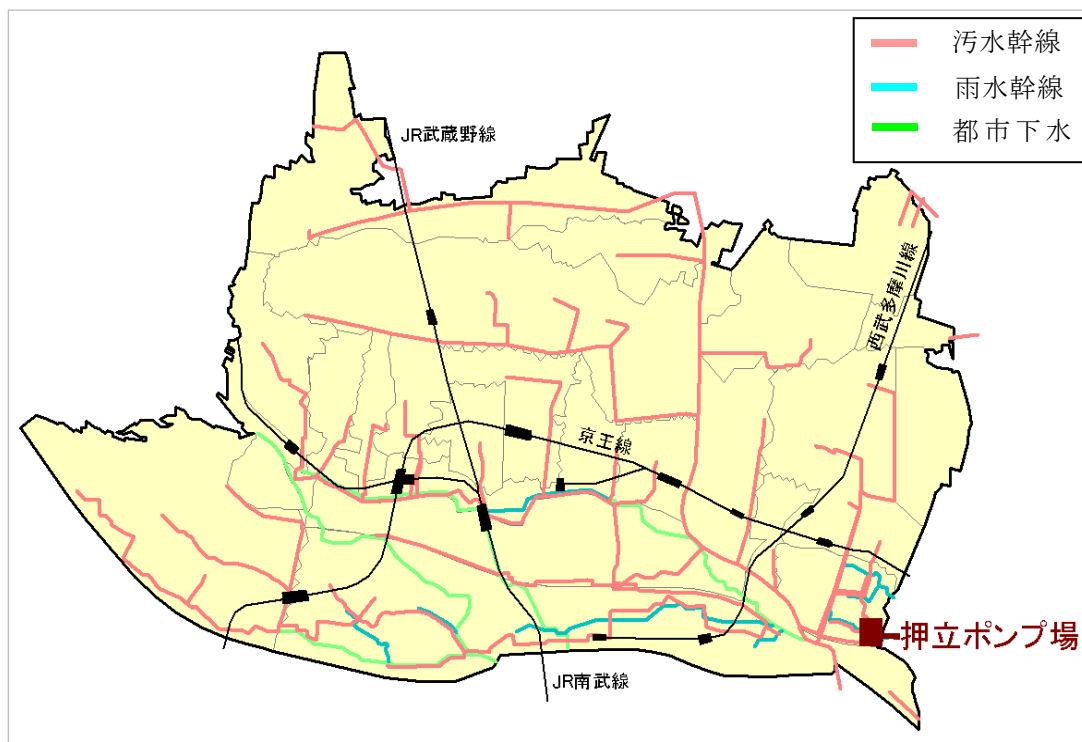


図 3-2-14-3 府中市下水道 主要な施設位置図

3-2-9

（１） 主要な管路

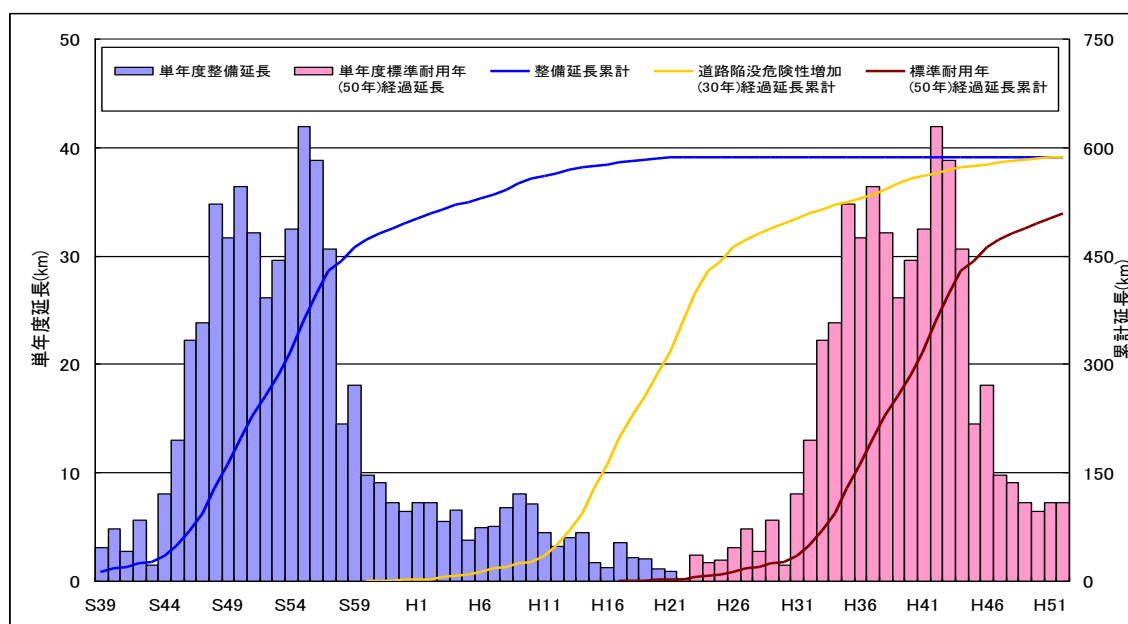
市の下水道認可計画上での主要な管路の延長は、合流管きょ・汚水管きょが約 55km、雨水管きょが約 7 km です。

3.2.14.3. 下水道の現況

(1) 管きょ老朽化の現状

① 管きょの現状

市の管きょ施設は、昭和 39 年度の事業開始から昭和 59 年度までに普及率 100%を達成しています。また普及率 100%を達成した昭和 59 年以降は、道路の新設や拡張に伴う管きょの整備を実施しています。なお、昭和 39 年度に施工した管きょは、平成 26 年度には布設後 50 年を経過しました。そのため、平成 33～44 年度にかけて市の管きょの約 50%にあたる管きょが、一気に標準耐用年数を迎えます。



※ 出典「下水道マスタープラン」P20 より抜粋

図 3-2-14-7 施工年度別整備延長と割合

② 老朽化対策の必要性

一般的に、管路の老朽化に起因する道路陥没は、布設後 30 年以上経過した管路に多く起こる傾向があります。また、府中市では、過去に老朽管に起因した道路陥没は起こっていません。しかし、府中市の総整備延長のうち、布設年度不明管きょを除く 30 年以上経過した管路は、約 487km となっています（平成 26 年度末時点）。

そのため、今後の事故発生や機能停止の事前防止を目的とし、計画的な点検や調査と改築更新等の老朽化対策を実施する必要があります。

管路の布設後経過年数を基に、経過年別管きょ延長を以下の分類で集計すると、次の通りとなります。

- 財産処分年（20 年）経過延長
- 道路陥没危険性増加年（30 年）経過延長
- 標準耐用年数（50 年）経過延長

表 3-2-14-5 経過年別管きょ延長の見通し

経過年数の分類	平成 20 年度末 管きょ延長 (km)	平成 27 年度末 管きょ延長 (km)	平成 32 年度末 管きょ延長 (km)	平成 42 年度末 管きょ延長 (km)
0 年～20 年	83.325	51.021	21.296	0.000
21 年～30 年	183.939	63.170	55.632	21.296
31 年～40 年	314.791	454.328	460.574	204.883
50 年以上	2.172	16.593	47.609	358.932

(2) 維持管理の現状

① 管きょの維持管理

府中市の下水道管きょは、年間約 3 億円を投じて維持管理を行っています。



図 3-2-14-8 維持管理業務の様子

i. 巡回・点検

主要施設では、定期的に巡回や点検をしています。その中で、詰まり等の緊急時には、高圧洗浄車を用いた清掃やTVカメラ車を用いた調査を行っています。

ii. 調査

平成 22 年度から平成 27 年度までの過去 6 年間の調査実績は、年平均は約 54km (約 7,800 万円) で、総計約は 321km (約 4 億 7,000 万円) です。なお、平成 19 年度からは、5 年間で市内を一周するように調査を行っており、平成 25 年度から平成 27 年度までマンホールからの調査を 27,899 箇所実施してます。

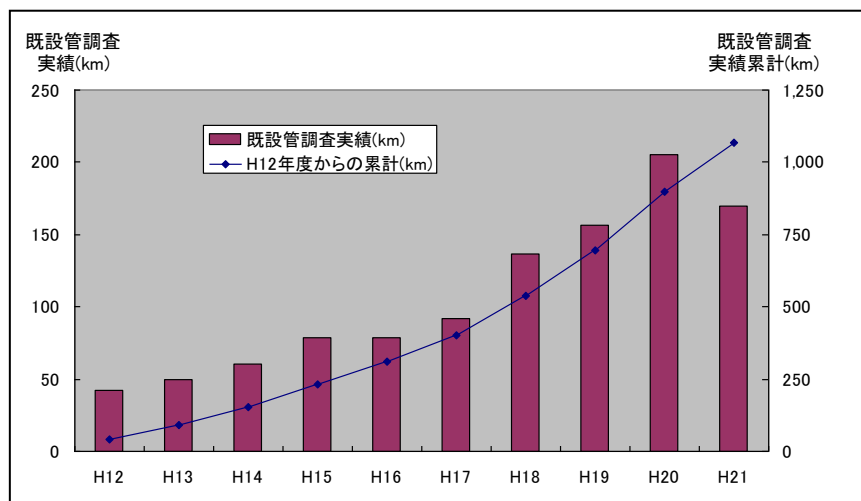
また、鉄道軌道下などの劣化状況に特に注意が必要な管きょについても、管路調査を行っています。

iii. 清 掃

調査を行い、土砂堆積等のある箇所を清掃しています。平成 22 年度から平成 27 年度までの 6 年間で、年平均約 16km（約 3,000 万円）、総計約 98km（約 1 億 7,900 万円）の清掃を行っています。

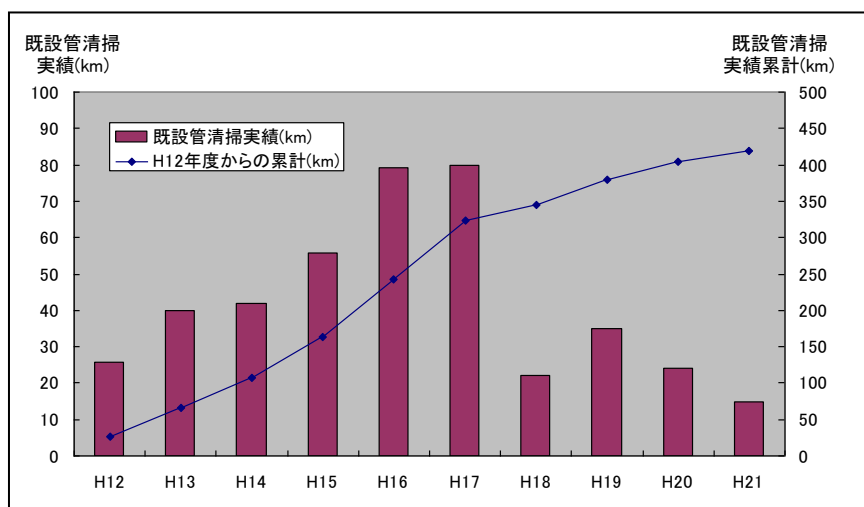
iv. 補 修

点検や調査により見つかった異常箇所は、緊急の維持工事で補修しています。



※ 出典「下水道マスタープラン」P24 より抜粋

図 3-2-14-9 年次別管きょ調査延長実績



※ 出典「下水道マスタープラン」P24 より抜粋

図 3-2-14-10 年次別管きょ清掃延長実績

② ポンプ場の維持管理

「北多摩一号処理区東部第 2 処理分区（押立町、白糸台の一部）」の汚水は、自然流下で排出ができません。そのため、「流域下水道北多摩一号線」に送水するために押立ポンプ場を設置しており、昭和 50 年 12 月から稼動しています。ポンプ場は機能を停止させることができない非常に重要な施設であり、保守管理を専門の業者に委託して運転しています。

③ そのほかの事業の現状

一般家庭や事業所から下水が適正に排水されるよう排水設備の設置指導とともに、排出される下水の水質管理のため、定期的に水質検査を行っております。

④ 管きょの耐震性の現状

「府中市地域防災計画」に定める想定地震に対し、車両通行の確保、下水道の流下機能の確保を図る必要があることから、引き続きマンホール浮上防止対策、マンホールと管きょの接続部分の可とう化対策事業を推進しています。



液状化によるマンホールの浮上



埋戻し砂の液状化による道路の沈下

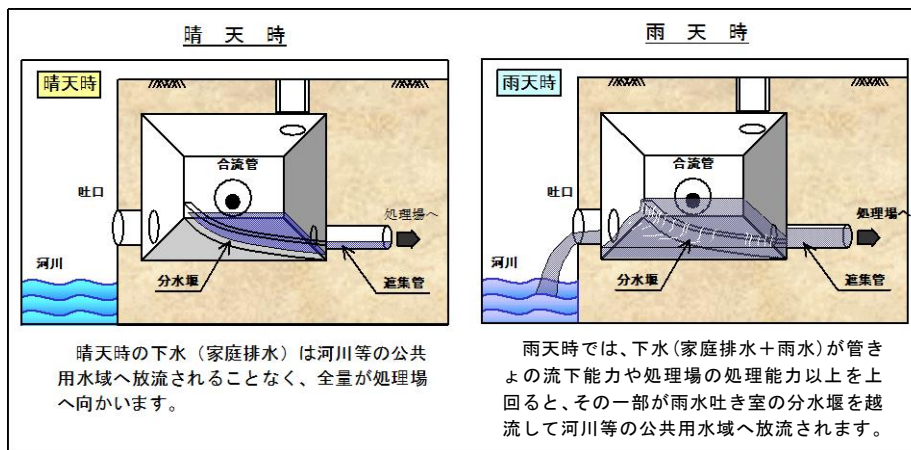
図 3-2-14-11 中越地震における液状化による被害例

⑤ 合流式下水道の現状

市の合流式下水道は、「北多摩一号処理区」の約 79%、「野川処理区」の約 66%、市域全体では約 78%で採用しています。

合流式下水道では、大雨の時に大量の雨水が流れ込むと、管きょや処理場の処理能力を超えた未処理下水が河川等の公共用水域に放流されます。その結果、公共用水域の水質汚濁、悪臭の発生、景観の悪化、公衆衛生上の観点などから、近年大きな社会問題となっています。

府中市では平成 21 年度から平成 25 年度に「府中市合流式下水道緊急改善計画」に基づき、雨天時に流入する雨水量を減らすため引き続き市民や開発事業者に浸透施設の設置の協力を要請していきます。



※ 出典「下水道マスタープラン」P22 より抜粋

図 3-2-14-12 合流式下水道の概要

3.2.14.4. 下水道の整備状況

布設年度別集計

市の下水道管布設のピークは、昭和 50 年代です。また、普及率 100%を達成した昭和 59 年度以降の布設延長は、減少傾向となっています。

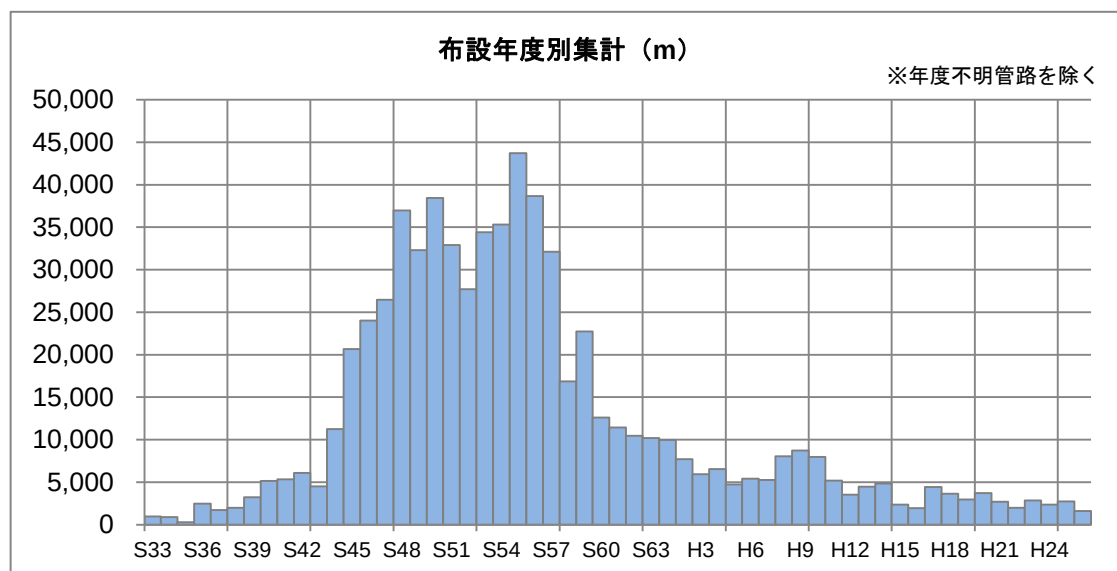


図 3-2-14-13 布設年度別延長

3.2.15. 法定外公共物

法定外公共物は現状を確認し、整理しました。

3.2.15.1. 全体数量

平成 28 年度時点における、市の法定外公共物は、赤道が 86,759 m²、水路が 169,467 m²、市有通路が 55,596 m²です。本数量は平成 14 年度に国から譲与された際の見込み数量から算出しています。

3.2.15.2. 法定外公共物の整備状況

(1) 対象

法定外公共物の次の行為について許認可を行っています。また、赤道、水路から民地に越境した草刈や不法投棄の処理等の管理を行っています。

- 工作物の新築、改築、除却等の工事
- 流水水面又は敷地を占用し、及び使用
- 流水を利用するため、これを停滞させ、又は引用すること
- 流水の方向、幅員若しくは深浅又は敷地の現況に影響を及ぼす行為
- 土地の掘削、盛土又は切土その他土地の形状を変更する行為
- 以上に掲げるもののほか、法定外公共物に関して工事を行い、又は法定外公共物を本来の目的以外に使用すること

(2) 処分状況

平成 28 年度時点の処分状況については、次のとおりです。

表 3-2-15-1 処分状況

年 度	赤道		水路	
	払下面積 (m ²)	交換面積 (m ²)	払下面積 (m ²)	交換面積 (m ²)
平成 23 年度	207.91	206.66	106.69	104.74
平成 24 年度	175.90	364.28	115.60	81.19
平成 25 年度	63.37	50.38	108.87	14.76
平成 26 年度	24.41	138.60	147.66	32.84
平成 27 年度	39.97	29.45	37.53	70.63
平成 28 年度	287.37	58.48	233.23	46.13
平均	133.16	141.31	124.93	58.38

※ 出典 府中市管理課所有「法定外データ H29. 3. 31 時点データ」
及び「道路調書資料」より抜粋

3.3. 維持管理の現状

市のインフラ管理に関する業務内容と件数は、次の表の通りです。市では、インフラの日常の維持管理から、道路や公園緑地等の補修工事などの作業を行っています。

表 3-3-1 インフラ管理に関する市の業務内容と件数

施設部門	主な業務内容		取り扱い件数／年（平成 28 年度）	
			件数	内容
道路・橋りょう・立体横断施設等・大型構造物・法定外公共物	パトロール		221 日 23,976km	
	道路一般許可申請		324 件	自費工事施工願、道路一時使用願、沿道掘削願
	道路占用許可関係		1,756 件	ガス、東電、一般、上下水道、N T T，道路占用
	道路台帳平面図補正測量	道路台帳図補正作成	17,078 m ² 56 枚	
		道路台帳調書補正	4,209m 94 路線	
	公共用地境界確定測量	申請	112 件	受理件数（取下げ除く）
		公共用地境界確定測量	537m 5,162 m ²	
		法定外公共物用地境界確定	960m 590 m ²	
	道路維持修繕		1,333 件	道路補修工事、側溝暗きょ補修、防護策補修、街路樹管理作業、除草、不法投棄物回収、その他
	道路事業用地管理		6 件	除草、浚渫等
	工事	道路拡幅改修整備	1 件	設計
			0 件	工事
		道路改良整備	2 件	設計
			4 件	改良工事
			31 件	改良工事（単契）
			0 件	その他工事
			1 件	その他、診断・調査・測量
		用水路維持工事	10 件	除草、浚渫、U 字溝設置等
	電線類地中化事業		2 件	測量、設計、工事
	けやき並木周辺整備		2 件	調査、工事
	都市計画道路事業用地管理		8 件	除草、管理柵、整地工
	みちづくりバリアフリー化整備		1 件	

	都市計画道路整備事業		1 件	用地調査
			7 件	測量設計
道路付属物	標識		—	上記、道路維持修繕を含む
	街路灯	交通安全灯補修	980 件	修理
		交通安全灯工事	32 基	設置
			4 基	塗装
		防犯灯工事	64 基	新設
			23 基	建て替え
			6 基	撤去
			20 基	その他工事
		防犯灯修理	2,994 件	球交換
			416 件	その他修理
	道路反射鏡	点検清掃	500 件	
		修理	93 件	
		設置	19 基	
	街路樹	除草	170,651 m ²	植樹帯、芝生地、草刈
			4,988 か所	植樹
		剪定	56,704 m ²	中木
			259 本	その他樹木
		伐採	78 本	大径木の間引き
		その他		枯損木処理、支柱設置、支柱結束直し、支柱撤去、倒木復旧、ヤゴ取り、枝折れ処理、せん定、かん水、枝収集及び害虫防除など
公園緑地等	公園工事		7 件	工事
				測量、設計
	公園事業用地管理			除草、樹木の剪定等
	公共樹木等管理			枯損木処理、支柱設置、支柱結束直し、支柱撤去、倒木復旧、ヤゴ取り、枝折れ処理、せん定、かん水、枝収集及び害虫防除など
	府中多摩川かぜのみちほか草刈			多摩川の土手の草刈
	公園トイレ清掃委託		99 か所	
	公園等清掃業務		136 か所	
	公園等清掃除草業務		199 か所	

	公共樹木管理		公園・緑道・広場・その他の枯損木処理、支柱設置、支柱結束直し、支柱撤去、倒木復旧、ヤゴ取り、枝折れ処理、せん定、かん水、枝収集及び害虫防除など
	公園等池流れ清掃業務	52 回	
	水路清掃業務	36 回	
	緑道等維持管理業務		緑道、遊歩道等の清掃及び施設点検
	砂場殺菌作業	115 箇所	砂場消毒及び砂補充、検体分析
下水道	下水道管清掃	10,314.63 m	土砂・モルタル・木根等除去
	既設下水道管調査	6,703.64m	テレビカメラ調査
		165 か所	取付管テレビカメラ調査
	合流式下水道氾濫時放流水質調査	2 か所	氾濫水吐口 BOD 測定
	下水道台帳システム整備	1 式	
	維持工事	76 か所	蓋取替え等
		54 件	下水道施設維持補修工事
		1 式	押立ポンプ場維持管理補修工事・制水扉ゲート更新工事・脱臭ファン・ホイスト盤更新工事
		330.30m	公共下水道管撤去工事
	下水道工事、下水道施設老朽化対策工事、下水道施設耐震化工事	5 件	
	下水道実施計画を始め公共下水道に関する各種調査	77 件	

※取扱い件数は、「府中市事務報告書」および「決算資料」を参考としています。

3.4. 管理ボランティア制度(府中まちなかきさら)の推移

3.4.1. 管理ボランティア制度の推移

平成 26 年度から始まった、市が清掃用具などの補助を行い、市民や企業に府中市内の道路や公園の清掃活動が無償ボランティアとして実施していただく府中まちなかきさらの登録団体数は年々増加しています。

なお、登録の種類は 2 つあり、長期登録は 1 年以上の継続すること、1 ヶ月に 2 日以上活動することが条件となっています。一方、短期登録は希望する活動期間が 1 日間～7 日間ということが条件となっています。

以下、平成 26 年度からの登録団体数の推移を示します。

表 3-4-1-1 府中まちなかきさら登録団体数

年度	長期登録	短期登録
平成 26 年度	1 1	2 1
平成 27 年度	1 8	6 7
平成 28 年度	2 6	1 4 4

表 3-4-1-2 府中まちなかきさら登録団体数(分類別)

年度	道路		公園	
	長期	短期	長期	短期
平成 26 年度	2	8	9	1 3
平成 27 年度	5	3 8	1 3	2 9
平成 28 年度	7	9 0	1 9	5 4

3.5. インフラに係る決算の推移

3.5.1. 管理費用位置づけ

本市のインフラにかかる費用の分類は、次のとおりです。なお、歳出においては、維持管理費と補修更新費は主管部署の予算、人件費は庁内全体の人事部署の予算となっています。そのため、整理の上で、両者は並列の整理としています。

また、歳入は直接歳出の還元されるのではなく、市全体の予算に入ります。そのため、歳出と歳入を直接比較することはしていません。

表 3-5-1-1 インフラの管理に係るコストの区別

分 類		内 容	費 目
歳 出	維持管理費	日常を維持するための保守等にかかる経費	関連する協議会等の負担金 測量や調査等委託費 清掃・ごみ処理委託費 パトロール経費 施設点検経費 光熱水費 電算機等使用料（運営費） 小規模（500万円未満）の工事費 事務費用
	補修更新費	機能を維持するための補修や施設更新にかかる経費	大規模（500万円以上）の工事費 更新施設の購入・置換え費・起債償還
	人件費	職員の給与や退職手当などにかかる経費	人件費 退職手当 間接部門費
歳 入	市歳入	使途が限定されず、どの経費にも自由に充当できる収入の内、経常的に収入する財源	負担金 補助金 使用料 起債
	地方譲与税	国税として徴収した税を一定の基準（道路延長や面積等）で地方公共団体に配分される	自動車重量譲与税 地方揮発油税

3.5.2.1. インフラ決算の推移

(単位：百万円)

(単位：%)

一般会計全体歳出
うちインフラ歳出
インフラ歳出が占める割合

年度	一般会計全体歳出 (百万円)	うちインフラ歳出 (百万円)	インフラ歳出が占める割合 (%)
平成18年度	76,000	6,000	8.0
平成19年度	75,000	6,000	8.0
平成20年度	79,000	6,000	7.6
平成21年度	80,000	9,000	11.3
平成22年度	85,000	6,000	7.1
平成23年度	87,000	6,000	6.9
平成24年度	87,000	6,000	6.9
平成25年度	89,000	5,000	5.6
平成26年度	92,000	11,000	12.0
平成27年度	89,000	8,000	9.0
平成28年度	95,000	10,000	10.5

3.5.2.2. 道路／道路付属物／橋りょう／公園緑地等／立体横断施設等／大型構造物／法定外公共物

(单位:百万円)

補修更新コスト

道路維持整備事業費
道路維持管理費
道路維持費
道路改良整備事業費
道路拡幅改修整備事業費
道路新設整備事業費

道路維持費
道路新設改良費

平成元年度～平成10年度
平均 19.4 億円

平成11年度～平成28年度
平均 8.2 億円

(年度)

213

(2) 過去の公園緑地等関係費の推移

平成元年以降の各年度決算書を基にして、公園緑地等にかかる維持管理、補修更新の決算推移を整理しました。

日常の公園管理費は、平成元年以降はほぼ変わらない金額で推移しています。なお、平成 17 年は矢崎町防災公園が開設され、「公園新設費」が多くなっています。また、老朽化した公園施設については、補修更新に順次取り組んでいます。

表 3-5-2-1 公園緑地等に係る経費の説明

費 目	経費の内容
公園新設費	新たに公園を新設する経費
公園改築費	公園を補修、更新する経費
公園管理費	公園の清掃、樹木の剪定などの経費

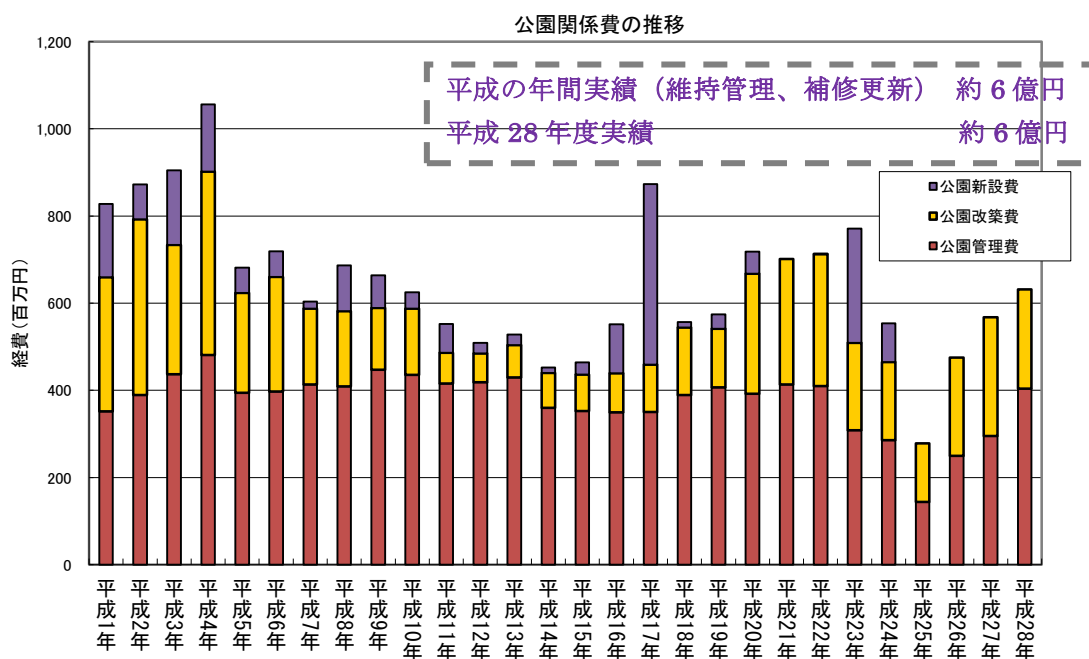


図 3-5-2-3 公園緑地等の維持管理、補修更新経費の推移

3.5.2.3. 下水道

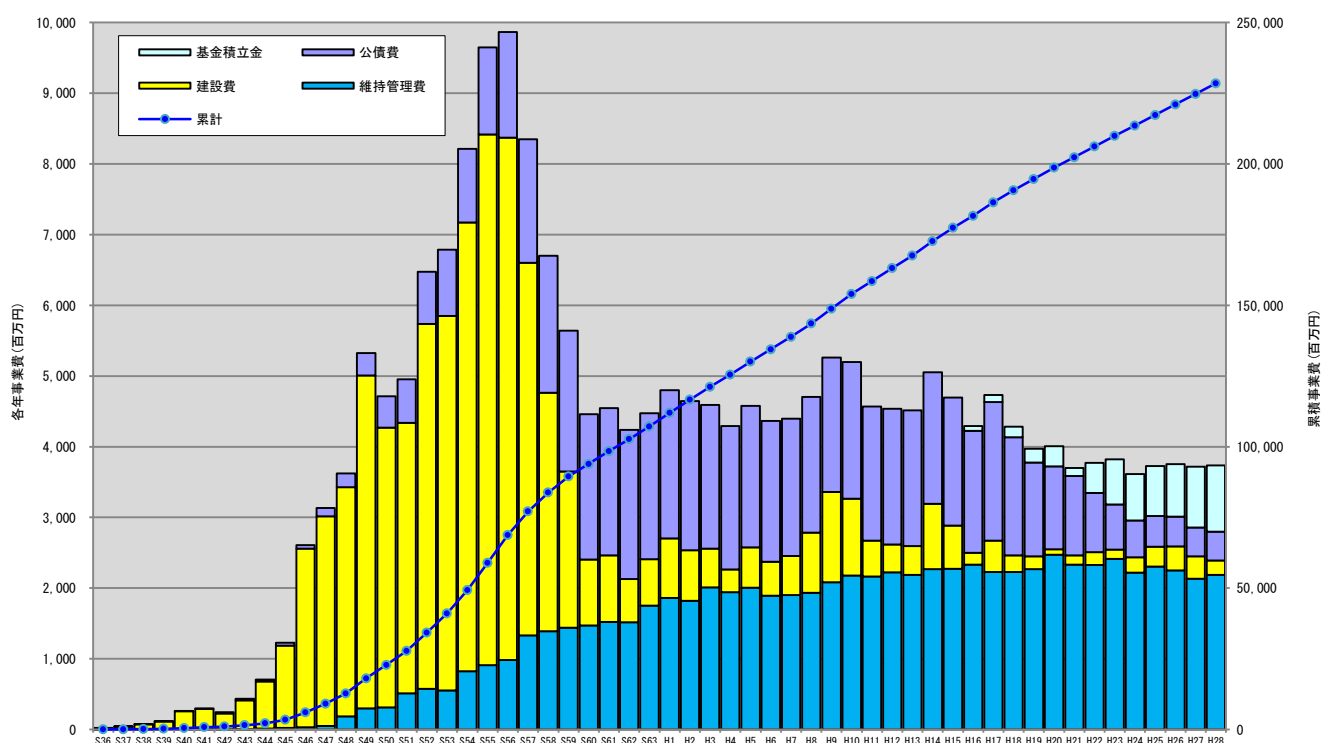
(1) 下水道財政の推移

下水道は、特別会計の予算により独立して事業が行われています。歳出の分類は、維持管理費のほか、補修更新費に当たる老朽化対策や地震対策などの建設費のほか起債償還費が占めています。歳入の分類は、下水道使用料と一般会計繰入金のほか起債がしめています。

(2) 過去の事業費の推移

① 下水道事業費の推移

下水道は、昭和 39 年に事業着手から今日までの事業費の累計は、約 2,248 億円となります。下水道の普及率が 100%となった昭和 59 年以降は事業費が 40 億円の程度で推移し、平成 28 年度の決算額は、39 億円となっています。



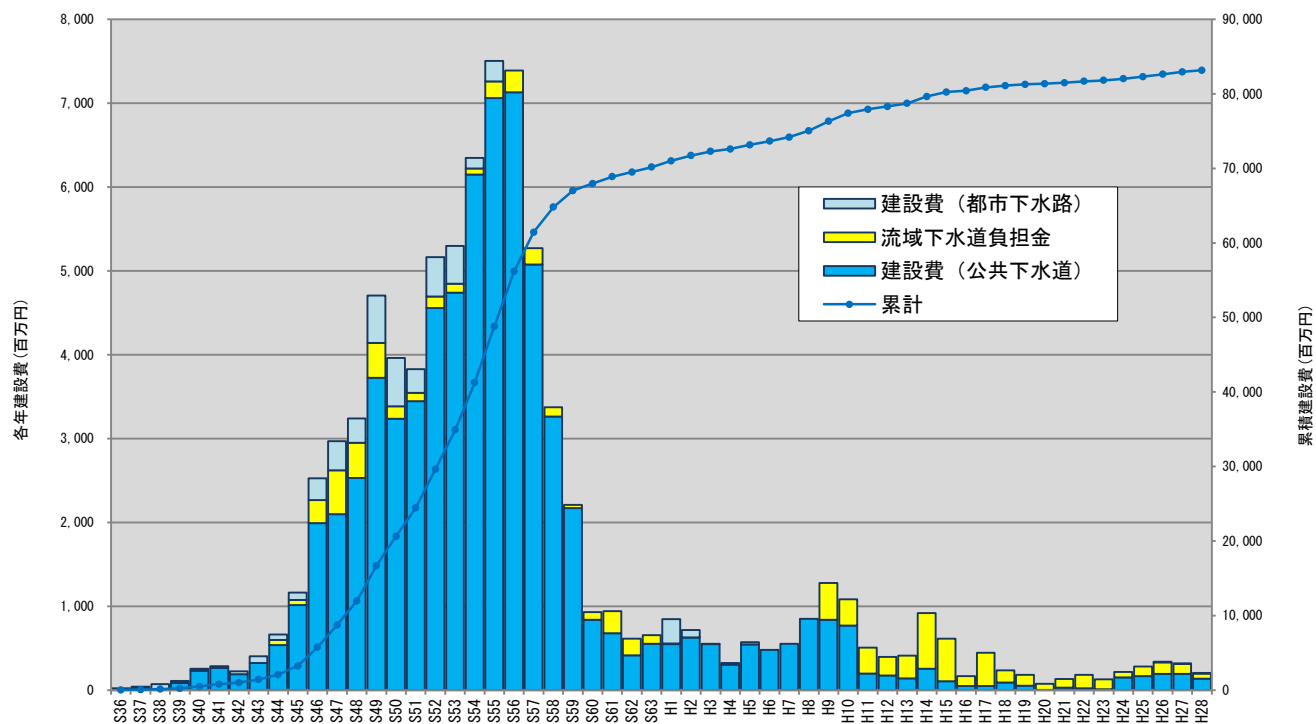
※ 白書では、グラフ中の「建設費」は「補修更新費」として整理しています

図 3-5-2-4 下水道事業費の推移

② 建設費の推移

下水道施設の建設費は、事業着手から現在までに約 830 億円が投じられており、約 752km の管きょが敷設されています。また、このうち流域下水道への建設負担金として、これまでに約 82 億円が支払われています。

建設費は、ここ数年では約 1 億 4,000 万円で推移しています。

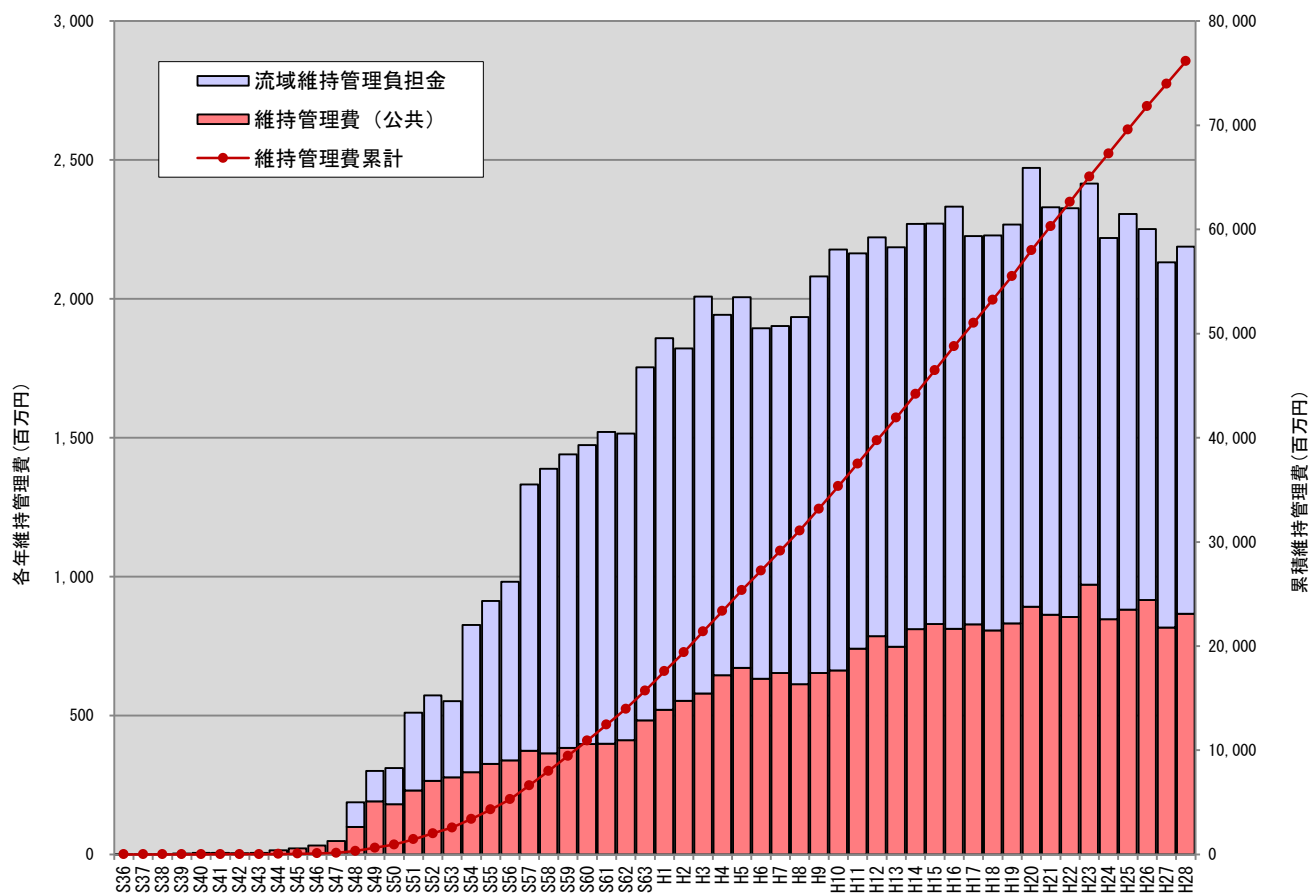


※ 出典「下水道マスタープラン」P28 に追記

図 3-5-2-5 建設費の推移

③ 維持管理費の推移

管きょやポンプ場などの下水道施設の維持管理費は、ここ数年では年間約 23 億円で推移しています。なお、全体的には横ばい傾向にあります。また、そのうちの約 14 億円（全体の約 60%）を、流域下水道への維持管理負担金が占めています。

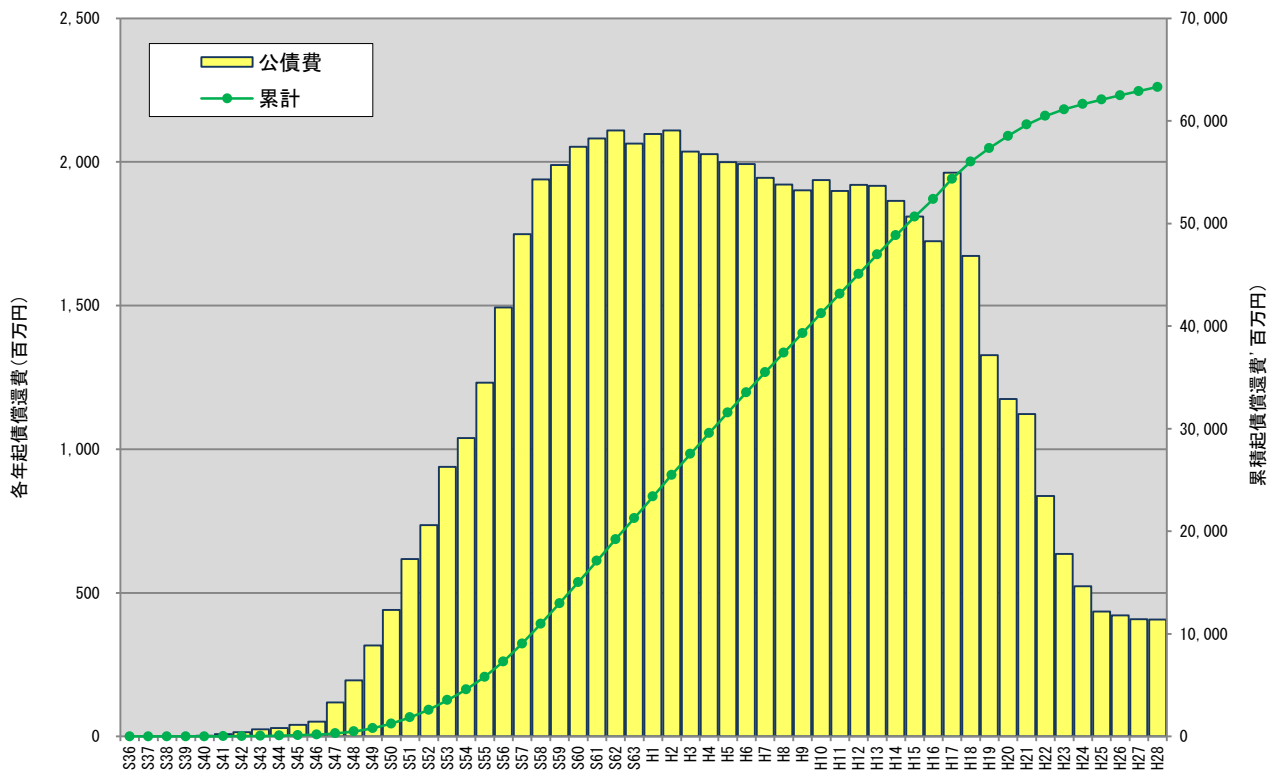


※ 出典「下水道マスタープラン」P29 に追記

図 3-5-2-6 維持管理費の推移

④ 起債償還費の推移

起債償還費は、平成 2 年度の約 21 億円をピークに年々減少する傾向にあります。このような順調な償還により、平成 28 年度末での起債残高（元金）は約 47 億円になっています。



※ 出典「下水道マスタープラン」P29 に追記

図 3-5-2-7 起債償還費の推移

3.5.3. 維持管理に係る経費

インフラの施設清掃や光熱水、点検など日常のメンテナンス等の維持管理に係る経費を目的別に整理しました。

※ 平成 28 年度 歳入・歳出決算資料より整理

【現状の執行額の考え方】

予算額が年々減少していることから、道路舗装の維持管理にかかる費用は減少の傾向にあります。直近の平成 27 年度では、ピーク時期の 1/3 程度の経費となっています。

しかし、今後の舗装を含むインフラの管理にかかる予算は、大規模施設の新設や市組織分掌の移管等が無ければ、大きく変動するものではありません。

そのため、現状の執行額としては、平成 28 年度の執行額の規模を比較の対象とします。

3.5.3.1 道路／橋りょう／公園緑地等

橋りょうは、市内の橋りょう点検調査にかかる経費が計上されています。
公園緑地等は、維持管理にかかる経費について整理しています。

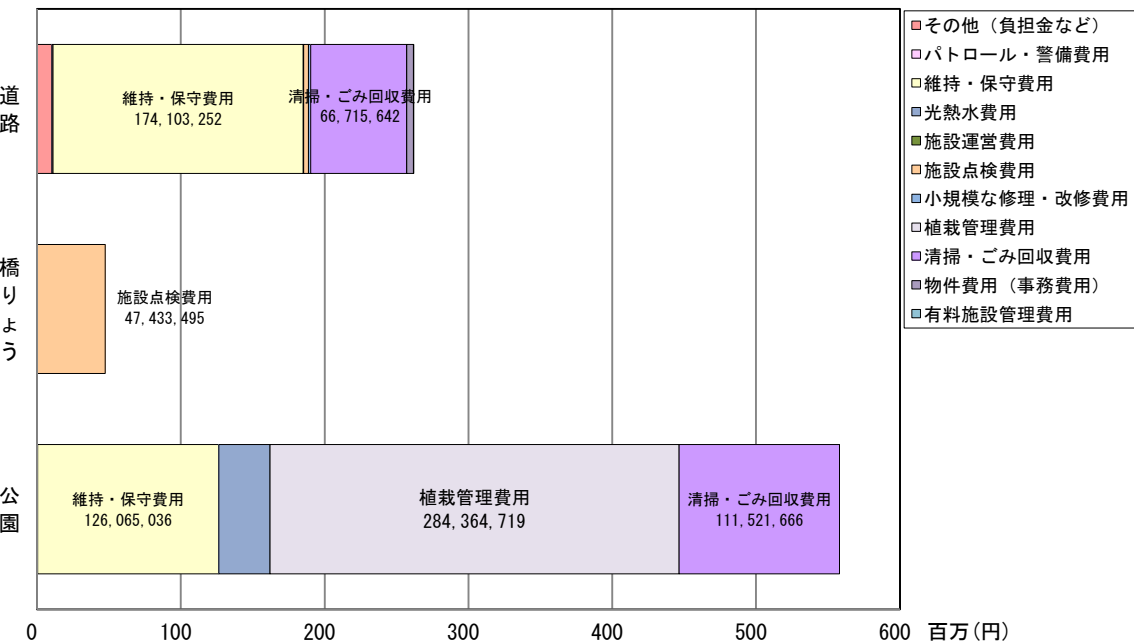


図 3-5-3-1 インフラの維持管理にかかる目的別執行額（平成 28 年度）

3.5.3.2 街路灯

街路灯について、過去6年間に執行した「維持管理費」のグラフを以下に示します。

「維持管理費」については、近年では年々増加傾向となっております。

表 3-5-3-1 過年度の街路灯維持管理費用の内訳

年度	修繕費（円）	光熱費（円）	合計（円）
平成 23 年度	50,137,668	108,938,107	159,075,775
平成 24 年度	51,695,626	137,384,893	189,080,519
平成 25 年度	49,313,125	162,192,647	211,505,772
平成 26 年度	41,858,779	187,801,246	229,660,025
平成 27 年度	48,666,693	178,094,482	226,761,175
平成 28 年度	63,673,095	110,452,061	174,125,156

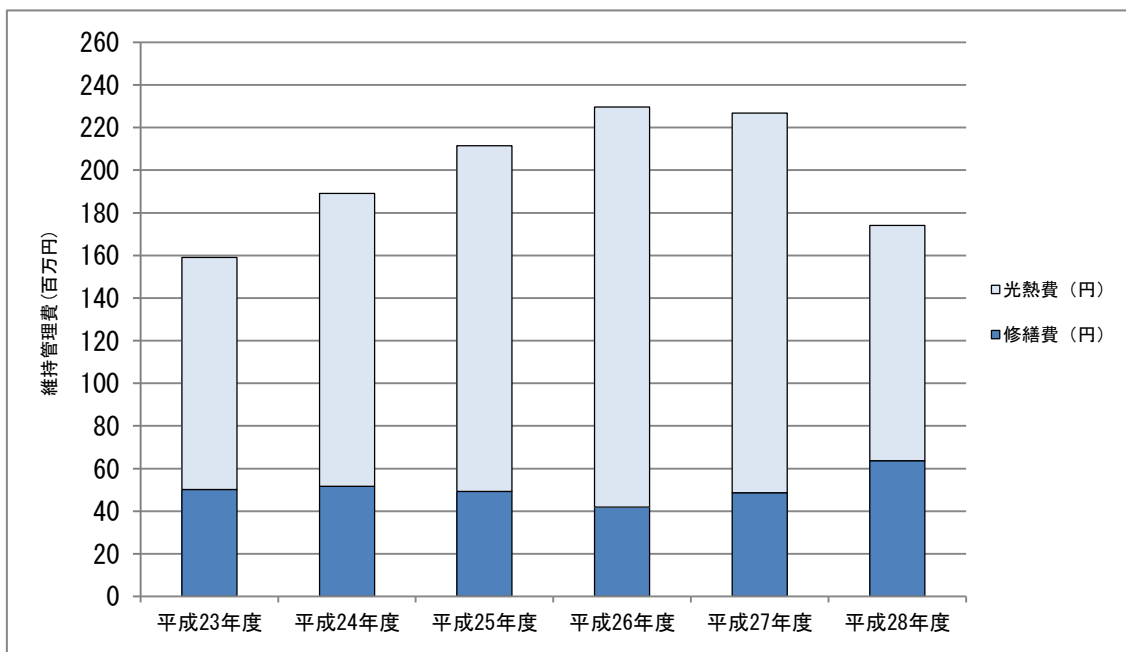


図 3-5-3-2 過年度の街路灯維持管理費用の内訳

3.5.3.3 街路樹

街路樹の維持管理に係る経費を整理しました。

経費は平成 25 年度まで減少傾向にありましたが、平成 26 年度以降は高木の剪定を実施し、経費が増加いたしました。

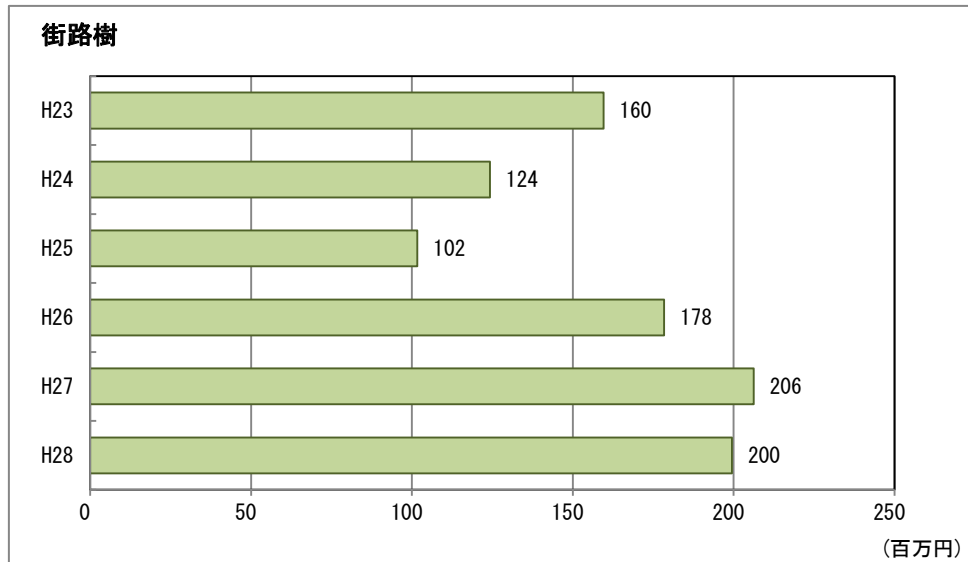


図 3-5-3-3 街路樹の維持管理にかかる執行額の推移

3.5.3.4 道路反射鏡

道路反射鏡の維持管理に係る経費を整理しました。

平成 26 年度以外は 6 百万前後で推移していましたが、平成 26 年度のみ、経費が増加いたしました。

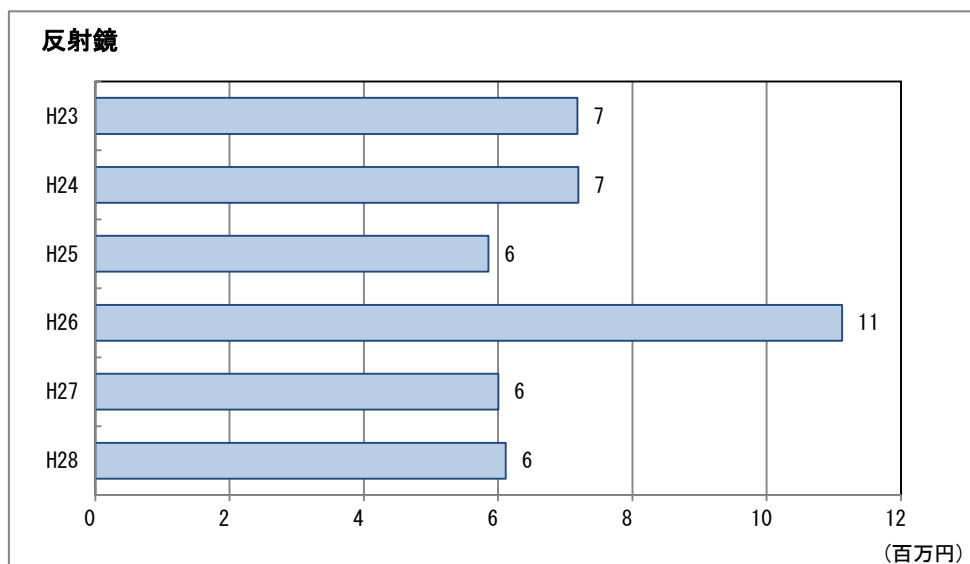


図 3-5-3-4 道路反射鏡の維持管理にかかる執行額の推移

3.5.3.5 立体横断施設等

立体横断施設等の維持管理に係る経費を整理しました。
経費は過去6年間で平均2.1千万円程度推移しております。

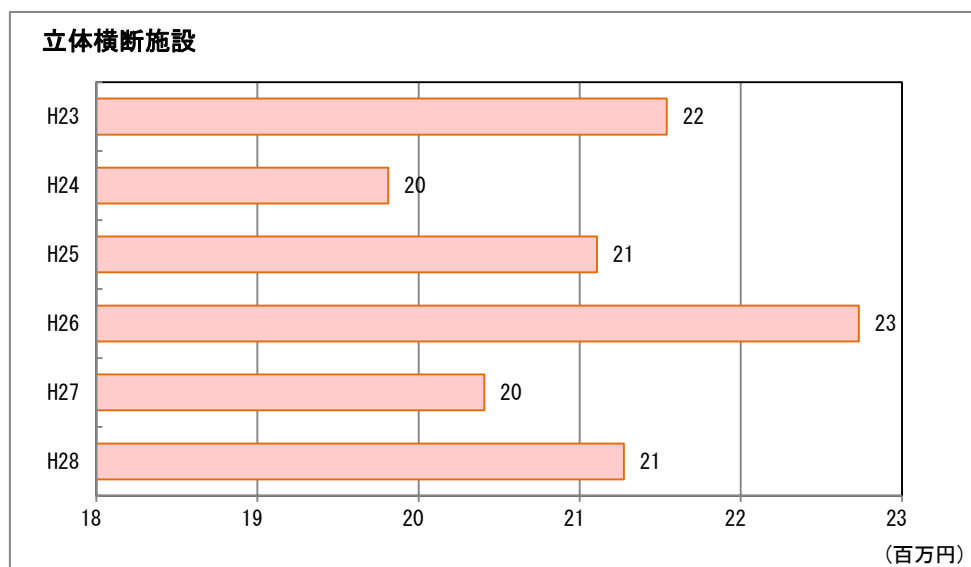


図 3-5-3-5 立体横断施設等の維持管理にかかる執行額の推移

3.5.3.6 大型構造物

大型構造物の維持管理に係る経費を整理しました。
経費は過去6年間で徐々に減少しております。

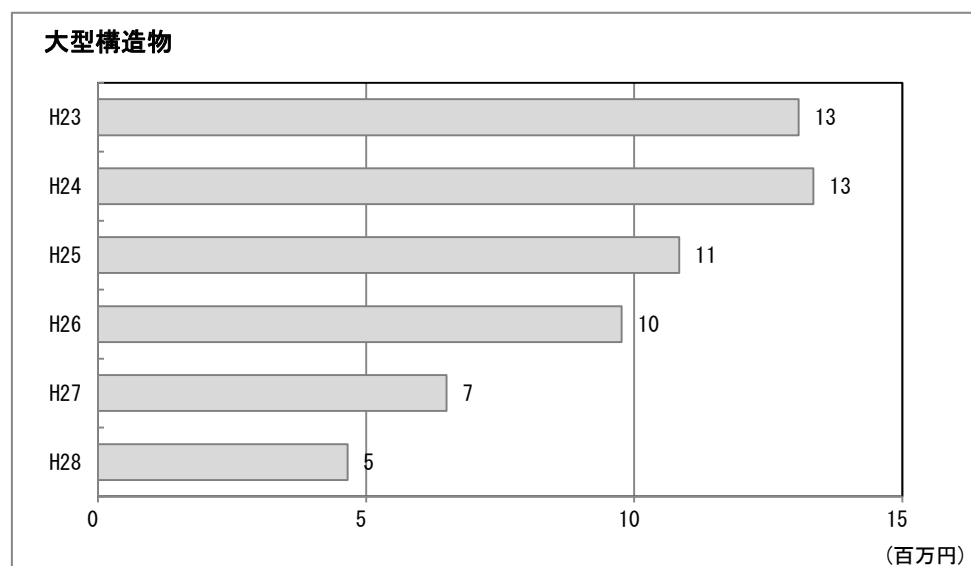
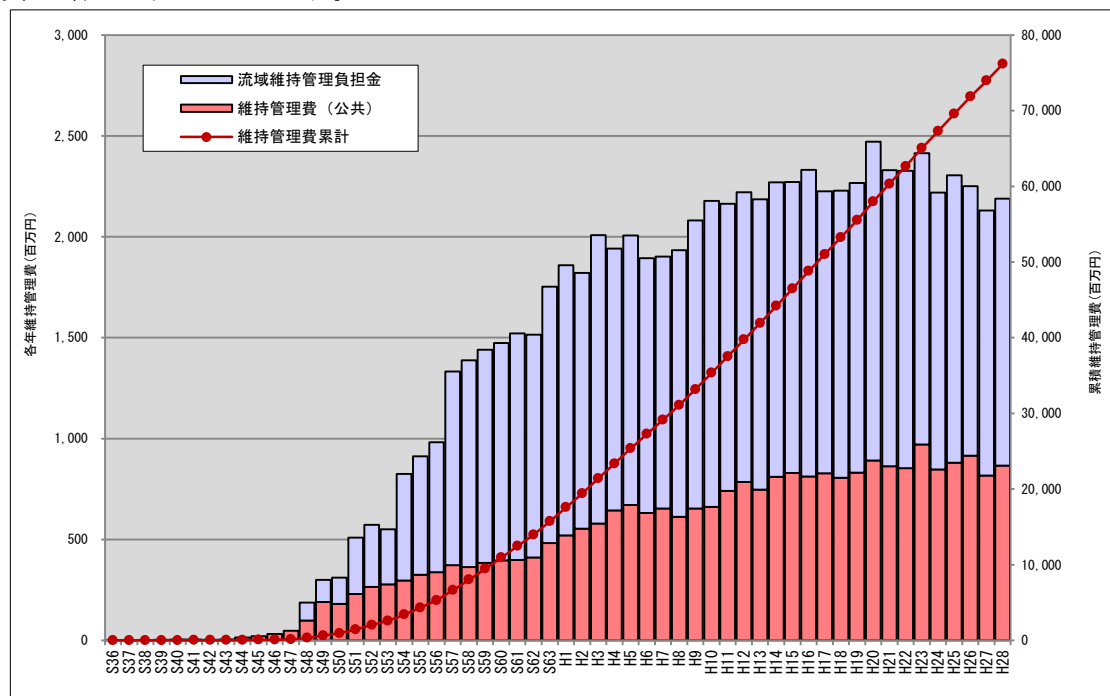


図 3-5-3-6 大型構造物の維持管理にかかる執行額の推移

3.5.3.7 下水道

下水道事業の維持管理費用は、日常的な維持管理のほか下水処理に係る流域下水道維持管理負担金は約 14 億円を占めています。今後は、施設の老朽化に伴い補修更新費の増加が見込まれます。



※ 「下水道マスタープラン」 P29 に追記

図 3-5-3-7 維持管理費の推移

3.5.3.8 法定外公共物

法定外公共物の維持管理に係る経費を整理しました。
経費は過去 6 年間で平均 2.8 千万円程度推移しております。

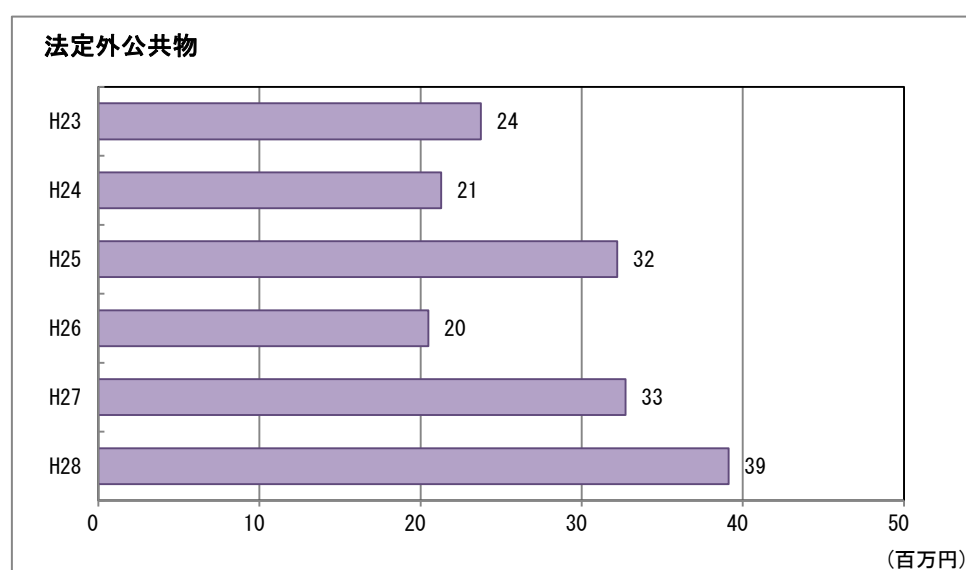


図 3-5-3-8 法定外公共物の維持管理にかかる執行額の推移

3.5.4. 補修更新に係る経費

3.5.4.1 道路／道路付属物／橋りょう／公園緑地等／立体横断施設等／大型構造物／法定外公共物

(1) 過去の道路／橋りょう関係費の推移

「道路改良整備事業費」を補修更新コストとした時の決算推移を図 3-4-4-1 に示します。なお、平成 10 年までと平成 11 年度以降では、執行額平均額に大きな差があります。

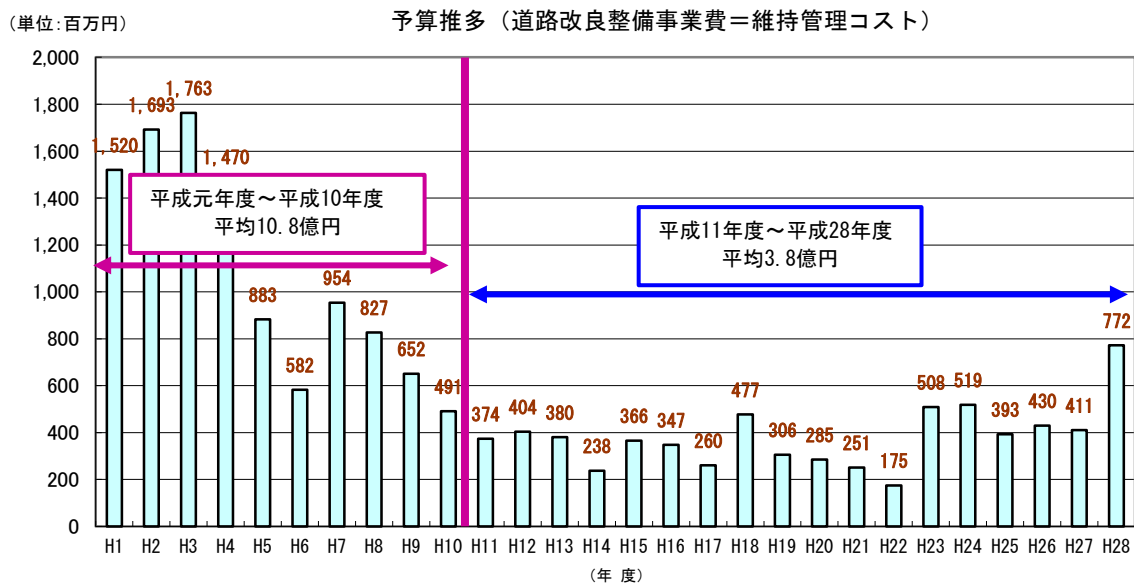


図 3-5-4-1 道路・橋りょうおよびその他インフラ施設の補修更新費の推移

(2) 過去の公園関係費の推移

平成元年以降の各年度決算書を基にして、公園緑地等にかかる補修更新の決算推移を整理しました。

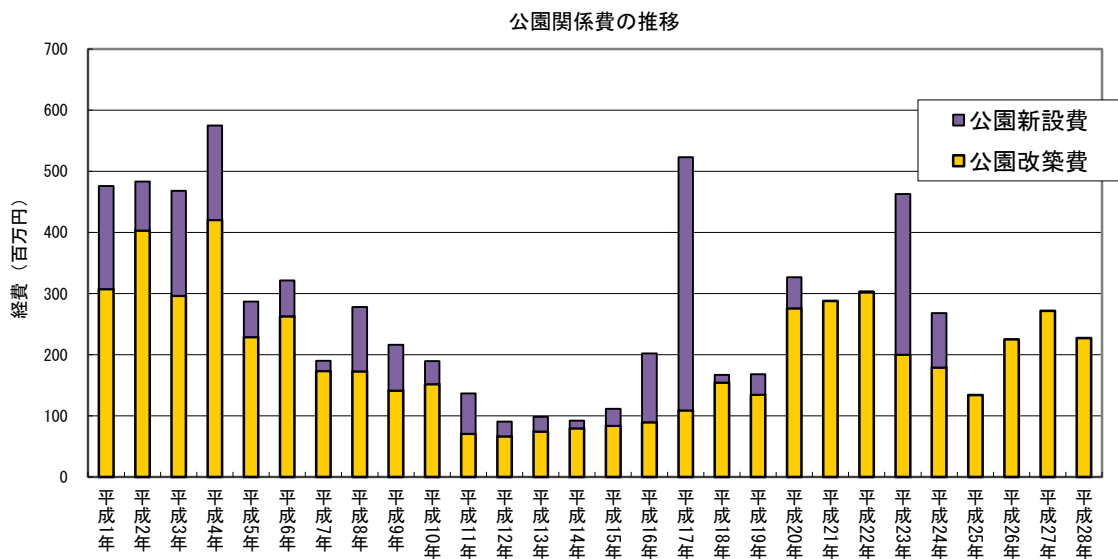


図 3-5-4-2 公園関係費の推移

3.5.5. 人件費

インフラ管理にかかる歳入として、都市整備部内の管理課、土木課、公園緑地課の人件費に係る経費を次のとおり示します。

表 3-5-5-1 人件費実績（管理課・土木課・公園緑地課）

平成 27 年度実績	
○人件費	352,110 千円
○委託費	1,602,876 千円
○物件費	258,480 千円
○退職手当等	57,865 千円
○間接部門費	117,942 千円

次に下水道課の人件費に係る内訳について、次のとおり示します。
歳入同様、下水道は、特別会計の予算により事業が行われています。

表 3-5-5-2 人件費実績（下水道課）

平成 27 年度実績	
○人件費	112,140 千円
○委託費	120,395 千円
○物件費	550,110 千円
○退職手当等	12,856 千円
○間接部門費	35,593 千円

【算出方法（管理課・土木課・公園緑地課）】

- 人件費：府中市広報資料内の職員給与費の 1 人あたりの給与費
- 委託費：該当課の委託費
- 物件費：該当課の物件費
- 退職手当等：普通行政行政コスト計算書退職手当等引当金繰入等（生活インフラ・国土保全）
- 間接部門費：普通行政行政コスト計算書経常行政コスト（生活インフラ・国土保全）

【算出方法（下水道課）】

- 人件費：連結行政コスト計算書内訳表（人件費）
- 委託費：連結行政コスト計算書内訳表（維持管理費）
- 物件費：連結行政コスト計算書内訳表（物件費）
- 退職手当等
：普通行政行政コスト計算書退職手当等引当金繰入等（生活インフラ・国土保全）を参考
- 間接部門費
：普通行政行政コスト計算書経常行政コスト（生活インフラ・国土保全）を参考

3.5.6. 歳入の推移

3.5.6.1 市歳入

インフラ管理にかかる歳入として、都市整備部内の管理課、土木課、公園緑地課の歳入内訳を次のとおり示します。

歳入の過去6年間の平均は約4.4億円となっています。占用料の平均が約3.2億円となっており、かなりの割合を占めています。

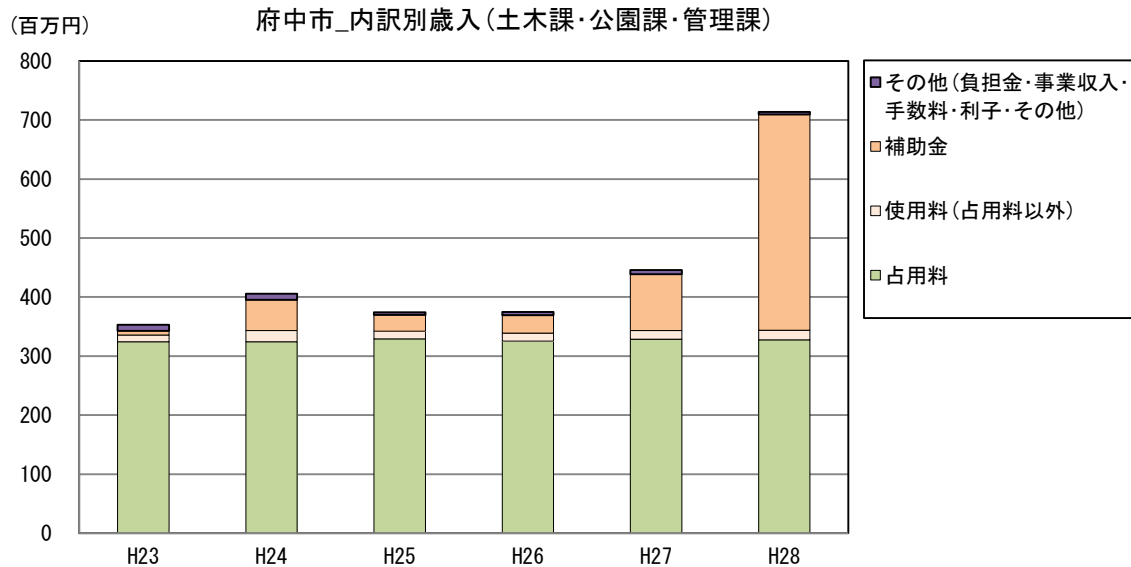


図 3-5-6-1 インフラ管理にかかる歳入の推移

3.5.6.2 地方譲与税

次に府中市の譲与税の内訳を示します。自動車重量譲与税は徐々に減少しています。また、全体において6年前と比較すると、約6千万円減少しています。

地方譲与税とは国税として徴収した税を一定の基準(道路延長や面積等)で地方公共団体に配分されるものです。

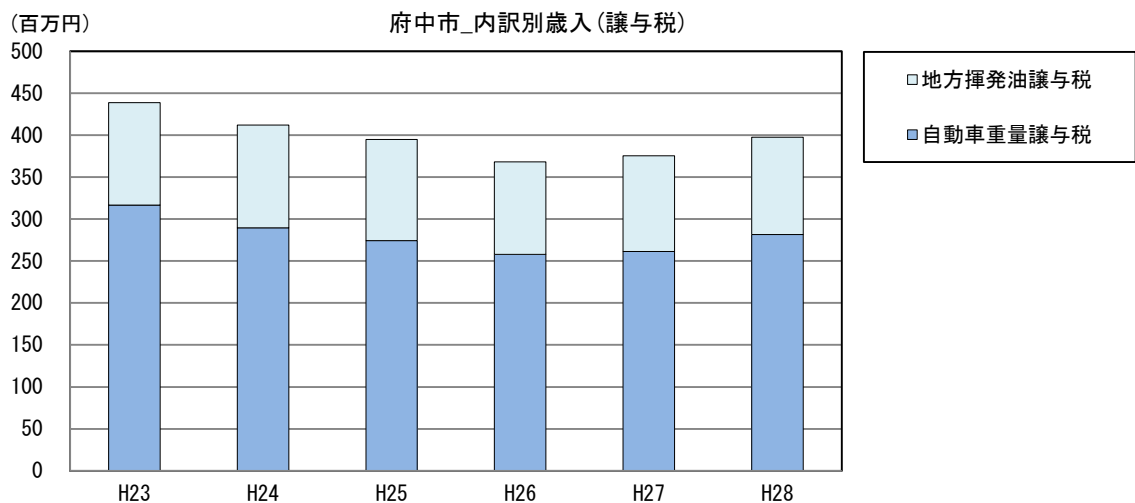


図 3-5-6-2 譲与税内訳の推移

府中市都市整備部内の下水道課の歳入内訳を下記に示します。

3.5.6.3 下水道

特別会計の下水道の歳入は、下水道使用料収入と雨水処理経費としての一般会計からの繰入金のほか起債などが財源になります。現行の下水道使用料収入では過去6年間で平均約22億円となっていますが、水の使用の減少に伴い使用料収入も横ばいとなっています。将来、施設の老朽化対策に伴う補修更新費の増加に対して財源を確保することになります。

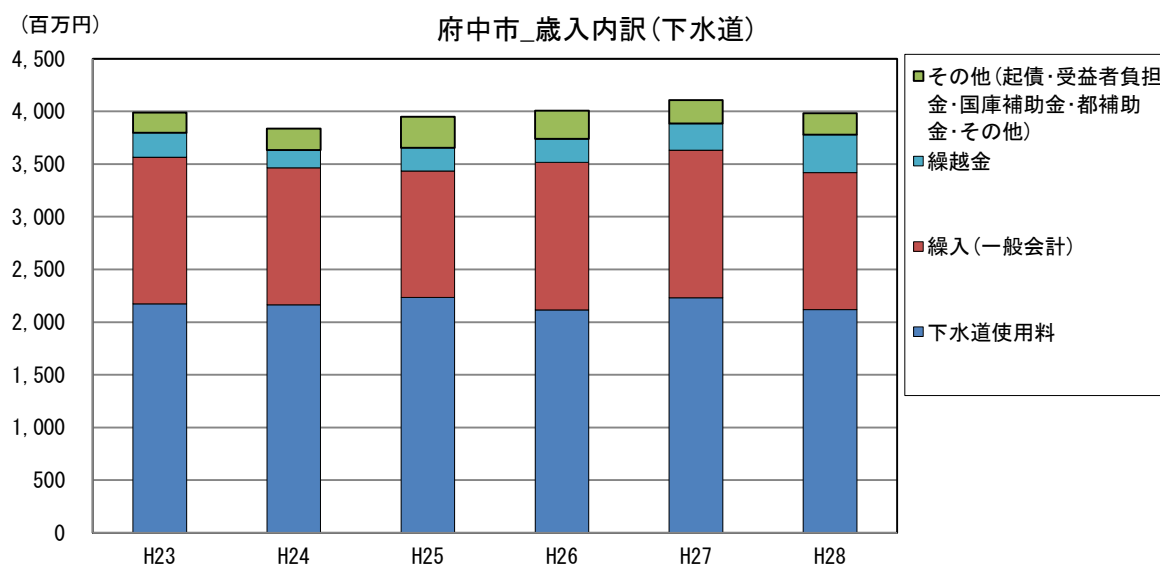


図 3-5-6-3 インフラ管理にかかる歳入（下水道）の推移

3.5.6.4 歳入と歳出の比較

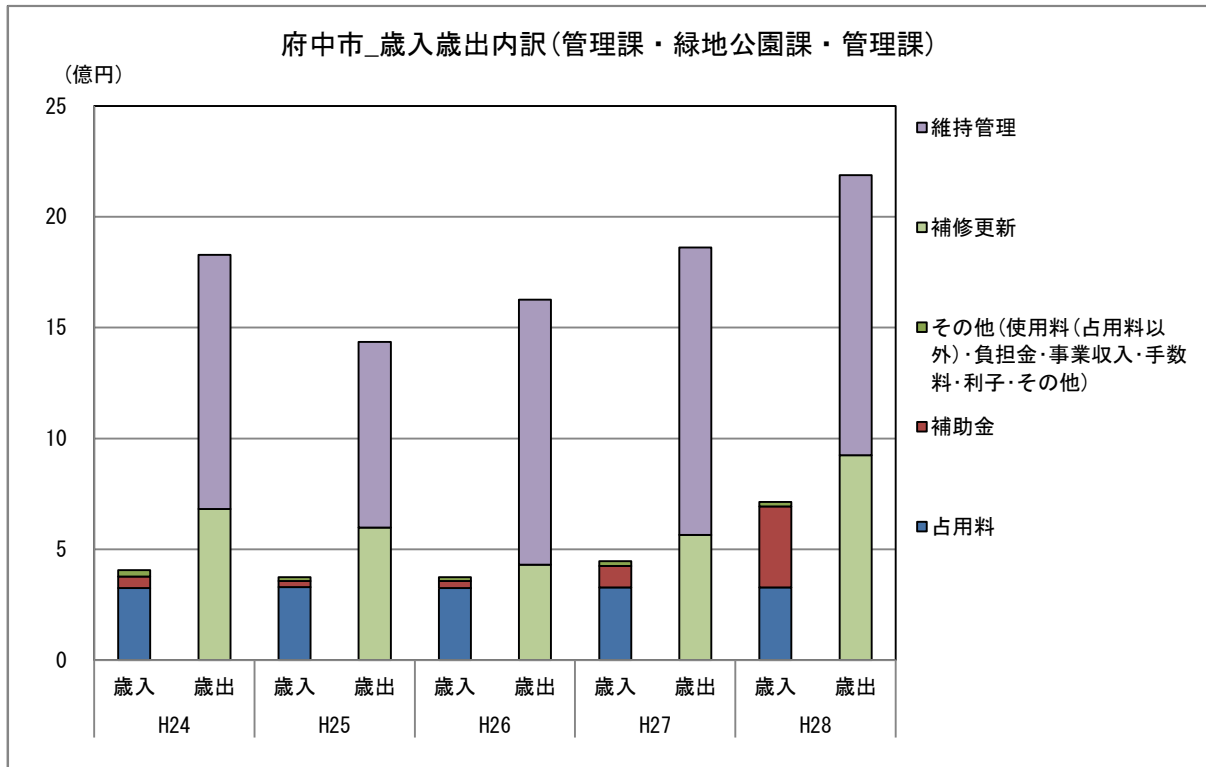


図 3-5-6-4 過去 5 年間の歳入・歳出の内訳 (管理課・土木課・公園緑地課)

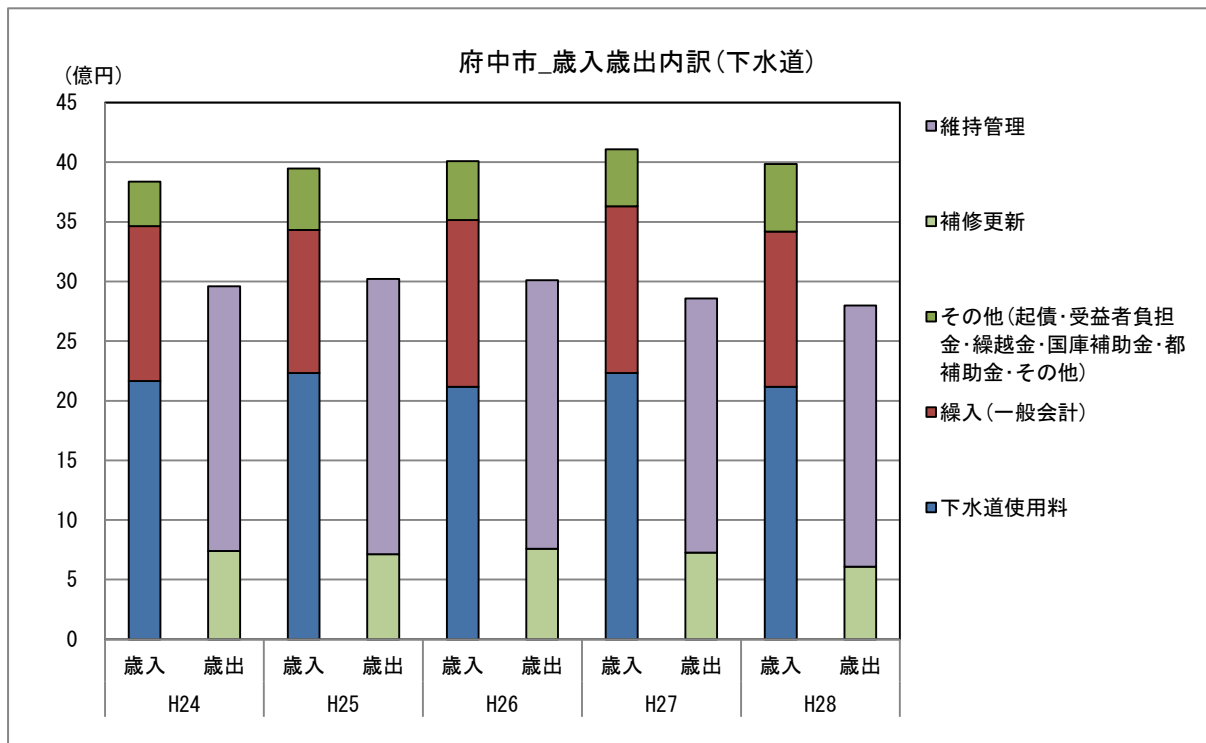


図 3-5-6-5 過去 5 年間の歳入・歳出の内訳 (下水道課)

4. 将来の管理費用の予測について

4. 将来の管理費用の予測について

ここでは、インフラの管理費用である、「維持管理費」、「補修更新費」、「人件費」に関する、今後 40 年間の費用を予測します。

4.1. 経費予測の条件

費用を予測するにあたっては、インフラが安全に機能する範囲で、日常的な管理や工事及び補修を行うことを前提とします。そのため、現状では十分なインフラが整備されているものとして、実態の分析結果から「維持管理費」、「補修更新費」、「人件費」の費用予測の条件を、それぞれ表 4-1-1、表 4-1-2、表 4-1-3 のとおり設定します。なお、「維持管理費」は、原則として現状の費用が妥当であることから平成 28 年度の決算額を基に、「補修更新費」は、年度により増減の幅が大きいいため、平成 19 年から 28 年度までの 10 年間の決算額の平均を基に算出します。また「歳入」の費用予測の条件を表 4-1-4 のとおり設定します。

表 4-1-1 「維持管理」にかかる費用予測の条件

施設項目	種別	維持管理費 予測の条件 (実態の分析結果より)	備 考
道路	車 道	維持管理に関する経費は、今後認定された市道から廃止された市道を引いた延長分と寄付道路等を考慮し、過去 5 年平均の年間延長増分(+3.5km/年)を見込む。 また、5 年ごとに路面性状調査を実施し、舗装の状態を点検することを見込む。	防護柵は車道経費として含めている。
	歩 道 植樹ます	平成 28 年度に歩道・植樹ますとして維持管理を実施している実績はないが、瑕疵となる事象は起きていない。	
道路 付属物	標 識 (施設案内 警戒 その他)	維持管理を実施している実績はないが、瑕疵となる事象は起きていないため、現状を維持する経費を見込む	
	街路灯	修理や光熱費等を実施すること見込む。 また、車道同様に年間延長増分を見込むこととする	
	道路反射鏡	修理や点検清掃等を実施することを見込む。 また、車道同様に年間延長増分を見込むこととする	
	街路樹	樹木の定期剪定をすることとし、平成 29 年度予算を継続する。内容は除草や清掃としており、樹木の成長については府中市緑の基本計画より市内の緑被率の増分(0.035 ポイント)を考慮し除草作業や清掃に含めることとする。	
橋りょう		現在まで瑕疵となる事象は起きていないため、現状を維持する経費を見込む。 また、5 年ごとに、橋りょう点検を行うことを見込む。	

立体横断施設等	エスカレーターやエレベーターの日常点検等を実施することを見込む。 また、ペDESTロリアンデッキは5年ごとに点検を行うことを見込む。なお、府中駅前再開発に伴うペDESTロリアンデッキの増分を見込んでいる。	
大型構造物	現在まで瑕疵となる事象は起きていないため、現状を維持する経費を見込む。 また、大型構造物は10年ごとに点検を行うことを見込む。	
公園緑地等	平成29年度の予算額を予測の条件とし、現状の公園施設の維持に必要な実績を継続することとする。 なお、過去5年間の平均年間面積増分（+1,700㎡/年）を見込むこととする。	
下水道	『府中市下水道マスタープラン』の、平成23年度から平成52年度の30年間で見通した、流域下水道に対する維持管理負担金や維持補修などの維持管理費の総額を基に、年平均の費用額として算出して計上する。	
法定外公共物	除草や清掃等を実施することを見込む。	

※ 下水道事業では、日常的な清掃、部分的な補修などの費用を「維持管理費」としています。

表 4-1-2 「補修更新」にかかる費用予測の条件

施設項目	種別	補修更新費 予測の条件 (実態の分析結果より)	備 考
道路	車 道	路面の状態は現状で瑕疵となる事象は起きていないため、現状の健全度（MC I）を保つことを想定する。 なお、補修間隔は実績に合わせ、工法ごとに以下を想定する。 ＞打換え：21年ごとに補修 ＞オーバーレイ：10年ごとに補修 今後は認定された市道から廃止された市道を引いた延長分と寄付道路等を考慮し、過去5年平均の年間延長増分（+3.5km/年）を見込む	国による舗装点検要領の制定
	歩 道 植樹ます	40年間で1回、歩道や植樹ますを根本的に補修することを想定し現状の健全度を保つこととする。	
道路 附属物	標 識 (施設案内 警戒 その他)	【施設案内標識】 近年瑕疵となる事象は起きていないが、今後老朽化が想定される旧デザインとその他のデザイン標識（計402基）は更新する。 新デザインの標識は更新せず現状の健全度を保つこととする。 【警戒・その他標識】 瑕疵となる事象は起きていないため、現状の健全度を継続する。	国による小規模附属物点検要領の制定

施設 項目	種別	補修更新費 予測の条件 (実態の分析結果より)	備 考
	街路灯	交通安全灯と防犯灯の設置について現状の実績を継続し、健全度についても同様に保つこととする。	国による小規模付属物点検要領の制定
	道路反射鏡	道路反射鏡の設置について平成 28 年度までの 10 年間の実績を継続することとし、健全度についても同様に保つこととする。	
	街路樹	大径木の伐採に必要な経費については「維持管理経費」とする。	
橋りょう		橋長 15m以上の橋りょうは予防保全の考え方で補修する。 15m未満の道路橋および歩道橋は耐用年数で架け替える。なお、橋長 15m未満の橋りょうは予防保全の知見がないため、設計上の耐用年数（建設後 50 年）を採用。	
立体横断施設等		エレベーターは 17 年間で 1 回更新する。 エスカレーターは 15 年間で 1 回更新する。 ペDESTリアンデッキは 5 年間で 1 回補修する。 なお、健全度については平成 28 年度までの 10 年間と同様に保つこととする。	
大型構造物		排水施設及び冠水表示板は 15 年間で 1 回更新する。 擁壁については 10 年間で 1 回補修する。 なお、健全度については平成 28 年度までの 10 年間と同様に保つこととする。	
公園緑地等		代表施設において、施設ごとに処分制限期間（国交省規定）に撤去・設置を実施することを前提とする。 従来より、処分制限期間に撤去・設置を実施してきたことと仮定する。 除草、伐採、清掃等の「維持管理経費」は予測対象に含まない。 なお、健全度については平成 28 年度までの 10 年間と同様に保つこととする。	
下水道		『府中市下水道マスタープラン』の、平成 23 年度から平成 52 年度の 30 年間を見通した、流域下水道に対する建設負担金や老朽化対策のほか起債償還などの補修更新費に要する総額を基に、年平均の費用額として算出して計上する。	
法定外公共物		平成 28 年度までの 10 年間の実績を継続する。	

表 4-1-3 「人件費」にかかる費用予測の条件

種別	予測の条件 (実態の分析結果より)	備 考
人件費	平成 27 年度の人件費を継続する	

表 4-1-4 「歳入」にかかる費用予測の条件

種別	歳入の予測の条件 (実態の分析結果より)	備 考
占用料	平成 24 年度から平成 28 年度までの 5 年間の実績を継続しつつ、今後占用料が道路延長の増加とともに増えることを見込む	
使用料	平成 24 年度から平成 28 年度までの 5 年間の実績を継続する	
補助金	平成 24 年度から平成 28 年度までの 5 年間の実績と補修更新費の割合を算出（13%）し、今後の想定補修更新費より算出する	
自動車重量譲与税	平成 24 年度から平成 28 年度までの 5 年間の実績を継続する。また、今後道路延長の増加とともに増えることを見込む	
地方揮発油譲与税	平成 24 年度から平成 28 年度までの 5 年間の実績を継続する。また、今後道路延長の増加とともに増えることを見込む	
負担金	平成 24 年度から平成 28 年度までの 5 年間の実績を継続する	
事業収入	平成 24 年度から平成 28 年度までの 5 年間の実績を継続する。	
手数料	平成 24 年度から平成 28 年度までの 5 年間の実績を継続する。	
利子	平成 24 年度から平成 28 年度までの 5 年間の実績を継続する	
その他	平成 24 年度から平成 28 年度までの 5 年間の実績を継続する	

4.2. 将来経費の予測額

4.2.1. 将来経費の予測額の内訳（維持管理）

4.2.1.1. 道路

維持管理に関する経費を今後 35 年間で約 137.45 億円（約 3.93 億円/年）を見込んでおります。内訳として清掃・ごみ回収、施設運営費用、パトロール・警備費等について過去 10 年間の平均より算出しております。また、今後認定された市道から廃止された市道を差し引いた延長分と寄付道路等を考慮し、過去 5 年間に増加した延長分（約 3.5 km/年）を今後増加する道路の維持管理費 40 万/年として想定しています。

4.2.1.2. 歩道・植樹ます

維持管理に関する経費を今後 35 年間で約 2.35 億円（約 0.07 億円/年）を見込んでおります。過去に歩道・植樹ますに関連する維持管理費は計上しておりませんでした。今後想定される歩道の点検や清掃等を考慮しております。

4.2.1.3. 標識（施設案内・警戒・その他）

維持管理に関する経費を今後 35 年間で約 0.28 億円（約 0.01 億円/年）を見込んでおります。過去に標識に関連する維持管理費は計上しておりませんでした。今後想定される標識の点検や清掃等を考慮しております。

4.2.1.4. 街路灯

維持管理に関する経費を今後 35 年間で約 60.20 億円（約 1.72 億円/年）を見込んでおります。内訳として修繕費や光熱費等について過去 10 年間の平均より算出しております。また、今後想定される道路延長増分を考慮し、街路灯の維持管理費についても 15 万/年を今後の増加分として想定しております。

4.2.1.5. 道路反射鏡

維持管理に関する経費を今後 35 年間で約 4.21 億円（約 0.12 億円/年）を見込んでおります。内訳として清掃や軽微な補修について過去 10 年間の平均より算出しております。また、今後想定される道路延長増分を考慮し、道路反射鏡の維持管理費についても 0.3 万/年を今後の増加分として想定しております。

4.2.1.6. 街路樹

維持管理に関する経費を今後 35 年間で約 90.07 億円（約 2.57 億円/年）を見込んでおります。内訳として今後実施する樹木等の定期剪定を想定している平成 29 年度の予算より算出しております。また、樹木の成長に伴う維持管理費の増分を約 9 万/年として想定しております。

4.2.1.7. 橋りょう

維持管理に関する経費を今後 35 年間で約 4.27 億円（約 0.12 億円/年）を見込んでおります。内訳として定期的（5 年に 1 回）に実施する橋りょう点検を過去の実績を基に算出しております。

4.2.1.8. 立体横断施設等

維持管理に関する経費を今後 35 年間で約 14.16 億円（約 0.40 億円/年）を見込んでおります。内訳としてエスカレーターやエレベーターの定期点検や警備、清掃費について過去 10 年間の平均より算出しております。また、府中駅前のペDESTロリアンデッキの点検（5 年に 1 回）についても他市の事例を参考に 400 万円として想定しております。

4.2.1.9. 大型構造物

維持管理に関する経費を今後 35 年間で約 5.58 億円（約 0.16 億円/年）を見込んでおります。内訳として排水ポンプや冠水表示板の定期点検費等について過去 10 年間の平均より算出しております。また、今後実施する擁壁・ボックスカルバートの定期点検（10 年に 1 回）を約 710 万円で想定しております。

4.2.1.10. 公園緑地等

維持管理に関する経費を今後 35 年間で約 236.63 億円（約 6.76 億円/年）を見込んでおります。内訳として清掃・ごみ回収、植栽管理費用、光熱水費等について平成 29 年度の予算額を基に算出しております。また、過去 5 年間に増加した公園緑地等の平均面積（約 1,700 ㎡/年）を今後も増加する公園緑地等の面積とし維持管理費 61 万/年を想定してます。

4.2.1.11. 下水道

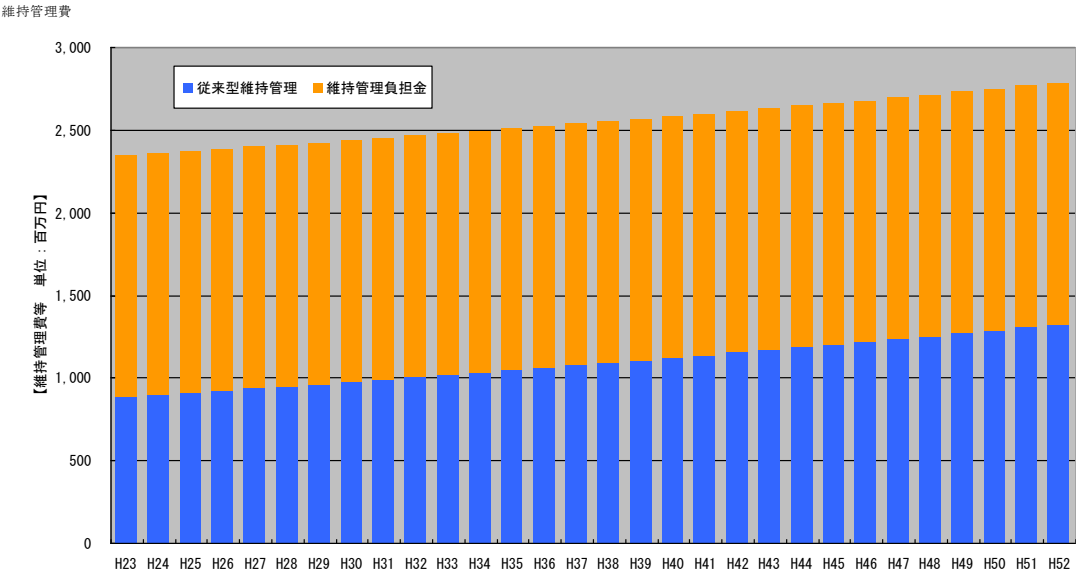
平成 28 年度から平成 52 年度までの、維持管理費の総額は約 646.16 億円（25.85 億円/年）となり、日常的な維持補修のほか、流域下水道に対する維持管理負担金を想定しております。

表 4-2-1-1 維持管理費の予測

(単位:百万円)

項目・年度	中期 (H28～32)	長期 (H33～52)	28～52
維持管理費	4,874	23,267	28,141
維持管理負担金	7,295	29,180	36,475
合計	12,169	52,447	64,616
うち汚水分	9,020	38,878	47,898
うち雨水分	3,149	13,569	16,718

※ 表中の維持管理費は市の下水道施設の維持管理に要した費用です。



※ 出典「下水道マスタープラン」P52 より抜粋

図 4-2-1-1 維持管理費予測の推移

4.2.1.12. 法定外公共物

維持管理に関する経費を今後 35 年間で約 16.71 億円（約 0.48 億円/年）を見込んでおります。内訳として境界確定に伴う測量や清掃等について過去 10 年間の平均より算出しております。

4.2.1.13. 維持管理費の将来経費の予測

「維持管理費」の予測結果を表 4-2-1-2 に示します。

なお、維持管理費は、日常の状態を維持するための保守等にかかる経費です。そのため、管理対象の数量に増減がなく、現在の管理手法を続けていくとすると、費用の変化がありません。また、樹木の成長や緊急な対応により増加する可能性もあります。

このことから、現状の執行額からの経費削減努力が必要です。

表 4-2-1-2 維持管理費の将来経費の予測

施設項目	種別	35 年間の予想経費 (下水道は 25 年間)	35 年間で平均化する 場合の年間経費 (下水道は 25 年間)	平成 29 年度予算額	過不足
全 体		(下水道除く(35 年)) 571.91 億円 (下水道(25 年)) 646.16 億円	(下水道除く) 16.34 億円/年 (下水道含む) 42.19 億円/年	(下水道除く) 14.02 億円/年 (予測額の 85.8%) (下水道含む) 39.47 億円/年 (予測額の 93.6%)	(下水道除く) -2.32 億円/年 (下水道含む) -2.72 億円/年
道路	車 道	137.45 億円	3.93 億円/年	2.79 億円/年 (予測額の 71.0%)	-1.14 億円/年
	歩 道 植樹ます	2.35 億円	0.07 億円/年	0.07 億円/年 (予測額の 100.0%)	0.00 億円/年
道路 附属 物	標識 (施設案内 警戒 その他)	0.28 億円	0.01 億円/年	(該当の実績なし)	-0.01 億円/年
	街路灯	60.20 億円	1.72 億円/年	1.30 億円/年 (予測額の 75.6%)	-0.42 億円/年
	道路反射鏡	4.21 億円	0.12 億円/年	0.07 億円/年 (予測額の 58.3%)	-0.05 億円/年
	街路樹	90.07 億円	2.57 億円/年	2.56 億円/年 (予測額の 99.6%)	-0.01 億円/年
橋りょう		4.27 億円	0.12 億円/年	0.10 億円/年 (予測額の 83.3%)	-0.02 億円/年
立体横断施設等		14.16 億円	0.40 億円/年	0.24 億円/年 (予測額の 60.0%)	-0.16 億円/年
大型構造物		5.58 億円	0.16 億円/年	0.06 億円/年 (予測額の 37.5%)	-0.10 億円/年
公園緑地等		236.63 億円	6.76 億円/年	6.52 億円/年 (予測額の 96.4%)	-0.24 億円/年
法定外公共物		16.71 億円	0.48 億円/年	0.31 億円/年 (予測額の 64.6%)	-0.17 億円/年
下水道・維持管理 (25 年間)		646.16 億円	25.85 億円/年	25.45 億円/年 (予測額の 98.5%)	-0.40 億円/年

※ 日常的な清掃、部分的な補修などの費用を「維持管理費」としています。

※ 維持管理費については、現状のレベルを保つことを前提として予測しています。

※ 現状の執行額は平成 28 年度の額ですが、下水道の費用については、府中市下水道マスタープランで見通した、平成 23 年度から平成 52 年度（2040 年度）までの 30 年間に要する費用の総額から年平均費用を算出し、計上しています。

※ 下水道は、流域下水道に対する維持管理負担金が占めています。

4.2.2. 将来経費の予測額の内訳（補修更新）

4.2.2.1. 車道舗装

● 劣化予測式の想定

国・都道府県・政令指定都市等の多くの団体で採用されている、「舗装調査・試験法便覧（社団法人日本道路協会平成 19 年 6 月）」による路面性状調査の結果（ひびわれ率・わだち掘れ量）と、「工事台帳」から得られた舗装工事竣工時期との関係を集計しました。

また、これを基にして、工事後の経年数に応じたひびわれ率・わだち掘れ量の増加を定量化し舗装劣化予測式を想定しました。

(1) 幹線市道の劣化予測式

表 4-2-2-1 幹線市道の劣化予測式

項 目	予 測 式	工事後の値
ひびわれ率 (%)	$C_{i+1} = 0.0955 C_i + 0.1724$	0%
わだち掘れ量 (mm)	$R_{i+1} = 0.0842 R_i + 5.8183$	6 mm

C_i : 現在（最新測定値）のひびわれ率、 C_{i+1} : 1 年後のひびわれ率

R_i : 現在（最新測定値）のわだち掘れ量、 R_{i+1} : 1 年後のひびわれ率

初期値：補修工事後のひびわれ率

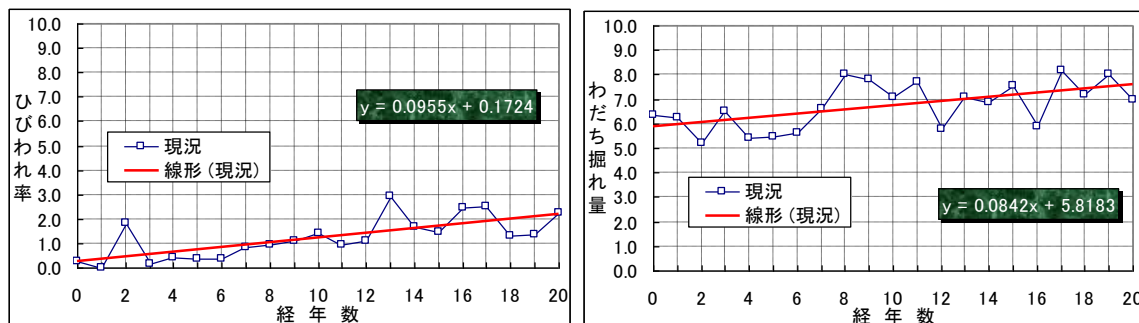


図 4-2-2-1 幹線市道の劣化予測グラフ

(2) 一般市道の劣化予測式

表 4-2-2-2 一般市道の劣化予測式

項 目	予 測 式	初期値
ひびわれ率 (%)	$C_{i+1}=0.3985 C_i+0.1000$	0%
わだち掘れ量 (mm)	$R_{i+1}=0.0492 R_i+5.1328$	5 mm

C_i : 現在 (最新測定値) のひびわれ率、 C_{i+1} : 1 年後のひびわれ率
 R_i : 現在 (最新測定値) のわだち掘れ量、 R_{i+1} : 1 年後のひびわれ率
 初期値: 補修工事後のひびわれ率

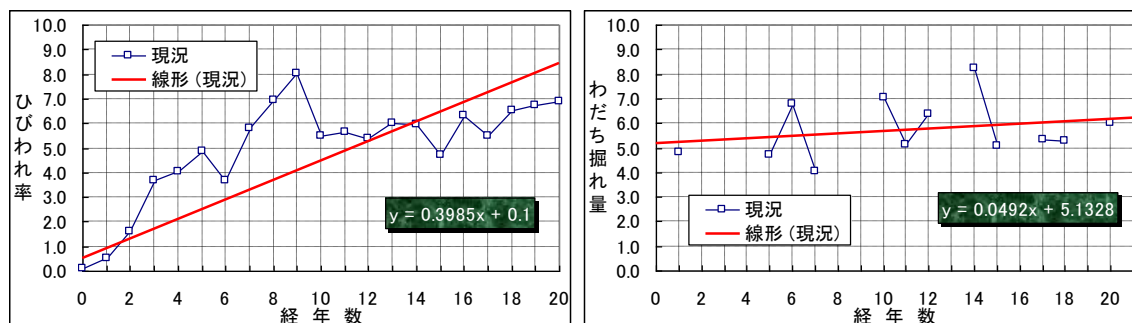


図 4-2-2-2 一般市道の劣化予測グラフ

(3) 劣化予測式による将来の舗装劣化程度

① 現状の路面性状を維持する場合

「平成 28 年度 府中市一般会計歳入歳出決算書及び決算関係調書」の「土木費／道路新設改良費／道路改良整備事業費」により、舗装補修に係る経費（道路改良整備事業分）を 6.30 億／年と算定しました。また、その平成 28 年度時点の舗装補修経費を今後 35 年間継続する場合の平均 MCI 値の推移を、幹線市道と一般市道それぞれの劣化予測式により推計しました。

将来の幹線市道と一般市道の経費は、次のとおりです。

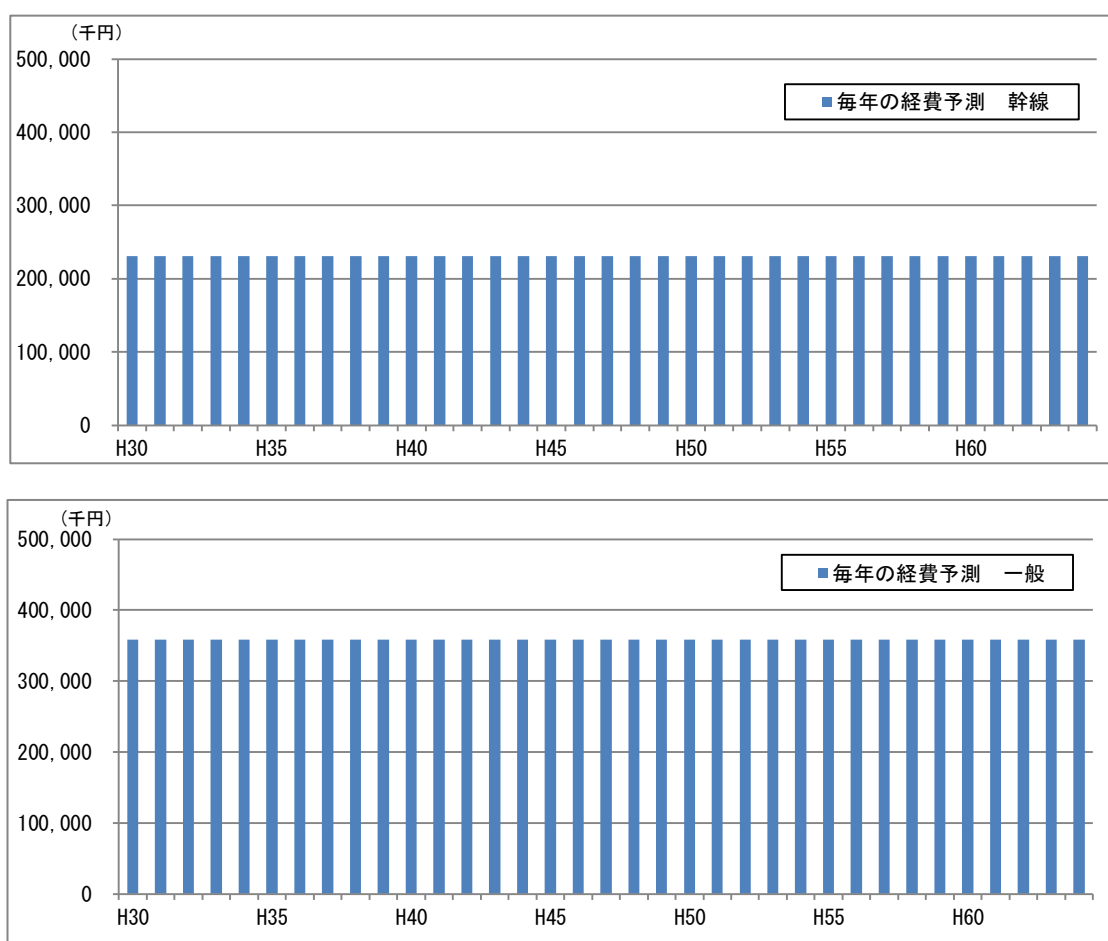


図 4-2-2-3 現状の管理水準を維持するための車道舗装の維持管理に係る経費
(従来の補修パターン内訳：打ち換え工事 65% オーバーレイ 35%)

表 4-2-2-3 現状の路面性状を維持する場合の経費予測（道路分類別）

道路の分類	年間の舗装補修費	35 年間の舗装補修費
幹線市道	2.31 億円/年	80.80 億円
一般市道	3.58 億円/年	125.17 億円
増加分	0.41 億円/年	14.50 億円
合 計	6.30 億円/年	220.47 億円

② 平成 28 年度の執行額を継続する場合

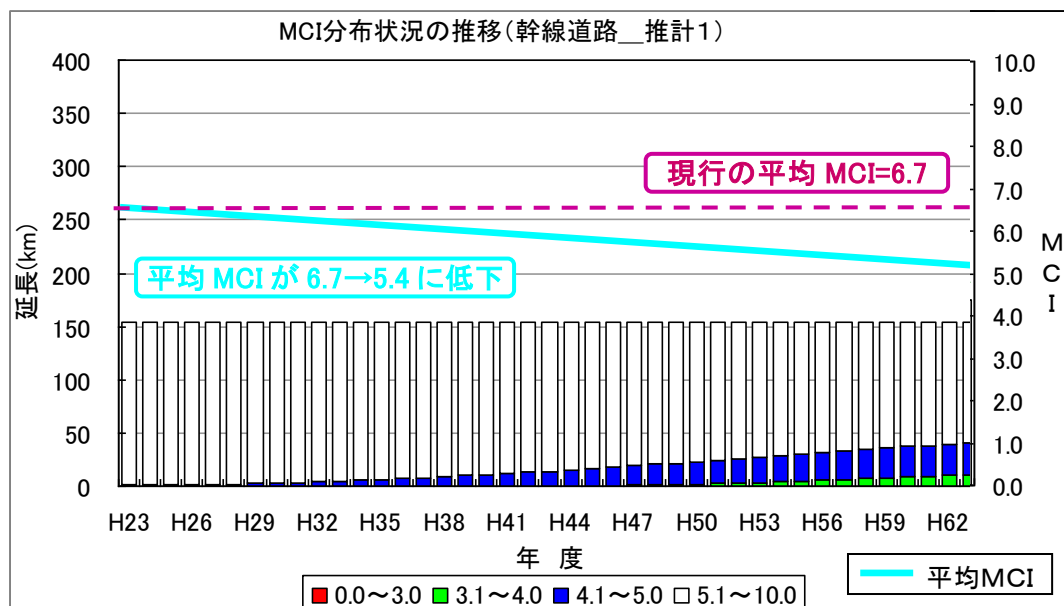


図 4-2-2-4 平成 28 年度の舗装補修経費を継続する場合の舗装劣化程度(幹線市道)

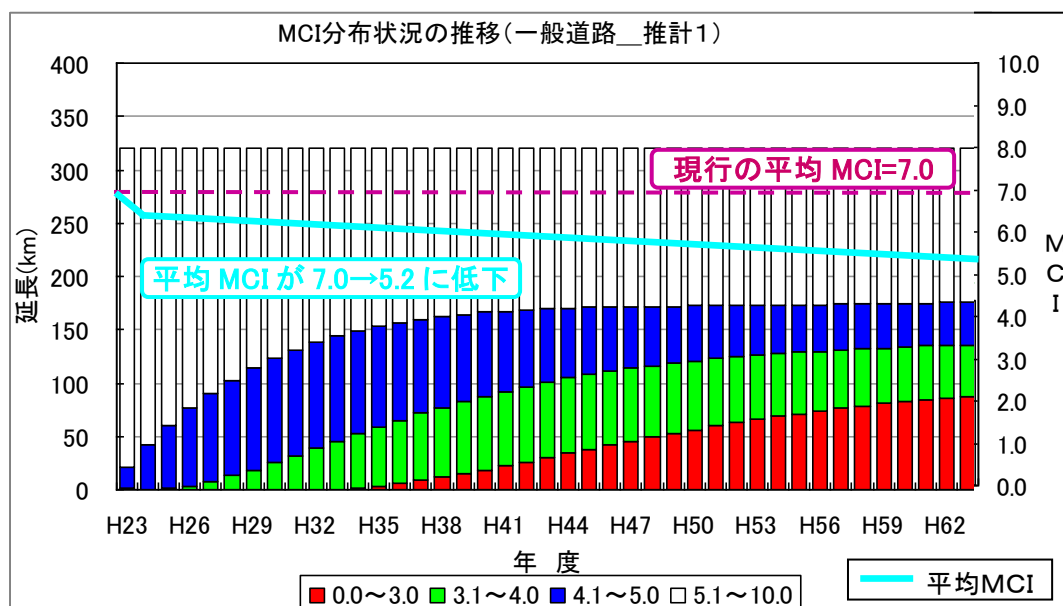


図 4-2-2-5 平成 28 年度の舗装補修経費を継続する場合の舗装劣化程度(一般市道)

【平成 28 年度の舗装補修経費を継続する場合の舗装劣化予測】

- 幹線市道 平均MCIは 6.7 (現状) → 5.4 (40 年後)
現状よりMCI値で 20%程度劣化するが健全な状態を保てる
- 一般市道 平均MCIは 7.0 (現状) → 5.2 (40 年後)
現状よりMCI値で 25%程度劣化するが健全な状態を保てる

4.2.2.2. 歩道・植樹ます

車両による通過交通がない歩道舗装・植樹ますについては、一般的に次の理由から劣化予測が困難です。

【理 由】

- 劣化予測に類する統一的な知見が公表されていない。
- インフラマネジメントにおける維持管理方針は、観察保全型（事後的維持管理：劣化が顕在化した段階で計画的に補修）に位置づけられることが多い。

「白書」では、歩道舗装・植樹柵の各々について、調査結果から今後の補修の考え方を整理します。

【補修の考え方整理】

評価3ランクから、補修の優先順位を次の通り整理します。

- 優先順位1：劣化判定「大」区間について、1年～2年で補修。
- 優先順位2：劣化判定「小」区間について、「大」の補修後、38年間～39年間で補修。
- 優先順位3：劣化判定「なし」区間のうち、劣化判定「小」相当の151区間を新たに「小」になると想定し、「大」の補修後、38年間～39年間で補修。

上記より、補修更新に関する経費を今後35年間で約4.55億円（約0.13億円/年）を見込んでおります。

4.2.2.3. 標識（施設案内・警戒・その他）

補修更新に関する経費を今後35年間で約1.23億円（約0.04億円/年）を見込んでおります。過去に標識に関連する補修更新費（新設）は計上しておりませんが、今後想定される旧デザインの施設案内標識の更新等を考慮しております。

4.2.2.4. 街路灯

街路灯について、過去 5 年間に執行した「補修更新費」のグラフを次に示します。「補修更新費」は、平成 24 年度以降より減少しましたが、平成 28 年度は、増加しております。

表 4-2-2-4 過年度の補修更新費用の推移

年度	防犯灯 補修更新費(円)	交通安全灯 補修更新費(円)	合計(円)
平成 24 年度	5,422,227	12,705,000	18,127,227
平成 25 年度	6,434,400	10,500,000	16,934,400
平成 26 年度	6,030,288	4,860,000	10,890,288
平成 27 年度	5,908,032	4,536,000	10,444,032
平成 28 年度	6,700,644	8,532,000	15,232,644
平均	6,099,118	8,226,600	14,325,718

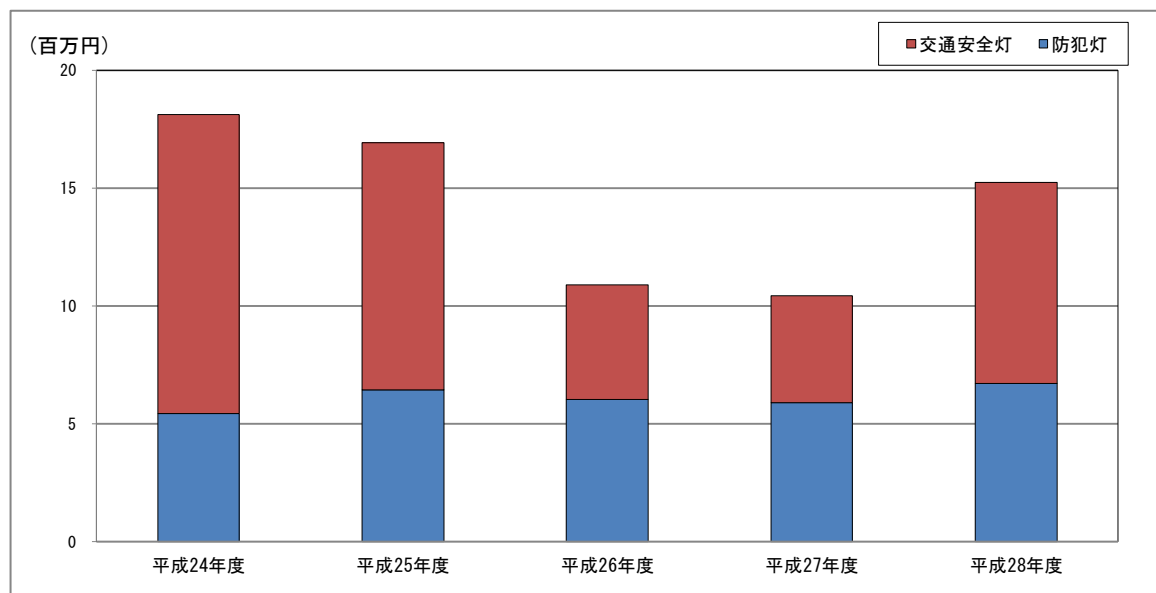


図 4-2-2-6 年度毎の補修更新費

4.2.2.5. 道路反射鏡

補修更新に関する経費を今後 35 年間で約 1.25 億円（約 0.04 億円/年）を見込んでおります。過去に道路反射鏡に関連する補修更新費（新設）は計上しておりませんが、今後想定される新設工事等を考慮しております。

4.2.2.6. 橋りょう

道路橋、歩道橋の経費見通しを加えて、橋りょう全体の経費として推計します。

(1) 試算の条件

現状を維持する場合の試算条件を、次に示します。

表 4-2-2-5 補修更新にかかる費用予測の条件

施設項目	補修更新費予測の条件 (実態の分析結果より)	備 考
橋りょう	- 橋長 15m以上の橋りょうは、予防保全の考え方で補修する。 15m未満の道路橋および歩道橋は、耐用年数で架け替える。	橋長 15m未満の橋りょうは予防保全の知見がないため、設計上の耐用年数(建設後 50 年)を採用する。

(2) 現状を継続する場合の経費試算

対象の 35 橋の橋りょう点検結果から、現状において損傷と判断する部位が見つかりました。試算では点検結果の判定区分が「Ⅱ」または「Ⅲ」と判定された橋りょうについて健全な状態に復旧するための補修更新が必要と判断いたしました。

補修等の経費を予測する場合は、本来は橋りょう長寿命化修繕計画を策定し、部材ごとの損傷程度を判定したうえで行う必要があります。しかし、本予測は橋りょう長寿命化修繕計画の策定以前に行っています。そのため、橋りょう点検結果から推定できるおよその経費として、損傷している箇所の修繕費と今後 35 年間ににおける経費を予測しました。

① 15m以上の道路橋（長寿命化対象橋りょう）

対象の 9 橋について、健全な状態に復旧するための補修費を試算します。なお、試算にあたっては、間接費として 80%を計上しています。試算の結果、9 橋を健全な状態に戻すための補修費として、9,500 万円程度が必要です。

表 4-2-2-6 損傷箇所の初期補修経費の予測

No.	橋梁名	補修項目	数量	単 価 (千円)	工事費 (千円)
1	鶴代橋	伸縮装置の取替	148 m	217	32,116
2	富士見通り立体橋	伸縮装置の取替	38 m	157	5,966
		断面補修	10 m2	50	500
3	白糸橋1号	クラック補修	30 m	8	240
		支承取替	8 箇所	100	800
4	白糸橋2号	クラック補修	30 m	8	240
		支承取替	8	100	800
5	白糸橋3号	クラック補修	5 m	8	40
		支承取替	12 箇所	100	1,200
6	小柳橋	クラック補修	15 m	8	120
		伸縮装置の取替	15 m	157	2,355
		支承取替	8 箇所	100	800
7	みょうらい橋	クラック補修	20 m	8	160
		伸縮装置の取替	19.6 m	157	3,077
8	中央道側道1号	ガードレール交換	16 m	7	112
9	矢崎排水第三号橋	断面補修	2 m2	50	100
		伸縮装置の取替	25.6 m	157	4,019
直接経費計					52,645
諸経費		80%			42,116
事業費					94,761

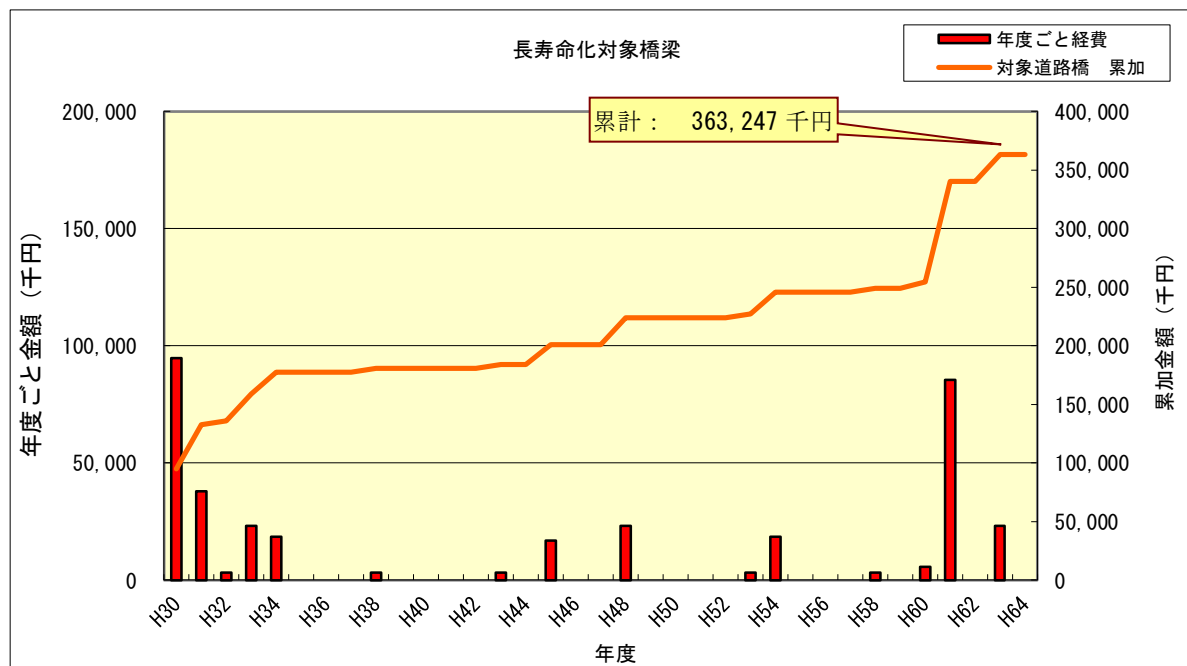


図 4-2-2-7 現状を維持する場合の経費予測 (15m以上の道路橋)

② 15m未満の道路橋

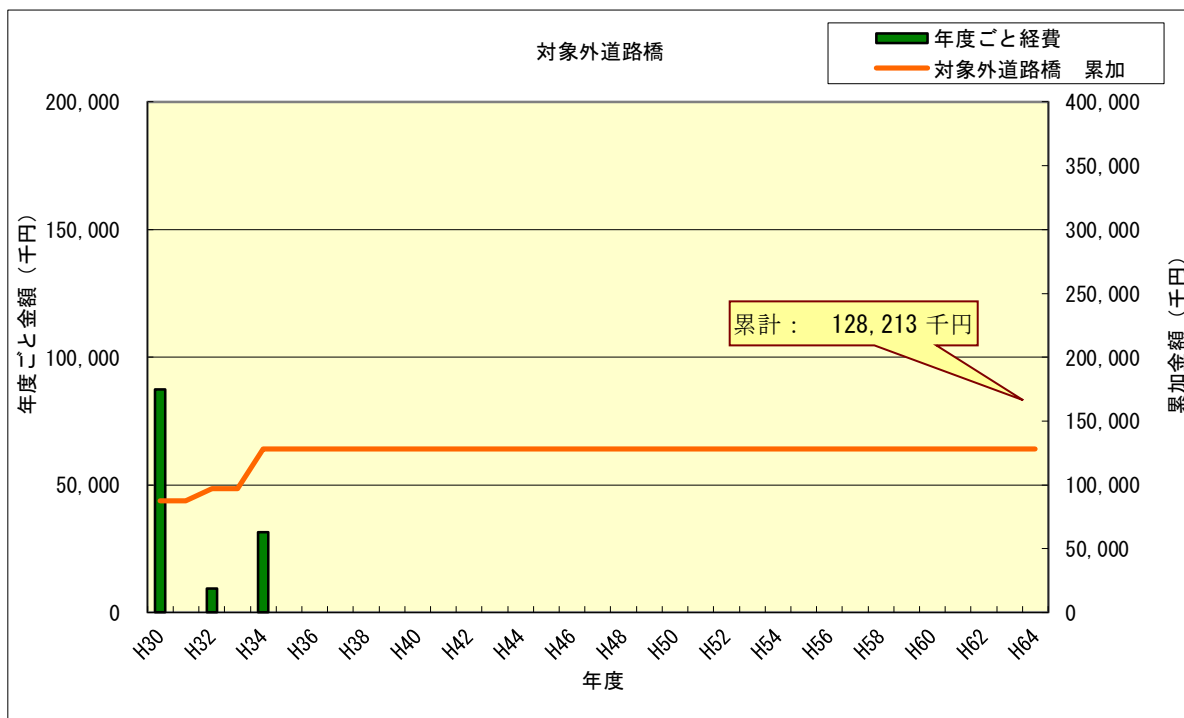


図 4-2-2-8 現状を維持する場合の経費予測 (15m未満の道路橋)

③ 歩道橋

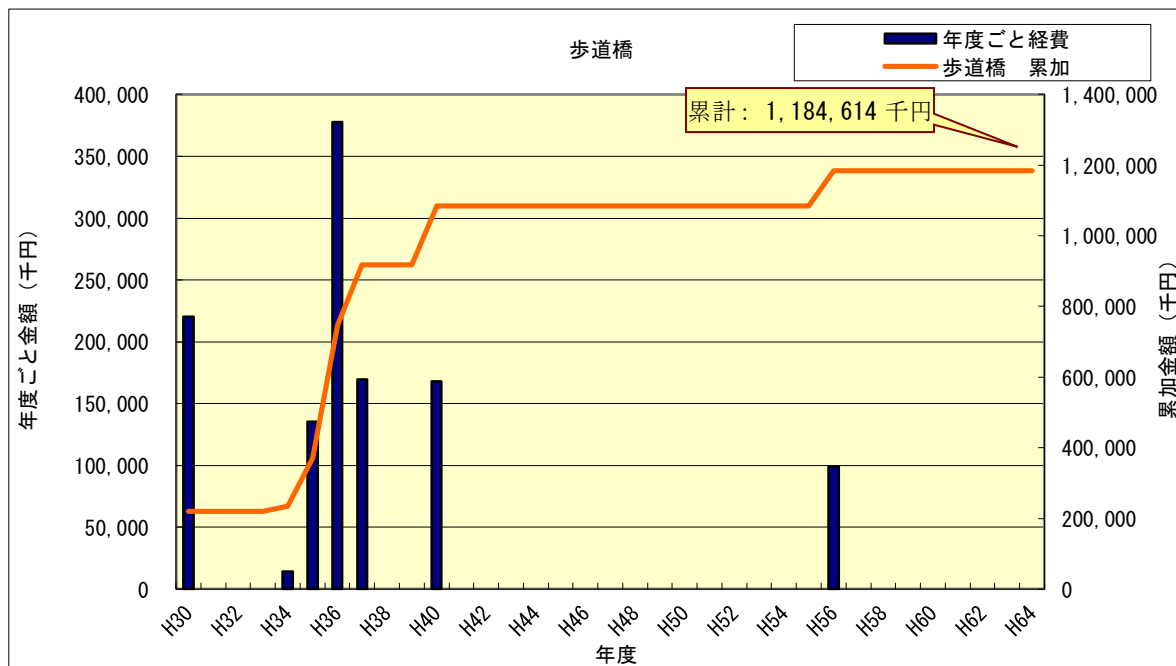


図 4-2-2-9 現状を維持する場合の経費予測 (歩道橋)

④ 合 計

全ての橋りょうを現状のまま継続する場合、35年間の経費は約16.76億円となります。また、これを1年間の経費とすると、平均48,000千円です。

以下に、「分類ごとの累加経費」の表と、「年度ごとの経費」のグラフを示します。なお、経費全体の中では、歩道橋劣化に対処するための経費が約7割を占めます。

また、平成41年頃までに、管理している橋りょうの多くは設計上の耐用年数である建設後50年を迎えます。それに伴い、長寿命化修繕計画の対象にならない小規模な道路橋や歩道橋は、架け替えなどの対処が必要になります。

表 4-2-2-7 分類別の橋りょう経費の累加予測

分 類	橋りょう数 (橋)	35年間の累加経費 (億円/35年間)	年間の按分経費
15m以上の橋りょう	9 橋	3.63 億円 (予防保全経費)	10,000 千円/年
15m未満の道路橋	12 橋	1.28 億円 (架け替え経費)	4,000 千円/年
歩道橋	15 橋	11.85 億円 (架け替え経費)	34,000 千円/年
合 計	36 橋	16.76 億円	48,000 千円/年

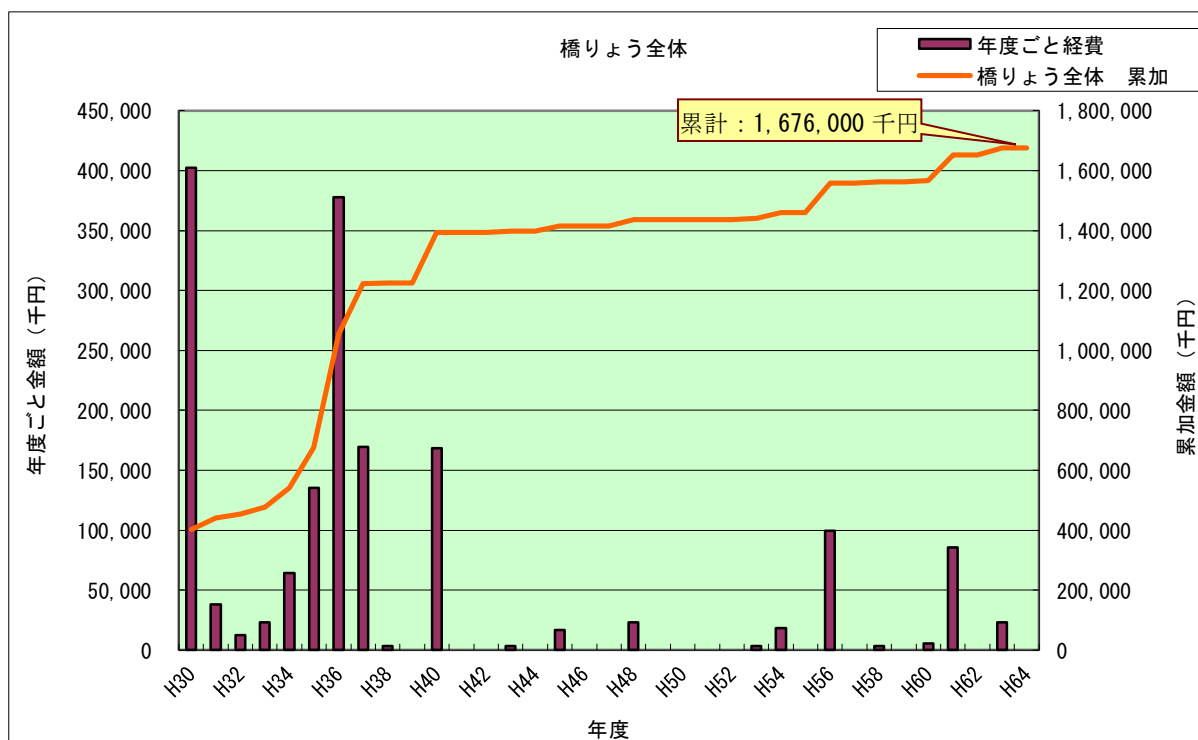


図 4-2-2-10 現状を維持する場合の経費予測 (橋りょう全体)

4.2.2.7. 立体横断施設等

補修更新に関する経費を今後 35 年間で約 3.48 億円（約 0.10 億円/年）を見込んでおります。今後想定されるエレベーターやエスカレーターの更新（約 275 万円/年）やペDESTリアンデッキの大規模修繕（約 720 万円/年）を計上しております。

4.2.2.8. 大型構造物

補修更新に関する経費を今後 35 年間で約 1.04 億円（約 0.03 億円/年）を見込んでおります。今後想定される排水施設や冠水表示板の更新（約 210 万円/年）や擁壁の補修（約 86 万円/年）を計上しております。

4.2.2.9. 公園緑地等

（1） 試算の条件

公園緑地等の補修更新では、「処分制限期間」経過ごとに施設を更新することを前提とします。また、公園緑地等の施設は建設年度に設置されたものとします。

表 4-2-2-8 補修更新にかかる費用予測の条件

施設項目	補修更新費予測の条件 (実態の分析結果より)	備 考
公園 緑地等	- 代表施設において、施設ごとに処分制限期間（国交省）に撤去・設置を実施することを前提としている。 - 従来より、処分制限期間に撤去・設置を実施してきたことと仮定している。 - 除草、伐採、清掃等の「維持管理経費」は予測対象に含まない。	

※ 処分制限期間：平成 17 年度以降に公園事業により取得した財産の経済的価値が残存する期間（都市・地域整備局所管補助事業実務必携より）

表 4-2-2-9 公園緑地等の補修更新費を予測するための施設分類

施設分類	公園管理ハンドブック の分類	内容	処分制限期間
植栽・花壇	修 景	芝生・草	20 年
	修 景	パーゴラ・東屋	7 年
	中高木	中木	50 年
	中高木	高木	50 年
	低 木	低木	50 年
遊 具	遊 戯	ブランコ (4 連)	15 年
	遊 戯	ブランコ (2 連)	15 年
	遊 戯	スベリ台	15 年
	遊 戯	砂場	10 年
	遊 戯	木製遊具	7 年
便益施設・その他	運 動	鉄棒	30 年
	園路及び広場	コンクリート・ブロック等	15 年
	管 理	照明灯	15 年
	管 理	排水マス	15 年
	休 養	ベンチ	7 年
	休 養	テーブル	7 年
	教 養	モニュメント	10 年
	教 養	記念碑	10 年
	便 益	トイレ	50 年
	便 益	水飲場	15 年

表 4-2-2-10 公園施設の規模と設置費用の想定

分類		内容	設置費用 (万円)	単位	数量	処分制限期間(年)
植物等	修景施設	芝生・草		本	270	20
		パーゴラ・東屋	300	個	226	7
		その他	-	個	41,597	
	中高木	中木		本	4,331	-
		高木		本	38,322	-
	低木	低木		本	45,438	-
施設	運動施設	鉄棒	21	個	91	30
		その他	-	個	27	
	園路及び広場	コンクリート・ブロック等	0.6	m ²	96,583	15
		その他	-	m ²	160,502	
	管理施設	外柵	4	m	1,175	10
		照明灯	53	個	433	15
		電線類	0.68	m	-	30
		排水マス	11	個	1,240	15
		排水管	0.75	m	-	15
		給水管	0.25	m	-	15
		その他	-	個	3,629	
	休養施設	ベンチ	22	個	1,164	7
		テーブル	55	個	16	7
		その他	-	個	332	
	教養施設	モニュメント	-	個	65	10
		記念碑	-	個	20	10
		その他	-	個	31	
	便益施設	トイレ	850	個	84	50
		水飲場		個	212	15
		その他	-	個	157	
	遊戯施設	ブランコ(4連)	107	個	5	15
		ブランコ(2連)	67	個	4	15
		ブランコ(その他)	-	個	92	15
		スベリ台	71	個	115	15
		砂場	50	個	139	10
		木製遊具	350	個	90	7
		その他	-	個	655	

4-2

将来経費の予測額

(2) 現状を維持する場合の経費試算

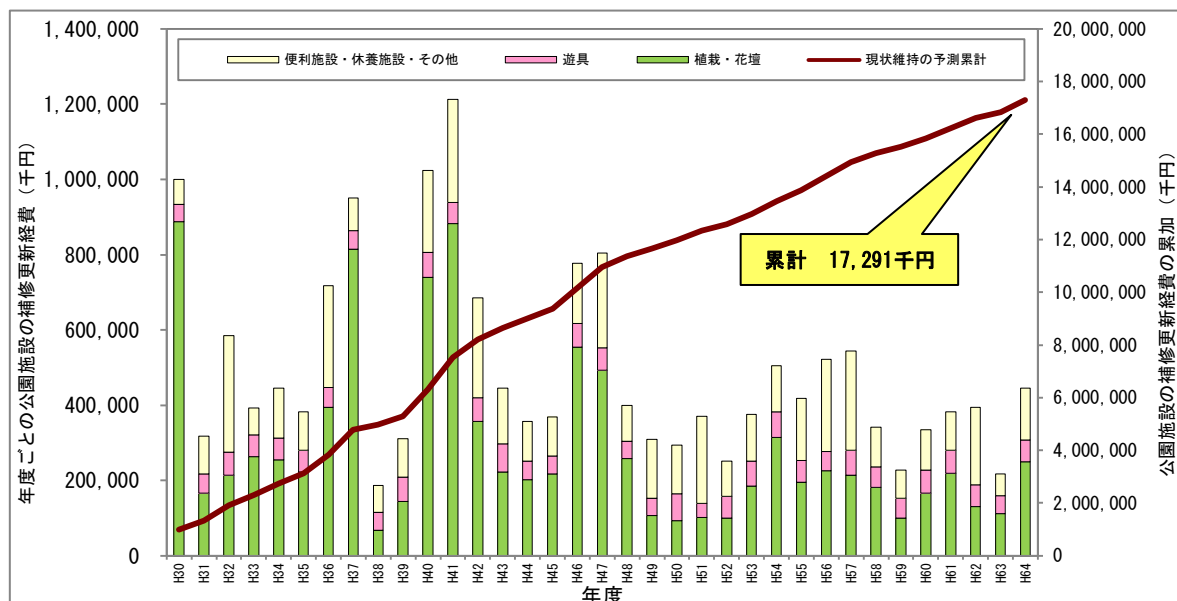


図 4-2-2-11 現状を維持する場合の更新経費予測

表 4-2-2-11 公園施設の更新年度ごとの経費内訳

設置費用(万円)		300	12	18	0.03	21	0.6	53	11	22	55	-	-	850	-	107	67	71	50	350
処分制限期間(年)		20	7			30	15	15	15	7	7			10	10	50	15	15	15	7
施設の分類	修景	修景	中高木	中高木	低木	運動	園路及び広場	管理	管理	休養	休養	休養	休養	教養	教養	便益	便益	遊戯	遊戯	遊戯
施設の内容	芝生・草	バーゴラ・東屋	中木	高木	低木	鉄棒	コンクリートブロック等	照明灯	排水マス	ベンチ	テーブル	モニュメント	記念碑	トイレ	水飲場	ブランコ(4連)	ブランコ(2連)	スベリ台	砂場	木製遊具
年度																				
H30	0	18	359	4340	0	1	2,535.00	32	13	105	2	0	0	1	0	1	5	5	25	7
H31	0	16	91	593	0	1	1,707.00	65	88	159	3	0	0	1	0	2	4	10	14	9
H32	0	48	99	318	126	2	12,355.00	121	198	317	4	0	0	9	0	1	3	9	21	12
H33	0	70	175	177	0	1	1,548.00	24	12	218	1	0	0	0	0	1	1	2	25	12
H34	0	29	243	759	0	1	6,560.00	87	19	170	0	0	0	1	0	3	0	6	24	11
H35	0	31	162	604	219	1	3,542.00	59	142	154	0	0	0	0	0	3	9	15	14	9
H36	0	31	318	1445	1578	0	14,000.00	191	108	207	6	0	0	3	0	1	1	6	15	11
H37	0	18	245	4011	0	1	2,348.00	52	45	105	2	0	0	2	0	3	6	12	16	7
H38	0	16	69	62	839	1	2,966.00	29	8	159	3	0	0	0	0	2	5	8	11	9
H39	0	48	0	0	0	1	1,406.00	39	12	317	4	0	0	0	0	2	6	12	15	12
H40	0	70	872	2326	12337	2	5,407.00	138	189	218	1	0	0	5	0	3	5	8	25	12
H41	0	29	608	3968	1603	2	21,674.00	148	12	170	0	0	0	3	0	3	5	6	14	11
H42	0	31	226	1298	2557	4	15,644.00	140	340	154	0	0	0	3	0	6	7	13	21	9
H43	0	31	2	708	7	9	4,041.00	71	10	207	6	0	0	4	0	5	10	17	25	11
H44	0	18	2	808	0	3	850.00	40	44	105	2	0	0	6	0	3	4	9	24	7
H45	0	16	41	904	0	2	2,535.00	32	13	159	3	0	0	4	0	1	5	5	14	9
H46	0	48	37	2226	22	3	1,707.00	65	88	317	4	0	0	4	0	2	4	10	15	12
H47	0	70	7	1543	578	2	12,355.00	121	198	218	1	0	0	5	0	1	3	9	16	12
H48	0	29	0	927	3360	0	1,548.00	24	12	170	0	0	0	4	0	1	1	2	11	11
H49	0	31	0	68	4721	2	6,560.00	87	19	154	0	0	0	4	0	3	0	6	15	9
H50	0	31	0	0	2423	16	3,542.00	59	142	207	6	0	0	1	0	3	9	15	25	11
H51	0	18	13	253	649	5	14,000.00	191	108	105	2	0	0	1	0	1	1	6	14	7
H52	0	16	136	198	0	8	2,348.00	52	45	159	3	0	0	1	0	3	6	12	21	9
H53	0	48	0	225	0	7	2,966.00	29	8	317	4	0	0	2	0	2	5	8	25	12
H54	0	70	64	527	1743	5	1,406.00	39	12	218	1	0	0	5	0	2	6	12	24	12
H55	0	29	0	589	3763	5	5,407.00	138	189	170	0	0	0	0	0	3	5	8	14	11
H56	0	31	6	724	2164	6	21,674.00	148	12	154	0	0	0	0	0	3	5	6	15	9
H57	0	31	0	663	0	3	15,644.00	140	340	207	6	0	0	1	0	6	7	13	16	11
H58	0	18	6	694	0	6	4,041.00	71	10	105	2	0	0	2	0	5	10	17	11	7
H59	0	16	0	287	140	0	850.00	40	44	159	3	0	0	1	0	3	4	9	15	9
H60	0	48	0	119	0	1	2,535.00	32	13	317	4	0	0	0	0	1	5	5	25	12
H61	0	70	0	49	0	1	1,707.00	65	88	218	1	0	0	0	0	2	4	10	14	12
H62	0	29	21	223	0	2	12,355.00	121	198	170	0	0	0	1	0	1	3	9	21	11
H63	0	31	39	77	813	1	1,548.00	24	12	154	0	0	0	0	0	1	1	2	25	9
H64	0	31	8	847	4190	1	6,560.00	87	19	207	6	0	0	0	0	3	0	6	24	11

表 4-2-2-12 現状を維持する場合の施設分類ごとの更新経費予測

番号	1～5	16～20	6～15		
施設の分類	植栽・花壇	遊具	便利施設・休 養 施設・その他	現状維持の 予測合計	現状維持の 予測累計
年度					
H30	888,234	44,970	66,510	999,714	999,714
H31	166,853	50,420	99,712	316,985	1,316,698
H32	213,596	61,970	308,900	584,466	1,901,165
H33	262,627	57,660	72,048	392,335	2,293,500
H34	253,803	57,970	133,670	445,443	2,738,942
H35	222,162	58,390	102,232	382,784	3,121,727
H36	394,239	52,000	271,450	717,689	3,839,416
H37	814,925	48,250	88,008	951,183	4,790,599
H38	67,570	48,170	70,886	186,626	4,977,225
H39	144,000	64,180	102,576	310,756	5,287,981
H40	739,512	66,740	217,802	1,024,054	6,312,035
H41	882,649	56,320	273,124	1,212,093	7,524,128
H42	357,003	62,340	265,684	685,027	8,209,156
H43	222,531	75,120	147,706	445,357	8,654,513
H44	201,791	48,780	106,970	357,541	9,012,054
H45	217,848	46,470	104,650	368,968	9,381,022
H46	554,818	61,420	160,942	777,180	10,158,202
H47	492,766	59,470	251,470	803,706	10,961,908
H48	257,263	47,160	94,728	399,151	11,361,059
H49	106,783	46,470	155,860	309,113	11,670,172
H50	93,700	70,890	128,842	293,432	11,963,604
H51	101,899	37,500	230,860	370,259	12,333,863
H52	99,938	57,750	93,408	251,096	12,584,959
H53	185,090	65,670	124,456	375,216	12,960,175
H54	314,171	68,680	122,486	505,337	13,465,512
H55	195,652	57,740	164,822	418,214	13,883,726
H56	226,541	49,820	244,944	521,305	14,405,031
H57	214,079	66,840	263,434	544,353	14,949,384
H58	181,436	54,120	105,436	340,992	15,290,376
H59	100,453	51,280	76,270	228,003	15,518,380
H60	165,732	62,470	105,750	333,952	15,852,332
H61	218,949	60,920	103,092	382,961	16,235,292
H62	130,161	58,470	206,360	394,991	16,630,284
H63	111,822	47,160	57,418	216,400	16,846,683
H64	249,821	57,970	136,610	444,401	17,291,084

4.2.2.10. 下水道

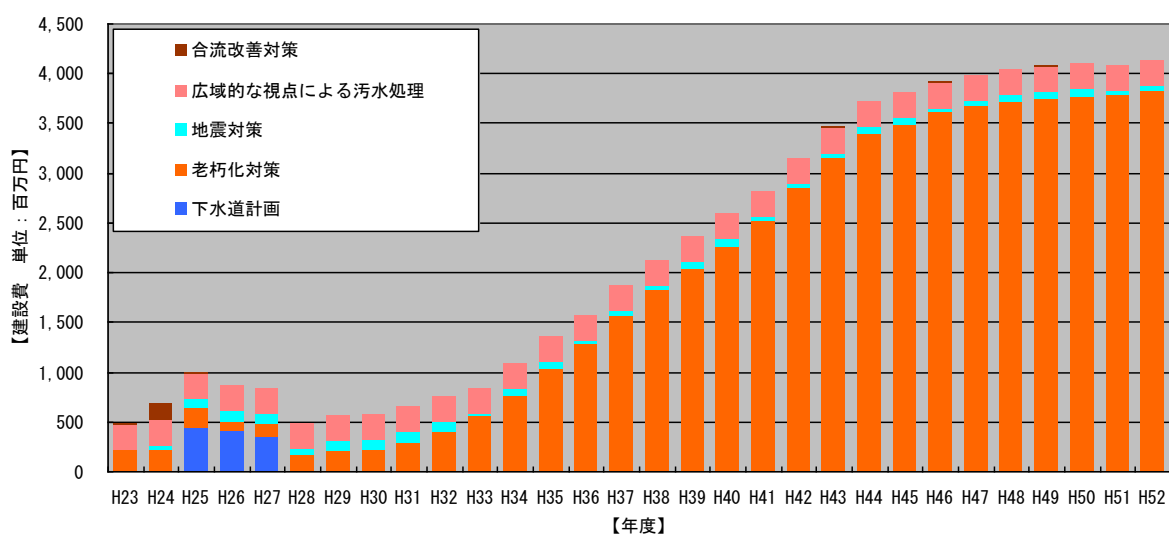
下水道事業で予想する経費のうち、補修更新費として整理する「建設費」の予測を示します。

(1) 建設費の予測

平成 28 年度から平成 52 年度までの補修更新費に当たる建設費の総額は、約 620 億円となり、そのうち老朽化対策が約 539 億円で、87%を占めます。

表 4-2-2-13 建設費予測（単位：百万円）

項目・年度	中期 (H28～32)	長期 (H33～52)	28～52
下水道計画	30	120	150
老朽化対策	1,216	52,671	53,887
地震対策	485	1,074	1,559
広域的な視点による汚水処理	1,275	5,100	6,375
合流改善対策	12	50	62
合計	3,018	59,015	62,033



※ 出典「下水道マスタープラン」P50 より抜粋

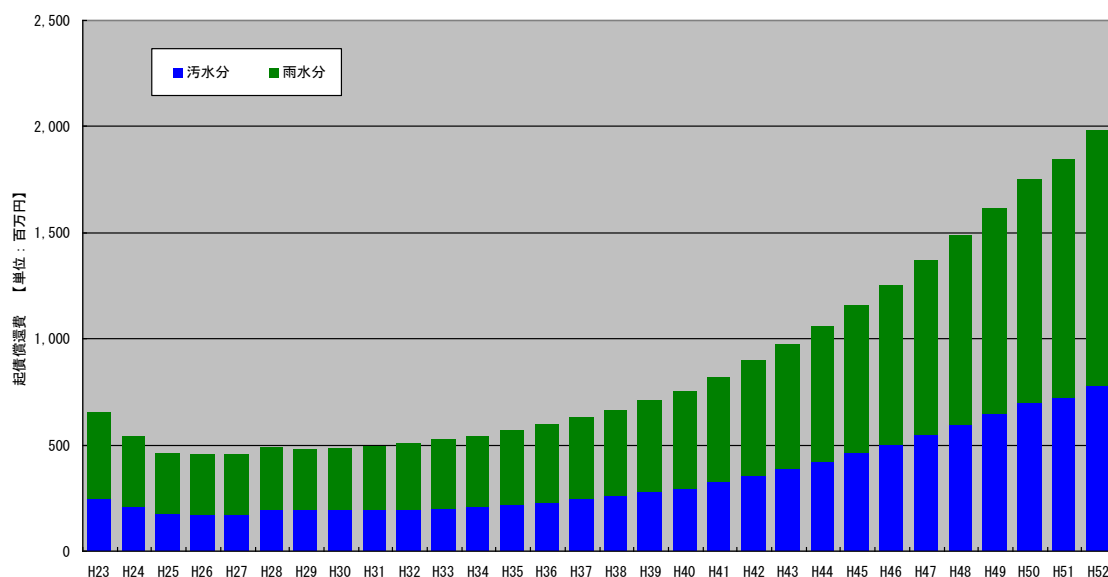
図 4-2-2-12 建設費予測の推移

(2) 起債償還費の予測

平成 28 年度から平成 52 年度までの老朽化対策などの補修更新費に係る起債償還費の総額は約 236 億円となり、年間の返済額は約 10 億円を越えることになります。

表 4-2-2-14 起債償還費の予測（単位：百万円）

項目・年度	中期 (H28～32)	長期 (H33～52)	28～52
汚水分	963	8,331	9,294
雨水分	1,479	12,822	14,301
合計	2,442	21,153	23,595



※ 出典「下水道マスタープラン」P54 より抜粋

図 4-2-2-13 起債償還費予測の推移

4.2.2.11. 法定外公共物

補修更新に関する経費を今後 35 年間で約 2.80 億円（約 0.08 億円/年）を見込んでおります。

4.2.2.12. 補修更新費の将来経費の予測

「補修更新費」の予測結果を表 4-2-2-15 に示します。

現状の機能を維持するためには、現状の執行額では不足することが予想されます。

表 4-2-2-15 補修更新費の将来経費の予測

施設項目	種別	35 年間の予想経費 (下水道は 25 年間)	35 年間を平均化する 場合の年間経費 (下水道は 25 年間)	執行額の 10 年度平均 (平成 19 年から平成 28 年)	過不足
全 体		(下水道除く(35 年)) 428.34 億円 (下水道(25 年)) 856.28 億円	(下水道除く) 12.25 億円/年 (下水道含む) 46.50 億円/年	(下水道除く) 6.52 億円/年 (予測額の 53.2%) (下水道含む) 15.87 億円/年 (予測額の 34.1%)	(下水道除く) -5.73 億円/年 (下水道含む) -30.63 億円/年
道路	車 道	220.47 億円	6.30 億円/年	4.26 億円/年 (予測額の 67.6%)	-2.04 億円/年
	歩 道 植樹ます	4.55 億円	0.13 億円/年	0.13 億円/年 (予測額の 100.0%)	0.00 億円/年
道路 付 属 物	標識 (施設案内 警戒その他)	1.23 億円	0.04 億円/年	(該当の実績なし)	-0.04 億円/年
	街路灯	3.85 億円	0.11 億円/年	0.11 億円/年 (予測額の 100.0%)	0.00 億円/年
	道路反射鏡	1.25 億円	0.04 億円/年	0.04 億円/年 (予測額の 100.0%)	0.00 億円/年
	街路樹	—	—	(該当の実績なし)	—
橋りょう		橋りょう全体： 16.76 億円 橋長 15m 以上： 3.63 億円 橋長 15m 未満： 1.28 億円 歩道橋： 11.85 億円	橋りょう全体： 0.48 億円/年 橋長 15m 以上： 0.10 億円/年 橋長 15m 未満： 0.04 億円/年 歩道橋： 0.34 億円/年	0.18 億円/年 (予測額の 37.5%)	-0.30 億円/年
立体横断施設等		3.48 億円	0.10 億円/年	0.09 億円/年 (予測額の 90.0%)	-0.01 億円/年
大型構造物		1.04 億円	0.03 億円/年	0.03 億円/年 (予測額の 100.0%)	0.00 億円/年
公園緑地等		172.91 億円	4.94 億円/年	1.60 億円/年 (予測額の 32.4%)	-3.34 億円/年
法定外公共物		2.8 億円	0.08 億円/年	0.08 億円/年 (予測額の 100.0%)	0.00 億円/年
下水道・建設 +起債償還費(25 年間)		856.28 億円	34.25 億円/年	9.35 億円/年 (予測額の 27.3%)	-24.90 億円/年

※ 「公園緑地等」では、代表施設を処分制限期間で更新するための経費を予測しています。

※ 「公園緑地等」の「現状の執行額」では、公園緑地等を改良、更新するための経費を対比しています。

※ 下水道は、管きよの整備や老朽化対策などの「建設費」と建設費に伴う「起債償還費」を補修更新費として算定しています。

4.2.3. 将来経費の予測額の内訳（人件費）

人件費」の予測結果を表 4-2-3-1、表 4-2-3-2 に示します。

表 4-2-3-1 人件費（管理課・土木課・公園緑地課）の将来経費の予測

施設項目	35 年間の予想経費	35 年間を平均化する場合の 年間経費	現状の執行額 (平成 27 年度)
全 体	184.80 億円	5.28 億円/年	5.28 億円/年
人件費	123.20 億円	3.52 億円/年	3.52 億円/年
退職手当等	20.30 億円	0.58 億円/年	0.58 億円/年
間接部門費	41.30 億円	1.18 億円/年	1.18 億円/年

表 4-2-3-2 人件費（下水道課）の将来経費の予測

施設項目	35 年間の予想経費	35 年間を平均化する場合の 年間経費	現状の執行額 (平成 27 年度)
全 体	56.35 億円	1.61 億円/年	1.61 億円/年
人件費	39.20 億円	1.12 億円/年	1.12 億円/年
退職手当等	4.55 億円	0.13 億円/年	0.13 億円/年
間接部門費	12.60 億円	0.36 億円/年	0.36 億円/年

4.2.4. 将来経費の予測額全体

現状を維持する場合の、将来経費全体（「維持管理費」＋「補修更新費」＋「人件費」）の予測結果を、次の表 4-2-4-1 に示します。なお予測の結果、現状の機能を 35 年間にわたり維持するためには現状の執行額では不足することが予想されます。

表 4-2-4-1 インフラの将来経費全体の予測

施設項目	種別	35 年間の予想経費 (下水道は 25 年間)	35 年間を平均化 する場合の年間経費 (下水道は 25 年間)	実績値	過不足
全 体		(下水道除く(35 年)) 1,185.05 億円 (下水道(25 年)) 1,542.69 億円	(下水道除く) 33.87 億円/年 (下水道含む) 95.58 億円/年	(下水道除く) 25.82 億円/年 (予測額の 76.2%) (下水道含む) 62.23 億円/年 (予測額の 65.1%)	(下水道除く) -8.05 億円/年 (下水道含む) -33.35 億円/年
道路	車 道	357.92 億円	10.23 億円/年	7.05 億円/年 (予測額の 68.9%)	-3.18 億円/年
	歩 道 植樹ます	6.90 億円	0.20 億円/年	0.20 億円/年 (予測額の 100.0%)	0.00 億円/年
道路 附属 物	標識 (施設案内 警戒 その他)	1.51 億円	0.05 億円/年	0.00 億円/年 (予測額の 0.0%)	-0.05 億円/年
	街路灯	64.05 億円	1.83 億円/年	1.41 億円/年 (予測額の 77.0%)	-0.42 億円/年
	道路反射 鏡	5.46 億円	0.16 億円/年	0.11 億円/年 (予測額の 68.8%)	-0.05 億円/年
	街路樹	90.07 億円	2.57 億円/年	2.56 億円/年 (予測額の 99.6%)	-0.01 億円/年
橋りょう		21.03 億円	0.60 億円/年	0.28 億円/年 (予測額の 46.7%)	-0.32 億円/年
立体横断施設等		17.64 億円	0.50 億円/年	0.33 億円/年 (予測額の 66.0%)	-0.17 億円/年
大型構造物		6.62 億円	0.19 億円/年	0.09 億円/年 (予測額の 47.4%)	-0.10 億円/年
公園緑地等		409.54 億円	11.70 億円/年	8.12 億円/年 (予測額の 69.4%)	-3.58 億円/年
法定外公共物		19.51 億円	0.56 億円/年	0.39 億円/年 (予測額の 69.6%)	-0.17 億円/年
人件費 (管理課・土木 課・公園緑地課)		184.80 億円	5.28 億円/年	5.28 億円/年 (予測額の 100.0%)	0.00 億円/年
下水道(25 年間)		1,502.44 億円	60.10 億円/年	34.80 億円/年 (予測額の 57.9%)	-25.30 億円/年
人件費(下水道課)		40.25 億円	1.61 億円/年	1.61 億円/年 (予測額の 100.0%)	0.00 億円/年

※ 下水道は、老朽化対策などの補修更新費の増加に対して起債借入額も増加することになります。

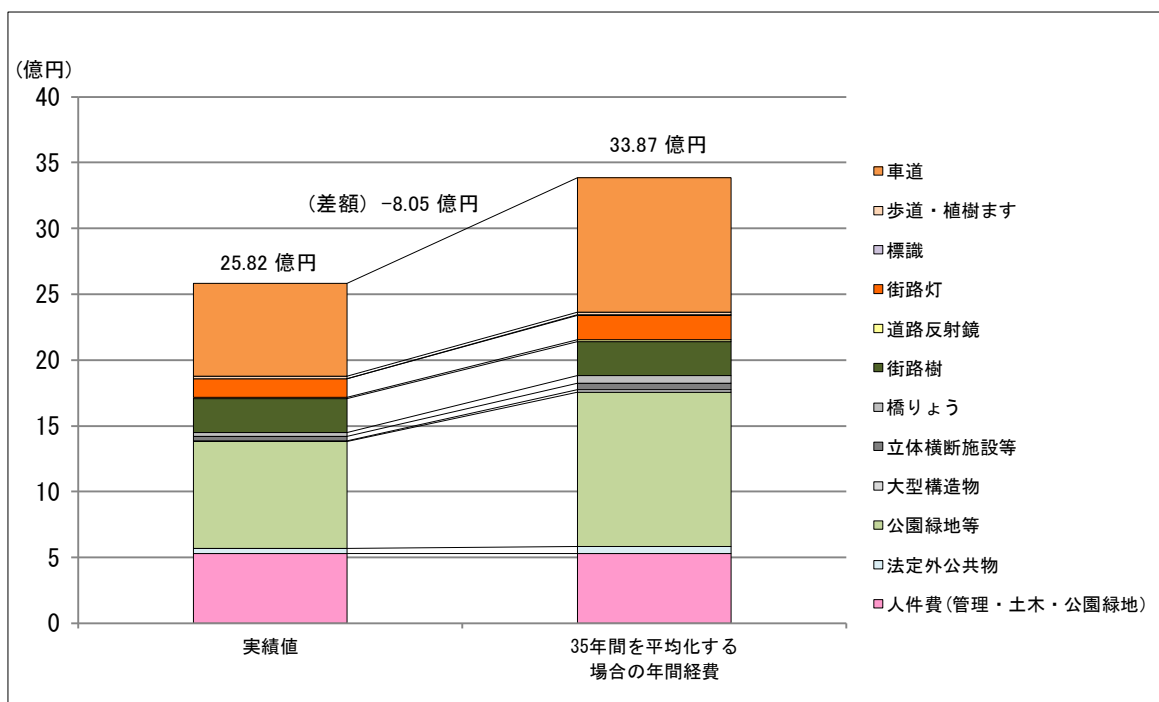


図 4-2-4-1 将来経費の全体の予測（下水道除く）

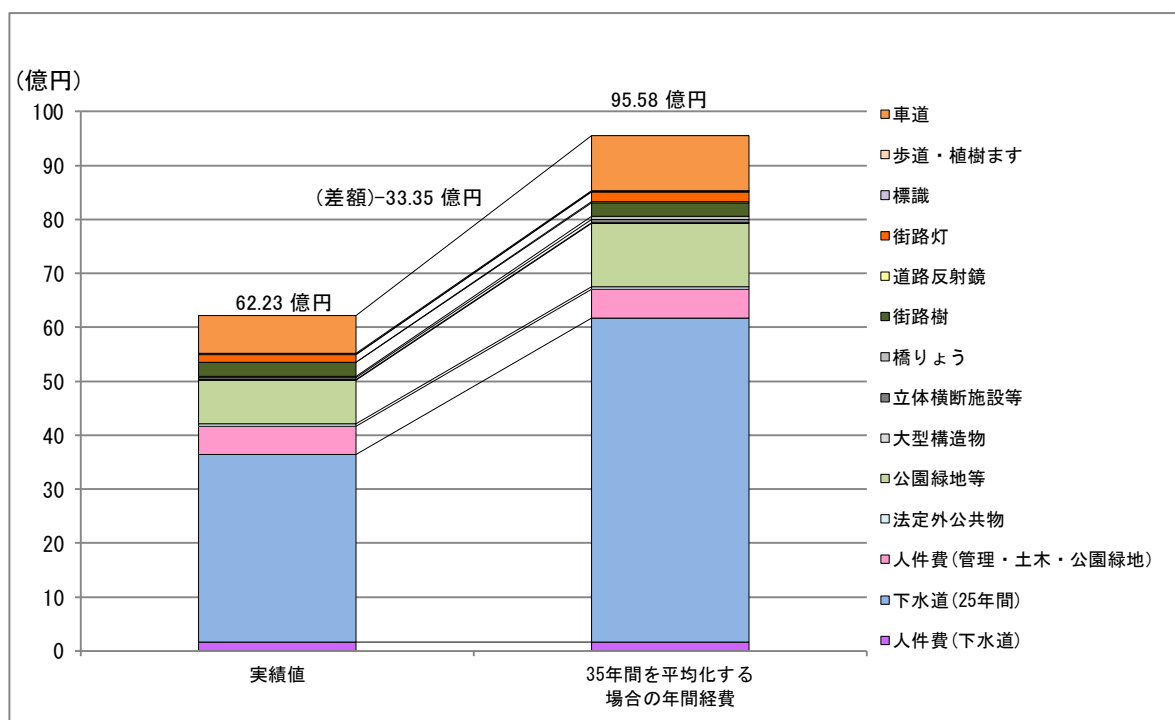


図 4-2-4-2 将来経費の全体の予測（下水道含む）

4.2.5. 歳入の予測

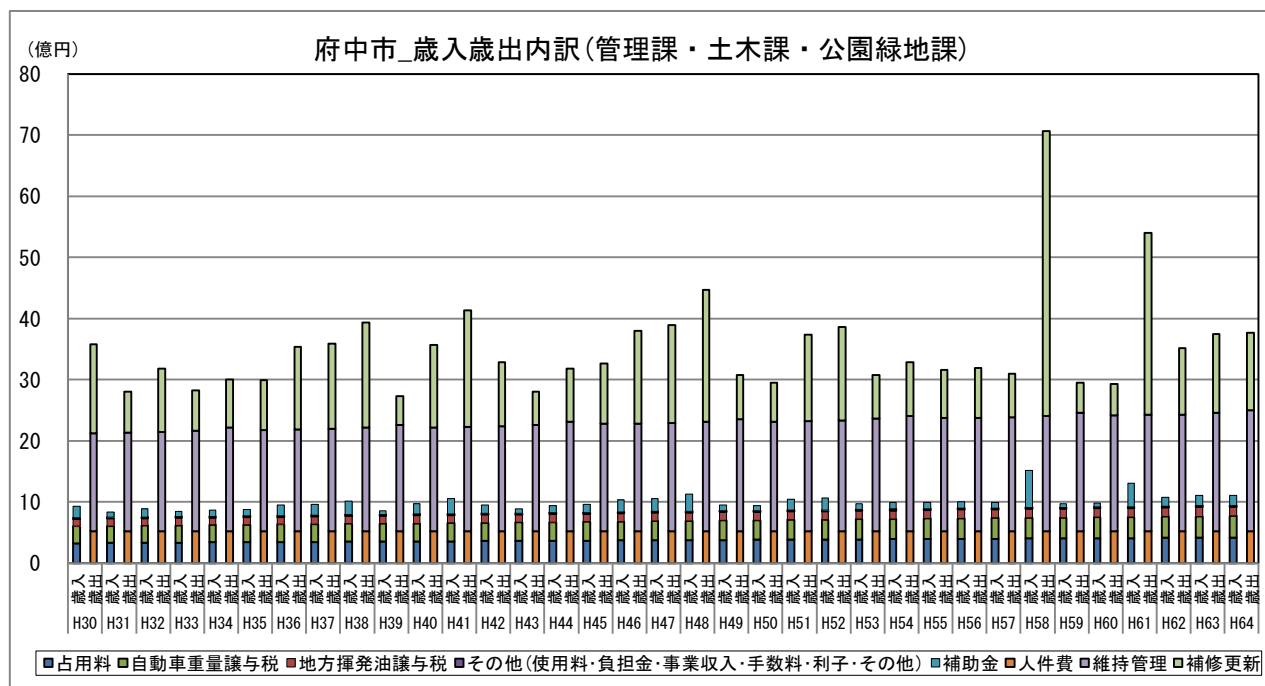


図 4-2-5-1 将来の歳入・歳出の内訳(管理課・土木課・公園緑地課)

※ 歳出は白書内で想定している将来経費を計上

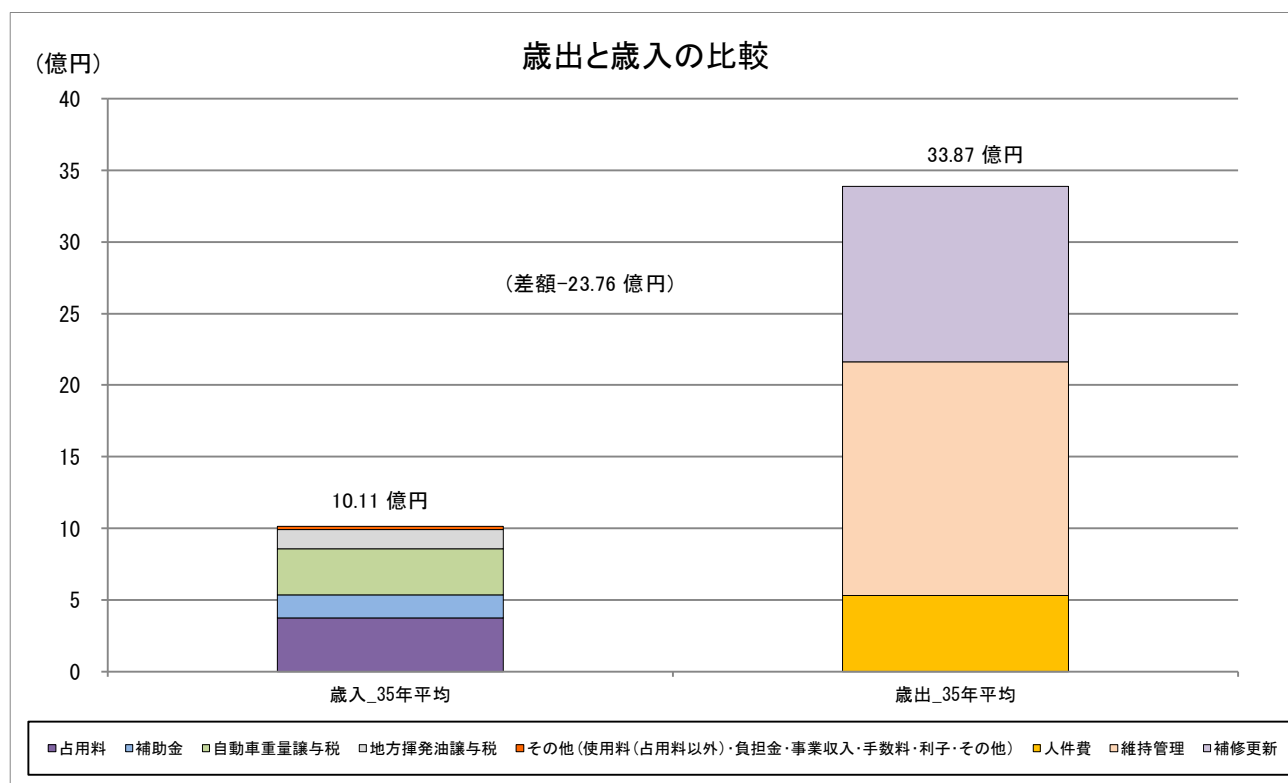


図 4-2-5-2 将来の歳入・歳出の比較(管理課・土木課・公園緑地課)

4.2.6. 現行白書と次期白書の経費比較

現行白書と次期白書の全体経費について、年間予想経費及び比較執行額について比較しました。

表 4-2-6-1 現行白書と次期白書の経費比較（全体）

施設 項目	種別	現行 年間予想経費 (40 年間)	次期 年間予想経費 (35 年間)	現行 比較執行額 (平成 22 年度)	次期 比較執行額 (平成 29 年度)
全 体		(下水道除く) 24.54 億円/年	(下水道除く) 28.59 億円/年	(下水道除く) 18.78 億円/年	(下水道除く) 20.54 億円/年
		(下水道含む) 80.70 億円/年	(下水道含む) 88.69 億円/年	(下水道含む) 54.64 億円/年	(下水道含む) 55.34 億円/年
道 路	車 道	11.67 億円/年	10.23 億円/年	8.57 億円/年	7.05 億円/年
	歩道・植樹ます		0.20 億円/年		0.20 億円/年
	橋りょう		0.60 億円/年		0.28 億円/年
	立体横断施設等		0.50 億円/年		0.33 億円/年
	大型構造物		0.19 億円/年		0.09 億円/年
	法定外公共物		0.56 億円/年		0.39 億円/年
	道路反射鏡		0.16 億円/年		0.11 億円/年
	標識 (施設案内・ 警戒・ その他)	0.02 億円/年	0.05 億円/年	0.02 億円/年	0.00 億円/年
	街路灯	1.52 億円/年	1.83 億円/年	1.52 億円/年	1.41 億円/年
	街路樹	2.20 億円/年	2.57 億円/年	1.34 億円/年	2.56 億円/年
公園緑地等		9.13 億円/年	11.70 億円/年	7.33 億円/年	8.12 億円/年
下水道		(30 年間) 56.16 億円/年	(25 年間) 60.10 億円/年	(30 年間) 35.86 億円/年	(25 年間) 34.80 億円/年

【現行白書と次期白書の予測経費の乖離について】

- ・対象施設の拡充（道路反射鏡、大型構造物（ボックスカルバート、擁壁）、法定外公共物）を新たに追加しています
- ・対象施設の増加を見込んでいます。
- ・法定点検の実施（対象施設（橋りょう、大型構造物（ボックスカルバート、擁壁）、立体横断施設））に伴い、経費の追加をしております
- ・車道舗装では維持管理指数（MCI）を維持するための経費を考慮し、経費の追加を想定しております。

4.3. 予測結果の評価

4.3.1. 全 体

将来の経費は、下水道を含む場合は95.58億円／年です。それに対して、実績値は62.23億円／年です。そのため、33.35億円／年（現状の執行額の約65.1%）の財政不足が生じます。

また、下水道については、独立した特別会計により、下水道使用料や起債などを財源に運営しています。そのため、下水道は他の施設と分類して方針を考える必要があります。下水道を除く場合の将来経費は、33.87億円／年です。それに対して、実績値は25.82億円／年です。そのため、8.05億円／年（現状の執行額の約76.2%）の財政不足が生じます。

4.3.2. 車道舗装／歩道・植樹ます／橋りょう

車道、歩道・植樹ます、橋りょうの将来にかかる経費は11.03億円／年です。それに対して、実績値は7.53億円／年です。そのため、3.50億円／年の財政不足が生じます。

車道については、現状を維持する管理経費が不足すると「わだち掘れやひび割れが多く発生し、車両の走行や横断歩行がしにくい区間がある」などの状態が将来、想定されます。

歩道と植樹ますに係る予算が足りなくなった場合では、「舗装のひび割れやブロックの破損などによって、つまづく箇所が多くなる」状態が想定されます。

橋りょうに係る予算が足りなくなった場合では、「日常使用による破損や落橋や破損」などといった状態が想定されます。

4.3.3. 標識

標識の将来の経費は、現状を維持することを想定しています。そのため、将来の経費は、0.05億円／年です。

標識に係る予算が足りなくなった場合、「内容の不整合、標識の破損」などといった状態が想定されます。

4.3.4. 街路灯

街路灯の将来の経費は、現状を維持することを想定しています。そのため、将来の経費は、1.83 億円／年です。

街路灯に係る予算が足りなくなった場合、「街路灯の故障による消灯、街路灯の破損」などといった状態が想定されます。

4.3.5. 道路反射鏡

道路反射鏡の将来の経費は、現状を維持することを想定しています。そのため、将来の経費は、0.16 億円／年です。

道路反射鏡に係る予算が足りなくなった場合、「道路反射鏡の汚損による機能不全、道路反射鏡の破損」などといった状態が想定されます。

4.3.6. 街路樹

将来の経費は、2.57 億円／年です。それに対して、実績値は 2.56 億円／年です。そのため、0.01 億円／年の財政不足が生じます。将来の経費には、樹木の成長による作業増分を見込んでいます。

街路樹は今後、定期的な剪定を見込んでおります。定期的な剪定を実施することで、管理経費は増大しますが、倒木の回避や健全な育成を促すことが可能となり、安全面や景観面に寄与するため、費用対効果は高くなると想定しております。

4.3.7. 立体横断施設等

立体横断施設等の将来の経費は、現状を維持することを想定しています。そのため、将来の経費は、0.50 億円／年です。

立体横断施設等に係る予算が足りなくなった場合、「エスカレーター、エレベーターの点検不足による事故、立体横断施設等の破損」などといった状態が想定されます。

4.3.8. 大型構造物

大型構造物の将来の経費は、現状を維持することを想定しています。そのため、将来の経費は、0.19 億円／年です。

大型構造物に係る予算が足りなくなった場合、「排水ポンプ不良による冠水時の事故、擁壁・ボックスカルバートの剥離」などといった状態が想定されます。

4.3.9. 公園緑地等

将来の経費は、11.70 億円／年です。それに対して、実績値は 8.12 億円／年です。そのため、3.58 億円／年の財政不足が生じます。

公園緑地等に係る予算が足りなくなった場合、「公園風紀の乱れ、遊具による怪我、トイレなど施設の利用停止」などといった状態が想定されます。

4.3.10. 下水道

将来の経費は、60.10 億円／年です。それに対して、実績値は 34.80 億円／年です。そのため、25.30 億円の財政不足が生じます。老朽化による維持管理費用の増加に対し財源が確保されず、管渠の破損などにより下水道の機能が停止することは、安全で衛生的な市民生活に多大な影響を及ぼすことが想定されます。

4.3.11. 法定外公共物

法定外公共物の将来の経費は、現状を維持することを想定しています。そのため、将来の経費は、0.56 億円／年です。

法定外公共物に係る予算が足りなくなった場合、「雑草の繁茂、不法投棄の未処理」などといった状態が想定されます。

5. インフラマネジメントの関心

5. インフラマネジメントの関心

5.1. インフラマネジメントの関心

府中市で実施している市政世論調査（第４８回）内でインフラマネジメントについての理解や関心をアンケート形式（市内の満２０歳以上の男女を対象）で聴取しました。

市政世論調査（第４８回）では、市政に対する市民の考えを把握することによって、今後の行政運営上の参考にすることを目的としております。

調査の方法を以下に記載いたします。

表 2-3-1 調査の方法

調査地域	府中市全域
調査対象者	府中市在住の満２０歳以上の男女
標本数	１，５００人
抽出方法	地点を用いた二段抽出法（住民基本台帳を１１の地区に分け、その構成比により無作為に抽出する方法）
調査方法	郵送法（郵送配布、郵送・個別訪問回収）
調査期間	平成２８年５月１２日（木）～７月１０日（日）
回収数（率）	９９６（６６．４％）

以下に市政世論調査内でインフラマネジメントについて聴取した結果を記載します。

9 インフラマネジメントについて

市では、これまで多くのインフラ（道路・橋梁・公園・下水道など）を整備し管理を行ってきました。しかし、インフラの老朽化や厳しい財政状況の長期化などから、「府中市インフラマネジメント白書」で今後40年間の管理費を試算したところ、財源が大きく不足することが明らかになりました。市では、将来に渡り安全なインフラを管理していくため、「府中市インフラマネジメント計画」を策定し、様々な施策に取り組んでいます。

(1) インフラの維持管理に対する現状や課題についての関心度

問12. 市のインフラの維持管理に対する現状や課題について、どのくらい関心をお持ちですか。次の中から、1つだけ選んでください。（n=996）

1. 強い関心を持っている
2. 少し関心を持っている
3. あまり関心を持っていない
4. 全く関心を持っていない

「強い関心を持っている」（17.1%）と「少し関心を持っている」（49.2%）を合わせた、『関心を持っている』割合は、6割半ば（66.3%）を占めており、「あまり関心を持っていない」と「全く関心を持っていない」を合わせた、『関心を持っていない』（33.3%）のおよそ2倍となっている。

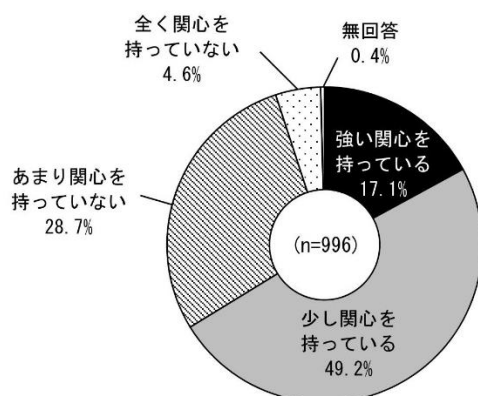


図 9-1 インフラの維持管理に対する関心度

[n=996]		
インフラの維持管理への関心	回答者数(人)	割合(%)
強い関心を持っている	170	17.1
少し関心を持っている	490	49.2
あまり関心を持っていない	286	28.7
全く関心を持っていない	46	4.6
無回答	4	0.4

表 9-1 インフラの維持管理に対する関心度

性別/年代別でみると、「強い関心を持っている」と「少し関心を持っている」を合わせた『関心を持っている』割合は、「男性/70歳以上」(82.2%)が最も高く、男女とも年代が下がるごとに『関心を持っている』割合が低くなっており、「女性/20歳代」(44.2%)が最も低くなっている。

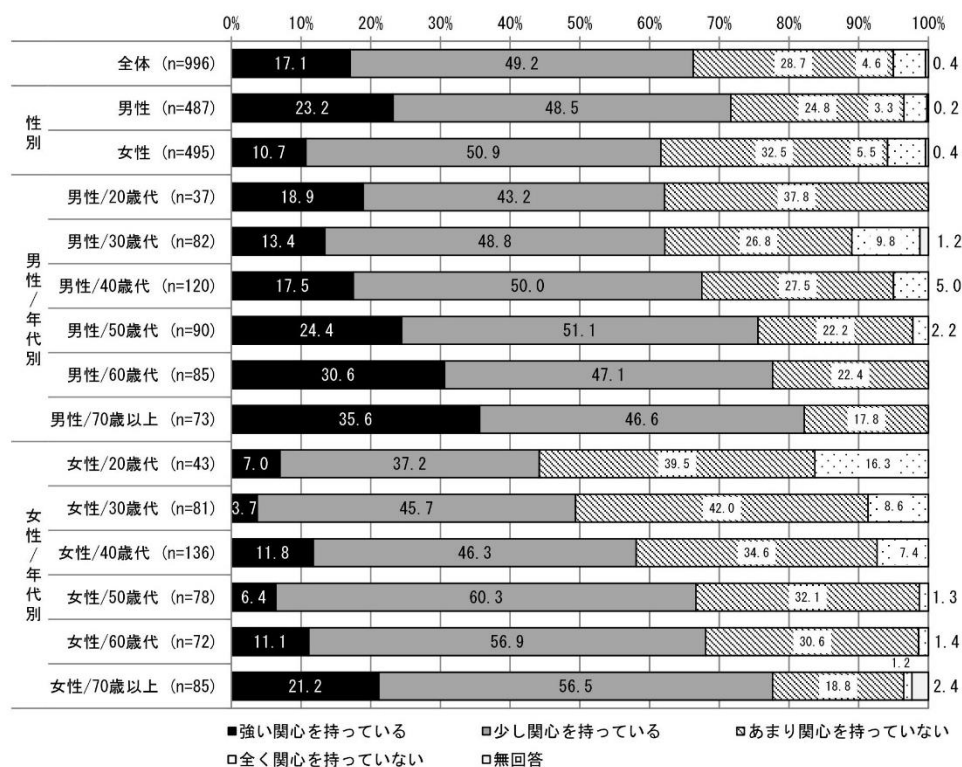


図 9-2 インフラの維持管理に対する関心度(性別/年代別)

性別/年代別	強い関心を持っている	少し関心を持っている	あまり関心を持っていない	全く関心を持っていない	無回答
全体 (n=996)	17.1	49.2	28.7	4.6	0.4
男性 (n=487)	23.2	48.5	24.8	3.3	0.2
女性 (n=495)	10.7	50.9	32.5	5.5	0.4
男性/20歳代 (n=37)	18.9	43.2	37.8	0.0	0.0
男性/30歳代 (n=82)	13.4	48.8	26.8	9.8	1.2
男性/40歳代 (n=120)	17.5	50.0	27.5	5.0	0.0
男性/50歳代 (n=90)	24.4	51.1	22.2	2.2	0.0
男性/60歳代 (n=85)	30.6	47.1	22.4	0.0	0.0
男性/70歳以上 (n=73)	35.6	46.6	17.8	0.0	0.0
女性/20歳代 (n=43)	7.0	37.2	39.5	16.3	0.0
女性/30歳代 (n=81)	3.7	45.7	42.0	8.6	0.0
女性/40歳代 (n=136)	11.8	46.3	34.6	7.4	0.0
女性/50歳代 (n=78)	6.4	60.3	32.1	1.3	0.0
女性/60歳代 (n=72)	11.1	56.9	30.6	1.4	0.0
女性/70歳以上 (n=85)	21.2	56.5	18.8	1.2	2.4

表 9-2 インフラの維持管理に対する関心度(性別/年代別)

(2)「府中市インフラマネジメント計画」の公表を知っているか

問 13. 市では、インフラマネジメントの取組を進めていく上での方向性をまとめた、「府中市インフラマネジメント計画（平成25年1月）」を、市ホームページや図書館等で公表しています。あなたは、このことをご存知ですか。次の中から、1つだけ選んでください。

(n=996)

1. 読んだことがある
2. 知っているが、読んだことはない
3. 知らない

「知らない」が(80.1%)を占め、最も高い割合となっている。次いで「知っているが、読んだことはない」が(15.1%)となっている。

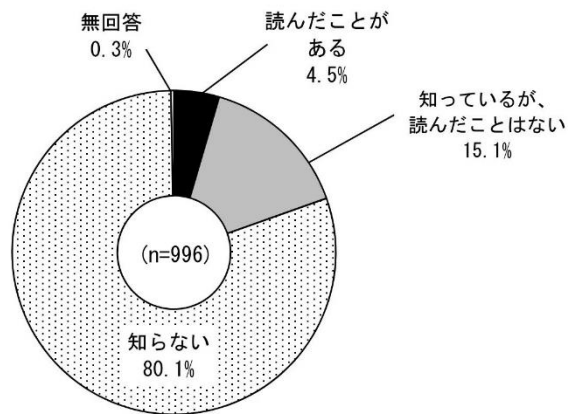


図 9-3 「計画」の公表を知っているか

[n=996]		
「計画」の公表を知っているか	回答者数(人)	割合(%)
読んだことがある	45	4.5
知っているが、読んだことはない	150	15.1
知らない	798	80.1
無回答	3	0.3

表 9-3 「計画」の公表を知っているか

性別/年代別でみると、「知らない」と答えた割合は、「男性/20歳代」（94.6%）が最も高く、「女性/30歳代」（92.6%）、「女性/20歳代」（90.7%）、「男性/30歳代」（90.2%）も9割以上が「知らない」となっている。概ね男女とも年代が上がるほど、「知らない」割合は少なくなり、「男性/70歳以上」（67.1%）、「女性/70歳以上」（60.0%）が最も少なくなっている。「読んだことがある」割合は、すべての年代で1割以下である。

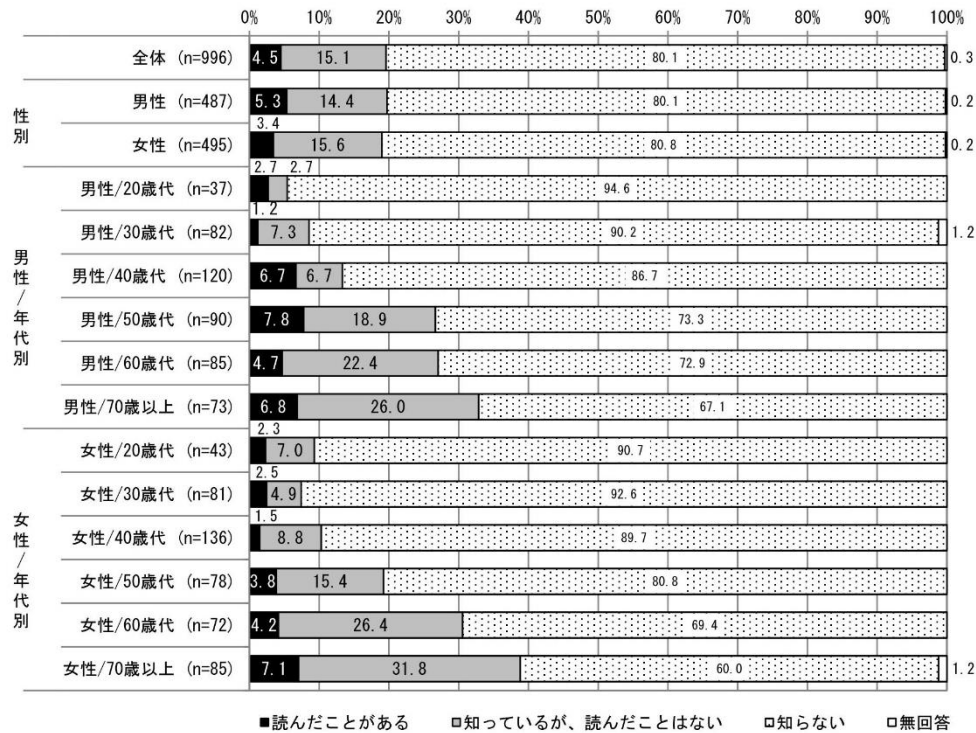


図 9-4 「計画」の公表を知っているか(性別/年代別)

性別/年代別	読んだことがある	知っているが、 読んだことはない	知らない	無回答
全体 (n=996)	4.5	15.1	80.1	0.3
男性 (n=487)	5.3	14.4	80.1	0.2
女性 (n=495)	3.4	15.6	80.8	0.2
男性/20歳代 (n=37)	2.7	2.7	94.6	0.0
男性/30歳代 (n=82)	1.2	7.3	90.2	1.2
男性/40歳代 (n=120)	6.7	6.7	86.7	0.0
男性/50歳代 (n=90)	7.8	18.9	73.3	0.0
男性/60歳代 (n=85)	4.7	22.4	72.9	0.0
男性/70歳以上 (n=73)	6.8	26.0	67.1	0.0
女性/20歳代 (n=43)	2.3	7.0	90.7	0.0
女性/30歳代 (n=81)	2.5	4.9	92.6	0.0
女性/40歳代 (n=136)	1.5	8.8	89.7	0.0
女性/50歳代 (n=78)	3.8	15.4	80.8	0.0
女性/60歳代 (n=72)	4.2	26.4	69.4	0.0
女性/70歳以上 (n=85)	7.1	31.8	60.0	1.2

表 9-4 「計画」の公表を知っているか(性別/年代別)

(3) 安全なインフラを提供していくための方策に対する考え

問 14. 将来も必要となるインフラを安全な状態で提供していくためには、様々な視点で検討する必要があります。例えば、以下のような方策が考えられますが、あなたはこれらの方策についてどう思いますか。

- ①施設を補強して長持ちさせることにより、更新までの期間を長くする
- ②道路、下水道などの更新や管理に、民間のノウハウや資金を活用する
- ③近隣自治体と共同で、道路、公園、下水道などを管理する
- ④機能していない市の道路や水路の売却・貸付によって、収入を得る
- ⑤安全性に関わらない軽微な汚れや破損については、そのまま利用を続ける
- ⑥証明発行などの事務手数料・利用料を引き上げる
- ⑦地域活動に密着した道路や公園は、できる限り地域住民が維持・管理を行う
- ⑧道路のひび割れなど、各施設におけるサービスの水準を全国的な平均に合わせる
- ⑨現在ある公園や歩道橋等を集約することによって、施設数を減らす
- ⑩現状維持するための管理費を市民全体で負担する

次にあげる項目ごとに、それぞれ1つだけ選んでください。(n=996)

1. 実施すべき
2. どちらかといえば実施すべき
3. どちらかといえば実施すべきではない
4. 実施すべきではない

(%)					
方策	実施すべき	どちらかといえば 実施すべき	どちらかといえば 実施すべきではない	実施すべきではない	無回答
①施設を補強して長持ちさせることにより、更新までの期間を長くする	44.1	44.4	6.9	1.8	2.8
②道路、下水道などの更新や管理に、民間のノウハウや資金を活用する	37.3	45.7	11.2	2.8	2.9
③近隣自治体と共同で、道路、公園、下水道などを管理する	32.3	47.3	13.1	4.2	3.1
④機能していない市の道路や水路の売却・貸付によって、収入を得る	44.8	38.4	11.1	2.2	3.5
⑤安全性に関わらない軽微な汚れや破損については、そのまま利用を続ける	17.4	31.4	32.7	15.3	3.2
⑥証明発行などの事務手数料・利用料を引き上げる	7.4	18.9	42.8	27.3	3.6
⑦地域活動に密着した道路や公園は、できる限り地域住民が維持・管理を行う	9.7	40.2	34.7	12.0	3.3
⑧道路のひび割れなど、各施設におけるサービスの水準を全国的な平均に合わせる	24.1	46.2	21.2	4.3	4.2
⑨現在ある公園や歩道橋等を集約することによって、施設数を減らす	7.7	23.3	43.7	21.7	3.6
⑩現状維持するための管理費を市民全体で負担する	9.7	34.4	33.1	19.3	3.4

表 9-5 方策に対する考え

「施設を補強して長持ちさせることにより、更新までの期間を長くする」では「実施すべき」と「どちらかといえば実施すべき」を合わせた『実施すべき』が(88.5%)で9割近くを占めている。「機能していない市の道路や水路の売却・貸付によって、収入を得る」では『実施すべき』が(83.2%)で8割以上を占めている。一方「証明発行などの事務手数料・利用料を引き上げる」では、「実施すべきではない」と「どちらかといえば実施すべきではない」を合わせた『実施すべきではない』(70.1%)が約7割となっている。「現在ある公園や歩道橋等を集約することによって、施設数を減らす」では『実施すべきではない』が(65.4%)6割半ばである。

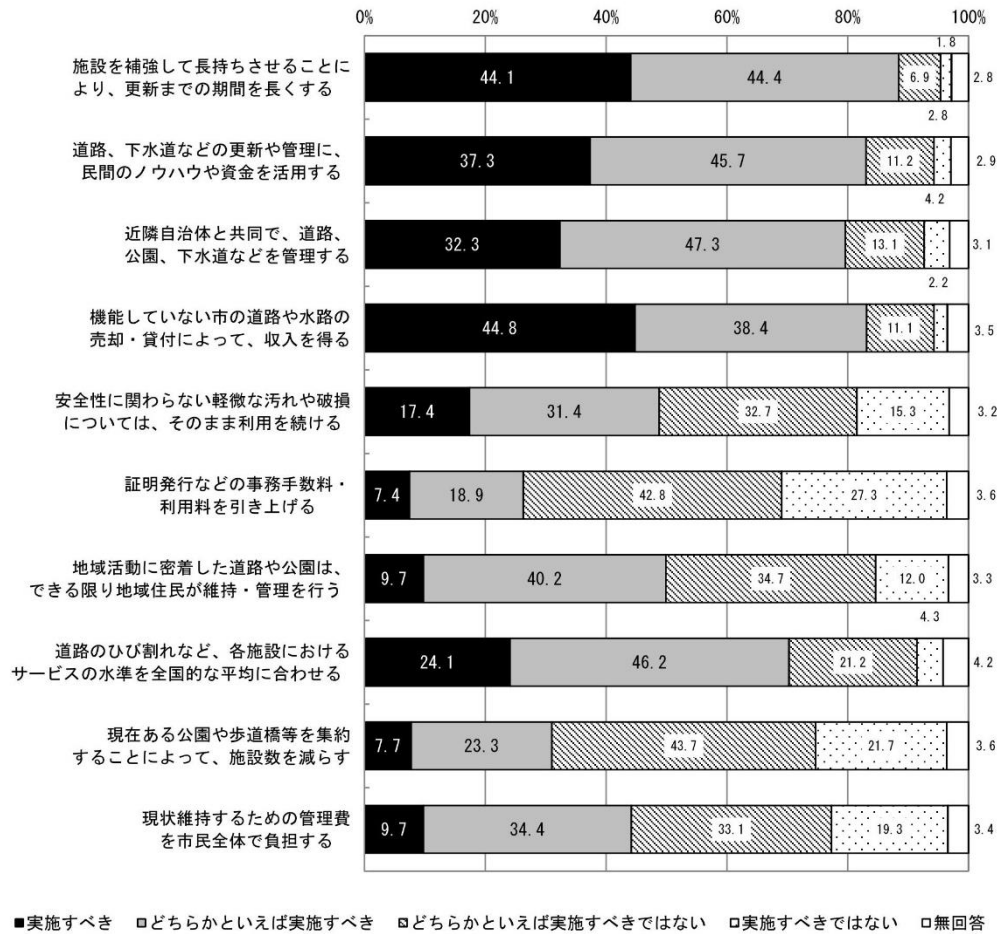


図 9-5 方策に対する考え

上記アンケートより、インフラマネジメントについて、現状のインフラの維持管理や課題について関心を持っている市民が6割半ばを占めているにも関わらず、「インフラマネジメント計画」の公表を知らない人が8割となっており、計画の周知が不足していることが考えられる。また、安全なインフラの提供をしていくための方策に対する考えについて、施設の長寿命化や民間ノウハウ・資金活用を実施するべきと考えている市民が多数であり、現在のインフラ施設を賢く運用管理していく必要があると考えられる。

6. 参考資料（用語の解説）

6. 参考資料（用語の解説）

白書で使用する用語の解説を、以下に示します。

索引用語		用語解説
あ 行		
1	一般市道	市道のうち、幹線市道以外の路線のことをいいます。
2	インフラ（都市基盤施設）	インフラストラクチャーの略。道路、橋りょう、公園緑地等、下水道、又はそれらに付属する施設（街路樹、街路灯、遊具、トイレ、ポンプなど）のことをいいます。また、インフラの管理は、市区町村、都、国がそれぞれ行っています。
3	インフラマネジメント	インフラの安全性を確保するための、技術と経費の両面で適切に管理することをいいます。
4	打換え	舗装補修工法の一つで、アスファルト舗装を支える砕石などの路盤から置き換える工法です。工事規模は大きくなりますが、補修後の耐用年数は長くなります。
5	雨水浸透ます	地下水の保全などを図るため、雨水を地中に浸透させる構造をもつ枳（ます）のことです。（「緑の基本計画 2009」参考より抜粋）
6	大型構造物	本白書では、府中市内の鉄道や道路部との交差箇所に存在するアンダーパスや地下通路部で、ボックスカルバートや擁壁として設置されている箇所を指します。
7	オーバーレイ	舗装補修工法の一つで、アスファルト舗装部分を置き換える工法です。工事規模は小さくてすみませんが、耐用年数は「打換え」に比べて短くなります。
か 行		
8	街路灯	道路（車道、歩道）に設置されている照明灯、防犯灯の総称です。
9	下部工	橋りょう構造部のうち、上部構造（橋台や橋脚に支持される、橋げた部分の総称）からの荷重などを地盤へ伝達するための、下部構造（橋台・橋脚およびそれらの基礎の総称）の工作物を指します。
10	管きょ	下水（汚水と雨水）を流す管のことを指します。

索引用語		用語解説
11	幹線市道	市道のうち、道路交通の骨格となる路線です。 なお、幹線市道には、通り名称が付与されています。
12	起 債	普通地方公共団体が公債（地方債）を発行することをいいます。公債は地方財政法で規定されており、交通事業、ガス事業、水道事業、出資金、災害復旧などの財源として利用されます。
13	起債償還費	起債による債務の返済に充てる費用のことを指します。
14	狭あい道路	法律上の定義はありませんが、一般的に幅員が4m未満の道路を指します。また、建築基準法 第42条第2項の規定に該当することから、「2項道路」ともいいます。
15	境界確定	土地所有者同士が合意契約を結び、土地の境界を確定させることをいいます。ここでは、市道や法定外公共物（赤道・水路）と隣接地との境界を確定することをいいます。
16	切下げ部	車道面より高く設置している歩道において、車両の出入りがある箇所を車道面にすり付けている箇所のことをいいます。
17	グレーチング	一般には、道路の表面排水を目的として、道路排水溝口に設置する格子状の鋼製ふたを指します。「白書」では、街路樹の根を押さえるための根囲い保護を目的とし、街路樹の根本に置かれる部材を含みます。
18	計画（個別計画）	各事業を行うにあたり策定する、具体的な事業計画をいいます。都市基盤の分野については、府中市下水道マスタープランなどが個別計画に該当します。
19	下水道基金	下水道施設の改築等に要する経費の財源に充てることを目的とし、平成16年度に創設された基金のことをいいます。
20	鋼 橋	主要部材に、鋼を用いて建設された橋りょうです。コンクリートと比べ強度は上がりますが、部材の断面が薄くなるために振動やたわみへの配慮が必要となります。

索引用語		用語解説
21	公共基準点	公共基準点とは、上位の「基準点」を補完する目的で、市などの地方公共団体が設置するもののことをいいます。なお、基準点とは、地球上の位置や海面からの高さが正確に測定された、三角点、水準点、電子基準点などのことをいい、地図作成や各種測量の基準となります。
22	公共施設	市が管理する、公益的な施設のことをいいます。府中市では、公共施設を「建築物等」と「インフラ」に分類して表現をしています。
23	公共植栽地	「美しい景観の形成」や「快適な生活環境の確保」などを目的として設ける、公共用地に植樹をした空間のことをいいます。
24	交通安全施設	交通の安全と円滑をめざして、「道路管理者が整備するもの」と「公安委員会が整備するもの」があります。「道路管理者（市など）」が整備するものとして、防護柵、道路標識、路面標示（区画線）、道路照明灯、カーブミラー、視線誘導標などがあります。また、「公安委員会（警察）」が整備するものとして、交通信号機、交通情報板、規制標識、路面標示（規制表示）などがあります。
25	交通安全灯	街路灯のうち、交通の安全を確保することを目的として設置するもののことをいいます。
26	合 流	下水道には、雨水と生活排水などの汚水が流れています。これら雨水と汚水を同一の管路で下水処理場まで排除する下水道構造の方式です。
さ 行		
27	支承	橋りょうにおいて、橋台や橋脚上で橋げたを支持する部品です。「沓（シュー）」とも呼ばれます。
28	事後保全	損傷や故障が起きてから対策を講じ、故障や破損を補修する工法のことをいいます。
29	指定管理者制度	市が行う公共施設やインフラの管理運営を、株式会社や財団法人、NPO 法人などに代行させることができる（行政処分であり委託ではない）制度です。管理に民間の能力を活用するとともに、その適正な管理を確保する仕組みを整備し、住民サービスの向上や経費の節減等を図ることを目的としています。

索引用語		用語解説
30	私 道	個人や事業者が所有する道路のことをいいます。なお、「私道」は所有者が管理するものであるため、市では管理は行いません。
31	上部工	橋りょうの橋台や橋脚の上に設けられる、橋げた部分の工作物を指します。
32	植樹ます	主として街路樹（並木）を植栽するために、歩道、自転車道及び自転車歩行者道（以下「歩道等」という。）の一部に、縁石等で区画して設けられる植栽地のことをいいます。
33	処分制限期間	公園の施設について、財産として処分すべき期間のことをいいます。「補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律施行令に定められ、国土交通省所管補助金等交付規則で規定されています。
34	処理区	「合流式の公共下水道」又は「分流式の公共下水道」の汚水管渠により排除される下水が二以上の終末処理場によつて処理される場合において、それぞれの終末処理場により処理される下水を排除することができる地域で公共下水道管理者が定めるものをいいます。（下水の処理開始の公示事項等に関する省令（昭和四十二年十二月十九日厚生省・建設省令第一号）に規定されています）
35	伸縮装置	橋りょうの路面端部に設置されるもので、「気温の変化による橋りょうの伸縮」や「地震時および車両の通行にともなう橋りょうの変形」を吸収し、段差なく自動車や人が通行できるようにする装置です。
36	スポットパーク	まちかどにおける修景施設及び休憩施設を主体とした、市民が憩うことのできる小規模な公園のことをいいます。（「緑の基本計画 2009」参考より抜粋）
た 行		
37	地域区分	平成 22 年度に改訂した、「府中市都市計画に関する基本的な方針（府中市都市計画マスタープラン）」の地域区分のことをいいます。地域区分は、地域の特性や住環境などから、8 つに区分されています。
38	地方譲与税	国税として徴収した税を一定の基準（道路延長や面積等）で、地方公共団体に配分されるものです。

索引用語		用語解説
39	長寿命化修繕計画	施設の点検結果に基づき、必要な修繕や架替えの時期等を定めた計画のことをいいます。現時点では、橋りょうを対象とする長寿命化計画を策定する自治体が多くあります。
40	道路維持費	市が管理する道路について、道路の維持にかかる予算項目です。具体的には、施設の管理委託費や光熱水費などがこれにあたります。
41	道路改良整備事業費	市が管理する道路について、改良にかかる予算項目です。具体的には、道路の改良のための工事などがこれにあたります。
42	道路証明	道路法第8条に規定する「市町村道」であることを証明するものです。
43	道路新設改良費	市が管理する道路について、新設や改良にかかる予算項目です。具体的には、道路の新設に係る測量や工事などがこれにあたります。
44	道路反射鏡	見通しの悪い交差点やカーブにおいてドライバーから死角となる箇所にいる車や歩行者の存在を知らせるものです。
45	都市公園	都市公園法に基づき、地方公共団体又は国が設置する公園又は緑地です。都市公園の役割としては、都市環境の改善や、都市の防災空間、レクリエーション・コミュニティ活動の場、動植物の生息・生育空間、地域活性化の拠点などがあげられます。（「緑の本計画2009」参考より抜粋）
な 行		
46	ネーミングライツ	施設などに対し、名称をつけることができる権利のことをいいます。公共施設などに対して企業名や商品名などを付与することで、権利料を徴収するビジネスとして確立しています。
は 行		
47	パーゴラ	日陰棚やつる棚など、上空に植物を這わせるための施設です。日本では藤棚が一般的です。

索引用語		用語解説
48	府中市インフラマネジメント計画	インフラマネジメントの全体の方向性を示す、府中市の策定する行政計画です。なお、計画期間は平成 30 年度から 40 年間とし、下記「白書」の結果を反映した計画としています。
49	府中市インフラマネジメント白書	インフラマネジメントの方向性を示すにあたり、「施設や業務の現状及び課題等の把握」や、「施設の管理に係る将来経費の予測」などの結果をまとめた資料です。
50	府中市公共施設マネジメント白書	建築物等のマネジメントの方向性を示すにあたり、「施設やコストの現状把握」や、「各施設群として抽出した課題等」などの結果をまとめた資料です。
51	府中市総合計画	市における、全ての計画の基本となる最上位計画のことをいいます。「府中市総合計画」は議会の議決を経て策定されます。
52	府中市都市計画に関する基本的な方針 (府中市都市計画マスタープラン)	地域の特性を踏まえつつ、市のまちづくりの具体的な将来ビジョンを示すものです。府中市のまちづくりは、この方針に基づいて行われています。
53	ペDESTリアンデッキ	歩道橋の一種で、駅前などに広場を設けるための高架構造のものをいいます。
54	包括的業務委託	市が発注する複数の業務委託を、まとめて委託するものです。業務をまとめることで、スケールメリットによる委託経費の削減を目的としています。また、委託先の技術やノウハウを活用しやすくなることがみられます。
55	法定外公共物	道路法、河川法、下水道法、海岸法等の法令の適用または準用のない公共物のことをいいます。具体的には、里道（赤道）、普通河川や水路などの土地を指します。
56	防犯灯	街路灯のうち、防犯対策を目的として設置するもののことをいいます。
57	ポットホール	舗装面に発生する局所的な小さい穴をいい、ひび割れに起因するアスファルト材の剥離等が原因で発生します。
や 行		
58	予防保全	損傷や故障が起きる前に対策を講じ、その後の故障や破損による機能不全が起きないようにする工法のことをいいます。

索引用語		用語解説
ら 行		
59	ライフサイクルコスト	製品や構造物などの費用について、「調達・製造・建設」、「使用・利用」、「撤去・廃棄」までの全段階でかかる費用の合計のことをいいます。
60	流域建設負担金	流域下水道の管理運営に係る負担金のことをいいます。流域下水道とは、2つ以上の市町村にまたがる下水道で、都道府県が管理をしています。流域の関連市町村は、排水量に応じた比率により維持管理経費を負担することとなっています。
61	緑被率	上空から地上を見た時に、樹木、芝、草花などの植物によって覆われた範囲の面積割合のことをいいます。
62	立体横断施設等	本白書では、ペDESTリアンデッキ、エレベーター、エスカレーターを総称して示します。
アルファベット		
63	M C I 値	路面の損傷状態を表すひび割れ率、わだち掘れ量、平坦性（縦断凹凸）の3つの値を統合化し、舗装の損傷程度を10点満点で評価した指数。数値が大きいほど、状態が良いことを示します。
64	P C 橋	主要部材に、プレスコンクリート（以下、「PC」という。）を用いて建設された橋りょうです。鉄筋コンクリートと比べて高コストとなりますが、強度が上がることでより長い支間長（スパン）へ橋を架けることが可能です。
65	P P P	パブリック・プライベート・パートナーシップ（Public Private Partnership）の頭文字で、市をはじめとする地方公共団体などが提供してきた公共サービスに、民間の資金や技術、ノウハウを取り入れる手法のことをいいます。なお、P F I（民間資金を活用した社会資本整備）やアウトソーシング（外部委託）などは、P P Pを実現するための手法の一部です。
66	R C 橋	主要部材に、鉄筋コンクリートを用いて建設された橋りょうです。低コストであるという利点がありますが、強度が低いので支間長（スパン）が短い橋りょうに利用されています。現在ではPC橋が主流となっています。

府中市インフラマネジメント白書

発 行 日 平成 年 月

編集・発行 府中市都市整備部管理課

〒183-8703 東京都府中市宮西町2丁目24番地

電 話 042-364-4111（代表）

042-335-4430（直通）

FAX 042-335-0499

ホームページ <http://www.city.fuchu.tokyo.jp/>